



八木書店 出版図書目録

[2023年5月]



★各書目のQRコードから詳細情報にアクセス！



【八木書店出版図書目録 2023年5月 目次】

新刊 (ダイジェスト) 1

JKBooks

Web版 史料纂集 第1・2期 古記録編 2

Web版 群書類従 正・続・続々 (全133冊) 4

Web版 美術新報・弘文荘待買古書目 5

Web版 日本近代文学館 6

影印資料 7

尊経閣善本影印集成 9 / 新天理図書館善本叢書 18 / 天理図書館綿屋文庫俳書集成 25 / 正倉院古文書影印集成 27 / 東京大学史料編纂所影印叢書 29 / 宮内庁書陵部本影印集成 30 / 熱田本日本書紀 31 / 尾州家河内本源氏物語 32 / 定家本源氏物語 32

史料纂集 33

古記録編 33 / 古文書編 48

群書類従 54

群書類従 54 / 続群書類従 60 / 続々群書類従 73 / 群書解題 75

【分野別】単行本・シリーズ

歴史 76

考古学 76 / 古代 77 / 中世 83 / 近世・近代 91 / 系図・家紋 94 / 補任 97 / キリシタン関係・日本語史 99 / 文化史 101

古典文学 102

上代・中古・中世 102 / 近世 104 / 江戸吉原叢刊 108 / 西山宗因全集 108 / 馬琴書翰集成 109

演劇 110

義太夫年表 110 / 近代歌舞伎年表 111 / 単行本 112

美術 114

書誌 115

近代文学 117

全集 121

徳田秋聲全集 121 / 近松秋江全集 123 / 石橋忍月全集 123 / 新派名優喜多村緑郎日記 124 / 与謝野寛晶子書簡集成 124

近代雑誌複刻資料 125

日本近代文学館発行 文芸雑誌複刻版シリーズ 125

【付録】

新規オンデマンド版一覧 128 / 史料纂集既刊書一覧 129 / 尊経閣善本影印集成既刊書一覧 133 / 新天理図書館善本叢書一覧 134 / ALL REVIEWS掲載記事一覧 135

新刊 (ダイジェスト)

古代・考古学

出雲国風土記
伏見 生沢編

p.77

島根県古代文化センター編
『出雲国風土記』校訂・注釈編

上村正裕著
日本古代王権と貴族社会

八木書店
p.77

上村正裕著
『日本古代王権と貴族社会』

中世

萩原大輔著
本能寺の変
史料で読む戦国史

八木書店
p.87

萩原大輔著『異聞 本能寺の変』乙夜之書物』が記す秀の乱』

仙洞年代記
上皇と法皇の歴史
横道雄著
八木書店

p.79

横道雄著
『上皇と法皇の歴史―仙洞年代記』

史料纂集

墨書土器と文字瓦
吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編

p.77

吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編『墨書土器と文字瓦』

松田真一編
葛城の考古学
先史・古代研究の最前線

八木書店
p.76

松田真一編『葛城の考古学―先史・古代研究の最前線』

史料纂集
安保文書
八木書店

p.53

新井浩文・伊藤一美・井上聡校訂『古文書編 第52回配本 安保文書』

史料纂集
瑞龍公実録
八木書店

p.43

徳川林政史研究所編『古記録編 第31回配本 瑞龍公実録』

古代～近世

高田宗平編
日本漢籍受容史
日本文化の基層

p.101

高田宗平編『日本漢籍受容史―日本文化の基層』

新皇居行幸年表
詫間直樹編

p.86

詫間直樹編『新皇居行幸年表』

キリシタン

キリシタン語学入門
岸本恵美・白井純編

八木書店
p.99

岸本恵美・白井純編『キリシタン語学入門』

キリシタン世紀の日本
THE CHRISTIAN CENTURY IN JAPAN
1549-1650
C・R・ボクサー原著
高瀬弘一郎訳

p.88

C・R・ボクサー原著／高瀬弘一郎訳『キリシタン世紀の日本』

影印

明治大学図書館蔵
三条西家本除目書

p.78

明治大学図書館蔵『明治大学図書館蔵 三条西家本 除目書』

天理図書館蔵
春雨物語

p.104

天理図書館蔵『天理図書館蔵 春雨物語―羽倉本・天理冊子本・西荘本』

尊経閣古文書集
前田育徳会編

八木書店
p.17

前田育徳会編『尊経閣善本影印集成 82 尊経閣古文書集 社寺文書 3』

近代

啄木 我を愛する歌
発想と表現

太田登著

p.117

太田登著『啄木 我を愛する歌 発想と表現』

2023年1月10日 第1期リリース！
日本の歴史・文化研究で必須の一大叢書、初めてのデータベース化！

JKBooks

しりょうさんしゅう

第1・2期

古記録編

Web版

史料纂集

平安・鎌倉・南北朝
室町・戦国①～③

『史料纂集』は日本の歴史・文化研究で必須の重要史料を、使いやすく文字起こし（翻刻）した一大史料集成です。古代から近世まで、公家の日記から武士や僧侶の日記まで、古記録から古文書まで、さまざまな時代・ジャンルの史料を翻刻しています。

詳細な人名注・校訂注を付したそのテキストは学界最高水準で、現在まで266冊を刊行しています（古記録編214冊、古文書編52冊。2023年3月現在）。

Web版の特長

1 書籍の紙面画像を表示、フルテキストデータを提供

最新版を底本とし、紙面を画像表示する。本文のフルテキストデータも提供。テキストは検索・コピーが可能。検索語はハイライトで表示。

2 新字による全文横断検索、他コンテンツとの連携検索

テキストは新字に統一しコピー・引用時の便を図った。「群書類従」「国史大系」「鎌倉遺文」などJKBooks*の他の書目との連携検索が可能。

*別途契約（ご購入）が必要。

3 全文検索、年月日での絞り込み検索、書名別検索を実現

全文語句検索、書名別の検索が可能に。日記・古文書に年月日のデータを付しており、年月日での絞り込み検索も実現。

無料トライアルのご案内

申込書をダウンロードいただき、お申し込みください。

<https://catalogue.books-yagi.co.jp/files/pub/pdf/Yagimuryotrial.pdf>

※Web版史料纂集は、リリース後に八木書店古書店店舗

でも実際に試用できます。



収録書目

〔第1期〕2023年1月リリース

史部王記、権記1～3、台記1、明月記1、葉黄記1・2、勘仲記1～6、公衡公記1～4、花園天皇宸記1～3、園太暦1～7、師守記1～11、迎陽記1・2、新訂増補兼宣公記1・兼宣公記2

〔第2期（予定）〕2024年1月リリース予定

教言卿記1～4・教興卿記、経覚私要鈔1～11、山科家礼記1～6、師郷記1～6、氏経卿神事記1・2、実隆公記1～13・書名索引、元長卿記、十輪院内府記、松陰私語、言国卿記1～8

続刊予定

第3期 古記録編 室町・戦国④～⑥

第4期 古文書編①・②

第5期 古記録編 江戸①～③

第6期 補遺

詳細は
こちらから



JKBooksは、図書館向けインターネット辞書・事典検索サイト「ジャパンナレッジ Lib」の電子書籍プラットフォームです。機関様単位で追加選択してご導入いただけます。詳細はお問い合わせください。

史料纂集 花園天皇宸記 1 132ページ
 基本検索 詳細（個別）検索 本棚

auth_item.jsp 1 / 1 88%

目次 書誌情報 テキスト

上皇痘瘡の疑ありといふ
道昭参入す
観音供
後宇多法皇東宮に御幸せらる
痘瘡去年冬より流行す
尊治親王息所懐妊せらる
伏見法皇遷御し賀茂北野兩社に幸せらる
慈順及び覺助法親王参入す

（廿三日、戊申、）天晴、未剋慈順僧正参入、暫語了退出、續哥會、入夜覺助法親王参入、

（廿二日、丁未、）天晴、

（廿一日、丙午、）天陰雨降、

（廿日、乙巳、）天晴、今日東宮息所（西園寺、道大親大臣、女也、永福門院妹也、）懐妊經五个月着帯云々、是去年秋比、東宮密所盗取也、仍無参入儀、自今年正月始露顯也、依咳病不沐浴、仍毎日拜不奉仕之、

（十九日、甲辰、）天晴、依咳病心神聊違例、今日法皇自石清水社還御、即幸賀茂・北野云々、

（十八日、癸卯、）天晴、観音供如例、新院已痘瘡治定云々、但御心神聊小減云々、子剋左大臣参入、暫語了退出、今日大覺寺法皇御幸東宮云々、依院御痘瘡、詩會令延引、

（十九日、甲辰、）天晴、依咳病心神聊違例、今日法皇還御大覺寺云々、奉狀廣義門院、奉問新院御痘瘡事、凡當時、自去年冬比、痘瘡大覺每人疾云々、是依朕不徳歎、尤驚歎無極、

（十七日、壬寅、）天晴、今日聞、新院猶不平癒給、痘瘡歎之由有其疑、但未決定云々、今日還御、暫御休息烏羽殿云々、仍以前参議實藤卿奉問新院御事、申剋許新院還御常盤井殿、又以資藤卿奉問、痘瘡事猶未決定云々、入夜還昭僧正参入、暫語了退出、

歡遊契萬春、絶句、今年詩會始也、仍絶句也、尋日次可爲此聞者也、

一一一

© YAGISHOTEN

痘瘡、詩會令延引、

（十九日、甲辰、）天晴、依咳病心神聊違例、今日法皇還御大覺寺云々、奉狀廣義門院、奉問新院御痘瘡事、凡當時、自去年冬比、痘瘡大略每人疾云々、是依朕不徳歎、尤驚歎無極、

（廿日、乙巳、）天晴、今日東宮（禮子）息所、西園寺（実兼）入道太政大臣女也、永福門院妹也、懐妊經五箇月着帯云々、是去年秋比、東宮密所盗取也、仍無参入儀、自今年正月始露顯也、依咳病不沐浴、仍毎日拜不奉仕之、

（頭書）「今日法皇自石清水社還御、即幸賀茂・北野云々、」

（廿一日、丙午、）天陰雨降、

（廿二日、丁未、）天晴、

（廿三日、戊申、）天晴、未剋慈順僧正参入、暫語了退出、續哥會、入夜覺助法親王参入、

〔標出〕

上皇痘瘡の疑ありといふ
道昭参入す
観音供
後宇多法皇東宮に御幸せらる
痘瘡去年冬より流行す
尊治親王息所懐妊せらる
伏見法皇遷御し賀茂北野兩社に幸せらる
慈順及び覺助法親王参入す

143 / 228
PDF単体 🔍 検索メニュー

【出典】『花園天皇宸記』正和三年（1314）正月条（第一、132頁）

検索事例 「痘瘡」で本文検索、32件ヒット

流行病である「痘瘡」（天然痘）の用例を簡便に検索可能。疾病・医療、災害、天文など様々な学問分野の記事を検索！
[レファレンス利用](#)、[学生の参考調査でも有効なツール](#)。

紙面画像とフルテキストデータを提供。テキストデータは本文／標出ごとに掲示され、簡単にコピーできる。検索語句はハイライト表示。

第1期 販売価格

フルセット：第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝

特別価格：900,000円（税別） 通常価格：1,000,000円（税別）

分売①：第1期 古記録編 平安・鎌倉

特別価格：450,000円（税別） 通常価格：500,000円（税別）

収録：吏部王記、権記、台記、明月記、葉黄記、勘仲記、公衡公記、花園天皇宸記

分売②：第1期 古記録編 南北朝

特別価格：450,000円（税別） 通常価格：500,000円（税別）

収録：園太曆、師守記、迎陽記、兼宣公記（1は新訂増補版）

※特別価格での販売期間は2023年1月～2025年3月31日

※第2期の価格は確定次第、八木書店ホームページに掲載します。

2022年11月に「図書館総合展」で開催されたフォーラム「研究が変わる！参考調査の常識も変わる！現役図書館員がズバリ聞く『ジャパンナレッジ版 史料纂集』」の動画を公開しております。Web版の魅力をわかりやすく説明しています。

*動画は
[こちら](#)
から➡



日本研究に必携の一大叢書をデータベース化
全133冊 3,750書目の膨大な史料の画像とフルテキストデータを提供！

JKBooks

Web版

ぐんしよるいじゆう

群書類従

正・続・続々

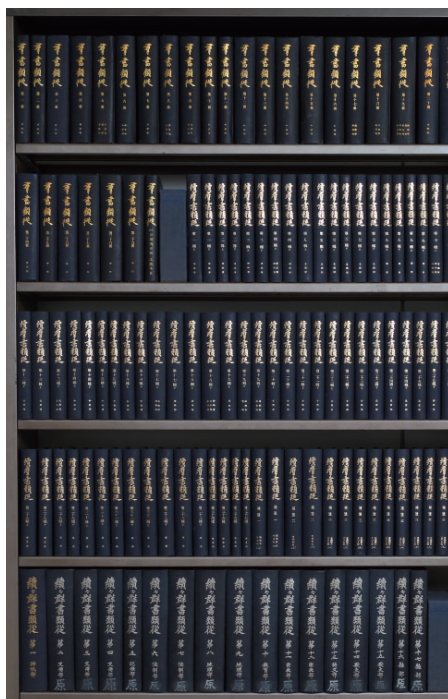
全133冊

3,750書目

2014年10月配信開始 セット販売価格150万円(税別、分売セットあり)

古代から近世末期まで、歴史・文学・宗教・言語・風俗・美術・音楽・遊芸・教育・道徳・法律・政治・経済・社会、その他各分野にわたる全書目を分類収録した一大叢書の全文横断検索を実現！

詳細はこちらから



ぐんしよるいじゆう 群書類従

全30冊・収録書目1,276点 販売価格400,000円(税別)
〔底本〕続群書類従完成会版 訂正3版5刷(1975年～)

ぞくぐんしよるいじゆう 続群書類従

全86冊・収録書目2,128点 販売価格800,000円(税別)
〔底本〕続群書類従完成会版 訂正3版6刷(1980年～)

ぞくぞくぐんしよるいじゆう 続々群書類従

全17冊・収録書目350点 販売価格300,000円(税別)
〔底本〕続群書類従完成会版 3刷(1978年～)

- 最新の改訂版を底本に、新字による全文横断検索(フルテキスト検索)を実現。
- 書籍紙面は画像で忠実に表示。本文テキストのコピーも可能に。
- 収録書目には、分類(部立て)、収録書名、著者名、内容(書写年代・翻刻底本の情報)などの書誌情報を付し、利用・検索を簡便に。
- 「日本国語大辞典」「国史大辞典」など、ジャパンナレッジ Lib収録の各種基本コンテンツとの連携検索で、さらに便利に！
- 図書館のレファレンス対応に最適。既存の書籍版の索引としても活用できる。

JKBooksは、図書館向けインターネット辞書・事典検索サイト「ジャパンナレッジ Lib」の電子書籍プラットフォームです。機関様単位で追加選択してご導入いただけます。詳細はお問い合わせください。

西洋近代美術の移植・伝統的日本美術の再認識を主導した貴重資料
全 300 冊の画像データベースをオンラインで閲覧！

JKBooks

Web版

び じゅつ しん ぽう
美術新報

2015 年 6 月配信開始



- 全 300 冊・総 7,348 頁 明治 35 年～大正 9 年
画報社・東西美術社発行
 検索目録：中島理壽 編・村田真知 協力

詳細は
こちらから



- 「美術新報」は美術ジャーナリズムの嚆矢であり、多大な影響力をもった重要な雑誌。
- 複製出版した書籍版をオンライン画像データベース化。
- 当時開催された展覧会の出品内容や、画家・団体の動向を記した彙報欄記事 23,000 件のデータベースも収録。
- 明治・大正期の近代画家・文人や展覧会等の動向を探るための貴重・詳細な記録。

販売価格：350,000 円（税別）

※パッケージ版（DVD 版）をご購入の方には、パッケージ版購入者優待価格（本体 140,000 円）が適用されます。詳細は、小社までお問い合わせ下さい。

古書・蔵書調査に必携の辞典！

稀代の目利きが販売した書物流転の記録をデジタルアーカイブ化

JKBooks

Web版

こう ぶん そう たい か こ しょ も く
弘文荘待賈古書目

2016 年 7 月配信開始

弘文荘待賈古書目とは、昭和 8 年の第 1 号から、昭和 59 年の最終の敬愛書圖録 II まで、古書肆弘文荘、反町茂雄氏が刊行し、顧客に送り続けた古書目録のこと。全 77 冊、全 10,600 頁。

弘文荘の古書販売目録所収の書目約 2 万点を画像データベース化
古代から近代まで、多彩な書目に検索データを付したデジタルアーカイブ

詳細は
こちらから



販売価格：350,000 円（税別） 反町茂雄編

※パッケージ版（CD-ROM 版、DVD 版）をご購入の方には、パッケージ版購入者優待価格（本体 140,000 円）が適用されます。詳細は、小社までお問い合わせ下さい。

JKBooks は、図書館向けインターネット辞書・事典検索サイト「ジャパンナレッジ Lib」の電子書籍プラットフォームです。機関様単位で追加選択してご導入いただけます。詳細はお問い合わせください。

ご注文は、小社出版部ホームページ（<https://catalogue.books-yagi.co.jp/>）が便利です。

近代日本研究に必須の雑誌がオンライン版で登場！
 詳細検索データを駆使して全32万頁を自在に操る

JKBooks
 Web版

にほんきんだいぶんがくかん
日本近代文学館

たい よう
太陽

全34巻531冊・17万5,000頁
 [底本] 博文館発行 明治28年(1895)～昭和3年(1928)

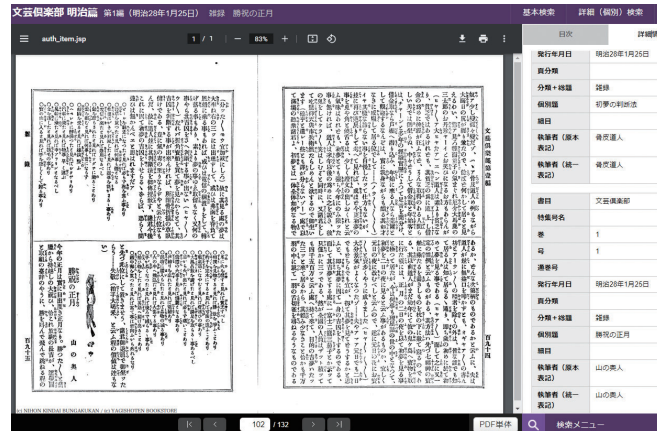
- 【特長】
- 落丁・乱丁のない完全な定本を使用。
 - 検索データは目次ではなく本文見出しから採録。正確な索引を提供。

詳細内容見本
 はこちらから



ぶんげい くわんらぶ
文芸倶楽部

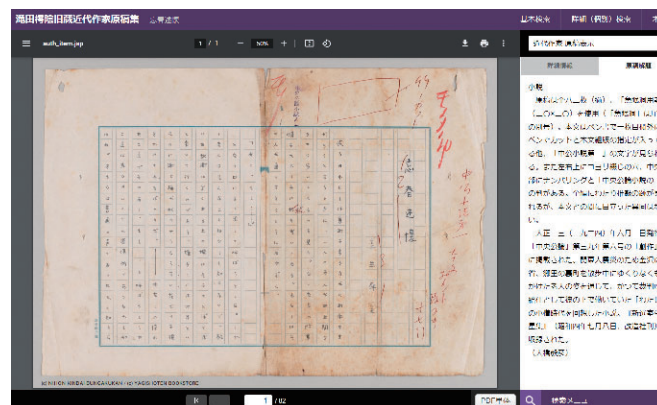
全18巻284冊・10万8,070頁
 [底本] 博文館発行 明治28年(1895)～大正元年(1912)



【出典】『文芸倶楽部 明治篇』第1編
 (明治28年1月25日) 雑録 勝祝の正月

こうゆう かいざっし
校友会雑誌

全380冊・3万8,864頁 [底本] 第一高等学校校友会版
 明治23年年(1890)～昭和19年(1944)



【出典】『近代作家原稿集』室生犀星「忘春述懐」原稿

たきたちよんきゆうぞう
 きんだいさつ かげんこうしゆう
近代作家原稿集

67人の作家の原稿213点 [初出誌面] 209作品

- **太陽** ※分売も承ります。
 販売価格：[フルセット] 2,400,000円(税別)
- **文芸倶楽部 明治篇** ※分売も承ります。
 販売価格：[フルセット] 1,800,000円(税別)
- **校友会雑誌**
 販売価格：850,000円(税別)
- **滝田樗陰旧蔵 近代作家原稿集**
 販売価格：450,000円(税別)
 [DVD版販売価格]：本体450,000円

JKBooksは、図書館向けインターネット辞書・事典検索サイト「ジャパンナレッジ Lib」の電子書籍プラットフォームです。機関様単位で追加選択してご導入いただけます。詳細はお問い合わせください。

【影印資料】

八木書店が取り組む複製出版

小社の複製出版は下記の方針で取り組んできました。

- 【1】直接閲覧することが困難である貴重な古典籍・古文書の原本を、精確精細な影印本文（写真版）で提供し、広く学術的な調査研究に資す。
- 【2】文字の墨朱濃淡をはじめ、重層的な書き込み、微細な訓点、料紙の質感等、活字翻刻では窺い得ない複雑な原本情報を、時代に応じた最新技術を導入して再現する。
- 【3】影印本文に加え、所収原本の書誌的事項を中心に簡明正確な記述を主眼とした解説を収載する。



編集・製作の特長 各工程で厳密な点検・校正を経て仕上げていきます。

【撮影】

- 1) フィルムカメラによる撮影から、近年では高精度デジタル撮影に移行。
- 2) 原本保護を最優先とした上で、平面性の確保、均一なライティング、間紙による裏写り防止等、古典籍・古文書に最適な技術を用いて撮影。

【製版】

- 1) フィルムからの製版は単色版（モノクロ）の場合も、階調再現に優れたカラスキャナを使用。近年では墨・朱二版に色分解した二色刷や高精細カラー版を適宜採用。
- 2) 最新の高精細カラー版では、イクオス・スーパーセル 260 線を採用。従来仕様（175 線）から更に微細な文字等の再現性が向上。

【印刷】

- 1) 編集担当者が立ち会い、各台（8 頁もしくは 16 頁毎）刷り出し時の版面点検、印刷時の抜き取り検査等を厳格に行い、精巧な仕上がりを期す。
- 2) 最新の高精細カラー版では、ハイブリッド UV システムを採用し、速乾性インキによる仕上がりを確認しつつ印刷を進行。

【製本】

糸かがり、上製クロス装とし、堅牢にして日常の連用・長期保存に耐える製本とした。

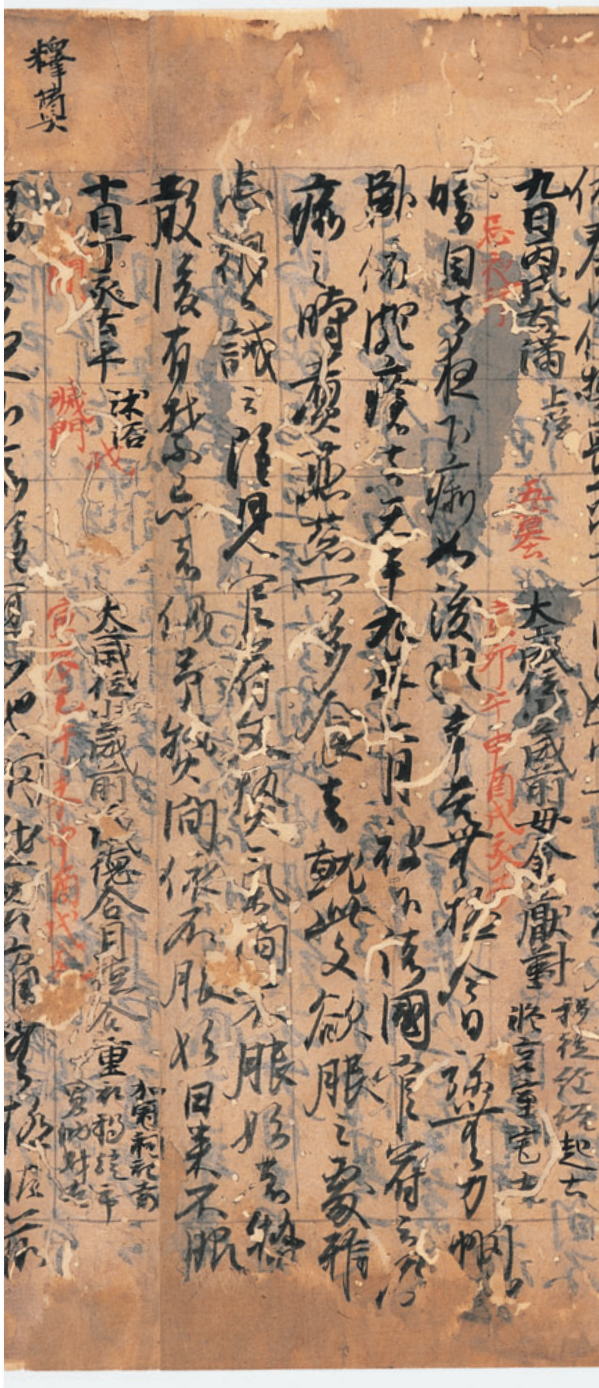


【高精細カラー版】 活字ではわからない原本の生々しい姿！

【国宝】 水左記 源俊房自筆
(尊経閣善本影印集成 65)

絵画資料の微細な色遣いも精確に再現！

いはやものがたり
(新天理図書館善本叢書 27)



原本同様の可読性を実現！

最高峰の古典文庫から至宝の蔵書を精選！

尊経閣善本影印集成

そんけいかくぜんぼんえいいんしゅうせい

前田育徳会尊経閣文庫編

尊経閣文庫は、国宝22点・重要文化財77点他、多くの貴重書を所蔵する我が国屈指の古典文庫である。加賀藩第五代藩主前田綱紀が蒐集した典籍類を中核とするその蔵書の内容は、物語・詩歌・史書・辞書・古記録など多岐にわたり、特に質的に群を抜いた古典籍の宝庫といえる。その蔵書の中でも、国文・国史の研究に必須の善本を精選し、精緻なオフセット印刷により影印、順次刊行し広く研究者の利用に供する。



尊経閣善本影印集成

第一輯 儀式書 (全12冊)

(1993.12 ~ 1997.2)

ISBN4-8406-2291-4 【セット品切】

A4判横本 平均339頁、総4,068頁



(表示価格は本体価格です／ISBN4-8406は省略しました)

第1冊	西宮記一	17,476円	-2301-5 (1993.12)
第2冊	西宮記二	17,476円	-2302-3 (1994.3)
第3冊	西宮記三	19,417円	-2303-1 (1994.6)
第4冊	西宮記四	21,359円	-2304-X (1994.9)
第5冊	西宮記五	17,476円	-2305-8 (1994.12)
第6冊	西宮記六	26,214円	-2306-6 (1995.3)
第7冊	北山抄一	【品切】	-2307-4 (1995.7)
第8冊	北山抄二	【品切】	-2308-2 (1995.10)
第9冊	北山抄三	【品切】	-2309-0 (1996.2)
第10冊	江次第一	29,126円	-2310-4 (1996.6)
第11冊	江次第二	21,359円	-2311-2 (1996.9)
第12冊	江次第三	17,476円	-2312-0 (1997.2)

※分売いたします。

【所収書目】

西宮記 (さいきゅうき)

〔平安末鎌倉初期写 3種18巻〈重文〉〕

大永5年(1525)写 9冊]

醍醐帝の皇子、源高明の手になる私撰の儀式・故実の書。書名は彼の住居より名付けられ、10世紀の朝儀を知る根本資料として当時より重要視されてきた。その成立については、高明が安和の変によって筑紫へ左遷される前後で説の分かれるところである。しかし異本が少なくとも3種は存していることから、本人自身により何度か改稿されていると推定される。尊経閣文庫所蔵のものは、これら写本のうち、最も古い平安末期の九条家本系統のものを中心とした3種18巻の卷子本(重文)と、室町期書写の冊子本(大永5年写・9冊)。



西宮記 巻六乙 (金沢文庫旧蔵本・重文)

北山抄 (ほくざんしょう)

〔平安末鎌倉初期写 3種12巻〈巻10欠、国宝〉／永正年中(1504-21)写 5冊〕

10世紀の儀式書。小野宮流関白太政大臣実頼の孫、藤原公任によって執筆された。道長と同時代に生きた彼が、晩年、北山に隠棲したことよりこの名がある。息子や女婿の為に官吏としての心得を書いたものを後に一本にまとめたらしく、内容も小野宮・九条両流を総合し、その豊富な内容で早くから重宝された。現在、公任自筆の草稿本とされるものが巻10のみ残存している。尊経閣文庫には、国宝に指定されている平安末・鎌倉初期書写の3種12巻(巻10欠)、取り合わせ本と永正年中写の冊子の写本(5冊)が所蔵されている。

江次第 (ごうしだい)

〔鎌倉末室町期写 10巻／室町期写 8冊〕

平安末院政期を代表する文人官僚、大江匡房が関白藤原師通の命を受けて執筆した朝儀・公事の次第書である。『江家次第』ともいう。全21巻(現存は巻16・21を亡失した19巻)。71歳で匡房が死ぬ直前まで執筆が続けられたらしい。成立後間もなく朝儀・公事の典範・指針として高い評価を受け、後世、室町期には一条兼良がこの本の講説を盛んに行なった。尊経閣文庫には、鎌倉末から室町期書写の卷子本(10巻)と室町期写の冊子本(8冊、第2冊は久我通博筆写)の2種が所蔵されている。

尊経閣善本影印集成【2色刷】

第二輯 類書 (全5冊)

(1997.5 ~ 1998.7)

ISBN4-8406-2292-2【セット品切】
A4判横本 平均238頁、総1,190頁

(表示価格は本体価格です／ISBN4-8406は省略しました)	
第13冊 秘府略	19,000円 -2313-9 (1997.5)
第14冊 二中歴一	【品切】 -2314-7 (1997.8)
第15冊 二中歴二	28,000円 -2315-5 (1997.11)
第16冊 二中歴三・付掌中歴	25,000円 -2316-3 (1998.3)
第17冊 拾芥抄	【品切】 -2317-1 (1998.7)
	※分売いたします。

【所収書目】

秘府略 (ひふりやく) [平安中期写 巻868 <国宝>・附巻864]

『経国集』編者の滋野貞主が天長8年(831)に編集したとされる漢籍の百科類書。全1000巻。現存は巻864(成實堂文庫蔵・重文)・巻868(尊経閣文庫蔵・国宝)の2巻のみ。内容・体裁は漢籍・漢詩文から関連諸記事を引用し出典名と共にまとめた。現存分だけで掲出の典籍・詩文は計361条、引用書は約160部に及ぶ。

二中歴 (にちゅうれき) [鎌倉末期写 全13冊 <重文>]

編者不明。13巻からなる百科事書。主に平安末期成立の『懷中歴』『掌中歴』を合わせて編輯したところからこの名がある。尊経閣文庫所蔵のものが最古本で、他はこの転写本になる。内容は人文関係の百科全書。平安貴族に必須の知識、有職故実から諸般の事象・事物までを類聚・網羅している。

掌中歴 (しょうちゅうれき) [江戸期写 残欠]

三善為康が、源為憲著『口遊』を基に増補・編集した公家故実の書。亡失した『懷中歴』(三善為康著)と『二中歴』の編集材料となった。平安末の保安年間前後の成立と推定される。

拾芥抄 (しゅうがいしょう) [天正16・17年(1588-89)写 3巻3冊]

有職故実の百科全書。日記『園太暦』(本図書目録83頁参照)の記主洞院公賢の編。鎌倉後期頃成立。収載図として宮城指図・日本国図などに当時の地理情報が記され、天竺図と称する東シナ海以西の概念図などがある。



【2色刷】

尊経閣善本影印集成

第三輯 古辞書 (全8冊)

(1999.1 ~ 2001.5)

ISBN4-8406-2293-0【セット品切】
B5判平均430頁・A4判横本平均360頁、総2,978頁

(表示価格は本体価格です／ISBN4-8406は省略しました)	
第18冊 色葉字類抄一	【品切】 -2318-X (1999.1)
第19冊 色葉字類抄二	【品切】 -2319-8 (2000.1)
第20冊 節用集	20,000円 -2320-1 (1999.5)
第21冊 字鏡集一	30,000円 -2321-X (1999.10)
第22冊 字鏡集二	30,000円 -2322-8 (2000.9)
第23冊 字鏡集三	30,000円 -2323-6 (2001.1)
第24冊 字鏡集四	30,000円 -2324-4 (2001.5)
第25冊 温故知新書・童蒙頌韻	28,000円 -2325-2 (2000.7)
解説 18・19・24：峰岸明、20：山田俊雄、25：築島裕	※分売いたします。

【所収書目】

色葉字類抄 (いろはじるいしょう) [鎌倉初期写 3巻本 <重文> / 永禄8年(1565)写 2巻本]

橘忠兼編。古代末期成立の辞書。当時の実用語から広範な和語・漢語までを第1音節のイロハ47篇に分け、更に各語を21部に意義別分類し配列。

節用集 黒本本 (せつようしゅう) [室町期写 1冊]

著者不明。中世成立の国語辞書。文明年間(1469-87)頃までに成立。当時日常使用されていた語を集め、イロハ分けにし意義分類する。その後改編増補により多くの系統本を生み出しているが、今回影印するのは印度本系の最古写本の一つ。

字鏡集 二十巻本 (じきょうしゅう) [応永23・24年(1416-17)写]

菅原為長編という漢和辞書。祖本は「字鏡抄」といわれるが増補・改編され7巻本・20巻本「字鏡集」を生み出した。20巻本は後者「字鏡抄」の流れを汲む。のべ約6万の豊富な和訓等に辞書の集大成の観がある。

温故知新書 (おんこちしんのしょ) [室町末期写 2巻]

室町時代の辞書の一。2巻3冊。著者は大伴広公。文明16年(1484)成立。50音順配列の国語辞書としては最古のもので、尊経閣文庫所蔵本はその唯一の伝本。50音の部類を梵字で表記し、各部をそれぞれ乾坤・時候等12門に分け、掲出した語句の最初の音によって各部を配列する。収録語数は約1万3000。成立年代がはっきりする辞書として同時代の国語や音を知る上で利用価値は高い。

童蒙頌韻 (どうもうしょういん) [弘治2年(1556)写 2巻1冊]

三善為康撰。天仁2年(1109)成立。初学者の漢詩文作成にあたって韻字を覚える為に平声の韻字を上平・下平とも各16の韻に分類、4字句ずつ語んじるようにまとめた。平安時代の漢詩文の押韻を考える上で重要。



【2色刷】
尊経閣善本影印集成
第四輯 古代史籍 (全9冊)

(2001.11 ~ 2004.10)

ISBN4-8406-2294-9
B5判平均287頁・A4判横本平均342頁
総2,910頁 揃本体260,000円



(表示価格は本体価格です／ISBN4-8406は省略しました)

第26冊	日本書紀	20,000円	2326-0 (2002. 4)
第27冊	釈日本紀一	30,000円	2327-9 (2003. 6)
第28冊	釈日本紀二	30,000円	2328-7 (2004. 2)
第29冊	釈日本紀三	30,000円	2329-5 (2004.10)
第30冊	古事記	26,000円	2330-9 (2003. 2)
第31冊	古語拾遺	25,000円	2331-7 (2004. 1)
第32冊	類聚国史一	33,000円	2332-5 (2001.11)
第33冊	類聚国史二	33,000円	2333-3 (2002. 7)
第34冊	類聚国史三	33,000円	2334-1 (2002.10)

解説 26・29-31：石上英一、34吉岡眞之
訓点解説 26・31：月本雅幸／訓読解説：沖森卓也
※分売いたします。

【所収書目】

日本書紀 (にほんしよき) [平安後期写 4巻〈国宝〉]

古写本は卜部家本系諸本と古本系諸本に分かれる。古本系の尊経閣文庫本は豊富な古訓点を有し訓読史料として重要で巻11・17が藤原能信、巻14が同頼宗、巻20が同教通と道長の男達の手跡と伝えられる卷子本。九条家に伝えられ三条西家の所蔵となった。

釈日本紀 (しゃくにほんぎ) [正安3・4年 (1301-02) 写29冊〈重文〉]

卜部兼永が撰述した『日本書紀』の注釈書。全28巻。約600余とされる日本紀講書の私記をはじめ、各種の風土記逸文や上宮記逸文など古書を典拠として引用する客観的注釈書である。尊経閣文庫本は28冊に目録を添えた29冊で、伯家資通王が書写、のち卜部兼永に伝えられた写本。「新訂増補国史大系」の底本。

古事記 (こじき) [室町末期写 3冊]

真福寺本・同系写本、卜部家本系写本の系統がある。尊経閣文庫本(祐範本)は、卜部兼永が大永2年(1522)に家伝本を書写させた本の転写本。兼永の実父は唯一神道を確立した吉田兼俱であり、家伝本とは卜部家吉田流の家本と推定される。卜部家本系写本中、最古写本として、また詳細な訓仮名が施されていることにおいて価値が高い。

古語拾遺 (こごしゅうい) 3種各1巻 [熙允本/釈無貳本/亮順本]

[鎌倉末期～南北朝初期写〈重文〉] 斎部広成が大同2年(807)に撰述した書。記紀に見えない神話・伝承などが見える。古写本には、卜部家本系と伊勢本系がある。尊経閣文庫には伊勢本系の最古写本である釈無貳本・熙允本・元弘本の三本を蔵す。いずれも称名寺において書写、伝授され、詳細な訓点を有する。卜部家本を底本とするときも、訓点も含めて対校本として用いるべき写本群である。

類聚国史 (るいじゅこくし)

[平安末期写 4巻〈国宝〉/模写本 5巻/明応本 15冊/大永本 4冊] 菅原道真編纂の史書。六国史の記事を事項別に分類したもので、六国史本文の校訂や『日本後紀』の欠逸部分の復原に資するところ多大である。現在は大半が亡失し、本文61巻と逸文が伝わるに過ぎない。尊経閣文庫には古写本四巻、明応9年(1402)書写の15冊本、大永年間(1521-28)に三条西公条らが書写した4冊本などが伝わり、また古写本を忠実に模写した写本九巻も架蔵する。本文校訂に不可欠である。



日本書紀〈国宝〉



釈日本紀〈重文〉



古事記



類聚国史〈国宝〉



古語拾遺〈重文〉

【2色刷】

尊経閣善本影印集成

第五輯 古代法制史料 (全5冊)

(2005.1～2006.8)

ISBN4-8406-2295-7

B5判平均320頁・A4判横本平均350頁

揃本体149,000円



(表示価格は本体価格です／ISBN4-8406は省略しました)
 第35冊 交替式・法曹類林 24,000円 -2335-X (2005.1)
 第36冊 政事要略 26,000円 -2336-8 (2006.2)
 第37冊 類聚三代格一 33,000円 -2337-6 (2005.6)
 第38冊 類聚三代格二 33,000円 -2338-4 (2005.8)
 第39冊 類聚三代格三 33,000円 -2339-2 (2006.8)
 解説 35・36:吉岡眞之、39:石上英一
 訓点解説 39:沖森卓也

※分売いたします。

【所収書目】

交替式 (こうたいしき) [室町後期写 1冊]

律令官人の職務交替の際の事務引継ぎ手続きなどに関する法令集。8世紀に「交替式」と称する私撰の書が存在したというが、内容に不備が多く、延暦22年(803)にいわゆる『延暦交替式』(原題『撰定交替式』)が編纂された。『延暦交替式』は国司の交替のみを対象としていたが、後に対象を中央官人にも拡大し、貞観9年(867)ころに『貞観交替式』(原題『新定内外官交替式』)が、延喜21年(921)に『延喜交替式』(原題『内外官交替式』)が、勘解由使により編纂された。

尊経閣文庫の『交替式』は『貞観交替式』下巻と『延喜交替式』を合綴した袋綴じの冊子本1冊である。両書ともに室町時代後期の書写と見られる現存最古の写本である。流布諸本の祖本の位置にある最も重要な写本であり、「新訂増補国史大系」本の底本としても用いられている。もと三条西家に伝来していた。



交替式

法曹類林 (ほっそうるいりん) [嘉元2年(1304)写 巻197残巻<重文>]

政務の参考とするため法家の勘文や問答を分類集成した法制書。法家の架空の議論ではなく、現実的で具体的な内容を持つ点で貴重な史料である。編者は藤原通憲(信西)とされるが、通憲個人の手になると見る点については異論もある。成立年次は不明であるが、通憲が関与しているとすれば、成立は12世紀中葉と考えられる。

もと230巻とも730巻ともいわれるが、その大半は散逸した。「新訂増補国史大系」には金沢文庫旧蔵の巻192(現国立公文書館所蔵)・巻197(現内閣文庫および尊経閣文庫所蔵)・巻200(現国立公文書館所蔵)、および宮内庁書陵部所蔵本を底本とする巻226の4巻を収録しているが、巻226は全体としては『明法肝要鈔』と称する書物であり、そこに『法曹類林』巻226が引用されたものであることが指摘されている。本書は「新訂増補国史大系」本の再検討に不可欠の本である。



法曹類林<重文>

政事要略 (せいじりょうりやく) <重文>

律令格式の条文、和漢の書籍などを広く収集して分類し、政務の参考とした法制書で、編者は明法博士令宗(惟宗)允亮。長保4年(1002)に成立したと見られるが、允亮による追記がなされているようである。本書編纂の契機には藤原実資の関与があったと考えられている。

もと130巻から成るが、そのうちの25巻分を残すのみである。成立後程ない頃から、藤原実資の小野宮流に相伝された「一本書」であって他家には存在しないといわれ、あまり広く流布することがなかったらしく、恐らくそのことも関わって、古写本の伝わるものは少なく、金沢文庫旧蔵本および、穂久邇文庫本が知られるに過ぎない。尊経閣文庫には金沢文庫旧蔵の巻25・60・69の3巻が伝存する。



政事要略<重文>

類聚三代格 (るいじゅさんだいきやく) [享禄本]

平安時代に編纂された法令集。9～10世紀に編纂された『弘仁格』『貞観格』『延喜格』は官司別分類の法令集であったが、本書は三代の格を神社事・国分寺事などの事項別に再編成したもの。長保4年(1002)から寛治3年(1089)の間に編纂されたと推定される。『弘仁格』の目録『弘仁格抄』を除いて三代の格の写本は伝わらない。

『類聚三代格』は三代の格の内容を伝える貴重な法令集である。尊経閣文庫本は、前田綱紀が三条西家から入手した写本であり、12巻本系と20巻本系の巻からなる。明治時代に21巻に編成されている。巻1後半・巻4・巻7・巻10は、享禄年間(1528-32)に三条西公条が大永年間(1521-28)の具注暦の裏を反して伏見宮本を書写したもので、「享禄本」と称される。尊経閣文庫には三代格復原研究の重要史料とされ収集当時の状況を伝える「卷子本類聚三代格調書」がある。



類聚三代格

【2色刷】

尊経閣善本影印集成

第六輯 古代説話 (全6冊)

(2007.3～2010.6)

ISBN4-8406-2296-5

B5判平均246頁・A4判横本(第42冊)232頁

揃本体138,000円



- (表示価格は本体価格です／ISBN978-4-8406は省略しました)
- 第40冊 日本霊異記 18,000円 -2340-7 (2007.3)
解説：吉岡眞之／訓読解説：沖森卓也
- 第41冊 三宝絵 解説：田島公／訓読解説：宮澤俊雅
日本往生極楽記 解説：石上英一／訓点解説：沖森卓也
26,000円 -2341-4 (2007.10)
- 第42冊 新猿楽記 25,000円 -2342-1 (2010.6)
解説：石上英一／訓点解説：山本真吾
- 第43冊 三宝感応要略録 26,000円 -2343-8 (2008.6)
解説：田島公
- 第44冊 江談抄 21,000円 -2344-5 (2008.8)
解説：吉岡眞之／訓読解説：山本真吾
- 第45冊 中外抄 22,000円 -2345-2 (2008.1)
解説：橋本義彦・菊池紳一

※分売いたします。

【所収書目】

日本霊異記 (にほんりょういき) [嘉禎2年(1236)写<重文>]

正式書名は『日本国現報善悪霊異記』。弘仁年間(810-824)に薬師寺の僧景戒が編纂したわが国最初の仏教説話集。後世の説話文学の嚆矢として著名。尊経閣文庫本は下巻のみの零本。嘉禎2年(1236)書写の古写本として貴重であり、諸本が欠く巻下序文の首部を存する点も価値は高い。前半と後半では体裁の相違があることも本書の特徴である。

三宝絵 (さんぼうえ) [正徳5年(1715)写(醍醐寺藏本の写)<重文>]

出家した尊子内親王のための仏教入門書として源為憲が編纂し奉呈した仏教説話集で永観2年(984)成立。仏法僧の三宝を三巻に編成し平易に解説する。『三宝絵詞』とも呼ばれる。説話文学史上『日本霊異記』と『今昔物語』を架橋する位置を占めるものと評価される。本書を書写させた前田綱紀の跋文によれば、本書は、寛喜2年(1230)3月、4月の僧叡賢の書写奥書を有する醍醐寺釈迦院前大僧正有雅の所持本を正徳5年6月に模写した。僧叡賢奥書本は現在所在不明で、尊経閣文庫本はその忠実な写本として貴重。

日本往生極楽記 (にほんおうじょうらくき) [鎌倉前期写<重文>]

平安時代中期に慶滋保胤が編纂した仏教伝記。わが国異相往生者45人の伝を収める。往生伝の先駆として、後に編纂された往生伝に影響を与えた。寛和2年(986)以前にひとまず成立し、その後、永延年間(987-989)以降間もなく現在の形になったと考えられる。典拠とした文献は『日本書紀』などの正史、『聖徳太子伝暦』『三宝絵』などの伝記類であり、ほかに古老からの伝聞によるものも少なくない。尊経閣文庫本は鎌倉時代前期の写本で称名寺の学僧湛春の手沢本であり、天理図書館所蔵の鎌倉時代書写本と双璧をなす。

新猿楽記 (しんざるがくき) [3種各1冊 弘安本・古鈔本・康永本<重文>]

平安時代後期に藤原実衡が著わしたもので往来物の祖とされる。都で流行していた猿楽の種々相やその名人について記述するとともに、見物人の熱狂振りを描く等、当時の社会生活を知る貴重な史料。尊経閣文庫の三種はいずれも重文。「弘安本」は弘安3年(1280)の奥書を有する金沢文庫旧蔵本であり現存最古の写本。紙背に『和漢朗詠集』巻上が抄出されている。他に康永3年(1344)書写本と、首尾完存する鎌倉書写の古鈔本2種がある。

三宝感応要略録 (さんぼうかんのうようりやくろく) [寿永3年(1184)写<重文>]

中国宋代に非濁が撰した仏法霊験記。末世の人々を仏教信仰に導くために諸書から感応説話を収集し三宝の霊験を説いたもの。『今昔物語』等多くの仏教説話の典拠とされ、日本の仏教文学・説話文学に与えた影響は極めて大きい。尊経閣文庫本は高山寺旧蔵本。寿永3年の書写奥書があり貴重な古写本である。

江談抄 (ごうだんしょう) [寛元3年(1245)写<重文>]

大江匡房の談話を藤原実兼(通憲入道信西の父)等が筆録。貴族社会の故実や神事・仏事、漢詩文に関する談話が中心を占める。談話集の嚆矢としての位置を占め、『古事談』や『古今著聞集』等に与えた影響は少なくないとされる。写本は雑纂本系統と類聚本系統に大別されるが、尊経閣文庫本は雑纂本系統の写本である。延応2年(1240)具注暦の紙背に記され、寛元3年の奥書を有する重要な古写本である。

中外抄 (ちゅうがいしょう) [建暦2年(1212)写<重文>]

藤原忠実の談話を中原師元が筆録した聞書で、保延3年(1137)から久寿元年(1154)の間に82回にわたって聴取したもの。朝廷や摂関家の儀式・神事・仏事など、多方面の故実について記述しており、「語りの場」の状況を伝える点でも注目される。尊経閣文庫本は久安4年(1148)から久寿元年までの聞書を取り、下巻として唯一の貴重な伝本。紙背の藤原秀康消息等25通、及び本冊には附録として、宮内庁京都御所東山御文庫所蔵『富家語拔書』『中外抄』上巻の拔書)と宮内庁書陵部所蔵柳原本『中外抄』上巻の影印をあわせて収録。

日本霊異記
<重文>三宝感応要略録
<重文>

【2色刷／48冊のみオールカラー】

尊経閣善本影印集成

第七輯 平安鎌倉儀式書 (全10冊)

(2010.8～2016.5)

ISBN978-4-8406-2297-4

B5判平均275頁

(第48冊のみA4判横本)

揃本体234,000円



(表示価格は本体価格です／ISBN978-4-8406は省略しました)			
第46冊	内裏式	18,000円	-2346-9 (2010.8)
第47冊	本朝月令要文・小野宮故実旧例・年中行事秘抄	26,000円	-2347-6 (2013.5)
第48冊	雲図鈔	22,000円	-2348-3 (2012.1)
第49冊	無題号記録(院御書)・春玉秘抄	25,000円	-2349-0 (2011.9)
第50冊	春除目抄・京官除目次第・県召除目記	28,000円	-2350-6 (2016.5)
第51冊	禁秘御抄	24,000円	-2351-3 (2013.8)
第52冊	局中宝	26,000円	-2352-0 (2012.8)
第53冊	夕拝備急至要抄・参議要抄	19,000円	-2353-7 (2012.12)
第54冊	羽林要秘抄・上卿簡要抄	18,000円	-2354-4 (2013.4)
第55冊	消息礼事及書礼事・大臣二人為尊者儀・大要抄 大内抄・暇服事	28,000円	-2355-1 (2015.11)
※分売いたします。			

【解説】(50音順)

新井重行・石田実洋・稲田奈津子・遠藤珠紀・小倉慈司・尾上陽介・川島孝一・木村真美子・末柄豊・高田義人・詫間直樹・田島公・徳仁親王・西本昌弘・宮崎康充・吉岡眞之

【所収書目】(全21点)

- 内裏式** (だいらしき) [室町後期写 1冊] 平安前期成立の日本最初の勅撰儀式書。朝廷の儀式を整備するために嵯峨天皇の命で右大臣藤原冬嗣らが編纂、弘仁12年(821)奏上。尊経閣文庫本は、本来の序文を残し貴重。
- 本朝月令要文** (ほんちょうがつりょうようぶん) [室町時代写 1冊] 平安中期、惟宗公方編纂の『本朝月令』の抄出。年中行事の起源等を古記から引用。
- 小野宮故実旧例** (おのみやこじつきゅうれい) [松平定信旧蔵 1冊] 平安中期に藤原実頼によって編纂。父忠平の故実を受け継ぎ小野宮流故実を創設、筆録した。
- 年中行事秘抄** (ねんじゅうぎょうじひししょう) [延応元年(1239)写 1巻] 朝廷の年中行事について諸書を引用し解説した書。鎌倉初期に著され、著者は未詳。
- 雲図鈔** (うんずしょう) [正和5年(1316)写 1巻] 藤原重隆著。永久3年(1116)から元永元年(1118)に成立。雲図とは雲上の指図の意味で、内裏の行事を図示する。彩色図を多数収め、オールカラーで影印収録。
- 無題号記録** (むだいごうきろく) [院御書] (鎌倉中期写 1巻) 平安中期に成立した叙位・除目に関する書。前欠であることから「無題号」の「記録」とされてきたが、東山御文庫本『叙位記 中外記』との比較検討から、後三条院の編纂にかかる儀式書『院御書』であることが判明。
- 春玉秘抄** (しゅんぎょくひししょう) [三条西家本模写 1巻] 平安後期に源有仁が撰集した春除目の式次第書で、8巻からなる。「春玉」は春除目のこと。
- 春除目抄** (はるのじもくしょう) [天文11年(1542)写 2巻] 国司など外官を任命した春除目に関する書。
- 京官除目次第** (きょうかんじもくしだい) [1巻] 秋の京官任命儀式、秋除目の儀式次第を記す。平安時代成立。
- 県召除目記** (あがためしじもくき) [元禄3年(1690)写 1巻] 春除目(外官除目)の記録。県召除目とも。
- 禁秘御抄** (きんぴぎょしょう) [室町後期写 1冊] 順徳天皇によって著され、承久3年(1221)成立と推定される。『順徳院御抄』『建暦御記』などとも称される。宮中の宝物・殿舎、恒例・臨時の儀式次第、天皇と側近の心得るべき故実・芸能などについて説く。
- 局中宝** (きょくちゅうほう) [室町初期写 5冊] 鎌倉時代に中原師光が撰集した局務家の手記。内容は貞応・嘉禄年間(1222-28)頃まで引用。『局秘抄』『師光抄』とも称される。大外記を世襲してきた中原氏は、少納言局の実務を掌握し、局務家を形成した。
- 夕拝備急至要抄** (せきはいびきゅうししょう) [三条西家本 応永2年(1395)写 1冊] 鎌倉後期成立、藤原兼仲撰か。蔵人執務の参考書。
- 参議要抄** (さんぎようしょう) [室町中期写 1冊] 平安末期の成立と推定され、著者は未詳。朝廷公事における参議の作法を説く書。佚書の引用も多い。
- 羽林要秘抄** (うりんようひししょう) [室町中期写 2冊] 鎌倉初期の成立、藤原定能著。近衛武官の諸儀における作法故実を示した書。別名『羽林抄出』。
- 上卿簡要抄** (しょうけいかんようしょう) [大永元年(1521)写 1冊] 朝儀諸行事における上卿の作法を記した書。尊経閣文庫本は大永元年に松木宗藤が書写。
- 消息礼事及書礼事** (しょうそくれいのことおよびしよれいのこと) [仁治元年(1240)写 1冊] 鎌倉初期に平親範の撰集と推定。消息や書状形式について記す。
- 大臣二人為尊者儀** (だいじんのにんそんじやとなすぎ) [鎌倉末期写 1巻] 成立年、著者未詳。書名は書出による。
- 大要抄** (たいようしょう) [仁和寺心蓮院本 1冊] 建保・承久年間(1214-22)に成立。正治年間(1199-1201)の大内十二門・大内裏・車立事他、日常に心得るべきものを記す。
- 大内抄** (おおうちしょう) [室町中期写 1冊] 成立年、著者未詳。京の坊名、大内裏の殿舎・諸門の位置等を記す。
- 暇服事** (かふくのこと) [室町末期写 1冊] 成立年、著者未詳。喪に際し係累の範囲・服喪の期間を各書から引用。

【高精細オールカラー版】

尊経閣善本影印集成

第八輯 平安古記録 (全11冊)

(2016.6～2018.11)

ISBN978-4-8406-2298-1

A4判横本 平均266頁

揃本体358,000円

【編集委員】尾上陽介・加藤友康

【解説】小右記：加藤友康／水左記：石田実洋
台記：尾上陽介

(表示価格は本体価格です／ISBN978-4-8406は省略しました)

第56冊	小右記一	32,000円	-2356-8 (2016.6)
第57冊	小右記二	32,000円	-2357-5 (2016.8)
第58冊	小右記三	32,000円	-2358-2 (2016.11)
第59冊	小右記四	32,000円	-2359-9 (2017.2)
第60冊	小右記五	33,000円	-2360-5 (2017.11)
第61冊	小右記六	33,000円	-2361-2 (2018.2)
第62冊	小右記七	33,000円	-2362-9 (2018.5)
第63冊	小右記八	33,000円	-2363-6 (2018.8)
第64冊	小右記九	33,000円	-2364-3 (2018.11)
第65冊	水左記	32,000円	-2365-0 (2017.5)
第66冊	台記	33,000円	-2366-7 (2017.8)

※分売いたします。

【所収書目】

小右記 (しょうゆうき) [37巻〈重文〉]

平安時代中期の公卿、藤原実資 (957-1046) の日記。著者の出自と政治的位置とに伴う情報の豊かさや正確さ、それを記録する意欲の強さと表現能力の高さを兼備し、貴族の日記として代表的であるだけでなく平安中期の基本的な史料として貴重。

水左記 (すいさき) [自筆2巻〈国宝〉・室町写 1冊]

平安時代後期の公卿で能書でも知られる源俊房 (1035-1121) の日記。現存する自筆の日記としては藤原道長『御堂関白記』の次に古く、具中歴に記載されている。現存自筆本8巻のうち2巻が尊経閣文庫所蔵 (他の6巻は宮内庁書陵部所蔵)。記録の少ない後冷泉・後三条・白河三代の宮廷社会を記述。

台記 (たいき)

宇槐記抄 (うかいきしょう) [3冊]

宇槐雑抄 (うかいざつしょう) [1冊]

台記抄 (たいきしょう) [1冊]

平安時代末期の公卿、藤原頼長 (1120-1156) の日記『台記』の抄本。尊経閣文庫には『台記抄』1冊・『宇槐記抄』3冊 (ともに三条西公条筆)、『宇槐雑抄』1冊 (室町時代写) が伝わる。『台記』の特徴として、政治や社会事象に対する頼長独特の判断が積極的に語られ、当時の風俗も克明に記されている。



小右記〈重文〉



水左記〈国宝〉



宇槐記抄

【高精細オールカラー版】

尊経閣善本影印集成

第九輯 鎌倉室町古記録 (全10冊)

(2019.5 ~ 2021.8)

ISBN978-4-8406-2299-8

A4判横本 平均270頁

揃本体362,000円

【編集委員】尾上陽介・加藤友康

【解説】(50音順)

遠藤珠紀・尾上陽介・川本慎自・菊地大樹・
末柄豊・高橋典幸・山家浩樹

(表示価格は本体価格です / ISBN978-4-8406は省略しました)

第67冊 実躬卿記一	35,000円	-2367-4 (2019.5)
第68冊 実躬卿記二	36,000円	-2368-1 (2019.11)
第69冊 実躬卿記三	36,000円	-2369-8 (2020.5)
第70冊 実躬卿記四・宣陽門院御落飾記・後愚昧記(山門噉訴記・実豊卿記)	37,000円	-2370-4 (2021.8)
第71冊 公秀公記・実隆公記・建治三年記	35,000円	-2371-1 (2020.11)
第72冊 外記日記(新抄)一	37,000円	-2372-8 (2019.8)
第73冊 外記日記(新抄)二・享禄二年外記日記	37,000円	-2373-5 (2020.8)
第74冊 碧山日録一	36,000円	-2374-2 (2020.5)
第75冊 碧山日録二	36,000円	-2375-9 (2021.2)
第76冊 蔗軒日録・盲聾記	37,000円	-2376-6 (2021.5)

※分売いたします。

【所収書目】

実躬卿記(さねみきょうき) 鎌倉時代後期の公家、権大納言藤原(正親町三条)実躬(1264?)の日記。弘安6年正月~延慶元年(1283-1308)正月までの自筆日記が現存する。亀山・後深草・後宇多院等による院政の時期に、廷臣として活躍する実躬の行動が記述されている重要史料である。紙背にも文書・具注暦・仮名暦・歌合など多彩な記述を含む。尊経閣本は弘安10年~徳治2年(1287-1307)までの自筆原本で、重要文化財に指定される。「大日本古記録」にて翻刻され、尊経閣本はその底本である。

宣陽門院御落飾記(せんようもんいんごらくしよくき) 記主は日野資実(1162-1223)か。尊経閣本は現在知られる限り唯一の古写本であり、元久2年(1205)3月・4月が現存。内容は3月の宣陽門院(後白河天皇皇女、観子内親王)の出家と、関連する仏事の記事。女院の史料として貴重である。

後愚昧記(ごぐまいき) **(山門噉訴記・実豊卿記)** 山門噉訴記・実豊卿記は、ともに北朝の延臣、前右大臣三条公忠(1324-83)の日記・後愚昧記の一部である。後愚昧記は康安元年~永徳3年(1361-83)までが現存し、室町時代前期の政治動向を知る上で必須の史料。尊経閣文庫本の山門噉訴記は応安元年(1368)7月~12月を所収し、実豊卿記は応安6年(1373)8月記の全部と9月2日条のみの残欠を収録。ともに自筆原本であり、「大日本古記録」の『後愚昧記』に翻刻される。

公秀公記(きんひでこうき) 権大納言藤原(正親町三条)実躬の子、内大臣公秀(1285-1363)の日記。永仁6年(1298)~貞和元年(1345)までの記事が断続的に伝わる。記録の少ない鎌倉時代後期において、比較的まとまったものとして貴重である。尊経閣本は延慶元年(徳治3年、1308)正月~8月を所収する自筆原本で、日記と紙背文書があるがともに未翻刻であり、今回の影印が初公開となる。

実隆公記(さねたかこうき) 学者・歌人として当代第一人者だった内大臣三条西実隆(1455-1537)の日記。文明6年正月~天文5年2月(1474-1536)が現存する。応仁・文明の乱後の政治・社会情勢を知ることができ、文化史研究においても必須の史料である。尊経閣本は文明13年(1481)正月~7月を所収し、間明き三行の具注暦に書かれた自筆原本で、裏書きもある。同記原本のうち具注暦に記されたのは本巻のみで、貴重である。

建治三年記(けんじさんねんき) 鎌倉幕府の評定衆で、問注所の執事だった太田(三善)康有(1229-90)の公務日記。建治3年(1277)正月から12月までの68日分の記事を抄出し幕府へ提出したものである。文永・弘安の役の間にあたり、当時の緊迫した時局を反映する記事がみられるなど貴重である。尊経閣本は康有自身が抄写した金沢文庫旧蔵本に属する唯一の自筆原本で、重要文化財に指定される。

外記日記(新抄)(げきにっき しんしょう) 中原氏西大路流の中原師種による日記。14世紀半ばに中原師栄によって書写された。文永元年~同4年(1264-67)・弘安10年(1287)の5年分を所収。記録類が少ない鎌倉時代後期において、政治史的に重要な記事を多く含む貴重。尊経閣本は唯一の古写本。『続史籍集覧』に「新抄」として翻刻されるが、国会図書館本が底本で、良質な写本の公開が望まれていた。紙背文書は「大日本史料」で一部翻刻されているが、今回の影印により全容が初めて公開される。透過光写真も併載。

享禄二年外記日記(きょうろくにねんげきにっき) 室町時代後期に朝廷の事務官として活躍した外記、清原業賢(1499-1566)の日記。享禄2年(1529)分が現存する。文書行政の実務に携わる立場の人物が筆録した記録として価値が高い。尊経閣本は自筆原本。これまで未翻刻であり、今回の影印により初めて公開される。

碧山日録(へきざんにちろく) 室町中期東福寺の禅僧、太極(1421?)の日記。長禄3年~応仁2年(1459-68)が現存。応仁の乱前後の社会をうかがう貴重史料。尊経閣本は現存する唯一の古写本で「大日本古記録」の底本。

蔗軒日録(しゃけんいちろく) 室町時代中期の禅僧、季弘大叔(1421-87)の日記。文明16年~同18年(1484-86)が現存。応仁・文明の乱当時の堺や遣明船に関する記述、連歌師宗祇との交遊など、政治・社会・文化を知る貴重史料。尊経閣本は東福寺の剛外令柔(?-1627)が書写した唯一の古写本で「大日本古記録」の底本。

盲聾記(もうろうき) 室町時代後期の医師、丹波保長(生没年未詳)の日記。永正17年(1520)正月~6月が現存する。細川国と同澄元との抗争にかかわる記事が詳しい。また医者日記は珍しく、調剤・診療など他の記録からうかがえない独特の内容も多く、極めて貴重である。

【高精細オールカラー版】

尊経閣善本影印集成

第十輯 古文書 (全12冊)

(2021.12 ~ 2024.9 予定)

ISBN978-4-8406-2300-1

B5判 平均230頁

各冊平均予価本体28,750円

【編集委員】

藤井讓治・尾上陽介

【解説】

前田育徳会尊経閣文庫



(表示価格は本体価格です / ISBN978-4-8406は省略しました)

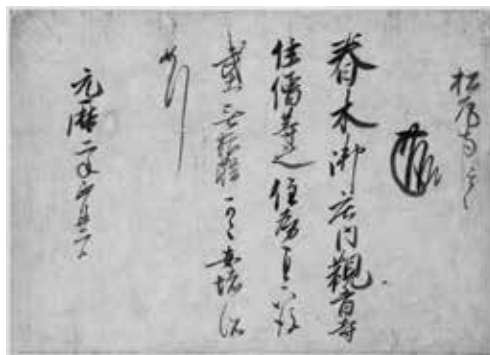
第77冊	武家手鑑 付旧武家手鑑	29,000円 -2377-3	(2021.12)
第78冊	尊経閣古文書纂 諸家文書1	29,000円 -2378-0	(2022.3)
第79冊	尊経閣古文書纂 諸家文書2	31,000円 -2379-7	(2022.6)
第80冊	尊経閣古文書纂 社寺文書1	26,000円 -2380-3	(2022.9)
第81冊	尊経閣古文書纂 社寺文書2	30,000円 -2381-0	(2022.12)
第82冊	尊経閣古文書纂 社寺文書3	25,000円 -2382-7	(2023.3)
第83冊	尊経閣古文書纂 社寺文書4	予30,000円 -2383-4	(2023.6 予定)
第84冊	尊経閣古文書纂 編年雑纂文書1	予30,000円 -2384-1	(2023.9 予定)
第85冊	尊経閣古文書纂 編年雑纂文書2	予29,000円 -2385-8	(2023.12 予定)
第86冊	尊経閣古文書纂 編年雑纂文書3	予30,000円 -2386-5	(2024.3 予定)
第87冊	尊経閣古文書纂 編年雑纂文書4	予28,000円 -2387-2	(2024.6 予定)
第88冊	尊経閣古文書纂 編年雑纂文書5	予28,000円 -2388-9	(2024.9 予定)

【定期予約募集中】※分売いたします。

【所収書目】

武家手鑑 (ぶけてかがみ) [3帖〈重文〉] 付旧武家手鑑

「武家手鑑」は、平安末(平忠盛)から江戸初期(前田利常)までの著名な武将が発給した古文書150点を、折帖の台紙に貼り付けて手鑑としたもの。上・中・下の3帖(各帖50点ずつ)からなり、各武将1点ずつをほぼ編年順に収録する。また、「武家手鑑」は昭和初期に現状に再編成されたが、そのおりに除外された古文書108点が「旧武家手鑑」として保存管理されており併せて収録、「武家手鑑 付旧武家手鑑」として集成する。



武家手鑑 上帖11 源義経判物 元暦2年正月22日

尊経閣古文書纂 諸家文書

(そんけいかくこもんじょさん しよけもんじょ)

「尊経閣古文書纂」のうち、武家文書を中心とした古文書群で、総点数は447点である。内訳は、一条文書=17点、飯尾文書=57点、蜷川文書=12点、堀文書=10点、日置文書=5点、加藤文書=51点、野上文書=18点、駒井文書=21点(以上、8群を「諸家文書」1として集成)、籠手田文書=82点、天野文書=45点、得田文書=22点、得江文書=29点、吉見文書=12点、毛利文書=10点、当作文書(前田文書)=17点、中原文書=39点(以上、8群を「諸家文書」2として集成)。その内容は、武家政権が発給した御教書や奉行人奉書、戦国大名や織田・豊臣政権が発給した書状、さらには着到状や軍忠状などを多く含み、武家的色彩の強い古文書群となっている。

尊経閣古文書纂 社寺文書

(そんけいかくこもんじょさん しゃじもんじょ)

「尊経閣古文書纂」のうち、社寺文書を中心とした古文書群で、神社が2群、仏寺が15群、総数は845点である。内訳は、石清水八幡宮文書=132点、加茂社文書=14点、仁和寺心蓮院文書=19点(以上、3群を「社寺文書」1として集成)、宝菩提院文書=99点、東福寺文書=195点(以上、2群を「社寺文書」2として集成)、長福寺文書=145点、大覚寺文書=15点、大光明寺文書=12点(以上、3群を「社寺文書」3として集成)、蓮養坊文書=27点、南禅寺慈聖院文書=48点、天龍寺真乘院文書=14点、天龍寺周悦関係文書=23点、西興寺文書=20点、実相院文書=21点、清水寺文書=10点、神護寺文書=21点、青蓮院文書=29点(以上、9群を「社寺文書」4として集成)。

尊経閣古文書纂 編年雑纂文書

(そんけいかくこもんじょさん へんねんざっさんもんじょ)

「尊経閣古文書纂」のうち、諸家・社寺両文書に分類されない古文書を取めたもので、総数は約920点である。内訳は、編年文書=約691点、朝鮮文書=22点、外国文書=13点、俳人等文書=7点、未定文書=約155点、宗教関係文書=32点、編年文書は3分冊、それ以外の古文書は2分冊として集成する。このうち編年文書は、年次順に577の番号(枝番あり)を付けて配列したもので、1番は、天平勝宝4(752)年6月15日の解(重文「買新羅物解」7通のうち)、最後の577番は、江戸時代中期、延享期(1745年頃)と推定される年末詳5月23日の日野資枝書状である。なお最終冊には、文庫が所蔵する「三朝宸翰」(2巻、国宝)、「後醍醐天皇宸翰御感状」(1幅、重文)といった卷子や掛幅に装幀された宸翰などの古文書約40点も収録する。

古典籍の宝庫から厳選した貴重書を、新編成・新解題により影印刊行！

【高精細オールカラー版】新天理図書館善本叢書

しんてんりとしょかんぜんばんそうしょ

天理大学附属天理図書館編

古代から近世まで、天理図書館所蔵の多彩な貴重書を新たに編成し、高精細オールカラー版で刊行する。旧「善本叢書」既収未収にかかわらず今の時代に求められる書目を厳選、気鋭研究者による新解題を付す。

最新の製版・印刷技術（260線・ハイブリッドUVシステム）により、豊富な原本情報を鮮明に再現。併せて大型判型（旧版の約2倍の大きさ）採用により、細部の可読性が格段に向上。全5期36巻を隔月配本で刊行する。



【高精細オールカラー版】 新天理図書館善本叢書

第1期 国史古記録 (全6巻)

(2015.4～2016.2)

【全6巻完結】※分売いたします。
(第1巻は分売品切、第1期セットで販売中)

ISBN978-4-8406-9591-6

菊倍判・A4判横本

平均188頁、総1,124頁

揃本体165,000円



(ISBN978-4-8406は省略しました。)

- | | | |
|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 第1巻 | 古事記 道果本・播磨国風土記 | (分売品切)
-9551-0 (2016.2) |
| 第2巻 | 日本書紀 乾元本 一 神代上
本体29,000円 | -9552-7 (2015.4) |
| 第3巻 | 日本書紀 乾元本 二 神代下
本体29,000円 | -9553-4 (2015.6) |
| 第4巻 | 古語拾遺 | 本体25,000円 -9554-1 (2015.10) |
| 第5巻 | 明月記 | 本体27,000円 -9555-8 (2015.12) |
| 第6巻 | 定家筆古記録 | 本体29,000円 -9556-5 (2015.8) |

【所収書目】

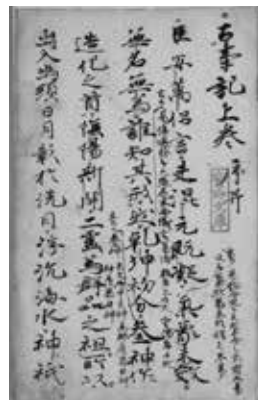
古事記 道果本 (こじき)

〔解題〕野尻忠 〔訓読解説〕木田章義

〔永徳元年(1381)写 巻上〈重文〉〕

天武天皇の勅命により稗田阿礼が誦習した帝紀（皇室の系統譜）、および先代の旧辞（各氏族伝来の史書）を太安万侶が元明天皇の勅を奉じて撰録、和銅5年（712）に献上された、日本における現存最古の説話的な史書である。上巻（神代）、中巻（神武天皇～応神天皇）、下巻（仁徳天皇～推古天皇）の3巻より成る。『日本書紀』と比べると伝本の数は非常に少なく、名古屋市真福寺の応安4年（1371）写本を避るものはない。

所収本は、応安写本より約10年後の永徳元年（1381）、真言僧・道果によって書写されたと比定されているもの。序および上巻の前半、須佐之男命の八雲神詠までを収める袋綴一冊の零本だが、伊勢系統写本のうち現存第二の古写本として重要。真福寺本には存在しない句読点、訓、返点、傍注などが朱筆で施され、他の写本との校勘を試みた跡も見られる。このたび原寸大の高精細カラー版によってこれらが明瞭となることは、『古事記』研究の進展に資するものといえる。



古事記 道果本〈重文〉

播磨国風土記 三条西家本 (はりまのくにふどき)

〔解題〕小倉慈司

〔平安末期写〈国宝〉〕

風土記は、和銅6年（713）、元明天皇が諸国に勅し、地名や遺跡の由来、土地の沃瘠、特産物、古老相伝の旧聞異事などを採録・編纂させた官撰の地誌である。成立当時は各国風土記が60巻ほど存したと言われるが、その殆どが散逸。まとまった形で伝存しているものは5か国のみで、「古風土記」と称される。『播磨国



播磨国風土記 三条西家本〈国宝〉

『風土記』はこの古風土記のうちの一つ。原本は霊亀元年（715）以前に成立したと思われる。

所収本は現存最古の写本にして、伝本中唯一の祖本として貴重。卷子装一卷、本文は筆筆で錯綜。巻頭部分を破損し賀古郡総説の途中から本文がはじまるが、欠落部にはおそらく播磨国総説・明石・賀古郡の前半部があったものと思われる。錯簡をはじめとして未整備な部分が多いことから、播磨国庁における最終的な統一編集を受ける以前の古態を残しているといわれる。原本情報がカラーで再現されることにより、筆使いや墨継ぎ等も明瞭に判り、料紙・墨色など、平安末期の写本の様態を知る意味で重要といえよう。

日本書紀 乾元本一 神代上・二 神代下（にほんしよき）

〔解題〕遠藤慶太 〔訓点解説〕是澤範三

〔乾元2年（1303）卜部兼夏写〈国宝〉〕

日本国の正史である「六国史」の第一書で、漢文を以って全30巻からなる編年体の史書。養老4年（720）、舎人親王らが勅を奉じて撰進した。巻三以降は、神武天皇より持統天皇11年（697）に至る人皇紀だが、冒頭巻一・二は「神代巻」とも称され、説話的記述を多く載せ、また「一書」として別伝異文が列挙されており、その編集姿勢は古くから史家の称賛を受けている。特に唯一神道卜部家では神典として尊重された。所収本は、乾元2年（1303）、卜部兼夏が累家の秘本を以って書写したもの。神代巻の完本としては、卜部兼方書写の弘安本に次ぐ古さで、卜部家作成の多くの『日本書紀』写本の原本となった。全巻に朱墨訓点が施され、また代々の秘説が紙背にまで及んで詳細に注されているのが特徴。吉田兼俱の自筆書入れなどは、彼が大成した神道説を考える絶好の材料である。高精細カラー版によって朱墨点・傍訓・注記の可読性が格段に向上。吉田家の理論、古い時代の訓読を考えるうえで必須といえる。



日本書紀 乾元本〈国宝〉

古語拾遺 嘉禄本・暦仁本（こごしゆい）

〔解題〕山本崇 〔訓点解説〕木田章義

〔嘉禄本 嘉禄元年（1225）卜部兼直写〈重文〉〕

〔暦仁本 暦仁元年（1238）写〈重文〉〕

斎部広成が著した、平安時代初期の単行法「式」制定の資料として提出された書。大同2年（807）成立。内容は、平城天皇の召問に対し、斎部氏の立場をもって神代以来の祭祀の流れを概観したものである。記紀にはない所伝を含むことから、古代氏族伝承を考える上で示唆に富む。今回の大型判型カラー版により、古語拾遺の研究はもとより、吉田系卜部家の文庫史や中世神祇史研究の進展に資することが期待される。



古語拾遺 嘉禄本〈重文〉

嘉禄本は、嘉禄元年（1225）卜部兼直が藤原長倫本を書写したもの。乾元本日本書紀とならんで、吉田系卜部家の秘本として伝襲秘蔵されてきた。現存諸本中最古のもので、卜部系諸本の祖本でもある。本文に朱墨両様による声点や傍訓・返り点などが多く施されているのが特徴。

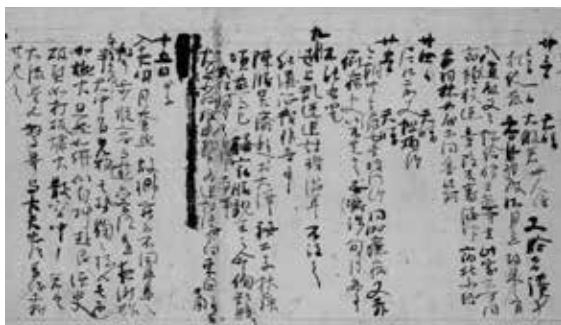
暦仁本は、暦仁元年（1238）僧寛英が書写したもの。嘉禄本に次ぐ古写本で、虫損著しく巻首を欠くが、卜部本とは別系の、伊勢本系統の真福寺本に連なる写本とされ、傍注の訓点に独自のものがみられる。

明月記（めいげつき）

〔解題〕尾上陽介

〔治承4・5年記〈重文〉／正治元年8月他記／正治元年9月他記／建仁2年正月他記／嘉禄3年7月他記／嘉禄3年8・9月他記〈重文〉〕

新古今時代を代表する歌人にして、膨大な典籍を書写し後世に伝えた古典学者でもある権中納言藤原定家（1162～1241）の日記。別名「照光記」。定家19歳の治承4年（1180）2月にはじまり、一部欠落もあるが、出家後の嘉禎元年（1235）12月、74歳に至る56年間に及ぶ記事が伝わる。激動する時代の京都周辺の動静のほか、歌道や古典に関する記事も多く、定家の歌学研究、ならびに院政末～鎌倉初期の歴史・文化研究において必須の書といえる。



明月記 治承4年〈重文〉

ここに収める原本のうち、治承4・5年記は源平の争乱に対する「紅旗征戎吾事に非ず」という記事がよく知られているが、初めて全体の高精細カラー版が刊行されることで、定家がこの文字を記した状況について新たな知見が得られよう。また、正治元年（1199）8月他記・9月他記、嘉禄3年（1227）7月他記の3巻は、これ

までほとんど所在が知られていなかった原本であり、ここで公開される意義はまことに大きい。

定家筆古記録 (ていかひつこきろく)

兵範記 (ひょうはんき) / 射遺事 (いのかしのこと) / 外記政 (げきせい) / 積奠次第 (せきてんしだい) / 御産七夜次第 (おさんしちやしだい) / 定家小本 (ていかこほん) / 古今名所 (こきんめいしょ) / 石清水八幡宮権別当田中宗清願文案 (いwashimizuはちまんぐうごんのべつとうたなかそうせいがんもんあん)

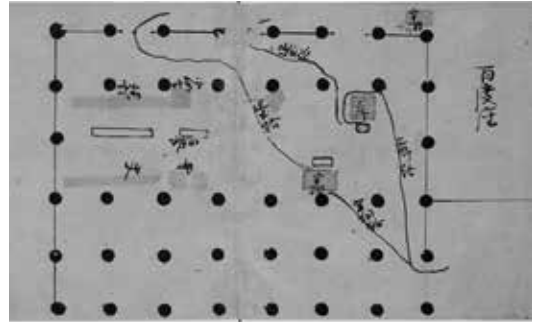
(いwashimizuはちまんぐうごんのべつとうたなかそうせいがんもんあん)

〔解題〕 石田実洋

藤原定家が自ら書写、あるいは雇筆にて書写させた『兵範記』(平信範の日記)の一卷、それに定家自筆になる朝儀の次書や歌書、文書などを収める。

定家も専門の歌人であったわけではなく、まず何といても朝廷に仕える官人であった。当時は、公家社会で摂関家を頂点とする家格が整えられつつあった時代であるが、父俊成(1114～1204)は、和歌の世界では大きな足跡を残すものの、官人としては高い地位を得る前に出家してしまう。そこで定家には、和歌の世界での地位を固めるとともに、それ相応の家格を獲得する、という課題も大きかったと推測される。『明月記』に装束に関する記事が多いことなどは、後に羽林家と称される家格を得ることを目指した定家の努力の一側面といえよう。

本書所収の諸史料がカラー版にて細かな点まで分析可能となるのが、官人、あるいは歌人だけではなく、定家の全貌を理解するのに大きく寄与することが期待される。



▲ 積奠次第 ▼ 外記政



【高精細オールカラー版】

新天理図書館善本叢書

第2期 古辞書 (全6巻)

(2016.6～2018.10)

【全6巻完結】※分売いたします。

ISBN978-4-8406-9592-3
A4判 平均352頁、総2114頁
揃本体227,000円



- (ISBN978-4-8406は省略しました)
- | | | | |
|------|-----------|--------------|-----------------------------|
| 第7巻 | 和名類聚抄 | 高山寺本〈重文〉 | 本体32,000円 -9557-2 (2017. 2) |
| 第8巻 | 三宝類字集 | 高山寺本〈重文〉 | 本体30,000円 -9558-9 (2016. 4) |
| 第9巻 | 類聚名義抄 | 観智院本 一 仏〈国宝〉 | 本体45,000円 -9559-6 (2018. 4) |
| 第10巻 | 類聚名義抄 | 観智院本 二 法〈国宝〉 | 本体45,000円 -9560-2 (2018. 8) |
| 第11巻 | 類聚名義抄 | 観智院本 三 僧〈国宝〉 | 本体45,000円 -9561-9 (2018.10) |
| 第12巻 | 世俗諺文・作文大躰 | 〈重文〉 | 本体30,000円 -9562-6 (2017.10) |



類聚名義抄 観智院本〈国宝〉



和名類聚抄 高山寺本〈重文〉

和名類聚抄 高山寺本（わみょうるいじゅしょう）

〔解題〕 山田健三 〔平安末期（12世紀）写〈重文〉〕

日本最古の分類体漢和辞書。醍醐天皇皇女勳子内親王の命により、源順（911—983）が撰述、承平年間（931—38）に成立。「和名抄」とも称され、平安期から江戸期までの長きに渡って後の多くの国内文献に引用・利用される。成立当時の国内文献である漢語抄類（『弁色立成』『楊氏漢語抄』など）をベースとしつつ、中国側の文献本文に広く徴証を求めたもので、類書形式の意義分類を施し、多くの和訓を掲載した、漢語理解のための日用百科事典的な性格をもつ。二十巻本系と十巻本系とで分類や項目に違いがあり、特に前者には国内地名など記した独自の部門が多くある。2系統の先後関係には古くより議論がある。所収本は二十巻本系で、巻六郷里部より巻十居処部までの零本であるが、平安時代末期の書写になる伝本中最古のもので、朱声点（アクセント記号）付き和訓も存し、カラー影印が望まれていた。高山寺旧蔵。

三宝類字集 高山寺本（さんぼうるいじしゅう）

〔解題〕 山本秀人 〔鎌倉初期（12・13世紀）写〈重文〉〕

仏・法・僧の3部に大別された類別漢和字書。『類聚名義抄』諸本のうちの一異本で、江戸時代末期の国学者伴信友により、高山寺本『類聚名義抄』として初めて世に紹介されたもの。撰者は未詳。

所収本は信友謄写本の原本で、高山寺に伝来。書写の年代は鎌倉初期まで遡り、名義抄諸本との比較では、独自の改変が加えられていることが注目される。現存は仏・法・僧3巻中の仏巻40部首のうち20部首、「法仏人篇第一、報仏女篇第二」を存し、「応仏肉篇第三、化仏木篇第四」を欠く。他に類本は知られていない。序跋その他識語に類するものを一切欠くため、筆者・指声者は明らかでない。原則として1字に反切による字音、片仮名の和訓、正俗の字体を示すが、さらに朱筆を以て字音・和訓の肩に斜線を引き、また声点を左傍に付すことが多い。カラー版によってこれらが明瞭に確認できる。

類聚名義抄 観智院本（るいじゅみょうぎしょう）

〔解題〕 大槻信 〔鎌倉末期（14世紀）写〈国宝〉〕

平安時代の訓読を知る最大の資料。平安時代末期に編集された、漢字・漢語を編目により類聚した音訓漢和辞典で、編者は未詳。標出漢字は約3万2千語、和訓は約3万4千語、朱筆で付された声点（アクセント記号）も約1万語におよぶ大辞典で、その膨大な量の和訓は平安時代における訓読語彙の実態を知る最大の資料である。現存諸本には原撰本・改編本の2種があり、原撰本は院政期頃、法相宗関係の僧侶が撰したとされる。

所収本は改編本に属し、鎌倉時代末期の書写と考えられ、撰者は真言宗の学僧といわれる。現存する改編本の唯一の完本である。東寺観智院旧蔵、江戸時代末期に伴信友の紹介により初めて世に知られた。本書の篇目に「朱音者正音也。墨声者和音也。片仮名有朱點者皆有證據亦有師説。無點者雑々書中隨見得注付之」とあり、朱墨訓点各々の使い分けを明示している。朱・墨の別が辞書機能の一部をになう本書において、カラー版はもっとも望まれた複製である。

世俗諺文（せぞくげんぶん）

〔解題〕 後藤昭雄 〔訓点解説〕 山本真吾 〔鎌倉初期写〈重文〉〕

平安時代のことわざ辞典。『三宝絵』『口遊』の撰者源為憲（—1011）が、藤原道長の長子頼通のために撰述、寛弘4年（1007）成立。当時流布した俗諺・成句を集め、その出典を示し、「今案」や「私云」として自らの説を付記する。152門631章を上中下の3巻に所収、中下巻は伝存せず、上巻も唯一の伝本である。引証する典籍は70余種に及び、「良薬苦於口」「温故知新」等、後世長く人口に膾炙したものが少なくない。詳細な傍訓や声点が付されている。

所収本は東寺観智院に伝来した鎌倉時代初期の写本で、上巻1軸に221章を収め、本文とほぼ同時代と思われる別筆の校異訂正を施している。

作文大躰（さくもんだいたい）

〔解題〕 後藤昭雄 〔訓点解説〕 山本真吾 〔鎌倉中期（13世紀）写〈重文〉〕

作文や句法の実例を示した詩文作法書。『中右記』で知られる藤原宗忠（1062—1141）等の編になる詩文作法書。平安時代中期の成立とされるが、室町時代末期頃まで幾度か増補改編された。文を題目・比喻・詩賦等に、また筆（散文）を詔・檄・奏等の諸体に分けて、作文の作法や文筆の句法を実例を以て示し、作詩や四六文を作る参考とした。

所収本は東寺観智院所伝、鎌倉時代中期の書写になり、国訓・送り仮名を加え、上欄外には朱注がある。もと2巻で、うち下巻を欠いて上巻1軸。『作文大躰』諸本の源流に位置するもので、成立時の古態を留めており資料的価値は高い。

【高精細オールカラー版】

新天理図書館善本叢書

第3期 源氏物語 池田本 (全10巻)

(2016.6～2018.6)

【全10巻完結】※分売いたします。

ISBN978-4-8406-9593-0

A5判 平均606頁、総6,060頁

揃本体344,000円



〔解題〕岡嶋偉久子

全52巻49冊〈重文〉。池田亀鑑「桃園文庫」の所蔵であったことから「池田本」、あるいは「二条為明筆」との極札を持つことから「伝二条為明筆本」とも呼称される。『源氏物語』鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持（48巻）する写本であり、その基幹巻の本文がすべて「青表紙本」で揃っていることは、鎌倉写本において他に類例がない。基幹巻は書写者がほぼ2手（甲筆・乙筆）に集約され、甲筆36巻の内の8巻には、本文同筆の「奥入（藤原定家による注記）」が付載されている。成立当初の本文・姿を明瞭にたどれる最重要古写本として、今後の『源氏物語』研究に必須。

(ISBN978-4-8406は省略しました)

第13巻 源氏物語池田本 一 本体34,000円 -9563-3 (2016.6)

桐壺・帚木・空蟬・夕顔・若紫

第14巻 源氏物語池田本 二 本体34,000円 -9564-0 (2016.8)

末摘花・紅葉賀・花宴・葵・賢木

第15巻 源氏物語池田本 三 本体34,000円 -9565-7 (2016.10)

須磨・明石・滯標・蓬生・関屋・絵合・松風

第16巻 源氏物語池田本 四 本体34,000円 -9566-4 (2016.12)

薄雲・朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶

第17巻 源氏物語池田本 五 本体36,000円 -9567-1 (2017.4)

蛩・常夏・篝火・野分・行幸・藤袴・真木柱・梅枝・藤裏葉

第18巻 源氏物語池田本 六 本体34,000円 -9568-8 (2017.6)

若菜上・若菜下

第19巻 源氏物語池田本 七 本体34,000円 -9569-5 (2017.8)

横笛・鈴虫・夕霧・御法・幻・匂宮・紅梅

第20巻 源氏物語池田本 八 本体36,000円 -9570-1 (2017.12)

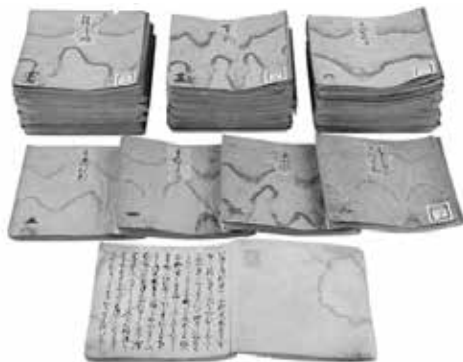
竹河・橋姫・椎本・総角

第21巻 源氏物語池田本 九 本体34,000円 -9571-8 (2018.2)

早蕨・宿木・東屋

第22巻 源氏物語池田本 十 本体34,000円 -9572-5 (2018.6)

浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋

源氏物語 池田本
〈重要文化財〉2018年指定

桐壺 ▲ 巻頭 ▼ 奥入



【高精細オールカラー版】

新天理図書館善本叢書

第4期 奈良絵本 (全8巻)

(2018.12 ~ 2020.2)

【全8巻完結】※分売いたします。

ISBN978-4-8406-9594-7

A4横 (横・縦)・平均250頁

揃本体268,000円

やひやうゑねずみ
より

熊野の本地より

【解題】 石川透／金光桂子／恋田知子／齋藤真麻理

伝本の稀な室町末期から江戸極初期までの逸品に加え、
多彩な作品群の中から優品24点を精選し全8巻に収録。

高精細カラー版により、微細な色遣いが一目瞭然に！

(ISBN978-4-8406は省略しました)

第23巻 奈良絵本集一 本体33,000円 -9573-2 (2018.12)

天神縁起絵巻 (室町中期写) / 八幡大菩薩御縁起
(享禄4年奥書) / 鼠の草子絵巻 (室町末期写) / 鼠
の草子絵巻 別本 (江戸初期写) / やひやうゑね
ずみ (寛永頃写)

第24巻 奈良絵本集二 本体33,000円 -9574-9 (2019.2)

舟のみとく (江戸初期写) / 常盤の姫 (寛文頃写)
/ 小男の草子絵巻 (室町末期写) / 小男の草子絵
巻 別本 (慶長12年写) / 小おとこ (江戸初期写)



天神縁起絵巻

第25巻 奈良絵本集三 本体33,000円 -9575-6 (2019.4)

小伏見物語 (慶長頃写) / ひだか川 (江戸初期写)

第26巻 奈良絵本集四 本体33,000円 -9576-3 (2019.6)

あま物語 (江戸初期写) / 大古久まい (江戸初期写)
/ 磯崎物語 (江戸初期写) /

第27巻 奈良絵本集五 本体33,000円 -9577-0 (2019.8)

いはやものがたり (室町末期写) / じやうるり
(室町末期写)

第28巻 奈良絵本集六 本体33,000円 -9578-7 (2019.10)

しづか (室町末期写) / まんぢうのさうし (室町
末期写) / 花鳥風月物語 (室町末期写)

第29巻 奈良絵本集七 本体33,000円 -9579-4 (2019.12)

熊野の本地 (室町末期写) / 宝月童子 (江戸初期写)

第30巻 奈良絵本集八 本体37,000円 -9580-0 (2020.2)

虫妹背物語 (享保2年写) / 山海異形 (江戸初期写)



いはやものがたり

【高精細オールカラー版】

新天理図書館善本叢書

第5期 連歌俳諧 (全6巻)

(2020.4～2021.2)

ISBN978-4-8406-9595-4

【全6巻完結】※分売いたします。

A4判横本・B5判

揃本体204,000円



【受賞】令和3年度第75回芭蕉祭文部科学大臣賞
室町から江戸時代にかけて成熟した「座の文芸」の
精髓を高精細カラーで複製！



集百句之連歌

第31巻 連歌卷子本集 一

〔解題〕尾崎千佳 本体35,000円 -9581-7 (2020.8)

集百句之連歌(文明元年)能阿自筆/賦唐何連歌百韻(文明19年)実隆自筆/賦何人連歌百韻(長享2年)伝宗長筆/賦山何連歌百韻(天文3年)/賦浄土要文連歌百韻(天文17年)/賦何人連歌百韻(天文20年)紹巴筆/近衛稻家恵雲院追善連歌百韻(永禄9年)紹巴自筆/賦何路連歌百韻(永禄10年)紹巴筆/賦何船連歌百韻(永禄12年)紹巴筆/賦何船連歌百韻(永禄13年)昌叱筆/賦山何連歌百韻(元亀2年)紹巴筆/賦何船連歌百韻(天正三年)紹巴筆

第32巻 連歌卷子本集 二

〔解題〕尾崎千佳 本体36,000円 -9582-4 (2021.2)

経文之連歌百韻(天正7年)昌叱自筆/賦何人連歌百韻(天正9年)藤孝筆/賦何垣連歌百韻(天正10年)紹巴筆/夢想之連歌百韻(天正10年)紹巴筆/賦何人連歌百韻(天正15年)紹巴筆/賦何木連歌百韻(天正15年)紹巴筆/賦初何連歌百韻(天正16年)紹巴筆/賦初何連歌百韻(天正19年)紹巴筆/賦何船連歌百韻(天正20年)紹巴筆/初学用捨抄 紹巴筆/賦山何連歌百韻(慶長20年)玄仲筆/賦何牆連歌百韻(明暦2年)宗因自筆

第33巻 西鶴自筆本集

〔解題〕大橋正叔 本体33,000円 -9583-1 (2020.10)

俳諧之口伝/胴骨三百韻/西鶴評点政昌等三吟百韻卷/夢想之俳諧/西鶴独吟百韻自註絵巻/世継翁画賛/「神の梅」発句画賛/「大ふりや」発句画賛/「塩浜や」発句画賛/「梅に鶯」画賛/磯崎松画賛/西鶴・才磨画賛/「父ハ花」発句短冊/「穴師吹」発句短冊/「餅花や」発句短冊/「夜のにしき」発句短冊/「御詠歌や」発句短冊/「軒下の」発句短冊/「花を雪に」発句短冊/「長持に」発句短冊/「角樽を」発句短冊/「鯛ハ花ハ」発句短冊/西鶴書簡 下里勘兵衛宛/西鶴書簡包紙 下里勘兵衛宛/大矢数成就文 下里勘州宛/西鶴書簡 下里寂宛



西鶴独吟百韻自註絵巻

第34巻 芭蕉集 自筆本・鯉屋物

〔解題〕大橋正叔 本体32,000円 -9584-8 (2020.6)

奥の細道行脚之図/野ざらし紀行/鹿島紀行/あつめ句/梅雀桐蹊両吟歌俳諧/「能家や」詠草稿/幻住庵記/癸酉紀行 許六自筆/芭蕉書簡 宗七宛/芭蕉書簡 曲翠宛/芭蕉書簡 雪芝宛/鯉屋物(「ひとつめきて」発句短冊/「ほろほると」発句画賛/「葛の葉の」発句自画賛/「朝顔に」発句画賛/「あかあかと」発句自画賛/「みのむしの」発句画賛/蓑虫説/蓑虫説跋/歳旦発句短冊集/「鉢たゝき」発句自画賛/「愚に闇ク」発句短冊/祝商山「はま弓や」発句詠草/夏三句詠草/初秋七日の雨星を弔ふ句文/「月雪と」発句短冊/素堂寿母七十七賀句/桃隣書簡/萩鹿図/「観音の」発句懐紙/芭蕉翁馬上吟図/芭蕉画竹図/述懐の句文/松飾自画賛/支考書簡/芭蕉脇息図/「はつ雪や」発句色紙/枯木鹿自画賛/蓑虫説跋草稿/四山瓢銘/富嶽遠望図/葡萄栗鼠図/稲穂図草枕句文/一輪牡丹図/鯉屋伝来預り品書)

第35巻 蕪村集 一 〔解題〕牛見正和 本体36,000円 -9585-5 (2020.4)

夏より 三葉社中句集/高德院発句会/月並発句帖/取句法/花頂山中高德院発句会

第36巻 蕪村集 二 〔解題〕牛見正和 本体32,000円 -9586-2 (2020.12)

夜半亭蕪村句集(2冊:春夏・秋冬)

最高のコレクションから厳選した俳諧の精髓を鮮明に影印！

天理図書館綿屋文庫 俳書集成



てんりとしょかんわたやぶんこ はいしよしゅうせい

天理図書館綿屋文庫俳書集成編集委員会編

江戸期民衆の素顔を映し出す俳書において、最高の質量を誇る綿屋文庫の蔵書より、特に元禄期までの書日に限定。伝存唯一の版本、初版・初刷本等の早印本、俳諧史に名をとどめる自筆本・写本等を厳選し、精確・精緻に影印。

天理図書館綿屋文庫 俳書集成

全三期 (36巻+別巻)



(1994.4 ~ 2000.4)

A5判 平均464頁、総17,164頁
揃本体539,234円

※本集成は残部僅少にて各期セット販売となります。

天理図書館綿屋文庫 俳書集成

第一期 (全12巻セット)

(1994.4 ~ 1996.2)

ISBN4-8406-9491-5

A5判 平均519頁、総6,226頁
揃本体174,756円



(ISBN4-8406は省略しました)

第1巻	三浦為春集	-9501-6 (1994.4)
第2巻	さゞれ石	-9502-4 (1994.6)
第3巻	北村季吟集	-9503-2 (1994.8)
第4巻	俳諧独吟集一	-9504-0 (1994.10)
第5巻	俳諧独吟集二	-9505-9 (1994.12)
第6巻	談林俳書集一	-9506-7 (1995.2)
第7巻	俳諧歳旦集一	-9507-5 (1995.4)
第8巻	伊勢俳書集	-9508-3 (1995.6)
第9巻	誹諧飛東津松	-9509-1 (1995.8)
第10巻	元禄俳書集・其角篇	-9510-5 (1995.10)
第11巻	元禄俳書集・京都篇	-9511-3 (1995.12)
第12巻	浪化句日記	-9512-1 (1996.2)

【所収書目】

第1巻三浦為春集(太笑記/汚塵集/野狂集) 第2巻さゞれ石 第3巻北村季吟集(誹諧之事・誹諧会法/百五十番誹諧発句合/誹諧句集/歌俳難易文) 第4巻俳諧独吟集一(誹諧独吟集/俳諧統独吟集/新独吟集) 第5巻俳諧独吟集二(諸国独吟集/新統独吟集) 第6巻談林俳書集一(談林三百韻/江戸八百韻/桃青門弟 独吟二十歌仙/談林俳諧/信徳京三吟/一時軒独吟自註三百韻/大坂一日独吟千句) 第7巻俳諧歳旦集一(歳旦発句集/延宝六年俳諧三ツ物揃/南元順三物/貞享三年俳諧三ツ物揃) 第8巻伊勢俳書集(伊勢俳諧大発句帳抜書/伊勢宮笥/明烏/伊勢斐杉/麓の旅寝/ゆずり物) 第9巻誹諧飛東津松 第10巻元禄俳書集 其角篇(みなしぐり/蠹集/統虚栗/焦尾琴) 第11巻元禄俳書集 京都篇(俳諧三月物/萬歳楽/花見弁慶/俳諧初学祇園拾遺物語/誹諧帆懸舟/俳諧藤波集/あくた舟/胡蝶判官) 第12巻浪化句日記(壬申日誌/丙子丁丑風月藻/風雅戊寅集/風雅己卯集)

天理図書館綿屋文庫 俳書集成

第二期 (全12巻セット)

(1996.4 ~ 1998.2)

ISBN4-8406-9492-3

A5判 (㊸のみA4判横本)
平均461頁、総5,528頁
揃本体174,978円

第13巻~第18巻 各巻本体14,563円

第19巻~第24巻 各巻本体14,600円



第13巻	野々口立圃集	-9513-X (1996.4)
第14巻	松江重頼集	-9514-8 (1996.6)
第15巻	貞門俳書集一	-9515-6 (1996.8)
第16巻	談林俳書集二	-9516-4 (1996.10)
第17巻	俳諧歳旦集二	-9517-2 (1996.12)
第18巻	俳諧論戦集	-9518-0 (1997.2)
第19巻	談林俳書集三	-9519-9 (1997.4)
第20巻	元禄俳書集・大坂篇	-9520-2 (1997.6)
第21巻	元禄俳書集・四国篇	-9521-0 (1997.8)
第22巻	芭蕉追善集	-9522-9 (1997.10)
第23巻	蕉門俳書集一	-9523-7 (1997.12)
第24巻	蕉門俳書集二	-9524-5 (1998.2)

【所収書目】

第13巻野々口立圃集（立圃自筆巻／十八番草木之句合／暮打花見／福山旅之記／京上り等句文／立圃自筆句文集／懐旧俳諧連歌百韻／東下旅中独吟俳諧百韻／俳諧伝授書）第14巻松江重頼集（四十番俳諧合／筑紫紀行／夏座敷百韻／維舟独吟歌仙／大井川集・藤枝集）第15巻貞門俳書集一（貞徳百句独吟自註／俳諧批判之四笑／花千句／季吟十会集／季吟廿会集）第16巻談林俳書集二（物種集／難波風／二葉集）第17巻俳諧歳旦集二（大坂辰歳旦惣寄／元禄四年歳旦／壬申歳旦／元禄五～七年歳旦集／俳諧大三物／元禄十三年歳旦集／元禄十六年歳旦集／癸未蓬萊嶋／藤園堂歳旦 元禄五年歳旦）第18巻俳諧論戦集（惣本寺俳諧中庸姿／俳諧破邪顯正／俳諧頼政破邪顯正熊坂両書返答前書／中庸姿破邪顯正ふたつ盃／俳諧破邪顯正返答／俳諧綾巻破邪顯正并返答両書評判／俳諧猿轡破邪顯正再返答／俳諧破邪顯正返答之評判／俳諧破邪顯正評判之返答百韻自註／俳諧太平記）第19巻談林俳書集三（俳諧十歌仙見花数寄／花見乗物／一夜菴建立縁起／ほのぼの立／それぞれ草）第20巻元禄俳書集 大坂篇（寝ざめ廿日／根合／俳諧生駒堂／俳諧河内羽二重／俳諧しらぬ翁／熊野がらす）第21巻元禄俳書集 四国篇（俳諧眉山／俳諧簾／たかね）第22巻芭蕉追善集（枯尾華／芭蕉翁追悼こがらし／芭蕉一周忌／芭蕉庵冬かづら／帰花／雪の葉／俳諧粟津原）第23巻蕉門俳書集一（俳諧薦獅子集／俳諧別座鋪／住吉物語／初蟬）第24巻蕉門俳書集二（印南野／花の雲／当座はらひ／二えふ集）

天理図書館綿屋文庫 俳書集成

第三期（全12巻＋別巻）

(1998.4～2000.4)

ISBN4-8406-9493-1

A5判（㊤のみA4判）

平均452頁、総5,410頁

揃本体189,500円

各巻本体15,000円

別巻のみ本体9,500円



第25巻	西山宗因集	-9525-3 (1998.4)
第26巻	露沾俳諧集上	-9526-1 (1998.6)
第27巻	露沾俳諧集下	-9527-X (1998.8)
第28巻	談林俳書集四	-9528-8 (1998.10)
第29巻	俳諧歳旦集三	-9529-6 (1998.12)
第30巻	元禄前句付集	-9530-X (1999.1)
第31巻	元禄俳書集・地方篇	-9531-8 (1999.4)
第32巻	蕉門俳書集三	-9532-6 (1999.6)
第33巻	蕉門俳書集四	-9533-4 (1999.8)
第34巻	宗祇連歌集	-9534-2 (1999.10)
第35巻	諸家自筆本集（分売品切）	-9535-0 (1999.12)
第36巻	俳諧師手鑑	-9536-9 (2000.2)
別巻	俳風大横手〔影印〕・俳諧歳旦集併号索引	-9537-7 (2000.4)

【所収書目】

第25巻西山宗因集（賦山何連歌歌仙／宗因連歌集／播州明石浦人麿社法楽賦御何連歌百韻／美作道日記草稿／明石山庄記／蚊柱百韻／玉霰百韻／俳諧歌仙／賦何桜俳諧之連歌百韻／奴俳諧付岡本个庵宛宗因書簡／宗因書簡／西山宗因釈教俳諧／西山宗因後五百韻／宗因三百韻／天満千句）第26・27巻露沾俳諧集上・下（〔第26巻〕春一～春五／〔第27巻〕夏二～秋四・冬三終）第28巻談林俳書集四（俳諧坂東太郎／俳諧江戸弁慶上／俳諧東日記）第29巻俳諧歳旦集三（元禄十七年俳諧三物揃／元禄十七年 歳旦／宝永二年俳諧三物揃／宝永四年俳諧三物揃／宝永六己丑歳旦／宝永六己丑歳旦引附／丑ノ年 門松／国栖歌／歳旦引附障／江戸歳旦摺物五種）第30巻元禄前句付集（俳諧気比のうみ／五句附二葉の松 乾／五句附洗朱・面々硯／三評風姿十の指／月次前句附集／京祇苑奉納一萬句寄絵馬撰出二百句／瀧まふて／前句附出題帖）第31巻元禄俳書集 地方篇（俳諧白根嶽／俳諧葱摺／俳諧朧月夜／吉備中山／継尾集／俳諧青葉山）第32巻蕉門俳書集三（淡路嶋／砂川／梅の嵯峨／追鳥狩）第33巻蕉門俳書集四（梅桜／菊の香／鳥のみち／小柑子／すぎ丸太）第34巻宗祇連歌集（老葉／下草）第35巻諸家自筆本集（集百句之連歌／連歌百句付／賦何木連歌百韻／如是庵日発句／日能長頭丸両吟百韻／壬生天神奉納俳諧之連歌百韻／胴骨三百韻／俳諧之口伝／西海の記／あつめ句／肥前山叟滑稽堂西花上洛之日記／六玉川／六玉河／眺望の戯章／搦田十六趣／川崎方孝宛立圃書簡集／白次良兵衛宛立圃書簡）第36巻俳諧師手鑑（古今俳諧手鑑／統古今俳諧手鑑）別巻俳風大横手・歳旦集併号索引（俳風大横手／歳旦集併号索引〔併号索引・付帯事項索引〕）

天理図書館綿屋文庫 俳書集成

別巻 俳風大横手〔影印〕・歳旦集併号索引

はいふうおおよこで・さいたんしゅうはいごうさくいん

ISBN4-8406-9537-7

A5判 160頁 本体9,500円

「歳旦集併号索引」はシリーズ第7・17・29巻「俳諧歳旦集一～三」所収の延べ8,000余名の併号索引、及び地名・氏姓等の付帯事項を記載。「俳風大横手〔影印〕」は西六編、延宝8年（1680）刊。従来、散佚書として伝本の知られなかった学界待望の新出資料を公開。

(2000.4)

古代の文化・歴史を座右に置く

正倉院古文書影印集成

しょうそういんこもんじょえいいんしゅうせい



宮内庁正倉院事務所編

正倉院古文書は、奈良時代8世紀の写経所が残した膨大な古文書群であるが、正倉院校倉の中の永い眠りから覚めたのは、19世紀幕末のことであった。20世紀初頭『大日本古文書』で翻刻され、奈良時代研究の基本資料として脚光を浴びたが、原本を見ることができる人は極く少数に限られていた。本集成の公刊により、初めてその原姿を逐次庫外へ現わすことになったのである。

第一期正集(45巻)・続修(50巻)、第二期続修後集(43巻)・続修別集(50巻)の完結に続き、第三期塵芥文書(39巻)の全姿を刊行。最新のオフセット印刷技術をもって、その全姿を精確に影印複製(本文写真版)。活字には望めない古代の息吹を鮮やかに伝える。また、影印本文の理解を助けるための各種データを、客観的に精確かつ簡略にまとめ、解説として各冊末に付した。その他、『大日本古文書』の巻・頁数を脚注として、また紙数は頭注として表記。これにより、表・裏の対照、『大日本古文書』での照合を容易にした。



正倉院古文書影印集成

第一期 正集・続修 (全8冊)

せいしゅう・ぞくしゅう

(1988.5～1994.3)

ISBN4-8406-2091-1【セット品切】

A4判横本 平均375頁、総2,994頁

各冊本体20,000円



冊数	内容	表紙	ISBN	発行年
第1冊	正集 表	(巻1～21)	-2101-2	(1988.5)
第2冊	正集 表	(巻22～45)【品切】	-2102-0	(1990.1)
第3冊	正集 裏	(巻1～21)【品切】	-2103-9	(1989.1)
第4冊	正集 裏	(巻22～45)	-2104-7	(1990.9)
第5冊	続修 表	(巻1～25)【品切】	-2105-5	(1991.4)
第6冊	続修 表	(巻26～50)	-2106-3	(1993.6)
第7冊	続修 裏	(巻1～25)	-2107-1	(1992.2)
第8冊	続修 裏	(巻26～50)	-2108-X	(1994.3)

※分売いたします。

正集 (45巻)

江戸時代末に調査成巻され、45巻より成る。写経所文書の裏に散在する反故となった官符の文書を抜き集め、神祇官の文書を冒頭に、以下律令官制の序列に添って配列。戸籍、計帳、正税帳をはじめ、暦や高僧の筆蹟も加えられている。奈良時代8世紀の代表的古文書標本集ともいべき形態の中に当時の民衆の生活の巨細が鮮明に映出されている。

続修 (50巻)

明治初頭に整理編集、50巻より成る。正集に漏れた珍しい文書を集め、同類に従って製巻された。借金証文、欠勤届、造寺、写経関係の文書、諸国計帳、各種各様の私文書、知名人の書状(道鏡の2通を含む)等々、表裏合わせて天平文化の諸相を微細に顕示している。



正集巻38 筑前国戸籍 大宝2年(702)
(第2冊に収録)

正倉院古文書影印集成

第二期 続修後集・続修別集 (全6冊)

ぞくしゅうこうしゅう・ぞくしゅうべっしゅう
(1995.8～2001.8)

ISBN4-8406-2092-X

A4判横本 平均306頁、総1,838頁

揃本体117,000円

⑨-⑪各冊本体19,000円

⑫-⑭各冊本体20,000円



(ISBN4-8406は省略しました)

- 第9冊 続修後集 表 (巻1～22) -2109-8 (1995.8)
 第10冊 続修後集 表 (巻23～43) -2110-1 (1996.6)
 第11冊 続修後集 裏 (巻1～43) -2111-X (1997.8)
 第12冊 続修別集 表 (巻1～22) -2112-8 (1999.8)
 第13冊 続修別集 表 (巻23～50) -2113-6 (2000.12)
 第14冊 続修別集 裏 (巻1～50) -2114-4 (2001.8)

※分売いたします。

続修後集 (43巻)・続修別集 (50巻)

東大寺・石山寺といった官の大寺の造営に関する資料、写経所文書とそこに働く写経生の生活感の滲んだ種々の文書、絵画資料、書籍目録、万葉仮名文書などバラエティーに富んだ集。



続修別集巻48 万葉仮名文書 (甲) (第13冊に収録)



続修別集巻22裏 大坂廣川請暇不參解 (第11冊に収録)

正倉院古文書影印集成

第三期 塵芥文書 (全4冊)

じんかいもんじょ

(2004.12～)

ISBN4-8406-2093-8

A4判横本 平均300頁予定



- 第15冊 塵芥文書 表 (巻1～20)

ISBN4-8406-2115-2 本体20,000円 (2004.12)

- 第16冊 塵芥文書 表 (巻21～39)

ISBN4-8406-2116-0 本体20,000円 (2006.1)

- 第17冊 塵芥文書 裏 (巻1～39)・雑帳・付蠟燭文書

ISBN978-4-8406-2117-5 本体26,000円 (2007.8)

- 第18冊 塵芥文書 復元図版・釈文

ISBN978-4-8406-2118-2 (2024年刊行予定)

※分売いたします。

塵芥文書 (39巻、付蠟燭文書)

明治期の整理成巻事業の一環として、明治10年に東京へ運ばれ内務省で展開・修理・成巻されたものが「正倉院塵芥文書」と題された一群である。正集・続修等、先行して行われた整理から漏れ、宝庫に残っていた損傷の激しい文書が多く、39軸の卷子と小断片を台紙貼りしてアルバム風に仕立てた「雑帳」3冊に整理され、固まって展開不可能な「蠟燭文書」一袋が附属する。

内容は常陸国戸籍・初期写経所文書等々、多岐にわたるが、断片や裏打の下に隠れた文字など『大日本古文書』に未収、また順序混乱のまま翻刻されているものも多い。この度の精緻な影印本文と詳細な原本調査事項を記載した解説の公刊により、新たな研究の深化進展が期待される。

塵芥文書巻35裏 鑑真奉請経巻状 3月18日 (第17冊に収録)



貴重史料を精選、翻刻では再現出来ない原本の様態を精緻に影印！

東京大学史料編纂所影印叢書

とうきょうだいがくしりょうへんさんじょえいいんそうしょ



編集・解説 東京大学史料編纂所

(ISBN978-4-8406は省略しました)

東京大学史料編纂所影印叢書 (全6冊)

(2007.5～2009.11)

ISBN978-4-8406-2591-3

A4判横本 平均318頁、総1,908頁

揃本体153,000円

第1冊	島津家文書 歴代亀鑑・宝鑑	-2501-2 (2007.5)
第2冊	平安鎌倉記録典籍集	-2502-9 (2007.11)
第3冊	室町武家関係文芸集	-2503-6 (2008.5)
第4冊	小笠原文書	-2504-3 (2008.11)
第5冊	平安鎌倉古文書集	-2505-0 (2009.5)
第6冊	久芳文書・佐藤文書	-2506-7 (2009.11)

①③-⑥本体25,000円、②本体28,000円

※分売いたします。

①鳥津家文書 歴代亀鑑・宝鑑 (しまづけもんじょ れきだいきかん・ほうかん)

わが国武家文書の白眉として国宝に指定された旧薩摩藩主島津家重代相伝の「鳥津家文書」のうち、その劈頭を飾る源頼朝袖判下文などを収める手鑑「歴代亀鑑」と鎌倉・室町時代の重要文書を収める手鑑「宝鑑」とを収載する。[収載史料] 1歴代亀鑑〈国宝〉(2帖107点) 2宝鑑〈国宝〉(2帖104点)

②平安鎌倉記録典籍集

平安時代・鎌倉時代に筆録された日記・典籍のうちの優品を収める。悪左府として名高い藤原頼長の日記「台記」、平家の焼討ちにより焼失した東大寺大仏殿の復興に尽力した重源が記した「南無阿弥陀仏作善集」など重要文化財指定の著名史料も多い。[収載史料] 1和歌真字序集〈重文〉 2台記〈重文〉 3南無阿弥陀仏作善集〈重文〉 4後嵯峨院北面歴名 5大将歴名 6檢非違使補任 7右衛門督補任 8拾芥抄〈重文〉

③室町武家関係文芸集

室町幕府の初代將軍足利尊氏や政所代として幕政に関与し歌人としても有名な蜷川親元などの武家の学芸・教養を示す興味深い書目を選んで収める。[収載史料] 1足利尊氏奉納稻荷社詠八首和歌 2源經氏歌集 3耕雲紀行 4飛鳥井雅縁讓状 5飛鳥井雅親消息案 6飛鳥井雅康消息 7蜷川親元筆百首和歌 8蜷川親元筆詠草(紙背「月庵和尚仮名法語」) 9蜷川親元書状

④小笠原文書 (おがさわらもんじょ)

「小笠原文書」は信濃守護小笠原氏が伝えた文書群で、室町幕府初代將軍足利尊氏・直義兄弟や歴代將軍の自筆書状などを始めとして戦国時代末期に至る文書を収め、室町時代の武家文書の典型とされている文書群である。[収載史料] 小笠原文書(4帖183通)

⑤平安鎌倉古文書集

教科書によく引用される「尾張国郡司百姓等解文」、源頼朝弟の範頼関係文書としては唯一現存する「源範頼下文」、皇室領荘園の様相を伝える基本史料「安楽寿院文書」など、平安・鎌倉時代の古文書を類聚して収める。[収載史料] 1近江国愛智庄立券文 2尾張国郡司百姓等解文 3山辺姉子畠地売券 4古文書雑集 5東大寺古文書 6東大寺田券 7源範頼下文 8山城国西観音寺文書 9源頼朝下文 10太政官牒 11北野宮寺政所下文 12八幡宮寺政所供料充行状案 13古文書鎌倉・室町時代 14中原遠忠注進状 15東大寺大勸進聖守書状 16墓沼寺文書 17安楽寿院文書 18東大寺造宮領周防国文書 19僧玄海笛譜等注文 20審盛授性範印信 21洞院公賢奏事目録 22東大寺西室雑掌重申状案 23東大寺八幡宮神輿座文書案 24隆恵書状 25後宇多上皇院宣

⑥久芳文書・佐藤文書 (くばもんじょ・さとうもんじょ)

「久芳文書」は安芸国の在地武士久芳氏が、「佐藤文書」は同じく安芸国の在地武士佐藤氏がそれぞれ伝えた文書群で、中国地方の戦国大名である大内氏や毛利氏が発給した文書を収め、戦国時代の西国の様子を伝える代表的な文書群である。[収載史料] 1久芳文書(126点) 2佐藤文書(111点) 附録(4点)

日本文化史研究の最重要書目を精緻に影印

宮内庁書陵部本影印集成

くないちょうしょりょうぶばんえいいんしゅうせい



【2色刷】

宮内庁書陵部本影印集成 第一期

日本書紀 (全4冊)

にほんしよき

(2005.12 ~ 2006.9)

ISBN4-8406-2491-7

B5判 各冊平均308頁、揃1,232頁

揃本体86,000円



(ISBN978-4-8406は省略しました)

- 第1冊 日本書紀一 巻2・10・12・13
-2401-1 本体22,000円 (2005.12)
- 第2冊 日本書紀二 巻14 ~ 17
-2402-X 本体22,000円 (2006.2)
- 第3冊 日本書紀三 巻21 ~ 24
-2403-8 本体22,000円 (2006.4)
- 第4冊 日本書紀四 訓点総索引・解説
-2404-6 本体20,000円 (2006.9)

【解説】石塚晴通 (訓点)・石上英一 (書誌)

※分売いたします。

日本書紀の古写本は、卜部家本系写本と古本系写本諸本とに分類される。卜部家本系写本 (卜部兼方本〈国宝〉、卜部兼右本〈国宝〉など。ともに小社刊『天理図書館善本叢書』収録)等により全30巻を揃えることができるが、訓点資料などは古本系写本に比べて少ない。一方、古本系写本とは、祖系を様々とする写本の総称で、全30巻を揃えるものはないが、最古写本や平安時代の古訓点を有する写本がある (田中本〈国宝〉、岩崎本〈国宝〉、尊経閣本〈国宝〉、小社刊『尊経閣善本影印集成』収録)など。なかでも今回刊行の宮内庁書陵部本は、本文校訂・訓点研究において重要な位置を占めている。

第4冊に、訓点解説 (石塚晴通)、書誌解説 (石上英一) を収録。さらに訓点総索引を付した。書陵部本に付された訓点は、平安時代のものと考えられており、かつ10巻にわたって残存するという、質量ともに非常に貴重な資料である。本索引により、日本語研究にはもちろん、歴史学・国文学等の周辺学問分野からも充分に活用できるようになる。

【2色刷】

宮内庁書陵部本影印集成 第二期

西宮記 (全3冊)

さいきゅうき

(2006.10 ~ 2007.3)

ISBN4-8406-2492-5

A4判 各冊平均248頁、揃744頁

揃本体75,000円



- 第5冊 西宮記一 第1軸~第6軸
4-8406-2405-4 本体25,000円 (2006.10)
- 第6冊 西宮記二 第7軸~第12軸
4-8406-2406-2 本体25,000円 (2006.12)
- 第7冊 西宮記三 第13軸~第17軸・解説
978-4-8406-2407-7 本体25,000円 (2007.3)

【解説】北 啓太

※分売いたします。

10世紀中頃に成立した源高明 (914-982) 著、朝廷の儀式公事に関する書。全体は恒例・臨時に大別され、恒例の部では正月から12月に至る年中行事の次第が記され、臨時の部では臨時儀式の次第や、装束等の儀礼、政務のあり方など広範な事例が記述されている。朝廷の儀式を正確に行うことを重要な使命とした堂上・地下の官人にとって、この書は極めて有用な書として重んじられ、平安時代から江戸時代に至るまで、本書の貸し借りや、読書会を行ったことなどの記録が諸書に散見している。写本も多く作られたが、実用書として重んじられたために、その過程で多くの書き込みがなされ、本文の改変も行われて、様々な形の写本が生じることになった。しかも著者の初稿本・再稿本等の数種の本文がもともと伝写されたようで、内容・編成を異にする異本が存在している。このようにして『西宮記』の書誌は極めて複雑な様相を呈することとなり、古写本それぞれが書誌研究の上で重要な資料となってくる。

宮内庁書陵部本は、壬生官務家旧蔵で、通称壬生本と呼ばれる。全17巻。そのうち13巻は室町時代初めおよびそれ以前の書写もので、4巻は江戸時代写の補写。江戸初期には23巻あったとみられるが、その後かなりの巻が壬生家から流出してしまった。現在国立歴史民俗博物館が所蔵する田中教忠旧蔵本1巻はその1つである。江戸時代の新写本はこの壬生本の系統に属するものが多い。『西宮記』には当時の日記等によって豊富な事例が書き添えられていて、その多くが後人の追記になるものであるが、これを勘物という。『西宮記』の勘物には多くの書物の逸文が含まれており、本文とともに平安時代史研究の貴重な史料を提供する。

初公開！ 六国史最初の史書の重要写本の全14巻を、迫力の大型本で体感する

【高精細オールカラー版】

〈重要文化財〉

熱田本 日本書紀 (全3冊)

あつたぼん にほんしょき

(2017.12)



熱田神宮編

【解説】

- 荊木美行 (書誌解説)
- 遠藤慶太 (書誌解説)
- 木田章義 (訓点解説)
- 大槻 信 (訓点解説)
- 渡辺 滋 (料紙解説)
- 野村辰美 (熱田神宮史)
- 福井款彦 (熱田神宮史)

ISBN978-4-8406-2216-5
 菊倍判 平均307頁、総922頁
 揃本体120,000円
 各巻本体40,000円

- 第1冊 巻第一上～巻第四・和歌懐紙
ISBN978-4-8406-2217-2 本体40,000円
- 第2冊 巻第五～巻第九・和歌懐紙
ISBN978-4-8406-2218-9 本体40,000円
- 第3冊 巻第十～巻第十五・和歌懐紙／解説
ISBN978-4-8406-2219-6 本体40,000円
※分売いたします。

日本書紀全三十巻のうち十四巻所収。墨朱濃淡・料紙の質感等、原本の様態を精緻に再現。書誌・訓点・和歌・料紙など、原本調査をふまえた多角的な視点からの解説を収録。原本の実像に迫る。



巻第二

〔第1冊〕

- 巻第一上 神代上
- 巻第一下 神代上
- 巻第二 神代下
- 巻第三 神武天皇／和歌懐紙
- 巻第四 綏靖天皇・安寧天皇・懿徳天皇・孝昭天皇・孝安天皇・孝靈天皇・孝元天皇・開化天皇／和歌懐紙

〔第2冊〕

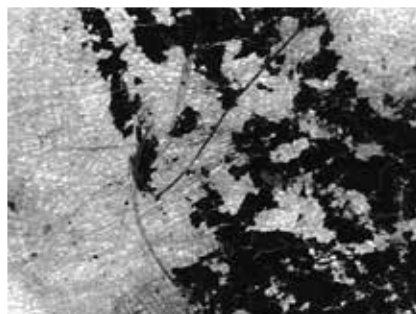
- 巻第五 崇神天皇／和歌懐紙
- 巻第六 垂仁天皇／和歌懐紙
- 巻第七 景行天皇・成務天皇
- 巻第八 仲哀天皇
- 巻第九 神功皇后／和歌懐紙
- 巻第十 応神天皇／和歌懐紙

〔第3冊〕

- 巻第十二 履中天皇・反正天皇／和歌懐紙
- 巻第十三 允恭天皇・安康天皇／和歌懐紙
- 巻第十四 雄略天皇／和歌懐紙
- 巻第十五 清寧天皇・顕宗天皇・仁賢天皇／和歌懐紙
- 日本書紀寄進状／参考図版解説



巻第四 和歌懐紙



料紙の拡大写真

【高精細オールカラー版】源氏物語本文研究に新たな画期をなす必備資料！

〈重要文化財〉

尾州家河内本 源氏物語 (全10冊)

びしゅうけかわちぼん げんじものがたり

(2010.12～2013.12)



最新の原本調査により源親行稿本の可能性が指摘される重要写本の全貌をオールカラーで影印。

【原本所蔵・監修】名古屋市蓬左文庫
【解題】岡嶋偉久子

ISBN978-4-8406-9340-0
B5判 平均440頁、総4,398頁
揃本体280,000円
各巻本体28,000円

		(ISBN978-4-8406は省略しました)
第1巻	桐壺・帚木・空蟬・夕顔・若紫・末摘花	-9341-7
第2巻	紅葉賀・花宴・葵・賢木・花散里・須磨・明石	-9342-4
第3巻	滯標・蓬生・関屋・絵合・松風・薄雲	-9343-1
第4巻	朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶・蛭・常夏	-9344-8
第5巻	篝火・野分・行幸・藤袴・真木柱・梅枝・藤裏葉	-9345-5
第6巻	若菜上・若菜下	-9346-2
第7巻	柏木・横笛・鈴虫・夕霧・御法・幻	-9347-9
第8巻	匂宮・紅梅・竹河・橋姫・椎本・総角	-9348-6
第9巻	早蕨・宿木・東屋	-9349-3
第10巻	浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋	-9350-9

※分売いたします。

- 岡嶋偉久子による厳密な原本調査により、多量にして多様な本文修正・改訂が本文書写と時期を離れないものであること、料紙準備の段階から「河内本」作成が企図されていたことが窺われ、尾州家本が河内本最古写本にとどまらず親行稿本そのものである可能性が指摘されるに至った。源氏物語本文研究深化の状況に鑑み、その要となる重要写本の全貌をカラー版で精緻に影印する。



- 尾州家河内本源氏物語は、鎌倉時代に源光行・親行父子による源氏物語本文の研究・校訂によって作成された河内本（父子ともに河内守であったことに由来）の最古写本として伝わり、54帖が揃った源氏物語の写本としても現存最古の一つである。

- 本文は厚手の鳥の子料紙、表紙には重厚美麗な装飾料紙を用いた大和綴の大型冊子本で、鎌倉中後期頃書写の41巻と室町前期頃書写の後補13巻より成り、元来は54巻54冊であったものを後に23冊に合綴。「夢浮橋」巻末に金沢（北条）実時の奥書があり、尾張徳川家に伝えられて現在は名古屋市蓬左文庫所蔵。重要文化財に指定されている。その本文には句読朱点・振り漢字が施され、全面にわたり多量の削訂・朱墨両様の見せ消ち・補入による本文修正が重ねられて複雑な様相を呈しており、精確な影印版刊行が待たれていた。



藤本孝一編・解題

定家本 源氏物語 行幸・早蕨

ていかぼんげんじものがたり みゆき・さわらび
ISBN978-4-8406-9765-1
B5判 186頁 本体28,000円



【高精細原寸カラー版】幻の定家本出現！ 定家本『源氏物語』のうち原本が遺されているのは僅か4巻のみ。そのうち『行幸（重文）』・『早蕨（重文）』は、今回が初めての影印刊行であり、しかも『行幸』は個人蔵であったため、これまで公開されることがなかった。その詳細が調査可能となる。(2018.1)

大河内元冬監修・藤本孝一解題

定家本 源氏物語 若紫

ていかぼんげんじものがたり わかむらさき
ISBN978-4-8406-9770-5
B5判 192頁 本体25,000円【残部僅少】



【高精細原寸カラー版】驚愕の新出資料を初公刊！ 2019年、大河内家に伝わった『若紫』が新たに5巻めの定家本として確認され、今後の源氏物語研究へ資する新出貴重資料として紹介された。このたび刊行の高精細原寸カラー版によって、その全貌が明らかになり、詳細が調査可能となる。(2020.3)

未刊重要史料集成

史料纂集古記録編

しりょうさんしゅう

『史料纂集』は、史学・文学をはじめ、日本文化の研究上必須のものでありながら今日まで未刊に終わっていた史料を中核とし、さらに既刊のものでも現段階において全面的に改訂を要することの明らかなものを加えて、学界最高の水準で公刊するものです。『大日本古記録』と並び相補う形で、各時代の未刊重要史料集成の実現をはかるものであります。「Web版 史料纂集」も2023年1月よりJKBooksで電子版公開中（本目録2・3頁参照）。

【通常版】A5判上製・函入

【OD版（オンデマンド版）】A5判並製・カバー装（受注生産）



米田雄介・吉岡眞之校訂

吏部王記

りぶおうき

ISBN4-7971-0319-1（39回配本 1974）

338頁 本体10,000円

全1冊



醍醐天皇の第四皇子、式部卿重明親王（906-954）の日記。本書は、はやく散逸し、その逸文が儀式や文学関係の諸書に引用されて伝わる。『吏部王記』と題する写本も伝わるが、いずれも問題の多いもので、これらを根本的に再検討して根拠ある逸文を蒐集整理し、現段階での最も信頼し得る本文の復原を志した。巻末に解説・重明親王略年譜・略系図・逸文典拠一覧を付した。

【収録】920〔延喜20〕～953〔天曆7〕

渡辺直彦・厚谷和雄校訂

権

ごんき

既刊3冊揃本体23,000円

①ISBN978-4-8406-3276-8（57回配本 1978）【OD版】

216頁 本体7,000円

②ISBN4-7971-0362-0（82回配本 1987）

256頁 本体8,000円

③ISBN4-7971-1286-7（106回配本 1996）

274頁 本体8,000円

④続刊予定

全4冊・既刊①-③



藤原行成（972-1027）の日記。行成は三蹟とも世尊寺流の三筆とも称される能書家としても著名である。その記事は、行成右大弁の頃から権大納言時代におよび平安期の有職故実詳しく、当時の朝儀典礼を窺うことのできる好史料である。『小右記』『御堂関白記』『左経記』等と相補い、併読することによって初期摂関政治の実態を究明する上で主要な記録の一つである。

【収録】

① 991〔正暦2〕～1000〔長保2〕

② 1000〔長保2〕～1003〔長保5〕

③ 1004〔寛弘元〕～1010〔寛弘7〕

④ 1011〔寛弘8〕・逸文・索引

森公章校訂

参天台五臺山記

さんてんだいごだいさんき

全2冊（近刊）

①ISBN978-4-8406-5215-5（215回配本 2023.4）

264頁 本体16,000円

②ISBN978-4-8406-5217-9（217回配本 2023.6 予定）

360頁（予定）本体14,000円



天台僧成尋（1013-81）の日記。11世紀後半に宋代中国を訪問した時の記録で、天台山・五臺山への巡礼記事を中心とする。宋代の駅・建物・運河、日々の読経の内容や様々な僧侶との交流、皇帝との面会の様子など、当時の中国社会を語る第一級史料。底本とする東福寺所蔵本は、最古かつ最善本の写本である（重要文化財、全8巻）。豊富な標点と詳細な校訂註／人名・地名註を付した全文翻刻〔第一〕と、それに対応する読み下し文、解説／地図／年表（参記要略）〔第二〕をセットで読むことで、本文の内容をより深く理解することができる。

【収録】

①翻刻：1072〔延久4〕～1073〔延久5〕

②読み下し文：1072〔延久4〕～1073〔延久5〕

橋本義彦・今江廣道校訂

台

たいき

①ISBN4-7971-0332-9（52回配本 1996）【在庫僅少】

242頁 本体5,400円

全4冊・既刊①



左大臣藤原頼長（1120-1156）の日記。頼長は古代と中世を分けた保元の乱の謀主として有名である。その日記は、詳細かつ内容に富み、保元の乱に至るまでの政治動向を知る無二の史料である。また、平安末期の公家社会の学問・思想・風俗を知る上でも貴重である。本記は明治年間に『史料大観』に収めて刊行されたが、新出写本も少なくなく、全面改訂を必要とする。

【収録】

①1136〔保延2〕～1143〔康治2〕

辻彦三郎校訂

明

月

記

めいげつき

全8冊・既刊①

①ISBN4-7971-0298-5 (18回配本 1971)
316頁 本体9,000円

藤原定家(1162-1241)の日記。本記は、治承・承永の乱から鎌倉幕府の成立、源氏の滅亡、承久の乱等、平安末から鎌倉にかけての重大な転機にあたっており、その史料的价值は『玉葉』とならんで当代最高のものである。今次の版では国書刊行会版以後に発見された自筆本はもとより、有力な写本をも全面的に採用、断簡類にいたるまで詳細に調査をつくり面目を一新した。

【収録】①1180〔治承4〕～1197〔建久8〕

菊地康明・田沼睦・小森正明校訂

葉

黄

記

ようこうき

全2冊・完結

①ISBN978-4-8406-3401-4(第16回配本 1971)【OD版】
286頁 本体9,000円②ISBN4-7971-1321-9 (141回配本 2004)
356頁 本体12,000円

後嵯峨上皇の近臣葉室定嗣(1208-1272)の公事日記。寛元4年(1246)、定嗣39歳参議兼大藏卿から41歳権中納言までの間が中心となる。僅かな期間であるが、奉行院司として後嵯峨院政開始期の政務の衝にあたり、関東申次事務のうち雑務を分掌するなど、朝幕の間にあつて重要な地位を占めている。また院を中心とする諸公事・行事が克明に記述されており貴重である。

【収録】①1230〔寛喜2〕～1247〔宝治元〕

②1247〔宝治元〕～1249〔宝治3〕 索引・解題

高橋秀樹・櫻井彦・中込律子・遠藤珠紀校訂

勘

仲

記

かんちゅうき

全8冊予定・既刊①-⑦

既刊7冊 ①本体10,000円／②-⑦本体13,000円

①ISBN978-4-8406-3252-2 (149回配本 2008.5)【OD版】

②ISBN978-4-8406-5157-8 (157回配本 2010.6)

③ISBN978-4-8406-5166-0 (166回配本 2013.4)

④ISBN978-4-8406-5177-6 (177回配本 2015.4)

⑤ISBN978-4-8406-5189-9 (189回配本 2017.4)

⑥ISBN978-4-8406-5200-1 (200回配本 2019.5)

⑦ISBN978-4-8406-5211-7 (211回配本 2021.11)



勘解由小路(広橋)兼仲(1244-1308)の日記。広橋家は文筆の家として朝廷に仕えた。本記は蒙古襲来に関する具体的な状況、將軍惟康親王の京都送還と久明親王の將軍宣下・関東下向など鎌倉幕府と朝廷との交渉、持明院・大覚寺兩統迭立、鎌倉後期の公家訴訟制度の実態と整備等々、政治・経済・宗教・文化・芸能、宮廷儀式と多方面にわたる13世紀後半の一級史料。

【収録】

①1274〔文永11〕正月～1277〔建治3〕3月

②1278〔弘安元〕5月～1282〔弘安5〕9月

③1282〔弘安5〕10月～1284〔弘安7〕3月

④1284〔弘安7〕4月～1286〔弘安9〕9月

⑤1286〔弘安9〕10月～1288〔正応元〕12月

⑥1288〔弘安11〕正月～9月

⑦1288〔正応元〕10月～1292〔正応5〕9月

橋本義彦・今江廣道校訂

公

衡

公

記

きんひらこうき

全5冊・既刊①-④

既刊4冊揃本体25,200円

①ISBN978-4-8406-3288-1 (3回配本 1968)【OD版】
242頁 本体8,000円②ISBN4-7971-0287-X (7回配本 1969)
284頁 本体3,800円③ISBN4-7971-0321-3 (41回配本 1974)
274頁 本体6,400円④ISBN978-4-8406-3291-1 (58回配本 1979)【OD版】
222頁 本体7,000円

西園寺公衡(1264-1315)の日記。西園寺家は、鎌倉時代に関東申次の地位にあつて絶大な権勢を誇った家柄である。公衡は、承久の乱に武家方として活躍した公経の曾孫実兼の嫡男で、日記は弘安6年から正和4年におよぶ。記事は父実兼が関東申次の職にあつたため、公武間の交渉の機微にふれる貴重な史料を含み、鎌倉時代末期の朝幕関係・有職故実を知る重要史料。

【収録】

①1283〔弘安6〕～1314〔正和3〕

②1315〔正和4〕別記

③1303〔嘉元元〕～1311〔応長元〕別記

④1304〔嘉元2〕・1305〔嘉元3〕別記

村田正志校訂

花

園

天

皇

宸

はなぞのてんのうしんき

全4冊・既刊①-③

①ISBN978-4-8406-3248-5 (62回配本 1982)【OD版】
216頁 本体7,000円②ISBN978-4-8406-3249-2 (66回配本 1984)【OD版】
296頁 本体9,000円③ISBN978-4-8406-3250-8 (80回配本 1986)【OD版】
316頁 本体10,000円

→『和訳花園天皇宸記』は本目録89頁参照。



花園天皇(1297-1348)の日記。天皇は鎌倉末期から建武の中興の動乱期を過し持明院統に属しながら、皇位継承争いに対し、常に公正な態度を持った。本記は、延慶3年から正中2年におよび、南北兩統迭立問題から元弘の乱にいたる過程に詳しく、さらに禁中の年中行事、その他諸儀については歴代宸記の中でもすぐれ、当時の政治・文化を知る上で重要な史料。

【収録】

①1310〔延慶3〕～1318〔文保2〕

②1319〔文保3〕～1323〔元亨3〕

③1323〔元亨3〕～1332〔元弘2〕

岩橋小弥太・斎木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂

園太暦

えんたいりやく

既刊7冊

全8冊・既刊①-⑦

- ①ISBN978-4-8406-3001-6 (1970)【OD版】
568頁 本体13,000円
- ②ISBN978-4-8406-3002-3 (1971)【OD版】
576頁 本体13,000円
- ③ISBN978-4-8406-3003-0 (1971)【OD版】
488頁 本体13,000円
- ④ISBN978-4-8406-3004-7 (1971)【OD版】
408頁 本体13,000円
- ⑤ISBN4-7971-0314-0 (34回配本 1973)
280頁 本体8,000円
- ⑥ISBN4-7971-0355-8 (75回配本 1985)
336頁 本体8,000円
- ⑦ISBN4-7971-0356-6 (76回配本 1986)
330頁 本体8,000円



洞院公賢(1291-1360)の日記。『中園太相国暦記』の略称である。南北朝時代の最重要記録として、また故実典礼の典拠としても著名である。本書は、昭和11年より全5冊の予定で刊行されたが4巻で中断。今回の刊行では、既刊分を復刻し、5巻以降の未刊部分を史料纂集に加え、新出写本、逸文等をことごとく収録して、現段階での園太暦本文の完璧を期するものである。

【収録】

- ①1311〔応長元〕～1346〔貞和2〕・洞院系図
- ②1346〔貞和2〕～1348〔貞和4〕
- ③1349〔貞和5〕～1351〔観応2〕
- ④1351〔観応2〕～1354〔文和3〕
- ⑤1355〔文和4〕～1356〔延文元〕
- ⑥1357〔延文2〕～1359〔延文4〕
- ⑦1360〔延文5〕・1311〔応長元年正記、園太暦目録〕

藤井貞文・小林花子校訂

師守記

もろもりき

全11冊揃本体73,900円

全11冊・完結

- ①ISBN4-7971-0282-9 (2回配本 1968)
286頁 本体3,800円
- ②ISBN4-7971-0285-3 (5回配本 1969)【残部僅少】
296頁 本体3,800円
- ③ISBN4-7971-0289-6 (9回配本 1969)
302頁 本体4,100円
- ④ISBN4-7971-0295-0 (15回配本 1970)
322頁 本体4,800円【残部僅少】
- ⑤ISBN4-7971-0301-9 (21回配本 1972)
314頁 本体6,800円
- ⑥ISBN4-7971-0305-1 (25回配本 1972)
340頁 本体7,200円
- ⑦ISBN4-7971-0317-5 (37回配本 1973)
354頁 本体7,600円
- ⑧ISBN4-7971-0320-5 (40回配本 1974)
296頁 本体6,800円
- ⑨ISBN978-4-8406-3325-3 (44回配本 1975)【OD版】
296頁 本体9,000円
- ⑩ISBN978-4-8406-3316-1 (49回配本 1976)【OD版】
322頁 本体10,000円
- ⑪ISBN978-4-8406-3317-8 (63回配本 1982)【OD版】
310頁 本体10,000円

少外記中原師守(大外記師右二男、兄は師茂)自筆の日記が残る。原本は『師茂記』と題されているが、実について『師守記』とする。中原家は、代々局務に携って大少外記を世襲し明経道の博士家として著名である。日々、始めに一家内の動静を、後に世事や外記局務の書留を記している。南北朝動乱期の政治経済・社会状況を知る上で貴重であり、特に両朝の講和・合体に至る交渉を知る数少ない史料。詳細索引付。

【収録】

- ①1339〔暦応2〕～1341〔暦応4〕
- ②1342〔康永元〕～1345〔康永4〕
- ③1345〔康永4〕～1346〔貞和2〕
- ④1347〔貞和3〕～1348〔貞和4〕
- ⑤1349〔貞和5〕～1356〔延文元〕
- ⑥1362〔貞治元〕～1363〔貞治2〕
- ⑦1364〔貞治3〕
- ⑧1364〔貞治3〕～1365〔貞治4〕
- ⑨1366〔貞治5〕～1367〔貞治6〕
- ⑩1367〔貞治6〕～1374〔応安7〕
- ⑪補遺・正誤・人名索引・件名索引(語句・事項・地名・社寺を収め、勘例があるものは、各項の終りに掲げる)／解題(藤井貞文)／師守周囲の中原家の人々(小林花子)



小川剛生校訂

迎陽記

こうようき

全2冊揃本体27,000円

全2冊・完結

- ①ISBN978-4-8406-5160-8 (160回配本 2011.3)
224頁 本体13,000円
- ②ISBN978-4-8406-5188-2 (188回配本 2016.12)
312頁 本体14,000円



菅原氏の儒者で公卿の東坊城秀長(1338-1411)の日記。「迎陽」は、秀長の号。記録の乏しい南北朝期における根本史料の一つであるが、ごく一部の記事が『大日本史料』に分載されているだけで、承らく未刊のままであった。今回、善本を選定し、全文を翻刻する。

【収録】

- ①1379・1380年〔康暦元・同2〕・同紙背文書 1398・1399・1401年〔応永5・6・8〕
- ②改元記・別記・解題・索引

村田正志・榎原雅治・小瀬玄士校訂

兼 宣 公 記

かねのぶこうき

全3冊・既刊①②

①ISBN978-4-8406-5196-7 (196回配本 2018.5)

新訂増補版 440頁 本体19,000円

②ISBN978-4-8406-5165-3 (165回配本 2012.11)
260頁 本体13,000円

贈内大臣広橋兼宣(1366-1429)の日記。兼宣は仲光の子で、応永32年(1425)准大臣となり、同年出家して常寂と号した。至徳・明德・応永・正長年間の分が伝存する。兼宣は、伯母が崇賢門院で、足利義満および義持に忠勤して栄達したので、その記事は、室町時代初期の政治・社会の研究に重要な史料とされる。

【収録】

①1387〔至徳4〕～1422〔応永29〕

②1423〔応永30〕～1424〔応永31〕

臼井信義・嗣永芳照・小森正明校訂

教 言 卿 記

のりとぎきょうき

全4冊・完結

①ISBN978-4-8406-3259-1 (10回配本 1970)【OD版】
280頁 本体9,000円②ISBN978-4-8406-3260-7 (20回配本 1971)【OD版】
288頁 本体9,000円③ISBN978-4-8406-3261-4 (38回配本 1974)【OD版】
248頁 本体8,000円④ISBN978-4-8406-5154-7 (154回配本 2009.1)
384頁 本体14,000円

中納言正二位山科教言(1328-1410)の日記。応永12年(1405)山科家は火災にあい累代の記録を亡失したが、その後をうけて書き続けた日記。この時代には他にあまり記録がなく貴重。教言は足利義満の寵遇をうけ、また山科家が代々内蔵頭となるのもこの時からなので、義満の行動や寮領支配を知る好個の史料である。また禅僧の往来や、音楽・医薬関係の記事も豊富。

教興卿記〔教言卿記第3と合冊〕

「教興卿記」は従二位権中納言山科教興(1340-1418)の日記。教興は父教言の後を嗣ぎ内蔵頭となり、参議に任じた。その日記も『教言卿記』の後をうけて応永17年(1410)から同24年まで断続して残されている。

【収録】

①1405〔応永12〕～1406〔応永13〕

②1407〔応永14〕～1408〔応永15〕

③1408〔応永15〕～1410〔応永17〕・教興卿記

④応永年中樂方記

1405〔応永12〕～1413〔応永20〕・紙背文書

豊田武・飯倉晴武校訂

山 科 家 礼 記

やましなけらいき

全6冊・完結

①ISBN4-7971-0281-0 (1回配本 1967)
322頁 本体10,000円②ISBN4-7971-0284-5 (4回配本 1968)【残部僅少】
324頁 本体4,100円③ISBN978-4-8406-3305-5 (14回配本 1970)【OD版】
284頁 本体9,000円④ISBN978-4-8406-3306-2 (22回配本 1972)【OD版】
298頁 本体9,000円⑤ISBN4-7971-0315-9 (35回配本 1973)
362頁 本体7,800円⑥ISBN4-7971-1310-3 (130回配本 2002)【残部僅少】
338頁 本体11,000円

教言(1328-1409)・顕言(1428-1462)・言国(1452-1503)、三代の山科家雑掌大沢氏の記録。言国の時代を中心に、禁裏供御・装束関係の他、家領の実際の管理者の立場から、室町期内蔵寮・山科家領の実態が知られる。応仁・文明の乱は山科を中心に克明に記され、特に村落・座・土一揆・徳政関係では他にみられない記事が多く、社会経済史の好史料である。

詳細な索引(人名・件名・地名)を完備。

【収録】

①1412〔応永19〕～1468〔応仁2〕

②1468〔応仁2〕～1472〔文明4〕

③1477〔文明9〕～1481〔文明13〕

④1481〔文明13〕～1489〔長享3〕

⑤1489〔長享3〕～1492〔明応元〕

⑥索引(人名・件名・地名)



高橋隆三・小泉宜右校訂

経 覚 私 要 鈔

きょうがくしょうしょう

全11冊揃本体111,000円

- ①ISBN4-7971-0297-7 (17回配本 1971)
286頁 本体4,800円
- ②ISBN978-4-8406-3266-9 (28回配本 1973) 【OD版】
288頁 本体9,000円
- ③ISBN4-7971-0322-1 (42回配本 1975) 【残部僅少】
300頁 本体6,600円
- ④ISBN4-7971-0334-5 (54回配本 1977)
302頁 本体6,600円
- ⑤ISBN978-4-8406-3269-0 (72回配本 1985) 【OD版】
310頁 本体10,000円
- ⑥ISBN978-4-8406-3270-6 (133回配本 2002) 【OD版】
278頁 本体9,000円
- ⑦ISBN978-4-8406-3271-3 (150回配本 2008) 【OD版】
310頁 本体10,000円
- ⑧ISBN978-4-8406-5163-9 (163回配本 2012.3)
292頁 本体13,000円
- ⑨ISBN978-4-8406-5167-7 (167回配本 2013.5)
328頁 本体13,000円
- ⑩ISBN978-4-8406-5197-4 (197回配本 2018.6)
264頁 本体13,000円
- ⑪ISBN978-4-8406-5206-3 (206回配本2019.12)
358頁 本体16,000円

九条経教の子で、奈良興福寺別当を四度勤めた、同寺大乘院第18世門主経覚(1395-1473)の日乗である。『私要鈔』の名は日乗の表紙に題せられたもので、日録は66冊。応永22年(1415)より文明4年(1472)におよぶ。興福寺内の寺務・寺領支配から国人の動向、大和の情勢、京都の動静にまで及び、室町期の政治・社会・経済史研究の好史料である。

【収録】

- ①1415 [応永22]～1448 [文安5]
②1449 [文安6]～1451 [宝徳3]
③1452 [宝徳4]～1457 [長禄元]
④1458 [長禄2]～1460 [長禄4]
⑤1461 [寛正2]～1462 [寛正3]
⑥1462 [寛正3]～1464 [寛正5]
⑦1465 [寛正6]～1468 [応仁2]
⑧1469 [応仁3]～1471 [文明3] 6月
⑨1471 [文明3] 7月～1472 [文明4] 9月・別記
⑩別記・解題
⑪正誤表・経覚年譜



峰岸純夫・川崎千鶴校訂

松 陰 私 語

しょういんしご

全1冊

ISBN978-4-8406-3338-3 (161回配本2011.6) 【OD版】
304頁 本体10,000円 【OD版】



上野国長楽寺の僧松陰が主家である新田岩松家の陣僧として、関東の戦場を廻ったことを臨場感あふれた口調で語る回想録。関東戦国史の幕開け、享徳の乱の根本史料に厳密な校訂を施し、参考史料と種々の付録にて本史料の決定版として刊行する。

【収録】

- 1416 [応永23]～1502-1521 [永正年間]
解題・[参考史料 太田道灌状・新田岩松之系図付録]・
解説・索引

小泉宜右・海老澤美基校訂

三 箇 院 家 抄

さんかいんげしょう

全2冊・完結

全2冊揃本体18,000円

- ①ISBN978-4-8406-3300-0 (61回配本 1981) 【OD版】
270頁 本体9,000円
- ②ISBN978-4-8406-3301-7 (67回配本 1984) 【OD版】
298頁 本体9,000円

一条兼良の子で、興福寺大乘院第20代門跡尋尊(1430-1508)の記録。興福寺大乘院や関連寺院の血脈相承次第よりはじまって、別当・坊官職の次第、補任の他、大乘院の年中調進物、公事・夫役の編成、院家から衆徒・国民の給分までを記す。本書は、大乘院の荘園関係史料の集大成というべきもので、『経覚私要鈔』と併せみることにより、中世寺院経済史の好史料となる。



藤井貞文・小林花子校訂

師郷記

もろさとき

全6冊・完結

全6冊揃本体48,500円

- ①ISBN978-4-8406-3309-3 (70回配本 1985)【OD版】
240頁 本体8,000円
- ②ISBN4-7971-0353-1 (73回配本 1985)【残部僅少】
226頁 本体5,500円
- ③ISBN978-4-8406-3311-6 (77回配本 1986)【OD版】
250頁 本体8,000円
- ④ISBN978-4-8406-3312-3 (81回配本 1987)【OD版】
278頁 本体9,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-3313-0 (84回配本 1988)【OD版】
276頁 本体9,000円
- ⑥ISBN978-4-8406-3314-7 (126回配本 2001)【OD版】
272頁 本体9,000円

大外記中原師郷自筆。応永27年(1420)正月から長禄2年(1458)12月まで、永享8年を欠きほぼ続く。『師守記』と同じく外記局務の書留で、政務・朝儀に関する記録を主とし、世上の事件についての師郷の見聞も併記されている。師茂・師守の家が六角と称され、師郷の家は押小路といわれた。六角家の断絶後、外記局務の記録は押小路家に伝えられたものと推定される。

- 【収録】①1420〔応永27〕～1432〔永享4〕
②1433〔永享5〕～1438〔永享10〕
③1439〔永享11〕～1444〔嘉吉4〕
④1445〔文安2〕～1448〔文安5〕
⑤1449〔文安6〕～1454〔享徳3〕
⑥1455〔享徳4〕～1458〔長禄2〕・索引・解題



野村朋弘・比企貴之校訂

氏経卿神事記

うじつねきょうしんじき

全2冊・完結

全2冊揃本体29,000円

- ①ISBN978-4-8406-5187-5 (187回配本 2016.9)
304頁 本体14,000円
- ②ISBN978-4-8406-5207-0 (207回配本)
324頁 本体15,000円

伊勢神宮・内宮の正員禰宜であった荒木田氏経(1402-1487)の日記を、近世以来の書写の系統を考証し、復元して翻刻する。氏経は、荒木田氏族・藤波家の人。応永9年(1402)に、藤波氏貫の次男として誕生。永享4年に正員禰宜(十禰宜)に選出され着任し、以後は次第累進を重ね、一禰宜に昇進して式年遷宮を奉仕し、亡くなるまでの四半世紀余り内宮政務を執った。

- 【収録】①1432〔永享4〕～1462〔寛正3〕
②1463〔寛正4〕～1486〔文明18〕
解題・附録・索引



竹内秀雄・山田雄司校訂

北野社家日記

きたのしゃけにつき

全9冊・既刊①-⑧

既刊8冊揃本体61,800円

- ①ISBN4-7971-0303-5 (23回配本 1972)
302頁 本体6,600円
- ②ISBN4-7971-0304-3 (24回配本 1972)
284頁 本体6,200円
- ③ISBN4-7971-0307-8 (27回配本 1972)
276頁 本体6,200円
- ④ISBN4-7971-0311-6 (31回配本 1973)
320頁 本体7,000円
- ⑤ISBN4-7971-0313-2 (33回配本 1973)【残部僅少】
309頁 本体6,800円
- ⑥ISBN4-7971-0316-7 (36回配本 1973)【残部僅少】
322頁 本体7,000円
- ⑦ISBN4-7971-1307-3 (127回配本 2001)【残部僅少】
278頁 本体9,000円
- ⑧ISBN978-4-8406-5159-2 (159回配本 2011.2)
320頁 本体13,000円

宝徳元年(1449)から寛永4年(1627)に及ぶ北野天満宮の祠官松梅院歴代の日次記。当時の社会・政治の動向は勿論、北野天満宮の年中行事、法制、社領の推移、諸神人、散所と河原者の活動にも詳しい。また、室町以来盛行した連歌は文学神の北野社と緊密に結合し、連歌会所は興隆を極めた。数多の連歌をはじめとする文学・芸能・民俗史の貴重な資料をも豊富に提供する。

- 【収録】①1449〔宝徳元〕～1489〔延徳元〕
②1490〔延徳2〕～1491〔延徳3〕
③1491〔延徳3〕～1492〔明応元〕
④1493〔明応2〕～1591〔天正19〕
⑤1594〔文禄3〕～1600〔慶長5〕
⑥1601〔慶長6〕～1627〔寛永4〕
⑦1441〔嘉吉元〕～1515〔永正12〕抄録・別記
⑧1458〔長禄2〕～1557〔弘治3〕



飯倉晴武校訂

長興宿禰記

ながおきすくねき

全1冊

ISBN4-7971-1295-6 (115回配本 1998)
296頁 本体9,000円

官務家の小槻(大宮)長興の日記。文明7年(1457)から長享元年(1487)にわたる写本が伝わる。内閣文庫本を底本とし、新たに校訂、刊行する。記事は断続し、抄出本と思われるが、応仁・文明の乱後の社会情勢に詳しく、洛中洛外の動向などが記され、乱後の根本史料の一つである。『実隆公記』『康富記』『師郷記』等との併読により一層理解が深まる。巻末に詳細索引を付す。

- 【収録】1457〔文明7〕～1487〔長享元〕・索引



飯倉晴武校訂

親長卿記

ちかながきょうき

全5冊・既刊①-③

既刊3冊揃本体30,000円

- ①ISBN4-7971-1302-2 (122回配本 2000)
272頁 本体9,000円
- ②ISBN4-7971-1312-X (132回配本 2002)【残部僅少】
290頁 本体10,000円
- ③ISBN4-7971-1326-X (146回配本 2006)
296頁 本体11,000円

甘露寺親長(1424-1500)の文明2年(1470)から明応7年(1498)にわたる日記。宮内庁書陵部所蔵の写本を底本とし、同所蔵の諸本と校合して翻刻する。親長は後花園・後土御門両天皇からその学識によって信任された。本記は、応仁の乱中から乱後にいたる公武の動静から、自身を含めた公家社会の生活、土一揆の様子等が記されており、政治・経済・社会の好史料である。

【収録】

- ①1470〔文明2〕～1473〔文明5〕
②1474〔文明6〕～1477〔文明9〕
③1478〔文明10〕～1482〔文明14〕



豊田武・田沼睦・飯倉晴武校訂

言国卿記

ときくにきょうき

全8冊・完結

全8冊揃本体65,200円

- ①ISBN978-4-8406-3280-5 (8回配本 1969)【OD版】
294頁 本体9,000円
- ②ISBN978-4-8406-3281-2 (43回配本 1975)【OD版】
284頁 本体9,000円
- ③ISBN978-4-8406-3282-9 (46回配本 1975)【OD版】
270頁 本体9,000円
- ④ISBN978-4-8406-3283-6 (53回配本 1977)【OD版】
278頁 本体9,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-3284-3 (55回配本 1977)【OD版】
246頁 本体8,000円
- ⑥ISBN978-4-8406-3285-0 (56回配本 1978)【OD版】
240頁 本体8,000円
- ⑦ISBN4-7971-0349-3 (69回配本 1984)【残部僅少】
230頁 本体5,200円
- ⑧ISBN978-4-8406-3287-4 (100回配本 1995)【OD版】
248頁 本体8,000円

山科言国(1452-1503)の日記。言国は言継の祖父で言経の曾祖父。山科家は、音楽の家として知られ、また教言以来、代々内蔵頭を兼ねる家である。その日記・記録は、職掌関係や音楽の記事に詳しく、所領関係のものも多く含まれる。日次記は文明6年(1474)から文亀2年(1502)まで現存し、応仁・文明の乱から戦国初期にかけての京都情勢にも多く筆を費している。

【収録】

- ①1474〔文明6〕～1475〔文明7〕
②1475〔文明7〕～1478〔文明10〕
③1478〔文明10〕～1481〔文明13〕
④1481〔文明13〕～1493〔明応2〕
⑤1494〔明応3〕～1495〔明応4〕
⑥1498〔明応7〕
⑦1501〔文亀元〕
⑧1502〔文亀2〕



奥野高廣・片山勝校訂

十輪院内府記

じゅうりんいんないふき

全1冊

ISBN4-7971-0306-X (26回配本 1972)
314頁 本体8,000円

内大臣中院通秀(1428-1493)の文明9年(1477)から長享2年(1488)までのうち、文明10年を欠く11年間の日記。足利義政・義尚時代の宮廷・幕府の実状と世情の動向を活写する。定家自筆の伊勢物語を校合するなど、学芸史料も多く、『親長卿記』『実隆公記』等とともに主要な記録である。また、通秀を媒介として『園太暦』が今に伝えられたことは夙に著名である。

【収録】

- 1477〔文明9〕～1488〔長享2〕



小泉宜右校訂

政覚大僧正記

せいがかだいそうじょうき

全3冊・既刊①②

既刊2冊揃本体16,600円

- ①ISBN4-7971-0367-1 (87回配本 1989)
300頁 本体6,600円
- ②ISBN4-7971-1282-4 (102回配本 1995)
328頁 本体10,000円

関白二条持通の子で、奈良興福寺別当となった大乘院政覚大僧正(1453-1494)の日記。文明15年(1483)から明応3年(1494)に至る別当在任中の「寺務方記」と題す日記を主とし、引付・雑記類を含む全32巻を収録する。『経覚私要鈔』『三箇院家抄』と併せみることにより大和を中心とする応仁の乱前後の畿内の情勢、寺内の寺務・寺領支配等を知る上で重要な史料。

【収録】

- ①1479〔文明11〕～1486〔文明18〕
②1487〔文明19〕～1489〔延徳元〕



今泉淑夫校訂

鹿苑院公文帳

ろくおんいんくもんちょう

全1冊

ISBN4-7971-1288-3 (108回配本 1996)
320頁 本体10,000円

日本の禅宗制度における五山・十刹・諸山の別にしたがって、室町中期から江戸初期にかけての各寺の住持任命書である公帖を受領した僧名を、原則として年代順に列記し、公帖発給の年月日とその事情などを付記したものである。今回新発見の相国寺慈照院所蔵本を底本として刊行する。各人の公帖を検討することにより、禅宗寺院の制度の推移や任命の事情を知ることができる。

【収録】

- 五山位次簿・十刹位次簿・諸山位次簿・解説・索引



芳賀幸四郎校訂

元 長 卿 記

もとながきょうき

ISBN978-4-8406-3279-9 (30回配本 1973) 【OD版】
366頁 本体11,000円

全1冊



甘露寺元長(1457-1527)の日記。元長は『親長卿記』で知られる親長の子である。本記は延徳2年(1490)から大永5年(1525)までのうち、永正13・15・16年の3ヶ年を除く33年分の日記で、応仁の乱後の約3分の1世紀にわたる。当時の朝廷の儀式や和歌・連歌の会、京都の動勢や世相の他、経済的にも零落した当時の公家社会の生活の実態を知る好史料。

【収録】

1490〔延徳2〕～1525〔大永5〕

中世公家日記研究会

(鶴崎裕雄・湯川敏治・森田恭二・柴田真一) 編

守 光 公 記

もりみつこうき

全2冊揃本体32,000円

①ISBN 978-4-8406-5198-1 (198回配本2018.8)

346頁 本体14,000円

②ISBN 978-4-8406-5208-7 (208回配本2020.11)

424頁 本体18,000円

全2冊・完結



戦国時代に長期にわたって武家伝奏を勤めた公卿広橋守光(1471～1526)の日記である。永正4年(1507)から同18年(1521、9月に大永元年と改元)までの日次記と別記を31年の歳月をかけ、初の全文翻刻。本日記から武家伝奏として、公武間の折衝に心を砕く守光の実像がみえてくる。この時期の政治史の一級史料であることは勿論だが、武家方の記録のない事柄について貴重な知見を提供してくれる。解題と詳細な索引を付して刊行する。

【収録】

①1507〔永正4〕～1513〔永正10〕

②1514〔永正4〕～1521〔永正18〕

別記 永正7年4月～永正17年3月

解題・索引(人名・地名・寺社名・事項・文書名一覧)

峰岸純夫校訂

長 楽 寺 永 禄 日 記

ちょうらくじえいろくにつき

ISBN4-7971-1315-4 (135回配本 2003)

416頁 本体14,000円

全1冊



上野国新田荘世良田長楽寺住持の賢甫義哲によって、永禄8年(1565)正月～9月に記述された日記。本書は、『群馬県史』に収められ、東国戦国史の貴重な史料として利用されてきた。今回、新たに原本をもとに校注を加えて翻刻し、詳細な解題・用語解説・総索引を加えて刊行する。永禄8年当時の、長楽寺や上野国新田領をとりまく周辺諸国と戦国社会を考える上での一級史料である。

【収録】1565〔永禄8〕

解題・〔参考史料 新旧金山伝記〕・用語解説・総索引

斎木一馬・染谷光広・橋本政宣・金子拓・堀新・遠藤珠紀・渡邊江美子校訂

兼 見 卿 記

かねみきょうき

既刊7冊揃本体91,000円

①ISBN978-4-8406-5171-4 (171回配本 2014.5)

280頁 本体13,000円

②ISBN978-4-8406-5172-1 (172回配本 2014.5)

266頁 本体13,000円

③ISBN978-4-8406-5173-8 (173回配本 2014.5)

312頁 本体13,000円

④ISBN978-4-8406-5178-3 (178回配本 2015.5)

266頁 本体13,000円

⑤ISBN978-4-8406-5183-7 (183回配本 2016.4)

304頁 本体13,000円

⑥ISBN978-4-8406-5190-5 (190回配本 2017.5)

272頁 本体13,000円

⑦ISBN978-4-8406-5203-2 (203回配本2019.8)

250頁 本体13,000円

全8冊・既刊①～⑦



神祇大副吉田兼見(1535-1610)の日記。兼見は吉田神道の宗家、吉田社神主の家職を承けて神道管領長上を称し、全国の神職に対して、補任その他神道伝授等につき絶大なる権勢があった。神事に関する記載のほか、変転する中央政界の情勢、特に信長・秀吉・家康らの有力武将達の動静に詳しく、社会および学芸等に関する記載も豊富で、当時の最も重要な史料である。

【収録】

①新訂増補版 1570〔元亀元〕～1581〔天正9〕

②新訂増補版 1582〔天正10〕～1584〔天正12〕

③1585〔天正13〕～1587〔天正15〕

④1588〔天正18〕～1590〔天正20〕

⑤1593〔文禄2〕～1595〔文禄4〕

⑥1596〔慶長元〕～1608〔慶長13〕

⑦1609〔慶長14〕～1610〔慶長15〕

天正5・同8年の別記

鎌田純一・藤本元啓校訂

舜 旧記

しゅんきゆうき

全8冊揃本体71,000円

全8冊・完結

- ①ISBN978-4-8406-3330-7 (12回配本 1970) 【OD版】
308頁 本体10,000円
- ②ISBN978-4-8406-3331-4 (32回配本 1973) 【OD版】
268頁 本体9,000円
- ③ISBN978-4-8406-3332-1 (51回配本 1976) 【OD版】
270頁 本体9,000円
- ④ISBN978-4-8406-3333-8 (59回配本 1979) 【OD版】
238頁 本体8,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-3334-5 (64回配本 1983) 【OD版】
266頁 本体8,000円
- ⑥ISBN978-4-8406-3335-2 (98回配本 1994) 【OD版】
292頁 本体9,000円
- ⑦ISBN978-4-8406-3336-9 (105回配本 1996) 【OD版】
284頁 本体9,000円
- ⑧ISBN978-4-8406-3337-6 (120回配本 1999) 【OD版】
296頁 本体9,000円

吉田兼右の子、兼見の弟、神道家梵舜(1553-1632)の30歳より歿年までの日記。京都吉田山下の神龍院の住職で、兄兼見とともに豊国社の創立に功労があり、のちに家康に神道伝授を約束した事もあった。元和2年(1616)家康を久能山に葬った際、天海と争った事は有名である。朝廷にも関係があり、当時の中央における諸般の情勢をみる上で貴重な史料の一つである。書名、文芸・芸能索引付。

【収録】

- ①1583 [天正11]～1601 [慶長6]
②1602 [慶長7]～1606 [慶長11]
③1607 [慶長12]～1612 [慶長17]
④1613 [慶長18]～1616 [元和2]
⑤1616 [元和2]～1620 [元和6]
⑥1622 [元和8]～1626 [寛永3]
⑦1627 [寛永4]～1630 [寛永7]
⑧1631 [寛永8]～1632 [寛永9] 解説・索引



近衛通隆・名和修・橋本政宣校訂

三 藐 院 旧記

さんみやくいんき

ISBN978-4-8406-3302-4 (45回配本 1975) 【OD版】

242頁 本体8,000円

全7冊・既刊①-④

近衛家第17代、関白信尹(1565-1614)の日記。信尹が左大臣となった天正13年は秀吉の権勢が確立した時期であった。直情径行にして、秀吉の征韓に従わんとし勅勘を蒙り薩摩に配せられた。本記には、この下向記をはじめ、天正18年より慶長15年までの自筆日記を収める。当時の政情のみならず、書道・和歌・連歌等文化史の資料としても重要。

【収録】

- 1590 [天正18]～1610 [慶長15]



宝月圭吾・弥永貞三・酒井信彦校訂

義 演 准 后 日 記

ぎえんじゅごうにつき

全7冊・既刊①-④

- ①ISBN4-7971-0328-0 (48回配本 1976)
329頁 本体7,400円
- ②ISBN978-4-8406-3255-3 (65回配本 1984) 【OD版】
364頁 本体11,000円
- ③ISBN978-4-8406-3256-0 (71回配本 1985) 【OD版】
274頁 本体9,000円
- ④ISBN978-4-8406-3257-7 (145回配本 2006) 【OD版】
286頁 本体9,000円

二条晴良の子、足利義昭の猶子、醍醐寺義演(1558-1626)の日記。秀吉の帰依をうけ、北政所・秀頼の外護により醍醐寺を造営した。本記は、慶長元年から寛永3年におよぶもので、当時の寺院の修法や行事等に詳しいのは勿論、近世初期の政治情勢を窺うべき記事が豊富である。また庭園や建築の歴史を究める上で不可欠の史料とされ、慶長3年(1598)の醍醐の花見の記事は夙に有名。

【収録】

- ①1596 [文禄5]～1598 [慶長3]
②1599 [慶長4]～1601 [慶長6]
③1602 [慶長7]～1604 [慶長9]
④1605 [慶長10]～1607 [慶長12]



春日大社編／中臣祐範記研究会校訂

中 臣 祐 範 旧記

なかとみすけのりき

全3冊揃本体45,000円

全3冊・完結

- ①ISBN978-4-8406-5181-3 (181回配本 2015.8)
314頁 本体15,000円
- ②ISBN978-4-8406-5186-8 (186回配本 2016.8)
284頁 本体15,000円
- ③ISBN978-4-8406-5192-9 (192回配本 2017.11)
312頁 本体15,000円

春日大社の社家・正預、中臣(東地井)祐範(1542-1623)の日記。慶長3年(1598)から元和9年(1623)におよぶ。祐範は、豊臣政権から江戸幕府へと移行する激動の時代にあつて、造替を実現するなど春日社を支え続けた。また、喜多院空実から古今伝授を受けるなど文芸にも秀で、多くの文人たちとの交流もあった。本日記は、近世初期の大和国と周辺地域の歴史・文芸の研究に必要な不可欠の史料である。初の全文翻刻。

【収録】

- ①1598 [慶長3]～1604 [慶長9]
②1605 [慶長10]～1615 [慶長20]
③1616 [元和2]～1623 [元和9]



徳川林政史研究所編

源敬様御代御記録

げんけいさまごだいごきろく

全4冊・完結

全4冊揃本体60,000円

- ①ISBN978-4-8406-5180-6 (180回配本 2015.7)
280頁 本体15,000円
- ②ISBN978-4-8406-5185-1 (185回配本 2016.7)
308頁 本体15,000円
- ③ISBN978-4-8406-5195-0 (195回配本 2018.2)
292頁 本体15,000円
- ④ISBN978-4-8406-5201-8 (201回配本 2019.6)
290頁 本体15,000円



尾張徳川家の初代藩主、徳川義直（源敬様・家康9男、1600-1650）の出生から歿後の49日までの尾張藩の公式記録。本記録により、義直、尾張藩と徳川將軍家や水戸・紀伊徳川家、松平諸家との関係が具体的にわかる。また、家康、秀忠、家光との関係が時系列をたどりながら知ることが可能となる。尾張藩の詳細な人事の記録、城下町の形成、諸家との交流など、記録の少ない近世初期の重要な史料である。

【収録】

- ①1600〔慶長5〕～1630〔寛永7〕
②1631〔寛永8〕～1639〔寛永16〕
③1640〔寛永17〕～1646〔正保3〕
④1647〔正保4〕～1650〔慶安3〕

山本武夫校訂

慶長日記

けいちょうにつけんろく

全2冊・完結

全2冊揃本体14,000円

- ①ISBN978-4-8406-3263-8 (60回配本 1981)【OD版】
230頁 本体7,000円
- ②ISBN4-7971-1287-5 (107回配本 1996)
226頁 本体7,000円【残部僅少】



式部少輔船橋秀賢（1575-1614）の慶長5年（1600）から同18年（1613）におよぶ日記。船橋（高倉）家は清原氏にして明経道の家。秀賢は、儒学者として知られる宣賢4代の孫で、後陽成・後水尾両天皇の侍読を勤めた碩学である。そのため本記は、朝廷・廷臣の学問に関する記事に富み、近世初頭における学芸関係史料として重んじられる。当時の世情を知る史料としても利用価値が高い。

【収録】

- ①1600〔慶長5〕～1605〔慶長10〕
②1605〔慶長11〕～1613〔慶長18〕

林観照校訂

慈性日記

じしょうにつき

全2冊・完結

全2冊揃本体23,000円

- ①ISBN4-7971-1303-0 (123回配本 2000)
264頁 本体9,000円
- ②ISBN4-7971-1308-1 (128回配本 2001)【残部僅少】
314頁 本体14,000円



大納言日野資勝の子、尊勝院慈性の慶長19年（1614）から寛永20年（1643）の30年におよぶ日記。尊勝院は京都青蓮院の院家の一つ。また、尊勝院は多賀大社の別当不動院を兼帯しており、多賀大社の再興造営の記事の他、朝廷や武家社会で当代一流の人物と親交を深め、見るべき記事が多い。近世初頭の貴重な個人日記であり、政治・経済・天台宗史研究上必備の記録。

【収録】

- ①1614〔慶長19〕～1626〔寛永3〕
②1627〔寛永4〕～1643〔寛永20〕

武部敏夫・川田貞夫・本田慧子校訂

泰重卿記

やすしげきょうき

全4冊・既刊①-③

既刊3冊揃本体26,000円

- ①ISBN4-7971-0375-2 (95回配本 1993)
250頁 本体8,000円
- ②ISBN4-7971-1293-X (113回配本 1998)
280頁 本体8,000円
- ③ISBN4-7971-1318-9 (138回配本 2004)
274頁 本体10,000円



陰陽頭土御門泰重（1586-1661）の日記。慶長20年（1615）から正保5年（1648）におよぶ。その家の職務とする陰陽道・天文道関係の記事もさることながら、公家の記録の少ない江戸時代初期の宮内における学問・芸能の講習をはじめ、学芸関係の記事に詳しく、また時あたかも徳川幕府の創業期にあたり、当時の公家社会と朝幕関係を見るべき好資料である。

【収録】

- ①1615〔元和元〕～1619〔元和5〕
②1620〔元和6〕～1624〔寛永元〕
③1625〔寛永2〕～1630〔寛永7〕

近衛通隆・名和修・橋本政宣校訂

本源自性院記

ほんげんじしょういんき

全1冊

ISBN4-7971-0330-2 (50回配本 1976)

260頁【品切】



後陽成天皇の第2皇子で、関白近衛信尹に養われてその後を嗣いだ信尋（1599-1649）の日記。信尋は当代一流の文化人で、茶湯を古田重然、立花は池坊専好に師事、書は三藐院流の第一の名手として著名である。同腹の長兄後水尾天皇を中心とする近衛第の文化的サロンは、宮廷文化を広く社会一般に伝播する経路となった点で、近世文化史上の近衛信尋の存在意義は大きい。

【収録】

- 1621〔元和7〕～1643〔寛永20〕

上田純一校訂

京都金地院公文帳

きょうとこんちいんくもんちょう

全1冊

ISBN978-4-8406-5147-9 (147回配本 2007)

368頁 本体13,000円

江戸幕府より五山・十刹・諸山禅寺の住持就任を希望する禅僧らに与えられた公帖(公文)と関係書類の控。寛永12年(1635)寺社奉行が置かれて僧録が有名無実となるまで、崇伝の許に集った禅宗寺院就任希望に関する書類の控を集める。公帖申請から発給までの手続きだけでなく、儀式次第の内容や幕府・僧録に対する礼金などが窺える。初代以心崇伝より12世住持蒼溟元方までの金地院の略史「御由緒之儀申上覚」を付録。

【収録】「出世大望之衆日子留書付連署等」

1619〔元和5〕～1630〔寛永7〕

「御由緒之儀申上覚」



徳川林政史研究所編

瑞龍公実録

ずいりゅうこうじつろく

全1冊

ISBN978-4-8406-5213-1 (213回配本 2022.3)

414頁 本体18,000円

尾張徳川家の2代当主、徳川光友(1625-1700)の事績録を初の全文翻刻。光友の藩主就任からはじまり、死去の翌年元禄14年(1701)の御霊屋作事が完了するまでを編年体で記述。付録として「瑞龍院様御代奉書並御書付類之奉書」(尾張藩が編纂した文書集)111通を収める。関係系図・関係年譜を付録。

【収録】

1650〔慶安3〕～1701〔元禄14〕



山本武夫校訂

国史館日録

こくしかんにちろく

全5冊・完結

全5冊揃本体49,000円

①ISBN4-7971-1290-5 (110回配本 1997) 【残部僅少】

310頁 本体10,000円

②ISBN4-7971-1294-8 (114回配本 1998) 【残部僅少】

268頁 本体9,000円

③ISBN4-7971-1296-4 (116回配本 1998)

308頁 本体10,000円

④ISBN4-7971-1297-2 (117回配本 1999) 【残部僅少】

288頁 本体9,000円

⑤ISBN4-7971-1323-5 (143回配本 2005)

280頁 本体11,000円

林羅山の子、鷲峯の寛文2年(1662)から延宝7年(1679)に至る日記。『本朝通鑑』編纂の幕命を受けてより、完成及び残務始末に至る間の記事を主とし、あわせて家塾の活動や私事も記す。その編集所を国史館としたので、この名がある。この日録は、その始終について毎日詳細に記され、その経緯を知るに重要な史料である。修史関係のみでなく、幕政・幕閣や諸大名の人物論等も見られる。

【収録】

①1662〔寛文2〕～1666〔寛文6〕

②1666〔寛文6〕～1667〔寛文7〕

③1668〔寛文8〕～1669〔寛文9〕

④1669〔寛文9〕～1670〔寛文10〕

⑤1671〔寛文11〕～1679〔延宝7〕・南塾乘



今江廣道・小沼修一校訂

通誠公記

みちともこうき

全10冊・既刊①②

既刊2冊揃本体16,000円

①ISBN4-7971-0365-5 (85回配本 1988)

364頁 本体8,000円

②ISBN4-7971-0369-8 (89回配本 1990)

308頁 本体8,000円

内大臣従一位久我通誠(1660-1719)の、貞享元年(1684)から歿年に至るまでの日記を、宮内庁書陵部所蔵の自筆原本によって翻刻する。通誠は、霊元・東山・中御門天皇の信任も篤く、神宮伝奏や議奏などの重職に就任しており、江戸時代中頃の公家社会を知り得る好史料である。江戸時代の公家日記の全文翻刻は、幕末のものを除いては、本記が始めてのものである。

【収録】

①1684〔天和4〕～1687〔貞享4〕

②1689〔元禄2〕～1692〔元禄5〕



宮川葉子校訂

楽 只 堂 年 録

らくしどうねんろく

全10冊・既刊①-⑨

既刊9冊揃本体120,000円

- ①ISBN978-4-8406-3251-5 (162回配本 2011.7) 【OD版】
298頁 本体9,000円
- ②ISBN978-4-8406-5168-4 (168回配本 2013.6)
296頁 本体13,000円
- ③ISBN978-4-8406-5174-5 (174回配本 2014.6)
264頁 本体13,000円
- ④ISBN978-4-8406-5176-9 (176回配本 2015.3)
268頁 本体14,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-5182-0 (182回配本 2016.2)
252頁 本体14,000円
- ⑥ISBN978-4-8406-5193-6 (193回配本 2017.12)
264頁 本体14,000円
- ⑦ISBN978-4-8406-5199-8 (199回配本 2019.2)
256頁 本体14,000円
- ⑧ISBN978-4-8406-5205-6 (205回配本 2019.11)
268頁 本体14,000円
- ⑨ISBN978-4-8406-5210-0 (210回配本 2021.4)
344頁 本体15,000円

柳沢吉保の先代から記述が始まり、宝永6年(1709)吉里に家督を譲り引退するまでの公用日記。楽只堂は、徳川五代将軍綱吉の側用人柳沢吉保の号。元禄15年(1702)の火災により、それ以前の記録類を焼失した。吉保は、お抱えの学者である荻生徂徠に命じて各地に遺る記録類を収集所蔵、同年12月までに復元させた。大和郡山の柳沢文庫所蔵の原本を初めて全文翻刻する。

【収録】

- ①吉保先代(信定・信立・信俊・信吉・安忠)
1658 [万治元]～1695 [元禄8]
- ②1696 [元禄9]～1699 [元禄12]
- ③1700 [元禄13]～1702 [元禄15]
- ④1702 [元禄15]～1703 [元禄16]
- ⑤1704 [宝永元]～1705 [宝永2]
- ⑥1705 [宝永2]～1706 [宝永3]
- ⑦1706 [宝永3]～1707 [宝永4]
- ⑧1707 [宝永4]～1708 [宝永5]
- ⑨1709 [宝永6] 正月～6月・吉保の生涯



永島福太郎・林亮勝校訂

隆 光 僧 正 日 記

りゅうこうそうじょうにっき

全3冊・完結

全3冊揃本体23,800円

- ①ISBN978-4-8406-3404-5 (6回配本 1969) 【OD版】
314頁 本体10,000円
- ②ISBN4-7971-0291-8 (11回配本 1970) 【残部僅少】
298頁 本体3,800円
- ③ISBN978-4-8406-3406-9 (13回配本 1970) 【OD版】
326頁 本体10,000円



護持院隆光僧正(1649-1724)は徳川5代将軍綱吉の生母桂昌院の信任をうけ、綱吉の側近に侍して教俗両界を牛耳った。柳沢吉保と並んで文治主義を徹底させ、元禄文化時代の出現を促した。生類憐れみの令の発案者として、とかくその悪名のみが語られるが、この自筆日記から、隆光の真姿がさぐれようし、またこれを追うにいたった爛熟期徳川政権の実態が究明されるだろう。

【収録】

- ①1692 [元禄5]～1698 [元禄11]
- ②1699 [元禄12]～1704 [宝永元]
- ③1705 [宝永2]～1709 [宝永6]

坂本正仁校訂

護 国 寺 日 記

ごこくにっき

全5冊・完結

既刊5冊揃本体73,000円

- ①ISBN978-4-8406-5170-7 (170回配本 2014.7)
288頁 本体13,000円
- ②ISBN978-4-8406-5179-0 (179回配本 2015.6)
328頁 本体15,000円
- ③ISBN978-4-8406-5184-4 (184回配本 2016.5)
312頁 本体15,000円
- ④ISBN978-4-8406-5194-3 (194回配本 2018.1)
342頁 本体15,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-5202-5 (202回配本 2019.7)
370頁 本体15,000円



江戸幕府5代将軍、徳川綱吉の生母桂昌院開基の護国寺の役者が、元禄10年(1697)～宝暦8年(1757)にいたる公用日記。今回の翻刻にあたっては、護国寺所蔵の原本のうち、本寺院の歴史の上で、桂昌院及び將軍家の祈願所として最も活発な活動を見せた綱吉の時代に限り、元禄10年(1697)～宝永6年(1709)までを収録する。『楽只堂年録』『隆光僧正日記』『神田橋護持院日記』との併読により、ますます理解が深まるだろう。

【収録】

- ①1697 [元禄10]～1700 [元禄13]
- ②1701 [元禄14]～1702 [元禄15]
- ③1703 [元禄16]～1704 [宝永元]
- ④1705 [宝永2]～1706 [宝永3]
- ⑤1707 [宝永4]～1709 [宝永6]

坂本正仁校訂

神田橋護持院日記

かんだばしごじいんにっき

ISBN978-4-8406-5155-4 (155回配本 2010.2)

420頁 本体13,000円

全1冊

新義真言宗護持院の公用日記。徳川将軍家の祈願・祈禱を勤めた護持院の真姿を探る。本日記の記主は、護持院の役者である日輪院・月輪院。関係史料として収録の「護持院役者手鑑」は、上記両役者による執務上の手鑑。巻末の「御本卦御祈御頼帳」は、綱吉の本卦(61歳)にあたり、依頼先として御三家・御三卿をはじめ大名、旗本等、約1,000名が書き上げられている。『隆光僧正日記』と併読することで、元禄・宝永期における護持院の活動の全容を理解できる。



【収録】

公用日記 1702〔元禄15〕～1711〔正徳元〕
護持院役者手鑑・御本卦御祈御頼帳

妙法院史研究会

(村山修一・今中寛司・杉田善雄・三崎義泉・弓場苗生子)校訂

妙法院日記

みょうほういんひなみき

既刊25冊揃本体301,000円

全25冊・完結

京都東山七条にある天台の名刹妙法院の坊官が、元禄7年(1694)より明治9年(1876)まで約200年にわたって書継いできた同寺の記録。このうち寛政8年(1796)までを翻刻。寺の歴史だけに止まらず、朝廷・公家・京都所司代・町奉行などの動勢や、幕府の公家政策、京都の庶民生活、学問・芸術にわたる文化人の活動、天変天災の実情等、広汎な内容を含み、学界未知の史料が少なくない。



【収録】

①1694〔元禄7〕～1700〔元禄13〕
②1701〔元禄14〕～1707〔宝永4〕
③1709〔宝永6〕～1714〔正徳4〕
④1715〔正徳5〕～1720〔享保5〕
⑤1721〔享保6〕～1724〔享保9〕
⑥1725〔享保10〕～1729〔享保14〕
⑦1730〔享保15〕～1734〔享保19〕
⑧1735〔享保20〕～1737〔元文2〕
⑨1738〔元文3〕～1741〔寛保元〕
⑩1742〔寛保2〕～1745〔延享2〕
⑪1746〔延享3〕～1750〔寛延3〕
⑫1751〔宝暦元〕～1755〔宝暦5〕
⑬1756〔宝暦6〕～1758〔宝暦8〕
⑭1759〔宝暦9〕～1761〔宝暦11〕
⑮1762〔宝暦12〕～1764〔明和元〕
⑯1765〔明和2〕～1769〔明和6〕
⑰1770〔明和7〕～1774〔安永3〕
⑱1775〔安永4〕～1778〔安永7〕
⑲1779〔安永8〕～1783〔天明3〕
⑳1784〔天明4〕～1786〔天明6〕
㉑1787〔天明7〕～1788〔天明8〕
㉒1789〔寛政元〕～1790〔寛政2〕
㉓1791〔寛政3〕～1792〔寛政4〕
㉔1793〔寛政5〕～1794〔寛政6〕
㉕1795〔寛政7〕～1796〔寛政8〕

- ①ISBN4-7971-0348-5 (68回配本 1984)
296頁 本体6,400円
- ②ISBN4-7971-0354-X (74回配本 1985)
346頁 本体7,400円
- ③ISBN4-7971-0358-2 (78回配本 1986)
324頁 本体7,400円
- ④ISBN4-7971-0363-9 (83回配本 1987)
280頁 本体6,600円
- ⑤ISBN4-7971-0366-3 (86回配本 1988)
304頁 本体7,200円
- ⑥ISBN4-7971-0368-X (88回配本 1989)
418頁 本体10,000円
- ⑦ISBN4-7971-0370-1 (90回配本 1990)
410頁 本体10,000円
- ⑧ISBN4-7971-0372-8 (92回配本 1991)
444頁 本体14,000円
- ⑨ISBN4-7971-0374-4 (94回配本 1993)
428頁 本体14,000円
- ⑩ISBN4-7971-0377-9 (97回配本 1994)
376頁 本体12,000円
- ⑪ISBN4-7971-0379-5 (99回配本 1994)
360頁 本体12,000円
- ⑫ISBN4-7971-1283-2 (103回配本 1996)
424頁 本体14,000円
- ⑬ISBN4-7971-1289-1 (109回配本 1997)
392頁 本体13,000円
- ⑭ISBN4-7971-1292-1 (112回配本 1998)
488頁 本体14,000円
- ⑮ISBN4-7971-1299-9 (119回配本 1999)
512頁 本体15,000円 【残部僅少】
- ⑯ISBN4-7971-1301-4 (121回配本 2000)
340頁 本体11,000円 【残部僅少】
- ⑰ISBN4-7971-1305-7 (125回配本 2001)
378頁 本体14,000円 【残部僅少】
- ⑱ISBN978-4-8406-3386-4 (129回配本 2002) 【OD版】
368頁 本体11,000円
- ⑲ISBN978-4-8406-3387-1 (134回配本 2003) 【OD版】
432頁 本体13,000円
- ⑳ISBN978-4-8406-3389-5 (139回配本 2004) 【OD版】
386頁 本体12,000円
- ㉑ISBN978-4-8406-3390-1 (144回配本 2006) 【OD版】
416頁 本体13,000円
- ㉒ISBN978-4-8406-5151-6 (151回配本 2008.6)
448頁 本体15,000円
- ㉓ISBN978-4-8406-5158-5 (158回配本 2010.7)
352頁 本体15,000円
- ㉔ISBN978-4-8406-5169-1 (169回配本 2013.7)
328頁 本体15,000円
- ㉕ISBN978-4-8406-5204-9 (204回配本 2019.9)
372頁 本体17,000円

香取神宮史誌編纂委員会編

石川晶康・川島孝一・小川一義校訂

香取大禰宜家日記

かとりおおねぎけにつき

全4冊・①-③

既刊3冊揃本体45,000円

- ①ISBN4-7971-1281-6 (101回配本 1995)
698頁 本体15,000円
- ②ISBN4-7971-1317-0 (137回配本 2004)
616頁 本体15,000円
- ③ISBN978-4-8406-5152-3 (152回配本 2008.8)
596頁 本体15,000円
- ④続刊予定



香取神宮の旧社家である大禰宜家に伝わる元禄11年(1698)より宝暦7年(1757)にわたる日記。元禄13年の造営に始まり、同家が大禰宜として大宮司とともに神宮の祭祀を守り、一社を経営していく過程を詳細に記録したもの。寺社奉行のもとでの訴訟関係の文書・記録を多く含み、一方で当時の世相・香取周辺の出来事にも細かく言及している貴重な史料である。

【収録】

- ①1698 [元禄11]～1729 [享保14]
- ②1735 [享保20]～1744 [延享元]
- ③1745 [延享2]～1757 [宝暦7]

今江廣道・藤森馨・平井誠二校訂

通兄公日記

みちえこうき

全12冊・既刊①-⑩

既刊11冊揃本体109,000円

- ①ISBN4-7971-0371-X (91回配本 1991)
336頁 本体10,000円
- ②ISBN4-7971-0373-6 (93回配本 1992)
304頁 本体10,000円
- ③ISBN4-7971-0376-0 (96回配本 1993)
276頁 本体8,000円
- ④ISBN4-7971-1284-0 (104回配本 1996)
336頁 本体10,000円
- ⑤ISBN4-7971-1291-3 (111回配本 1998)
280頁 本体8,000円
- ⑥ISBN4-7971-1298-0 (118回配本 1999)
296頁 本体9,000円
- ⑦ISBN4-7971-1304-9 (124回配本 2000)
300頁 本体10,000円
- ⑧ISBN978-4-8406-3363-5 (131回配本 2002)【OD版】
272頁 本体9,000円
- ⑨ISBN4-7971-1316-2 (136回配本 2003)
312頁 本体11,000円
- ⑩ISBN4-7971-1322-7 (142回配本 2005)
296頁 本体11,000円
- ⑪ISBN978-4-8406-5153-0 (153回配本 2008.11)
316頁 本体13,000円



右大臣従一位久我通兄(1709-1761)の、享保9年(1724)から歿年に至るまでの日記を宮内庁書陵部所蔵の自筆原本によって翻刻する。通兄は通誠の孫にあたり、朝廷は中御門・桜町・桃園天皇の治世、幕府の将軍は吉宗・家重の時代にあたり、朝幕関係の良好な時期であった。通兄は議奏や武家伝奏として枢機に参画しており、記事には見るべきものが多いのが特色。

【収録】

- ①1724 [享保9]～1728 [享保13]
- ②1729 [享保14]～1732 [享保17]
- ③1732 [享保17]～1734 [享保19]
- ④1735 [享保20]～1737 [元文2]
- ⑤1738 [元文3]～1741 [寛保元]
- ⑥1741 [寛保元]～1743 [寛保3]
- ⑦1744 [寛保4]～1745 [延享2]
- ⑧1746 [延享3]～1747 [延享4]
- ⑨1748 [延享5]～1749 [寛延2]
- ⑩1750 [寛延3]～1753 [宝暦3]
- ⑪1754 [宝暦4]～1757 [宝暦7]

前田育徳会尊経閣文庫編・長山直治校訂

太梁公日記

たいりょうこうにつき

全8冊・既刊①-⑤

既刊5冊揃本体69,000円

- ①ISBN4-7971-1320-0 (140回配本 2004)
328頁 本体12,000円
- ②ISBN978-4-8406-5148-6 (148回配本 2008.1)
322頁 本体14,000円
- ③ISBN978-4-8406-5156-1 (156回配本 2010.4)
288頁 本体14,000円
- ④ISBN978-4-8406-5164-6 (164回配本 2012.4)
314頁 本体14,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-5175-2 (175回配本 2014.8)
312頁 本体15,000円



加賀11代藩主前田治脩(太梁公)の自筆日記で、治脩が藩主になる直前の、明和8年(1771)4月から安永4年(1775)4月におよぶ40冊が現存。江戸幕府との交渉や江戸城内での儀礼、大名や一族との交際・藩政・日常生活等、公私にわたる。また、治脩の家督相続の事情、藩内の財政・人事も詳細に知ることができ、道中日記により参勤道中の様子も窺える。

【収録】

- ①1771 [明和8]～1772 [明和9]
- ②1772 [明和9]～1773 [安永2] 正月
- ③1773 [安永2] 2～4月
- ④1773 [安永2] 5～9月
- ⑤1773 [安永2] 10月～1774 [安永3] 2月

草野冴子・藤田寛校訂

田村 藍水・西湖 公用日記

たむらんすいせいこうようにつき

全1冊

ISBN978-4-8406-3367-3 (79回配本 1986)【OD版】

314頁 本体10,000円

平賀源内の師で、本草学者の田村藍水(1718-1776)が幕府に登用された宝暦13年(1763)より長子西湖の代の寛政3年(1791)にいたる公用日記。藍水は、田沼意次主導のもとに、人参会所創設にあずかり、朝鮮人參の栽培・製法に活躍した。火浣布・香敷・薬草・著書等の献上物や人參買上のための野州・奥州への出張の記事、豪猪・綿羊・駝鳥等殖産興業上、興味をひく史料が豊富。



【収録】

1763〔宝暦13〕～1791〔寛政3〕

大野瑞男校訂

江戸幕府 大坂金蔵勘定帳

えどばくふおおさかかねぐらかんじょうちょう

全1冊

ISBN978-4-8406-5191-2 (191回配本 2017.6)

376頁 本体15,000円

江戸幕府の大坂城金蔵は江戸奥金蔵・蓮池と並ぶ重要な金蔵で、本丸天守閣の東南に位置し寛永初年に建設され、後に元御金蔵と呼ばれた。2010年以降に発見紹介された江戸幕府の大坂金蔵に関する3冊の史料を全文紹介し、解題と史料中に出る多数の人名索引を付し利用の便を図った。



【収録】

享和2年〔1802〕分大坂金蔵勘定帳

天保4年〔1833〕分大坂金蔵勘定帳

享和3年〔1803〕分大坂金蔵拝借帳

岡嶋偉久子・中根陸宏校訂

花 月 日 記

かげつにつき

全6冊・既刊①-③

①ISBN978-4-8406-5209-4 (209回配本2020.12)

300頁 本体16,000円

②ISBN978-4-8406-5212-4 (212回配本2021.12)

332頁 本体17,000円

③ISBN978-4-8406-5214-8 (214回配本2022.7)

260頁 本体16,000円

④ISBN978-4-8406-5216-2 (216回配本2023.5)

328頁 本体17,000円

江戸幕府老中、松平定信(1758-1829)の晩年の日記。白河藩主致仕の日をもって起筆、以後逝去の前年までの日記。「寛政の改革」を断行した定信が白河藩主致仕の日(文化9年)を以て起筆、以後、逝去前年の文政11年末まで書き続けた17年間の日次記で、中に詠み込まれた和歌は、各年300～400首を超える。定信は、日記中には幕政に対する批判は厳に慎んでいる。しかし、彼の見識を通じての、当代の世情、事件、及び政治・文化面の具体的な記述、様々な人物への評言には、実に興味深いものがある。



【収録】

①1812〔文化9〕～1813〔文化10〕

②1814〔文化10〕～1815〔文化12〕

③1816〔文化13〕～1817〔文化14〕

④1818〔文化15〕～1821〔文政4〕

史料纂集 古文書編

しりょうさんしゅう こもんじょへん

瀬野精一郎校訂

青方文書

あおかたもんじょ

全2冊揃本体14,000円

- ①ISBN978-4-8406-3430-4 (6回配本 1975) 【OD版】
214頁 本体7,000円
②ISBN978-4-8406-3431-1 (9回配本 2003) 【OD版】
232頁 本体7,000円



長崎県五島列島中通島青方に居を構え、平安以来、主として海上を舞台に活躍した中世武士青方氏に伝わる文書である。その文書は鎌倉初期から近世に及ぶ約400通で、松浦党の党組織に関する文書の外に、海賊関係の史料を含む。また、松浦党の有力な経済源である五島列島の漁場をめぐる相論等、中世の漁業史料としても他に類例を見ないものである。人名・地名索引付。

【収録】

- ①1196 [建久7]～1333 [元弘3]
②1334 [建武元]～1663 [寛文3]

玉山成元校訂

飯野八幡宮文書

いいのはちまんぐうもんじょ

ISBN4-7971-0399-X (17回配本 1983)

168頁 本体6,000円



福島県いわき市平の飯野家に伝存する古文書で、南北朝時代の解明には欠くことのできない良質の史料である。南北朝期の伊賀氏の動向と八幡宮の成立と発展を伝え、さらに神道史や中世の土地制度史研究の好史料として注目される。成巻文書6巻と別巻3巻及び未成巻の204通を収録。そのうち107点については写真版をあわせて収め、古文書学学習の一助とした。

【収録】1204 [元久元]～1686 [貞享3]

村田正志・中野達平校訂

光明寺文書

こうみょうじもんじょ

既刊2冊揃本体12,600円

- ①ISBN4-7971-0401-5 (19回配本 1985)
238頁 本体5,800円
②ISBN4-7971-0403-1 (21回配本 1987)
274頁 本体6,800円



三重県伊勢市にある臨濟宗東福寺派光明寺の所蔵文書と国立公文書館所蔵の光明寺古文書全30巻を合わせ、承平4年(934)から江戸末期に及ぶ約700通余を収める。鎌倉・南北朝期の文書が数多く、寺領や神宮領の土地制度、神宮の職制・法制を詳しく知ることができる。また、禅院の運営、相続・売買の慣習、海上交易、頼母子等中世社会経済史研究の良質な史料となろう。

【収録】

- ①1234 [天福2]～1859 [安政6]
②1084 [応徳元]～1564 [永禄7]

永島福太郎・小田基彦校訂

熊野那智大社文書

くまのなちたいしゃもんじょ

全6冊揃本体48,000円

- ①ISBN4-7971-0383-3 (1回配本 1971) 【残部僅少】
292頁 本体8,000円
②ISBN4-7971-0384-1 (3回配本 1972)
280頁 本体8,000円
③ISBN4-7971-0387-6 (5回配本 1974) 【残部僅少】
258頁 本体8,000円
④ISBN4-7971-0391-4 (8回配本 1976) 【残部僅少】
274頁 本体8,000円
⑤ISBN4-7971-0392-2 (10回配本 1977) 【残部僅少】
258頁 本体8,000円
⑥ISBN4-7971-0406-6 (24回配本 1991)
230頁 本体8,000円



熊野那智大社が所蔵する米良・潮崎・本社の約1500点をかぞえる文書群である。古来熊野権現は、日本固有の信仰の結集点とし全国津々浦々の信仰をあつめてきた。本文書には、鎌倉期から室町期のものが数多く、権門・勢家の参詣寄進文書をはじめ、地方豪族・庶衆の参詣にかかるものを中心とする。地方における豪族のあり方、村落と宗教との関係を知る随一の史料。詳細索引付。

【収録】

- ①米良文書1 1243 [寛元元]～1460 [長禄4]
②米良文書2 1461 [寛正2]～1514 [永正11]
③米良文書3 1151 [仁平元]～1871 [明治4]
④米良文書4 潮崎稜威主文書
⑤潮崎万良文書 橋爪文書
⑥索引

豊田武・田代脩校訂

相馬文書

そうまもんじょ

ISBN978-4-8406-3434-2 (13回配本 1979) 【OD版】

240頁 本体8,000円



下総国相馬郡に起り、平将門を祖とする相馬氏に関する文書群で、「相馬文書」146通、「相馬岡田文書」76通、「大悲山文書」15通の3つから成る。鎌倉末から南北朝期の文書が数多く、相馬一族の所領の相伝、内乱期の動向をうかがい、東北地方における当時の政治・社会状況を知る上で極めて重要な史料である。巻末に未公刊の相馬之系図・相馬岡田系図を附した。

【収録】1272 [文永9]～1622 [元和8]

村田正志・黒川高明校訂

五条家文書

ごじょうけもんじょ

ISBN978-4-8406-3426-7 (7回配本 1975) 【OD版】

314頁 本体10,000円

全1冊



南朝文書中の至宝である。その特色は、征西將軍宮に対する指令、畿内の情勢を伝える後村上天皇綸旨、女房奉書等が多く、古文書学上も南朝文書の白眉と称しても過言ではない。主に弘安7年(1284)より近世初期に及ぶもので、大友・戸次・浦上・立花等の北九州諸豪族の文書も数多く、南北朝合体後の五条氏と菊池氏、大友氏との関係究明に研究視角が向けられることが期待される。

【収録】1284〔弘安7〕～1888〔明治21〕

上田純一校訂

入江文書

いりえもんじょ

ISBN4-7971-0402-3 (20回配本 1986) 【在庫僅少】

338頁 本体7,700円

全1冊



大友氏の有力庶子家である田原氏に関する文書群である。その大多数は正本として伝来され、史料的价值は極めて高い。北九州の国人級武士団の実態、田原氏の動向は勿論のこと、中世内乱期の中央情勢をも、南北両朝からの文書によって如実に伝えている。また、所収文書155通のうち、138通を成巻ごとに鮮明な写真版で収録した。武士団研究の好個の素材。

【収録】1290〔正応3〕～1580〔天正8〕

玉山成元校訂

西福寺文書

さいふくじもんじょ

ISBN978-4-8406-3429-8 (4回配本 1973) 【OD版】

220頁 本体7,000円

全1冊



西福寺は福井県敦賀市にある浄土宗の名刹で、良如の水が応安元年(1368)8月、後光厳天皇の勅願所として開山した。本書には、文保元年(1317)7月の山内資綱置文以下286通の文書と大原山縁起1巻を収める。中世寺院の成立と発展の過程をはじめ、融通念仏と浄土宗との関係、武家と宗教儀礼との交渉、さらに土地制度とくに在地構造を明らかにする上で極めて重要。

【収録】1317〔文保元〕～1628〔寛永5〕

奥野高廣・加藤哲校訂

朽木文書

くつきもんじょ

①ISBN978-4-8406-3413-7 (12回配本 1978) 【OD版】

224頁 本体7,000円

②ISBN4-7971-0397-3 (15回配本 1981)

280頁 本体5,200円

全5冊・既刊①②



近江高島郡朽木谷に居を構え、鎌倉期以来、主に湖西地方に勢力を扶植した朽木氏に伝わる古文書(国立公文書館所蔵)である。朽木氏の家領相伝の推移に関する文書が多く、中世の在地領主支配の実態を窺うことのできる史料として、誠に貴重なものである。また朽木氏は、南北朝以来將軍直属の親衛軍として活動し、特に足利義晴・義輝は朽木氏を頼って難を避けており、関係史料も豊富である。

【収録】

①1333〔元弘3〕～1517〔永正14〕

②1277〔建治3〕～1868〔慶応4〕

中野達平校訂

沢氏古文書

さわしこもんじょ

ISBN4-7971-0405-8 (23回配本 1989)

258頁 本体6,214円【残部僅少】

全3冊・既刊①



興福寺大乘院の支配する大和国宇陀郡の土豪沢氏に伝わる平安末期より江戸時代中期にいたる古文書である。沢氏は宇陀三人衆として活躍し、はじめ伊勢北畠氏の幕下に属したが、筒井氏が大和を統一するに及びその麾下となった。本文書の特色は、北畠氏の領域支配について特に詳しい。今度の刊行では文書の1点ごとに花押・朱印等を挿入して分かりやすい史料集とした。

【収録】

①1387〔元中4〕～1600〔慶長5〕

藤井貞文・小倉学・木野主計校訂

気多神社文書

けたじんじゃもんじょ

①ISBN978-4-8406-3408-3 (11回配本 1977) 【OD版】

282頁 本体9,000円

②ISBN978-4-8406-3409-0 (14回配本 1980) 【OD版】

264頁 本体8,000円

③ISBN978-4-8406-3410-6 (18回配本 1984) 【OD版】

344頁 本体11,000円

全3冊・完結



能登国一宮の、戦国期から江戸中期にわたる気多神社所蔵文書86通と、南北朝期から近世におよぶ大宮司桜井家の伝来文書366通、及び前宮司桜井氏が保管し、気多神社に収めた文書67通の3系統、計519通の文書群である。所領・所職の伝領、祭祀・行事など神社内部の諸問題を具体的に示唆し、さらに国内諸社の種々の史料を含み、能登の触頭制度を知る貴重な史料。

【収録】

①1428〔正長元〕～1866〔慶応2〕

②1582〔天正10〕～1624〔元和10〕

③1496〔明応5〕～1623〔元和9〕

玉山成元校訂

大樹寺文書

だいじゅじもんじょ

ISBN978-4-8406-3435-9 (16回配本 1982) 【OD版】

220頁 本体7,000円

全1冊



愛知県岡崎市にある浄土宗の名刹で、三河松平氏代々の菩提所である大樹寺に伝存する文書である。成巻文書12巻、214通を収める。寄進状と売券状が数多く、大樹寺が松平一門のみならず、その家臣らの菩提寺の役割も果たしていたことがわかる。仏教史、年貢や公事をはじめ、検見・引得・斗代・本物返等、室町以降の土地制度研究に関する良質な史料。

【収録】1485〔文明17〕～1685〔貞享2〕

高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉・橋本政宣・尾上陽介・末柄豊校訂

言継卿記紙背文書

ときつぐきょうきはいもんじょ

既刊2冊揃本体18,000円

全4冊・既刊①②

①ISBN4-7971-0385-X (2回配本 1972) 【残部僅少】

258頁 本体8,000円

②ISBN4-7971-0417-1 (35回配本 2003)

276頁 本体10,000円



言継卿記は、弘治2年(1556)の後半から同3年の前半に至る駿河下向中の日録を除き、他はすべて紙背文書をもつ。その総数は、約2900通を数える。大部分が書状で、和歌詠草がこれに次ぎ、その他は折紙・申文・番文章案等であるが、大永・享禄の頃の落首、落葉・舞車・大原御幸・俊寛等の曲舞の曲、小歌等の珍重すべき記事を含む。文学・語学資料としての価値も高い。

【収録】

①1527〔大永7〕～1533〔天文2〕

②1534〔天文3〕～1545〔天文14〕

羽下徳彦・阿部洋輔・金子達校訂

歴代古案

れきだいこあん

全5冊揃本体45,000円

全5冊・完結

①ISBN4-7971-0407-4 (25回配本 1993) 【残部僅少】

284頁 本体9,000円

②ISBN4-7971-0408-2 (26回配本 1995) 【残部僅少】

264頁 本体9,000円

③ISBN4-7971-0411-2 (29回配本 1998) 【残部僅少】

260頁 本体9,000円

④ISBN4-7971-0415-5 (33回配本 2000) 【残部僅少】

256頁 本体9,000円

⑤ISBN4-7971-0416-3 (34回配本 2002) 【残部僅少】

266頁 本体9,000円



江戸時代に越後長尾氏＝越後上杉氏関係の古文書を編纂した『歴代古案』20巻10冊の一大古文書である。米沢市上杉博物館所蔵の原本をもとに、『上杉家文書』『新潟県史・資料編』『越佐史料』等との利用の便をはかり、厳密な校訂を加えて刊行するものである。室町から戦国時代の上杉氏の動向、領国および周辺諸国の情勢、家臣団等を知る上で第一級の史料となろう。

【収録】

①1535〔天文4〕～1600〔慶長5〕

②1473〔文明5〕～1615〔元和元〕

③1333〔元弘3〕～1616〔元和2〕

④1335〔建武2〕～1623〔元和9〕

⑤1494〔明応3〕～1609〔慶長14〕



奥野高廣・岩沢愿彦校訂

賀茂別雷神社文書

かもわけいかずちじんじょうもんじょ

①ISBN 978-4-8406-3407-6 (22回配本 1988) 【OD版】

290頁 本体9,000円

全5冊・既刊①



伊勢・石清水とならぶ古代以来の大社、京都上賀茂の賀茂別雷神社に伝わる一大古文書群である。中・近世の文書が数多く、特に戦国時代の文書を中心に千数百点を収める。源頼朝下文、関東下知状をはじめ、室町幕府奉行人奉書や、織田信長・豊臣秀吉らの朱印状、室町・戦国時代の境内諸郷関係土地帳簿類や天正期の太閤検地関係文書等、神領関係の文書も多い。

【収録】

①1090〔寛治4〕～1681〔延宝9〕

小此木輝之校訂

長楽寺文書

ちやうらくじもんじょ

ISBN978-4-8406-3438-0 (27回配本 1997) 【OD版】

320頁 本体10,000円

全1冊



群馬県太田市世良田の長楽寺に伝存する文書で、寺院は承久3年(1221)に栄朝を開山、新田氏の庶家世良田義季を開基として創建された。本書には、中世文書126点、近世文書72点と經典聖教類奥書・画像賛及び銘文等を収める。長楽寺の成立と発展の過程をはじめ、正和年間(1312-17)の火災後の再建等、新田庄周辺地域の中世を考える上で大変重要な史料である。

【収録】1168〔仁安3〕～1833〔天保4〕

田沼睦校訂

北野神社文書

きたのじんじゃもんじょ

筑波大学所蔵文書(上)

ISBN4-7971-0410-4 (28回配本 1997)

258頁 本体9,000円

全1冊



筑波大学附属図書館所蔵で、北野天満宮旧蔵の古文書324通を編年に収録する。北野天満宮の社領に関するもの、神人関係では西京酒麴座に関するものを含む。ほかに連歌史料や、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の朱黒印状などがある。本文書は、中世の文化史・社会経済史を研究する上で重要な史料であり、史料纂集古記録編の『北野社家日記』(本図書目録21頁参照)と併読すると、より一層有用である。

【収録】903〔延喜3〕～1641〔寛永18〕

田沼睦校訂

石清水八幡宮文書

いわしみずはちまんぐうもんじょ ほか

筑波大学所蔵文書(下)

ISBN4-7971-0412-0 (30回配本 1999)

240頁 本体8,000円

全1冊



筑波大学附属図書館所蔵の京都石清水八幡宮祠官田中家に伝来の古文書88通、千葉県佐原市の香取神宮社家大宮司家伝来の8通、京都長福寺伝来の5通と、雑文書55通の計156通を編年に収録する。上・下巻合計で480点におよぶ。それぞれの寺社に所蔵される古文書群とあわせみることにより、正文と案文の関係等、より研究が進むだろう。巻末に筑波大学所蔵文書の上(『北野神社文書』)・下巻とをあわせた解説・索引付。

【収録】1140〔保延6〕～1611〔慶長16〕

伊藤克己校訂

大仙院文書

だいせんいんもんじょ

ISBN4-7971-0414-7 (31回配本 2000)

320頁 本体11,000円

全1冊



京都紫野の大徳寺の塔頭大仙院に伝存する古文書188通を収録する。大仙院は、古岳宗巨を開祖とし、永正10年(1513)頃に創建。室町～近世初期の文書を主とし、歴代住持と親交のあった皇室や武家の発給文書、年譜・宗派の図・前住籍・遺誠・法度等を含む。当該期の政治や経済に関する一級史料であるとともに、大徳寺の塔頭としての寺院経営に関する重要史料である。

【収録】1505〔永正2〕～1859〔安政6〕

福田榮次郎・神崎彰利校訂

近江大原観音寺文書

おうみおおはらかなのんじもんじょ

①ISBN4-7971-0413-9 (32回配本 2000)

256頁 本体9,000円

全5冊・既刊①



滋賀県米原市の天台宗大原観音寺に伝存する五百数十点に及ぶ中世文書と近世文書の一部を収める。伊吹山中にあって伊吹四大寺の一つといわれたが、13世紀中頃に現在地に移る。本文書は売券・寄進状・帳簿類を数多く含み、大原庄や大原氏の根本史料である。在地寺院の発展過程を、中世から近世への変革の中で研究する上で多様な内容をもつ大変興味深い文書群。

【収録】①1174〔承安4〕～1456〔康正2〕

上島享・末柄豊・前川祐一郎・安田次郎校訂

福智院家文書

ふくちいんけもんじょ

既刊3冊揃本体36,000円

①ISBN4-7971-0418-X (36回配本 2005)【残部僅少】

268頁 本体11,000円

②ISBN4-7971-0419-8 (37回配本 2006.8)

264頁 本体12,000円

③ISBN978-4-8406-6046-4 (46回配本 2013.2)

268頁 本体13,000円

全5冊・既刊①-③



奈良興福寺三綱で、大乘院門跡の坊官四家の一、福智院家の後裔に伝来する文書。明治初年の門跡家の廃絶・廃仏毀釈を免れた重要な古文書群で、平安・鎌倉時代の古文書を多数含む。本文書には、大乘院家・福智院家の活動の広がりやを反映し、興福寺関係の文書の他、社会経済・法制・法会・芸能に関する多様な史料、春日社・永久寺・長谷寺に関わる史料が収められている。

【収録】①1062〔康平5〕～1557〔弘治3〕
②1333〔元弘3〕～1583〔天正11〕
③1267〔文永4〕～1525〔大永5〕

藤田達生・西島太郎校訂

朽木家文書

くつきけもんじょ

全2冊揃本体26,000円

①ISBN978-4-8406-6038-9 (38回配本 2007.7)

240頁 本体13,000円

②ISBN978-4-8406-6040-2 (40回配本 2008.10)

272頁 本体13,000円

全2冊・完結



史料纂集既刊『朽木文書』(国立公文書館所蔵)と重複する文書は一切なく、すべて初めて活字化。文書を編年に収録し78点の花押・印章一覧等を付録。近年注目されている朽木氏の財政帳簿類、国内で唯一の慶長11年(1606)のキリシタン関係史料、慶長13年の醍醐寺三寶院との山城国久多郷を巡る相論(朽木氏の情報収集を窺わせる新知見を含む)など研究者必備の史料。

【収録】①1316〔正和5〕～1631〔寛永8〕付花押・印章一覧
②1631〔寛永8〕～1638〔寛永15〕付年次未詳文書・
解題・索引

羽下徳彦・阿部洋輔・金子達校訂

別本 歴代古案

べっぼん れきだいこあん

全3冊揃本体39,000円

①ISBN978-4-8406-6039-6 (39回配本 2008.9)

282頁 本体13,000円

②ISBN978-4-8406-6043-3 (43回配本 2010.3)

304頁 本体13,000円

③ISBN978-4-8406-6044-0 (44回配本 2011.4)

288頁 本体13,000円



史料纂集既刊『歴代古案』（米沢市立上杉博物館所蔵）とは別系統の写本（東京大学史料編纂所所蔵）で巻5～17（巻1～4は欠）の計998点。重複するものは513点だが、同一文書でも人名や文言が微妙に異なる。残りの485点は重複せず、うち52点は初の活字化。本書の刊行により戦国期上杉氏関係の文書集は、翻刻がほぼ完了する。

【収録】

①1494〔明応3〕～1594〔文禄3〕

②1177〔養和元〕～1603〔慶長8〕

③1507〔永正4〕～1622〔元和8〕

末柄豊校訂

京都御所東山御文庫所蔵 地下文書

じげもんじょ

ISBN978-4-8406-6041-9 (41回配本 2009.7) 【残部僅少】

292頁 本体13,000円



京都御所東山御文庫の所蔵にかかる古文書で、原本は勅封23函に収められた186通の文書群の初翻刻である。「地下（じげ）」とは、内裏清涼殿に昇殿の資格のない官人で、具体的には、下級官人や、供御人・駕輿丁などに関するものが多い。応仁の乱後から信長期までの文書が主要な部分を占め、他に類を見ない。

【収録】1314〔正和3〕～1518〔天正9〕

末柄豊校訂

京都御所東山御文庫所蔵 延暦寺文書

えんりやくじもんじょ

ISBN978-4-8406-6045-7 (45回配本 2012.5)

292頁 本体13,000円



京都御所東山御文庫所蔵のうち「諸寺文書」中にある延暦寺文書を収める。延暦寺は、元亀2年(1571)9月、織田信長の焼き討ちに遭い全山の文書・古典籍は壊滅的な被害を蒙った。それだけに延暦寺から朝廷に提出した文書群はきわめて貴重な史料といえよう。本書には、119通と根来寺文書23通を所収。

【収録】1303〔乾元2〕～1682〔天和2〕

鍛代敏雄校訂

石清水八幡宮社家文書

いwashimizuはちまんぐうしゃけもんじょ

ISBN978-4-8406-6042-6 (42回配本 2009.8)

264頁 本体13,000円



伊勢神宮に次ぐ、天下第二の宗廟と尊崇された京都の石清水八幡宮は、神仏共同体に基づき、神社と寺院の併存する宮寺を組織運営上の母体としていた。現存する神社文書としては、質と量において白眉といわれる。本書は、近世に写されて正文が紛失したもの、かつて社家が所蔵していた正文や案文といった原本などを収載した。

【収録】1171〔承安元〕～1636〔寛永13〕

前田育徳会尊経閣文庫編

籠手田文書

こてだもんじょ

ISBN978-4-8406-6047-1 (47回配本 2013.3)

522頁 本体19,000円



尊経閣文庫に伝存する長崎県平戸市小手田を本拠地とした籠手田氏の文書80余点を初翻刻し、全点の影印と併せて刊行。籠手田氏は、松浦氏の庶流がこの地に籠手田城を築いて拠つたことに始まるという。その後、松浦隆信の重臣となりキリシタンとなる。戦国期の中国・九州方面の情勢、大内氏との関係や、京都との文化面での交流に関する文書が多い。

【収録】1484〔文明15〕～1538〔天文6〕

神田千里・白川部達夫校訂

井戸村家文書

いどむらけもんじょ

全2冊揃本体30,000円

①ISBN978-4-8406-6049-5 (49回配本 2020.6)

290頁 本体15,000円

②ISBN978-4-8406-6050-1 (50回配本 2020.7)

290頁 本体15,000円



近江国坂田郡箕浦の土豪、井戸村家に伝存した文書群を翻刻。長浜城歴史博物館所蔵の「井戸村家文書」342点を校訂・翻刻し、併せて花押を載せて刊行。京極、浅井氏に仕え、のちに帰農する井戸村氏の古文書から、近江国のこの地域における中世から近世の諸相が明らかになるだろう。第2に解題と関係地図に加え、本文書に関わりの深い近江国坂田郡飯村の土豪であった嶋氏の年代記「嶋物語」の翻刻も巻末に収録した。編年総目録・関係系図付き。

【収録】

①1362〔康安2〕～1758〔宝暦8〕

②1418〔応永25〕～1826〔安政9〕

橋本素子・角田朋彦・野村朋弘校訂

宇治堀家文書

うじほりけもんじょ

ISBN978-4-8406-6051-8 (51回配本 2021.8)

276頁 本体16,000円

書
全1冊

山城国宇治郷在住の宇治茶師・堀氏の旧蔵文書である。全三巻からなり、平安末期から江戸初期までの148通を収める。その多くが中近世移行期の土地売券からなり、宇治茶師の土地利用や集積の状況をうかがい知ることができる。当該時代の山城国南部に関する史料は少なく、在地の動向を明らかに出来る貴重な史料といえよう。

【収録】1172〔承安2年〕～1667〔寛文年〕

菊地紳一・川島孝一・徳永健太郎・北爪寛之校訂

尊経閣文庫所蔵 石清水文書

そんけいかくぶんこしょぞう いわしみずもんじょ

ISBN978-4-8406-6048-8 (48回配本 2015.2)

496頁 本体18,000円

書
全1冊

尊経閣文庫に伝存する「尊経閣古文書纂」の社寺文書のうち、石清水八幡宮に関する文書142点を初翻刻。併せて、花押・印章一覧、詳細な解説、小寺家本「石清水八幡宮略補任」、編年総目録、索引（人名・寺社名等）を加えて刊行する。本書は、『大日本古文書 家わけ 第4 石清水文書』や史料纂集古文書編の『石清水八幡宮社家文書』『石清水八幡宮文書外』を相補う重要な文書群である。

【収録】1129〔大治4〕～1676〔延宝4〕

新井浩文・伊藤一美・井上聡校訂

安保文書

あほもんじょ

ISBN978-4-8406-6052-5 (52回配本・2022.5)

336頁 本体17,000円

書
全1冊

埼玉県児玉郡安保郷に本拠を置いた武蔵武士安保氏に関する文書群。武蔵七党のうち丹治党出身の安保氏は、武蔵の他、下総・常陸・信濃他に所領を持っていた。本書は、埼玉県立文書館・横浜市立大学所蔵、及び個人蔵のものを翻刻・校訂し、関連史料・解題・関係系図などを付して刊行。

【収録】1318〔文保2〕～1569〔永禄12〕

日本典籍の宝庫！

群書類従・続群書類従

ぐんしよるいじゅう・ぞくぐんしよるいじゅう



塙保己一（はなわほきいち、1746-1821）が重要かつ基本の資料を蒐集して編纂した叢書。『群書類従』の収録文献数は1,276点、『続群書類従』は2,128点にのぼる。少量で散逸しやすいものを中心に、古代から近世までのあらゆる貴重な文献を網羅し、法律・政治・経済・教育・道徳・宗教・社会・史学・文学・美術・音楽・言語・風俗・遊芸、その他各分野にわたり、それらを分類収録。続群書類従完成会本『群書類従』は昭和9年（1934）に、同『続群書類従』は昭和47年（1972）に刊行完了。

旧版B6判を拡大しA5判に。
オンデマンド版で全巻復刻！

群書類従（全30冊）

ぐんしよるいじゅう

〔オンデマンド版〕ISBN978-4-8406-3585-1
A5判 並製 カバー装〔分売可・受注生産〕
揃本体314,000円

〔通常版〕B6判 上製 函入【セット品切】



- 第1輯・第2輯 神祇部
- 第3輯 帝王部
- 第4輯 補任部
- 第5輯 系譜部・伝部・官職部
- 第6輯 律令部・公事部
- 第7輯 公事部
- 第8輯 装束部・文筆部
- 第9輯 文筆部・消息部
- 第10輯～第16輯 和歌部
- 第17輯 連歌部・物語部
- 第18輯 日記部・紀行部
- 第19輯 管弦部・蹴鞠部・鷹部・遊戯部・飲食部
- 第20輯・第21輯 合戦部
- 第22輯・第23輯 武家部
- 第24輯 積家部
- 第25輯～第29輯 雑部
- 第30輯 正統分類総目録・文献年表

群書類従 第1輯 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 468頁 ISBN978-4-8406-3112-9 本体8,000円（2013）

【所収書目】皇太神宮儀式帳／止由気宮儀式帳／太神宮諸雑事記／神宮雜例集／二所太神宮例文／内宮長暦送官符／外宮嘉禄三年山口祭記／貞和御飾記／内宮臨時仮殿遷宮記／治承元年公卿勅使記／正応六年七月十三日公卿勅使御参宮次第／神鳳鈔／古老口実伝／詔刀師沙汰文／元亨元年十一月廿二日高宮仮殿日記／高宮御装束奉飾日記／小朝熊社神鏡沙汰文／八幡愚童訓／石清水八幡宮護国寺略記／宮寺縁事抄／石清水放生会記／権別当宗清法印立願文／石清水宮御願書／賀茂皇太神宮記／文永十一年賀茂祭絵詞／賀茂社御願書

群書類従 第2輯 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 454頁 ISBN978-4-8406-3113-6 本体7,000円（2013）

【所収書目】春日権現験記／春日社記／春日大明神垂跡小社記／春日神木御入洛見聞略記／さかき葉の日記／大三輪神三社鎮座次第／大倭神社註進状／広瀬社縁起／日吉社神道秘密記／日吉神輿御入洛見聞略記／北野縁起／両聖記／菅神入宋授衣記／天満宮託宣記／菅家御伝記／最鎮記文／梅城録／廿二社本縁／二十二社註式／大和豊秋津島卜定記／大日本国一宮記／延喜式神名帳頭註／尾張国内神名牒／伊豆国神階帳／上野国神名帳／藤森社縁起／尾張国熱田太神宮縁起／荏柄天神縁起／宇都宮大明神代々奇瑞之事／竹生島縁起／走湯山縁起／菅根山縁起／松浦廟宮先祖次第并本縁起／造殿儀式／八幡御幸次第／平野行幸次第／神馬引付／太神宮参詣記／八幡社参詣／八幡宮御社参／春日社参詣／東家秘伝／宝鏡開始／詠太神宮二所神祇百首和歌／雲州樋河上天淵記

群書類従 第3輯 帝王部

〔オンデマンド版〕A5判 716頁 ISBN978-4-8406-3114-3 本体11,000円（2013）

【所収書目】神皇正統記／続神皇正統記／椿葉記／皇代記／皇年代略記／踐祚部類鈔／天祚礼祀職掌録／本朝世記／庭槐抄／皇帝紀抄／六代勝事記／五代帝王物語／元徳二年三月日吉社并叡山行幸記／舞御覧記／書写山行幸記／さかゆく花 上／北山殿行幸記／室町殿行幸記〔永享九年十月廿一日行幸記〕／永享九年十月廿一日行幸記／行幸勘例／聚楽第行幸記／天正二十年正月廿六日行幸聚楽第之行列／御幸始部類記／俊光院御幸始記／高野御幸記／両院熊野御詣記／賀茂御幸記／賀茂御祖皇大神宮御幸記／石清水臨幸記／両院石清水宮御参籠記／石清水御幸記／八幡御幸記／亀山殿御幸記／臨幸私記／応永廿二年御幸記

群書類従 第4輯 補任部

〔オンデマンド版〕A5判 748頁 ISBN978-4-8406-3115-0 本体12,000円 (2013)

【所収書目】 斎宮記／賀茂斎院記／撰関補任次第／弁官補任／職事補任記／藏人補任／樂所補任／將軍執權次第／足利家官位記／関東評定衆伝／若狭国守護職次第／若狭国税所今富名領主代々次第／類聚大補任／豊受太神宮禰宜補任次第／鶴岡八幡宮寺社務職次第／八幡宮御殿司職次第／御殿司職一方系図／当社執行次第／当社学頭職次第／社家執事職次第／僧綱補任抄出／僧官補任／東大寺別当次第／天台座主記／東寺長者補任／仁和寺諸院家記

群書類従 第5輯 系譜部・伝部・官職部

〔オンデマンド版〕A5判 720頁 ISBN978-4-8406-3116-7 本体11,000円 (2013)

【所収書目】 本朝皇胤紹運録／書門跡譜／中臣氏系図／菅原氏系図／大江氏系図／橘氏系図／紀氏系図／小野氏系図／高階氏系図／清原氏系図／中原氏系図／小槻氏系図／和氣氏系図／丹波氏系図／安倍氏系図／加茂氏系図／豊原氏系図／巨勢氏系図／上宮聖徳法王帝説／上宮聖徳太子伝補闕記／家伝鎌足伝／家伝武智磨伝／和氣清麻呂伝／田邑麻呂伝記／白箸翁伝／女院小伝／三十六人歌仙伝／中古歌仙三十六人伝／日本往生極楽記／続本朝往生伝／仁和寺御伝／明匠略伝／唐大和上東征伝／天台山無動寺建立和尚伝／慈慧大僧正伝／道場法師伝／性空上人伝／南天竺婆羅門僧正碑／興正菩薩伝／官職秘抄／職原鈔／百寮訓要抄／詠百寮和歌／官職難儀／女房の官しなの事／任官勘例／任太政大臣記

群書類従 第6輯 律令部・公事部

〔オンデマンド版〕A5判 642頁 ISBN978-4-8406-3117-4 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 642頁 ISBN4-7971-0009-5 本体6,000円 (1960) 【在庫僅少】

【所収書目】 律／金玉掌中抄／裁判至要抄／法曹至要抄／令抄／内裏式／新儀式／本朝月令／雲図抄／九条年中行事／小野宮年中行事／建武年中行事／年中行事秘抄／年中行事歌合／神祇官年中行事／東宮年中行事

群書類従 第7輯 公事部

〔オンデマンド版〕A5判 760頁 ISBN978-4-8406-3118-1 本体12,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 760頁 ISBN4-7971-0010-9 本体6,000円 (1959) 【在庫僅少】

【所収書目】 三節会次第／積奠次第／建久九年五節記／綾小路俊量卿記／朔旦冬至部類記／後鳥羽院御踐祚次第／後光厳院御踐祚記／後三条院御即位記／正親町院御即位略次第／永仁御即位用途記／文安御即位調度図／大嘗会御禊祓下次第／延慶二年大嘗会御禊祓記／大嘗会御禊日例／大嘗会御禊事／康治元年大嘗会記／正安三年大嘗会記／永和大嘗会記／永享大嘗会記／大嘗会延引勘例并諸卿申詞／長元大嘗会御屏風本文／御讓位部類記／寛元御讓位記／永徳御讓位記／天皇冠礼部類記／天子冠礼部類記惣録／天皇元服部類／主上御元服上寿作法抄／立坊部類記／東宮御書始部類記／上卿故実／作法故実／四節八座抄／参議要抄／羽林要秘抄／新任弁官抄／結政初参記／貫首秘抄／蓬萊抄／夕拜備急至要抄／柱史抄／内局柱礎抄／清瀨眼抄／大夫尉義経畏申記／除目抄／蟬冕翼抄／大間書／伝宣草

群書類従 第8輯 装束部・文筆部

〔オンデマンド版〕A5判 614頁 ISBN978-4-8406-3119-8 本体10,000円 (2013)

【所収書目】 満佐須計装束抄／助無智秘抄／飾抄／後照念院殿装束抄／装束抄／次将装束抄／三条家装束抄／雁衣鈔／布衣記／連阿口伝抄／連阿不足口伝抄／装束雑事抄／物具装束鈔／深窓秘抄／撰塵装束鈔／袷帷着用時節／法中装束抄／法鉢装束抄／女官飾鈔／曇花院殿装束抄／御禊行幸服飾部類／懐風藻／凌雲集／文華秀麗集／経国集／扶桑集／本朝麗藻

群書類従 第9輯 文筆部・消息部

〔オンデマンド版〕A5判 672頁 ISBN978-4-8406-3120-4 本体11,000円 (2013)

【所収書目】 本朝無題詩／都氏文集／田氏家集／菅家後集／江吏部集／法性寺閑白御集／雑言奉和／粟田左府尚齒会詩／賦光源氏物語詩／天徳三年八月十六日關詩行事略記／善秀才宅詩合／侍臣詩合／殿上詩合／資実・長兼両卿百番詩合／泥之草再新／続千字文／富士山記／狐媚記／源府君所蔵銅雀研記／暮年記／遊女記／傀儡子記／浦島子伝／続浦島子伝記／玉造小町子壯衰書／新猿楽記／作文大体／童蒙頌韻／雲州消息／貴嶺問答／十二月往来／新十二月往来／異制庭訓往来／雑筆往来／尺素往来／积氏往来／山密往来／後花園院御消息／贈定家卿文／定家卿消息／越部禅尼消息／東野州消息／東素山消息／消息耳底秘抄／書札礼／書札作法抄／細川家書札抄／大館常興書札抄

群書類従 第10輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 570頁 ISBN978-4-8406-3121-1 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 570頁 ISBN4-7971-0013-3 本体6,000円 (1959) 【在庫僅少】

【所収書目】拾遺抄／後葉和歌集／統詞花和歌集／玄玉和歌集／現存和歌六帖／秋風抄／雲葉和歌集／新和歌集／統門葉和歌集／統現葉和歌集／臨永和歌集／藤葉和歌集／々々集／今撰和歌集／柳風和歌抄／新撰和歌／金玉集／三十六人撰／後六々撰／新三十六人撰／為家卿千首／詠千首和歌／詠千首和歌

群書類従 第11輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 474頁 ISBN978-4-8406-3122-8 本体8,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 474頁 ISBN4-7971-0014-1 本体6,000円 (1959) 【在庫僅少】

【所収書目】為尹卿千首和歌／千首和歌太神宮法楽／白河殿七百首／龜山殿七百首／堀川院御時百首和歌／永久四年百首／久安六年御百首／正治二年第二度百首和歌／内裏名所百首／弘長百首／丹後守為忠朝臣家百首／木工権頭為忠朝臣家百首／句題百首／朗詠百首／俊成卿文治六年五社百首／秋日陪社壇同詠祈雨百首和歌／為兼卿鹿百首／南都百首／道法親王家五十首和歌／新古今和歌集竟宴倭歌／続古今和歌集竟宴倭歌／文治六年女御入内御屏風和歌／昭慶門院御屏風押色紙和歌／最勝四天王院障子和歌／句題和歌／三月三日紀師匠曲水宴／三百首和歌／七夕七十首

群書類従 第12輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 696頁 ISBN978-4-8406-3123-5 本体11,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 696頁 ISBN4-7971-0015-X 本体6,000円 (1960) 【在庫僅少】

【所収書目】在民部卿家歌合／寛平御時后宮歌合／亭子院歌合／陽成院歌合／亭子院有心無心歌合／天徳内裏歌合／堀川中納言家歌合／一条大納言家歌合／大納言家歌合／賀陽院水閣歌合／源大納言家歌合／弘徽殿女御十番歌合／祐子内親王家歌合／皇后宮春秋歌合／備中守定綱朝臣家歌合／子内親王家歌合／子内親王家歌合／呂保殿歌合／気多宮歌合／摂津守有綱家歌合／内裏歌合／若狭守通宗朝臣女子達歌合／高陽院七番歌合／東塔東谷歌合／山家五番歌合／散位源広綱朝臣歌合／六条宰相家歌合／内大臣家歌合／内大臣殿歌合／関白内大臣家歌合／永祿奈良房歌合／西宮歌合／南宮歌合／住吉歌合／中宮亮顯輔家歌合／右衛門督家歌合／太皇太后宮大進清輔朝臣家歌合／中宮亮重家朝臣家歌合／太皇太后宮亮平経盛朝臣家歌合／左衛門督実国卿家歌合／住吉社歌合／建春門院北面歌合／広田社歌合／三井寺新羅社歌合／右大臣家歌合／別雷社歌合／廿二番歌合／右大臣家歌合／若宮社歌合／民部卿家歌合／御室撰歌合／仙洞十人歌合／老若五十首歌合／新宮撰歌合／影供歌合／撰歌合／影供歌合／水無瀬釣殿当座六首歌合／水無瀬殿恋十五首歌合／水無瀬桜宮十五番歌合／八幡若宮撰歌合／北野宮歌合／卿相待臣歌合／鴨御祖社歌合／賀茂別雷社歌合／歌合／歌合／仙洞歌合／禁裏歌合／歌合／月卿雲客妬歌合／四十五番歌合／月卿雲客妬歌合／百番歌合／歌合／歌合／歌合／右大將家歌合／右大臣家歌合／四十番歌合／歌合／歌合／石清水若宮歌合／光明峰寺撰政家歌合／歌合／遠島御歌合／河合社歌合／院御歌合／影供歌合／十五夜歌合／龜山殿五首御歌合／撰政家月十首歌合／正応二年卅番歌合／十五夜歌合／歌合／新名所絵歌合／歌合／仙洞五十番歌合／歌合

群書類従 第13輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 580頁 ISBN978-4-8406-3124-2 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 580頁 ISBN4-7971-0016-8 本体6,000円 (1960) 【在庫僅少】

【所収書目】永福門院歌合／歌合／外宮北御門歌合／新玉津島社歌合／五百番歌合／内裏九十番御歌合／仙洞歌合／百番歌合／内裏歌合／按察使親長卿家歌合／武州江戸歌合／文明九年七月七日七首歌合／文明十年八月二日歌合／文明十年九月尽歌合／將軍家歌合／將軍家歌合／殿中十五番御歌合／三十六番歌合／蜷川親孝家歌合／十五夜三首歌合／秋十五番歌合／後陽成院御歌合／近江御息所歌合／源順馬名合／一条大納言家歌合／多武峰往生院歌合／西国受領歌合／源大納言家歌合／播磨守兼房朝臣歌合／子内親王家庚申夜歌合／子内親王家桜柳歌合／子内親王家夏歌合／山家三番歌合／源宰相中將家歌合／雲居寺結縁経後宴歌合／為兼卿家歌合／卅番歌合／公武歌合／武家歌合／地下歌合／前十五番歌合／後十五番歌合／時代不同歌合／新時代不同歌合／定家隆兩卿撰歌合／閑窓撰歌合／三十六人大歌合／女房三十六人歌合／御宴濯川歌合／宮河歌合／慈鎮和尚自歌合／日吉社歌合／後京極殿自歌合／後鳥羽院御自歌合／定家卿自歌合／家隆卿百番自歌合／隆祐朝臣百番自歌合／永福門院百番御自歌合／慈照院殿御自歌合／堯孝法印自歌合／道堅法師自歌合／豊原統秋自歌合／十市遠忠自歌合／細川左京大夫自歌合／元久詩歌合／内裏詩歌合／現存卅六人詩歌／五十四番詩歌合／詩歌合／文安詩歌合／詩歌合／詩歌合／寛平菊合／上東門院菊合和歌／朱雀院女郎花合／内裏歌合／東三条院瞿麥合／後冷泉院根合／郁芳門院根合／備中守仲実朝臣女子根合歌／円融院扇合／堀河院艶書合／正子内親王絵合／小野宮右衛門督家歌合／小野宮右衛門督家歌合／顕昭陳状／蓮性陳状

群書類従 第14輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 748頁 ISBN978-4-8406-3125-9 本体12,000円 (2013)

【所収書目】土御門院御集/砂玉和歌集/元良親王御集/瓊玉和歌集/李花集/西宮左大臣御集/金槐和歌集/常徳院殿御集/夏日陪多田院廟前詠五十首和歌/柿本集/家持集/権中納言兼輔卿集/権中納言敦忠卿集/権中納言朝忠卿集/海人手子良集/閑院左大将朝光卿集/前大納言公任卿集/権中納言定頼卿集/権中納言俊忠卿集/中納言雅兼卿集/成通卿集/前大納言実国卿集/入道大納言資賢卿集/按納言集/権中納言為重卿集/丑槐集/為和卿集/権大納言言継卿集/明日香井和歌集/隣女和歌集/祭主輔親卿集/大蔵卿行宗卿集/六条修理大夫集/左京大夫顕輔卿集/従三位頼政卿集/紀貫之集/業平朝臣集/敏行朝臣集/宗于朝臣集/公忠朝臣集/頼基朝臣集/猿丸大夫集/紀友則集/坂上是則集/藤原清正集/藤原元真集/信明集/藤原義孝集/藤原伸文集/源順集/能宣朝臣集/為頼朝臣集/元輔集/兼盛集/実方朝臣集/高光集/相如集/重之集/藤原長能集/源兼澄集/源道濟集/橘為仲朝臣集/讃岐入道集/故侍中左金吾家集/津守国基集

群書類従 第15輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 772頁 ISBN978-4-8406-3126-6 本体12,000円 (2013)

【所収書目】散木奇歌集/藤原為忠朝臣集/式部大輔菅原在良朝臣集/藤原基俊朝臣集/清輔朝臣集/源師光集/源有房朝臣集/平忠度朝臣集/惟宗広言集/鴨長明集/藤原隆信朝臣集/藤原隆祐朝臣集/藤原光経集/源孝範集/常縁集/慕景集/桂林集/赤人集/躬恒集/興風集/忠峰集/忠見集/曾禰好忠集/桜井基佐集/出観集/北院御室御集/遍昭集/源賢法眼集/夢窓国師御詠草/慶運法印集/堯孝法印集/素性法師集/恵慶法師集/安法法師集/登蓮法師集/林葉和歌集/寂然法師集/寂蓮法師集/兼好法師集/元可法師集/宗祇法師集/嘉喜門院御集/齋宮女御集/経信卿母集/俊成卿女集/小町集/檜垣集/本院侍従集/小馬命婦集/馬内侍集/伊勢集/中務集/加茂保憲女集/小大君集/清少納言集/紫式部集/和泉式部集/相模集/赤染衛門集/伊勢大輔集/康資王母集/弁乳母集/出羽弁集/祐子内親王家紀伊集/二条大皇太后宮大式集/待賢門院堀川集/二条院讃岐集/小侍集/建礼門院右京大夫集

群書類従 第16輯 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 628頁 ISBN978-4-8406-3127-3 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 628頁 ISBN4-7971-0019-2 本体6,000円 (1960) 【在庫僅少】

【所収書目】中殿御会部類記/晴御会部類記/貞治六年中殿御会記/柿本朝臣人麿勘文/柿本影供記/柿本講式/柿本像綵色勸進状/新撰万葉集/古今和歌集目録/古今集序注/古今集童蒙抄/僻案抄/三代集之間事/拾遺抄註/散木集註/蔵玉和歌集/悦目抄/後鳥羽院御口伝/近代秀歌/詠歌一体/よるのつる/九品和歌/歌仙落書/続歌仙落書/正治奏状/定為法印申文/延慶両卿訴陳状/無名秘抄/水蛙眼目/今川了俊和歌所江不審条々/了俊弁要抄/落書露頭/徹書記物語/東野州聞書/兼載雑談/西公談抄/桐火桶/愚秘抄/三五記

群書類従 第17輯 連歌部・物語部

〔オンデマンド版〕A5判 680頁 ISBN978-4-8406-3128-0 本体11,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 680頁 ISBN4-7971-0020-6 本体6,000円 (1960)

【所収書目】筑波問答/吾妻問答/さゝめこと/老のくりこと/老のすさみ/若草山/連歌本式/連歌新式追加并新式今案等/漢和法式/伊勢物語/大和物語/竹とりの翁物語/住吉物語/秋の夜の長物語/鳥部山物語/松帆浦物語/児教訓/無名草子/捨遣百番歌合/百番歌合/源氏物語願文/伊勢源氏十二番女合/源氏人々の心くらへ/源氏物語奥入/原中最秘抄/弘安源氏論議/仙源抄/源語秘訣/源氏物語竟宴記

群書類従 第18輯 日記部・紀行部

〔オンデマンド版〕A5判 848頁 ISBN978-4-8406-3129-7 本体13,000円 (2013)

【所収書目】和泉式部日記/紫式部日記/讃岐典侍日記/弁内侍日記/中務内侍日記/堯孝法印日記/玄与日記/宗長手記/土左日記/いほぬし/さらしな日記/高倉院厳島御幸記/後鳥羽院熊野御幸記/海道記/南海流浪記/東関紀行/うたゝねの記/いさよひの日記/都のつと/小島のくちすさみ/住吉詣/道ゆきふり/鹿苑院殿厳島詣記/なくさめ草/伊勢紀行/富士紀行/覧富士記/富士御覽日記/富士歴覽記/善光寺紀行/ふち河の記/正広日記/平安紀行/筑紫道記/北国紀行/廻国雑記/高野參詣日記/吉野詣記/九州道の記/九州のみちの記/あつまの道の記/むさし野の記行/東国陣道記/蒲生氏郷紀行/東路の津登/紹巴富士見道記/東国紀行

群書類従 第19輯 管弦部・蹴鞠部・鷹部・遊戯部・飲食部

〔オンデマンド版〕A5判 886頁 ISBN978-4-8406-3130-3 本体14,000円 (2013)

【所収書目】管絃音義/五重十操記/龍鳴抄/懐竹抄/胡琴教録/舞楽要録/雑秘別録/舞曲口伝/夜鶴庭訓抄/残夜抄/糸竹口伝/木師抄/秦箏相承血脈/琵琶血脈/順徳院御琵琶合/八音抄/東遊歌図/風俗/郭曲抄/新撰朗詠集/梁塵秘抄口伝集巻第十/承元御鞠記/貞治二年御鞠記/享徳二年晴之御鞠記/後鳥羽院御記/成通卿口伝日記/蹴鞠略記/蹴鞠簡要抄/遊庭秘鈔/新修鷹経/嵯峨野物語/白鷹記/養鷹記/後京極殿鷹三百首/

鷹三百首和歌／鷹百首／鷹百首／小鷹部／衾津松鷗軒記／薫集類抄／後伏見院宸翰薰物方／むくさのたね／五月雨日記／名香合／名香目録／囲碁口伝／囲碁式／仙伝抄／君台観左右帳記／御師記／作庭記／洛陽田楽記／文安田楽能記／糺河原勸進猿樂日記／異本糺河原勸進申楽記／粟田口猿楽記／厨事類記／世俗立要集／四条流庖丁書／武家調味故実／大草家料理書／庖丁聞書／大草殿より相伝之聞書／喫茶養生記／喫茶往来／酒茶論／亭子院賜酒記／酒食論／北野大茶湯之記

群書類従 第20輯 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 748頁 ISBN978-4-8406-3131-0 本体12,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 748頁 ISBN4-7971-0023-0 本体6,000円 (1959)

【所収書目】将門記／純友追討記／陸奥話記／奥州後三年記／承久軍物語／梅松論／伯耆之巻／明德記／応永記／嘉吉記／新撰長祿寛正記／文正記／応仁記／応仁略記／応仁別記／永祿記／豊鑑／細川両家記／勢州四家記／内外両宮兵乱記／鎌倉大草紙／結城戦場物語

群書類従 第21輯 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 754頁 ISBN978-4-8406-3132-7 本体12,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 754頁 ISBN4-7971-0024-9 本体6,000円 (1960)

【所収書目】相州兵乱記／豆相記／河越記／深谷記／さゝこおちのさうし／なかおゝちのさうし／房総治乱記／鹿島治乱記／江濃記／江北記／船田前記／船田後記／上野国群馬郡簗輪軍記／羽尾記／蘆名家記／蒲生氏郷記／伊達日記／柴田退治記／富樫記／小松軍記／荒山合戦記／末森記／赤松記／赤松再興記／別所長治記／播州御征伐之事／大内義隆記／中国治乱記／阿州将裔記／三好家成立之事／三好別記／十河物語／予章記／大友記／難太平記／上月記／荒木略記／親房卿被贈結城状／吉野御事書案／阿蘇大宮司惟澄申状／菊池武朝申状／上杉輝虎注進状／豊臣太閤御事書／沙弥洞然長状

群書類従 第22輯 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 626頁 ISBN978-4-8406-3133-4 本体10,000円 (2013)

【所収書目】御成敗式条／御成敗式目追加／建武式目条々／建武以来追加／侍所沙汰篇／大内家壁書／政所壁書／早雲寺殿廿一箇条／信玄家法／長曾我部元親百箇条／朝倉敏景十七箇条／鹿苑院殿御元服記／普広院殿御元服記／光源院殿御元服記／常徳院殿様御馬召初らるゝ事／宝篋院殿將軍宣下記／普広院殿任大臣節会次第／普広院殿左大臣御賀賀記／普広院殿大将御賀賀雑事／鹿苑院殿御直衣始記／長祿二年以来申次記／殿中申次記／年中定例記／公方様正月御事始之記／殿中以下年中行事／飯尾宅御成記／畠山亭御成記／祇園会御見物御成記／伊勢守貞忠亭御成記／三好筑前守義長朝臣亭江御成之記／朝倉亭御成記／文祿三年卯月八日加賀之中納言殿江御成事／文祿四年御成記／諸大名衆御成被申入記／供立之日記／御供古実／走衆故実／大内問答／奉公覚悟之事／今川大双紙／宗五大艸紙

群書類従 第23輯 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 518頁 ISBN978-4-8406-3134-1 本体8,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 518頁 ISBN4-7971-0026-5 本体6,000円 【在庫僅少】

【所収書目】簾中日記／大上臈御名之事／嫁入記／よめむかへの事／法量物／射礼私記／大的躰拜記／流鏑馬次第／笠掛記／鹿足之次第／目安／騎射秘抄／八廻之日記／出法師落書／犬追物手組／就弓馬儀大概聞書／家中竹馬記／土岐家聞書／矢開之事／就狩詞少々覚悟之事／空穂之次第／随兵日記／随兵之次第事／中原高忠軍陣聞書／築城記／御産所日記／産所之記／建治三年丁丑日記／文明十一年記／六波羅御下知／撰津親秀讓状／斎藤親基日記／御隨身三上記／見聞諸家紋／義貞記／武具要説／馬具寸法記

群書類従 第24輯 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 720頁 ISBN978-4-8406-3135-8 本体11,000円 (2013)

【所収書目】初例抄／釈家官班記／太神宮御相伝袈裟記／石清水不断念仏縁起／賀茂社社会縁起／春日社三十講最初御願文／太上天皇御受戒記／後宇多院御灌頂記／七仏薬師御修法記／宸筆御八講記／後嵯峨院宸筆御八講之記／延徳御八講記／和久良半の御法／雲井の御法／よるづの御のり／魚山の御のり／後光厳院三十三回聖忌記／後土御門院三十三回聖忌記／陽禄門院三十三回忌の記／仁和寺諸堂記／山城州葛野郡楓野大堰郷広隆寺来由記／清水寺縁起／醍醐寺縁起／安楽光院行事／楞伽寺記／勸修寺縁起／般舟三昧院記／天下南禅寺記／天龍寺供養記／東福紀年録／京城万寿禅寺記／覚雄山大福田宝幢寺鹿王院記／法勝寺供養記／尊勝寺供養記／無量寿院供養記／法成寺金堂供養記／薬師堂供養記／東北院供養記／東寺塔供養記／東寺塔供養記／相国寺供養記／相国寺塔供養記／大安寺伽藍縁起流記資財帳／大安寺縁起／薬師寺縁起／東大寺大仏記／東大寺造立供養記／東大寺金銅碑文／興福寺縁起／多武峰縁起／多武峰略記／長谷寺縁起文／当麻曼羅縁起／観心寺縁起実録帳／山門堂舎記／叡岳要記／九院仏閣抄／天元三年中堂供養願文／永正十五年中堂供養記／弘安八年大講堂供養記／木下川薬師仏像縁起／日光山中禅寺私記／讚岐国白峰寺縁起／筑前国聖福寺仏殿記／高野山焼失記／近江国栗本郡金勝寺官符／仏

牙舎利記／鹿王禪院如意宝珠記／二荒山千部会縁起／日光山三月会縁記／慈恵大僧正御遺告／阿弥陀院宝物目録／観世音寺資財帳／左記／右記／追記／発心和歌集／法門百首

群書類従 第25輯 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 578頁 ISBN978-4-8406-3136-5 本体9,000円（2013）

〔所収書目〕古語拾遺／古語拾遺攷異／日本国現報善悪靈異記／新撰姓氏録抄／大鏡裏書／康平記／宇槐雑抄／達幸故実鈔／寛治二年記／永久元年記／醍醐寺雑事記／鳩嶺年代記／文保三年記／剣璽渡御記／光明寺残篇／関城書裏書／建武年間記／鳩嶺雑事記／祇園執行日記／醍醐雑抄／快元僧道記

群書類従 第26輯 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 636頁 ISBN978-4-8406-3137-2 本体10,000円（2013）

〔所収書目〕保暦間記／花宮三代記／如是院年代記／編御記／革命勘文／諸道勘文／長寛勘文／法曹類林／濫觴抄／代始和抄／日中行事／禁秘抄／禁脔秘抄／名目鈔／世俗浅深秘抄／類聚雑要抄

群書類従 第27輯 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 728頁 ISBN978-4-8406-3138-9 本体11,000円（2013）

〔所収書目〕桃花薬葉／弘安礼節／二判問答／三内口決／大饗略次第／大饗御装束問事／大饗雑事／大饗次第／十七箇条憲法／建暦二年三月廿二日宣旨／意見十二箇条／封事三箇条／寛平御遺誠／九条殿遺誠／渋柿／竹馬抄／小夜のねざめ／文明一統記／樵談治要／乳母のふみ／めのとのおうし／身のかたみ／慈元抄／枕草紙／艶詞／方丈記／十楽庵記／夢庵記／三愛記／宇津山記／三塔巡礼記／石山月見記／嵯峨記／唐崎松記／夢想記／さか衣／多武峰少将物語／鳴門中将物語／時秋物語／今物語／野守鏡／吉野拾遺／江談抄／続古事談／東斎隨筆

群書類従 第28輯 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 724頁 ISBN978-4-8406-3139-6 本体11,000円（2013）

〔所収書目〕大槐秘抄／おもひのまゝの日記／真俗交談記／騫驢嘶余／門室有職抄／海人藻芥／駿牛絵詞／国牛十図／夜鶴庭訓抄／才葉抄／入木抄／本朝書籍目録／仙洞御文書目録／倭片仮字反切義解／通憲入道蔵書目録／諸家点図／桂林遺芳抄／新撰字鏡／中正子／常陸国風土記／豊後国風土記／対馬国貢銀記／伊勢国風土記／駿河国風土記／安東郡専当沙汰文／康正二年造内裏段銭并国役引付／東北院職人歌合／鶴岡放生会職人歌合／三十二番職人歌合／七十一番歌合／十二類歌合／調度歌合／狂歌合／常盤姫物語／精進魚類物語／柿本氏系図／後奈良院御撰何曾／公武大体略記／世諺問答／暦林問答集

群書類従 第29輯 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 738頁 ISBN978-4-8406-3140-2 本体12,000円（2013）

〔所収書目〕紹運要略／立坊次第／本朝女后名字抄／女院記／本朝謚号雑記／歴名土代／御評定着座次第／永享以来御番帳／文安年中御番帳／永禄六年諸役人附／長享元年九月十二日常徳院殿様江州御動座當時在陣衆着到／東大寺奴婢籍帳／常楽記／近江国番場宿蓮華寺過去帳／相州鎌倉松岡過去帳／常陸国茨城郡六段田村六地藏寺過去帳／常陸国田島村伝灯山和光院過去帳／類聚雑例／高倉院升遐記／四条院御葬礼記／龜山院御葬礼記／伏見上皇御中陰記／後光厳院御中陰以下御仏事記／後小松院崩御記／山の霞／山賤記／後奈良院御拾骨之記／新待賢門院七七忌御願文／鹿苑院殿葬記／鹿苑院殿追善記／鹿苑院殿をいためる辞／將軍義尚公薨逝記／万松院殿六太記／総見院殿追善記／あしたの雲／宗祇終焉記／幽斎尊翁御葬礼記／玄旨法印をいためることば／吉事次第／吉事略儀／贈官宣下記／諷誦願文案／文保記／永正記／婚記／中宮御産部類記／后宮御着帯部類／御産御祈目録／安徳天皇御五十日記／春華門院御五十日記／新院姫宮御行始記／北山院御入内記／安元御賀記／俊成卿九十賀記／称名院右府七十賀記／暮春白河尚齒会和歌并序

群書類従 第30輯 正統 分類総目録・文献年表

〔オンデマンド版〕A5判 412頁 ISBN978-4-8406-3141-9 本体7,000円（2013）

〔所収書目〕群書類従正統分類総目録／群書類従正統書名総目録

〔附録〕温故堂塙先生伝／塙前総検校年譜／塙忠宝先生年譜／塙忠韶先生年譜／塙忠雄先生年譜／松山集／水母文集／文献年表

旧版B6判を拡大しA5判に。
オンデマンド版で全巻復刻！

続群書類従 (全86冊)

ぞくぐんしょるいじゅう

〔オンデマンド版〕ISBN978-4-8406-3586-8
A5判 並製 カバー装 〔分売可・受注生産〕
揃本体688,000円

〔通常版〕B6判 上製 函入【セット品切】



第1輯上・下、第2輯上・下、第3輯上・下 神祇部
第4輯上 帝王部・補任部
第4輯下 補任部
第5輯上・下、第6輯上・下、第7輯上・下 系図部
第8輯上・下、第9輯上・下 伝部
第10輯上 官職部・律令部・公事部
第10輯下、第11輯上 公事部
第11輯下 公事部・装束部
第12輯上・下、第13輯上 文筆部
第13輯下 文筆部・消息部
第14輯上・下、第15輯上・下、第16輯上・下 和歌部
第17輯上 和歌部・連歌部
第17輯下 連歌部
第18輯上 物語部
第18輯下 物語部・日記部・紀行部*
第19輯上 管絃部
第19輯中 蹴鞠部・鷹部
第19輯下 遊戯部・飲食部
第20輯上・下、第21輯上・下、第22輯上・下、第23輯
上 合戦部
第23輯下、第24輯上・下、第25輯上 武家部
第25輯下、第26輯上・下、第27輯上・下、第28輯上・
下 積家部
第29輯上・下、第30輯上・下、第31輯上・下、第32輯
上・下、第33輯上・下 雑部
第34輯～第37輯 拾遺部
補遺1 満濟准后日記上・下
補遺2 看聞御記上・下
補遺3 お湯殿の上の日記一～十一

続群書類従 第1輯上 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 506頁 ISBN978-4-8406-3142-6 本体8,000円 (2013)

【所収書目】神皇雑用先規録／伊勢二所皇太神宮御鎮座伝記／天照座伊勢二所皇太神宮御鎮座次第記／豊受皇太神宮御鎮座本記／倭姫命世記／造伊勢二所太神宮宝基本記／伊勢二所皇太神宮神名秘書／皇字沙汰文／内宮御神宝記／外宮御神宝記／外宮遷御奉仕来歴／康暦二年外宮遷宮記／建久九年内宮仮殿遷宮記／文永三年御遷宮沙汰文／正中御飾記／永享元年己酉十一月廿日山口祭記／応永廿六年外宮神宝送宮符／寛正三年内宮神宝送宮符／建久三年皇太神宮年中行事／二宮年中行事／四度幣部類記

続群書類従 第1輯下 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 454頁 ISBN978-4-8406-3143-3 本体7,000円 (2013)

【所収書目】伊勢公卿勅使雜例／参議綏光卿記／康和以来公卿勅使記／仁安四年公卿勅使記／嘉暦三戊辰年九月十日公卿勅使御参宮日記／永正十五年一社奉幣使参向記／高宮盗人闖入怪異事／離宮院記／内宮子良館記／外宮子良館旧記／公文抄／応永以来外宮注進状／延徳記／永正以来宮司引付／内宮禰宜荒木田氏経引付／内宮禰宜荒木田守晨引付／度会常有家引付／宇治土公家引付／有爾日記／大神宮参詣記／釈尊寺旧記

続群書類従 第2輯上 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 400頁 ISBN978-4-8406-3144-0 本体6,000円 (2013)

【所収書目】榊葉集／八幡愚童訓／鳩嶺雑日記／石清水八幡宮末社記／石清水臨時祭之記／文永六年兼文宿禰勘文／大永五年石清水八幡遷宮日時定／石清水放生会記／貞応二年宗清法印立願文／嘉禄元年宗清法印勸進文／嘉元年中賀茂祭記／賀茂祭さうよの引付色目／延文元年賀茂臨時祭記／稲荷鎮座由来／春日御託宣記／春日祭旧例／嘉慶元年春日臨時祭記／天文年中春日祭次第／弘安四年春日入洛記／貞治三年春日御動座記／永徳二年春日焼失記／当社御造替日記／春日若宮神殿守記／応安二年春日卅八所造替記／若宮殿臨時御遷宮日記／社頭御八講日記／率川社注進状／率川御社御遷宮日記／春日社司祐重記／至徳二年記

続群書類従 第2輯下 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 422頁 ISBN978-4-8406-3145-7 本体7,000円（2013）

【所収書目】明応六年記／春日正預祐範記／春日拝殿方諸日記／春日詣部類記／明徳二年室町殿春日詣記／三輪大明神縁起／龍田大明神御事／住吉太神宮諸神事之次第記録／耀天記／巖神鈔／日吉山王利生記／続日吉山王利生記／日吉本記／日吉山王新記／元応元年大社・小比叡社社家注進状／御礼拝講之記／日吉社室町殿御社参記

続群書類従 第3輯上 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 414頁 ISBN978-4-8406-3146-4 本体7,000円（2013）

【所収書目】祇園牛頭天王縁起／祇園三鳥居建立記／御霊会山鉾記／祇園社記／祇園社記録／天台座主祇園別当并同執行補任次第／祇園社記録／祇園社古文書写／北野宮寺縁起／北野本地／天神講式／天満大自在天神宝号記／北野神君画幀記／五岳賛語並附異朝之賛詞／二十二社并本地／惟賢比丘筆記／神祇正宗／神祇拾遺／類聚既驗抄神祇十／麗気記／神階記／恒例修正月勸請神名帳／清滝宮勸請神名帳／神名帳戒壇院公用／和泉国神名帳／三河国内神明名帳／若狭国神名帳／隠州神名帳／南海道紀伊国神名帳／筑後国神名帳／赤城大明神縁起／豊国大明神祭礼記／東大寺八幡験記／東大寺八幡転害会記／大和葛城宝山記／大和国城下郡鏡作大明神縁起／菅神初瀬山影向記／霊安寺御霊大明神略縁起／誉田八幡縁起／熱田宮秘釈見聞／熱田講式／足助八幡宮縁起／曾我両社八幡宮并虎御前観音縁起／弘安四年鶴岡八幡遷宮記

続群書類従 第3輯下 神祇部

〔オンデマンド版〕A5判 440頁 ISBN978-4-8406-3147-1 本体7,000円（2013）

【所収書目】香取大神宮造営目録／下総国香取社造進注文／香取社造営物注文／香取社年中神事目録／香取宮遷宮用途記／盛殿遷宮用途記／鹿島宮社例伝記／鹿島宮年中行事／中郡庄賀茂大明神縁起／久慈郡薩都宮奉加帳／那珂郡甲明神奉加帳／諏訪大明神絵詞／近江国別浦八幡縁起／兵主大明神縁起／信濃国埴科郡榎原庄中条宮弁財天由来記／会津高倉社勸進帳／加州石川郡白山縁起／巖島御本地／熊野権現金剛蔵王宝殿造功日記／熊野本宮古記／丹生大神宮之儀軌／正応六年太政官牒／伊予三島縁起／北野天神御縁起／筑前州大宰府安楽寺菅丞相祠堂記／由原八幡縁起／唯一神道名法要集／兼邦百首歌抄／諸社禁忌／伊勢大神宮参詣精進条々／太神宮ぶつきりやう／八幡宮社制／稻荷社家物忌令之事／新羅社服忌令／日光山物忌令／触穢問答／触穢考／神祇道服紀令秘抄／通海参詣記／重校神名秘書

続群書類従 第4輯上 帝王部・補任部

〔オンデマンド版〕A5判 454頁 ISBN978-4-8406-3148-8 本体7,000円（2013）

【所収書目】皇代略記／朝観行幸部類／御方違行幸御供奉雜事／朝観行幸御供奉事／元亨四年三月廿三日石清水行幸供奉人数／応永二十一年御方違行幸記／永享九年十月廿一日行幸記／天正年中聚楽亭兩度行幸日次記／御幸始部類記／御幸始次第／正安元年新院兩社御幸記／延慶二年八幡御幸記／応永廿九年八幡御幸次第／宇治御幸記／建仁元年熊野山御幸記／後宇多院御幸記／内裏遷幸部類／永久五年遷幸記／法住寺殿御移徙部類／檢非違使補任／春宮坊官補任／外記補任／蔵人補任／相国歴名／菅儒侍読年譜／院司補任次第／將軍次第／執事補任次第／長門国守護職次第／二所太神宮正員祿補任次第記／天台座主祇園別当並同執行補任次第／熊野別当御当代々記／宗像大宮司次第／護持僧補任／護持僧次第／任僧綱土代／法中補任／探題次第

続群書類従 第4輯下 補任部

〔オンデマンド版〕A5判 532頁 ISBN978-4-8406-3149-5 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 532頁 ISBN4-7971-0046-X 本体5,000円（1958）

【所収書目】仁和寺御室系譜／菩提院門跡列祖次第／勝宝院門跡列祖次第／大覚寺門跡次第／大覚寺門跡略記／天台正嫡梶井門跡略系譜／青蓮院門跡系譜／妙法院門跡相承次第／円満院門跡相承次第／曼殊院門跡伝法師跡次第／勸修寺長吏次第／安井門跡次第／醍醐寺座主讓補次第／金剛山院門跡列祖次第／理院院務次第／三宝院列祖次第／東寺長者并高野檢校等次第／金剛峰寺執行檢校阿闍梨補任略記／伝法院座主補任次第／法琳寺別当補任／龍宝山住持位次／天台座主記／園城寺長吏次第／天王寺別当次第／大乘院門跡次第／興福寺寺務次第／興福寺三綱補任／法隆寺別当次第／鶴岡八幡宮寺供僧次第／鶴岡兩界壇供僧次第／鶴岡脇堂供僧次第／日光山門跡次第／外記補任

続群書類従 第5輯上 系図部

〔オンデマンド版〕A5判 532頁 ISBN978-4-8406-3150-1 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 532頁 ISBN4-7971-0047-8 本体4,000円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】皇胤系図／日本皇帝系図／後嵯峨院皇統系図／嵯峨源氏系図／仁明源氏系図／文徳源氏系図／平氏系図／藤原氏系図／橘氏系図／武蔵七党系図／清和源氏系図／足利系図／古河御所之伝／古河公方系図／喜連川古河宮原之系図／喜連川判鑑／武衛系図／奥州斯波系図／湯川彦衛門覚書／最上系図／山野辺氏系図／細川系図／畠山系図／両畠山系図／二本松系図／山名系図／山名系譜／吉良系図／今川系図／渋川系図／一色丹羽系図／

里見系図／由良系図／吉見系図／木曾系図／小田系図／穴戸系図／奥州石河系図／島津系図／島津歴代歌／佐竹系図／佐竹支族系図／御当家系図／美乃佐竹系図／草島系図／草島家伝覚書／佐竹白石系図

続群書類従 第5輯下 系図部

[オンデマンド版] A5判 518頁 ISBN978-4-8406-3151-8 本体8,000円 (2013)

【所収書目】佐竹白石系図／武田系図／両武田系図／若州武田系図／紀州武田系図／武田法印系図／大井系図／小笠原系図／小笠原民部系図／小笠原三家系図／高天神小笠原系図／高天神小笠原家譜／三好系図／十河系図／南部系図／秋山系図／保田系図／竹内系図／土岐系図／舟木氏系図／明智系図／多治見系図／多田系図／山県系図／川那部系図／下間系図／高梨系図／山岡系図／赤井系図／三上系図／和田系図／本郷系図／渡辺系図／松浦系図／本朝大仏師正統系図／佐々木系図／大山系図／佐々木譜／駒井氏系図／上坂氏系図／平井系図／児島三宅系図／北畠系図／星合系図／名和系図／名和長年家伝譜／村上源氏那波系図／赤松系図／赤松略譜／赤松家系図／有馬系図／石野系図／上月系図／本間系図／本間略系図／海老名荻野系図／田代略系図

続群書類従 第6輯上 系図部

[オンデマンド版] A5判 380頁 ISBN978-4-8406-3152-5 本体6,000円 (2013)

【所収書目】桓武平氏系図／三浦系図／和田系図／大多和系図／三戸系図／佐原比田藤倉系図／横須賀系図／千葉上総系図／常陸大掾伝記／常陸大掾系図／石川系図／小栗系図／磐城系図／岩城系図／北条系図／福島系図／伊勢系図／勢州系図／安村系図／織田系図／江戸系図／千葉系図／大須賀系図／千葉支流系図／東系図／鹿島当禰宜系図／君島系図／般若院系図／相馬系図／奥州相馬系図／相馬則胤覚書／笠井系図／熊谷系図／長尾系図／平群系図／土屋系図／曾我系図／曾我系譜／湯浅系図／日野一流系図／御子左系図／冷泉系図／飛騨国司系図／武藤系図／内藤系図／山内首藤系図／那須系図／千本系図／粟生系図／大友系図／戸次系図／立花系図

続群書類従 第6輯下 系図部

[オンデマンド版] A5判 382頁 ISBN978-4-8406-3153-2 本体6,000円 (2013)

【所収書目】菊池系図／大森葛山系図／大森系図／宇都宮系図／上杉系図／深谷上杉系図／宅間系図／加々爪系図／糟谷系図／小山系図／結城系図／白河結城系図／佐野阿曾沼系図／尾藤系図／後藤系図／佐伯系図／波多野系図／河村系図／松田系図／小山結城系図／結城家譜／長沼系図／岡本系図／蒲生系図／佐野系図／佐野松田系図／下河辺系図／荒木系図／奥州御館系図／佐藤系図／小野崎系図／常州江戸系図／利仁流系図／桐原系図／長井系図／吉川系譜／工藤二階堂系図／二階堂系図／伊藤系図／河津系図／天野系図／相良系図／遠藤系図／井伊系図／成田系図／龍造寺系図／有馬系図／浅井系図／熊野別当系図／中岩氏系図／本願寺系図／松谷光徳寺系図

続群書類従 第7輯上 系図部

[オンデマンド版] A5判 514頁 ISBN978-4-8406-3154-9 本体8,000円 (2013)

【所収書目】橘氏系図／楠氏系図／阿蘇三社大宮司系図／多氏系図／中原系図／江州中原氏系図／小野氏系図／小野系図／大宅系図／越智系図／河野氏系図／河野系図／賀茂系図／賀茂氏系図／蘇我石川両氏系図／紀氏系図／堀田芳賀系図／芳賀系譜／浦上系図／石清水河官系図／安倍氏系図／藤崎系図／安藤系図／和氣氏系図／小槻系図／綾氏系図／日下部系図／私市氏系図／春原系図／清原系図／豊後清原系図／石島系図／高階氏系図／堀尾系図／豊原氏系図／相承次第／良峰氏系図／在原氏系図／滋野氏系図／信州滋野氏三家系図／増田望月系図

続群書類従 第7輯下 系図部

[オンデマンド版] A5判 482頁 ISBN978-4-8406-3155-6 本体8,000円 (2013)

【所収書目】菅原氏系図／大江氏系図／大江系図本／大中臣氏系図／大中臣系図／和田系図／和田文書／中臣氏系図／鹿島大宮司系図／鹿島大禰宜系図／香取大宮司系図／香取大禰宜系図／卜部氏系図／賀茂神官鴨氏系図／河合神職鴨田主系図／松尾社家系図／住吉社神主并一族系図／大伴系図／伴氏系図／鶴岡社職系図／紀伊国造系図／伊香氏系図／広峰氏系図／大神系図／戸部系図／御神本系図／丹波氏系図／坂上系図／長宝寺系図／大蔵氏系図／秋月系図／田尻系図／惟宗氏系図／長曾我部系図／三善氏系図／大内系図／伯氏系図／百濟氏系図／坊官系図／仁和寺候人系図／度会氏系図

続群書類従 第8輯上 伝部

[オンデマンド版] A5判 394頁 ISBN978-4-8406-3156-3 本体6,000円 (2013)

【所収書目】上宮皇太子菩薩伝／聖徳太子伝暦／文応皇帝外紀／恒貞親王伝／光台院御室伝／橘逸勢伝／藤原保則伝／畊雲老人寿像賛／竹田雄誉光英法印寿像讚／故左金吾兼野州太守平公墳記／宇喜多和泉守三宅朝臣能家像賛／山県源七郎元之伝／本朝神仙伝／入唐五家伝／本朝法華驗記／仁和寺諸師年譜／拾遺往生伝／後拾遺往生伝／三外往生伝／本朝新修往生伝／高野山往生伝／真言烈祖表白集

続群書類従 第8輯下 伝部

〔オンデマンド版〕A5判 392頁 ISBN978-4-8406-3157-0 本体6,000円（2013）

【所収書目】浄土法門源流章／阿娑縛三国明匠略記／日本名僧伝／行基菩薩伝／行基大菩薩行状記／大和国生馬山行基菩薩御遺骨出現事／鑑真和上三異事／叡山大師伝／伝教大師行業記／伝教大師行状／空海僧都伝／贈大僧正空海和上传記／大師御行状集記／弘法大師御伝／弘法大師行化記／高野大師御伝／弘伝略頌抄／延暦寺故内供奉和上行状／慈覚大師伝／智証大師伝／聖宝僧正伝／尊意贈僧正伝／慈慧大師伝／空也誅／元杲大僧都自伝／和州多武峰寺増賀上人行業記／谷阿闍梨伝／大伝法院本願聖人御伝

続群書類従 第9輯上 伝部

〔オンデマンド版〕A5判 408頁 ISBN978-4-8406-3158-7 本体7,000円（2013）

【所収書目】黒谷源空上人伝／隆寛律師略伝／聖光上人伝／鎌倉佐介淨利光明寺開山御伝／泉涌寺不可棄法師伝／三輪上人行状／本願寺聖人親鸞伝絵／最須敬重絵詞／日蓮聖人註画讃／元祖蓮公薩埵略伝／蓮公大師年譜／一遍聖絵／一遍上人行状／一遍上人年譜略／浄阿上人行状／開山無人和尚行業記／杲宝僧都事実／大雲院開山貞安上人伝／頼印大僧正行状絵詞／日本国千光法師祠堂記／洛城東山建仁禪寺開山始祖明庵西公禪師塔銘／初祖道元禪師和尚行録／永平寺三祖行業記／水上山万寿開山神子禪師行実／肥前国勅賜水上山興聖万寿禪寺開山勅特賜神子禪師榮尊大和尚年譜／東巖安禪師行実／巨福山建長禪寺開山蘭溪和尚行実／源翁禪師伝／大日本国皇城東五山之上瑞龍山大平興国南禅々寺開山第一世祖仏心禪師大明国師無関大和尚塔銘／仏光禪師塔銘／鷺峰開山法灯円明国師行実年譜／仏照禪師塔銘／肥後州大慈寺開山寒岩禪師略伝／仏智禪師伝／大日本国東海道相州路鎌倉巨福山建長興国禪寺第十代勅諡大通禪師行実／浄智第四世法海禪師無象和尚行状記／大円禪師伝／東福第八世法照禪師十乘坊行状／東明和尚塔銘／大慈庵仏通禪師行状／勅諡南院国師規庵和尚行状／前住相模州巨福山建長興国禪寺勅諡仏国応供広濟国師行録／一山国師妙慈弘濟大師行記／大日本国特賜仏燈国師約翁和尚無相之塔銘并序／東福第十世勅賜仏印禪師直翁和尚塔銘／太秦海生寺開山深山和尚行状／円通大心国師塔銘／古林和尚行実

続群書類従 第9輯下 伝部

〔オンデマンド版〕A5判 396頁 ISBN978-4-8406-3159-4 本体6,000円（2013）

【所収書目】東福第十一世南山和尚行実／双峰国師年譜略／大燈国師行状／仏日焰恵禪師明極大和尚塔銘／河東祇樹一源統禪師行状／清拙大鑑禪師塔銘／越之中州黄龍山興化護国禪寺開山勅諡仏林恵日禪師塔銘并序／日本国京師建仁禪寺高山照禪師塔銘／丹波州水上郡佐治庄瑞岩山高源寺開山遠禪祖雄禪師之行実／謹具東海和尚行実／勅諡宝覚真空禪師前住大唐京兆翠微寺後住日本京城東山建仁禪寺雪村大和尚行道記／平田和尚伝／建長禪寺竺仙和尚行道記／海蔵和尚紀年録／天龍開山夢窓正覚心宗普濟国師年譜／西山夜話／臨川家訓／天龍開山特賜夢窓正覚心宗国師塔銘并序／日本国天龍禪寺開山夢窓正覚心宗普濟国師碑銘／大梅山開山月林皎禪師行状／大陽和尚行実／智覚庵開山大道和尚行状／真源大照禪師龍山和尚行状／無極和尚伝／固山鞏和尚行状／下野龍興開山仏巖禪師行状／孤峰和尚行実／広智国師乾峰和尚行状／青井山高成禪寺開山大年大和尚伝／東福廿三世無徳和尚行実／総持二世峨山和尚行状／日本国建仁禪寺住持月蓬見禪師塔銘／東福廿五世古源和尚伝／日本故建仁別源和尚塔銘並序／寂室和尚行状／無雲天禪師行実／江州永源寺開山円心禪師行状／天応大現国師行状／不聞和尚行状／仏観禪師行状／尾州応夢山定光禪寺開山勅諡覚源禪師平心処齐和尚年譜略／友山和尚伝／古先和尚行状／宗鏡禪師伝／仏種慧濟禪師中巖和尚自歴譜／約庵久禪師略伝／日本南禅寺仏恵広慈禪師在庵大和尚行業／妙興開山円光大照禪師行状／正統下南海和尚伝／弘宗定智禪師行状／吉祥庵清谿和尚行実／芸州永福寺天関冲禪師行実／安養開山勅諡正眼智鑑禪師年譜／甲州塩山向岳庵開山拔隊和尚行実／宝幢開山智覚普明国師行業実録／龍湫和尚行状／大明禪寺開山月庵和尚行実／深奥山方広開基無文選禪師行業／密伝正印禪師言外和尚行状／太清和尚履歴略記／東福四十三世性海和尚行実／仏智広照浄印猊聖国師年譜／別峰殊禪師行道記／勝定国師年譜／慧鑑明照禪師道行記／万松山泉龍禪寺普覚円光禪師伝／南禅碧岩浚禪師行状／前南禅一庵麟禪師行状／常光国師行実／普濟禪師行記／前相国無求伸禪師行実／松嶺秀禪師行状／岐陽自贊／玉龍山福昌禪寺開山石屋禪師塔銘／東漸和尚伝／勅諡大機弘宗禪師行状／万歳山成道寺寰中和和尚伝／前天龍心関大禪師祖道履歴之記／雲章和尚行状／綿谷颯禪師行状／特賜宗恵大照禪師行状／前南禅瑞岩禪師行道記／周防路鹿王山龍文寺開山竹居禪師塔銘／器之禪師塔銘／興宗明教禪師行状／一休和尚行実／東海一休和尚年譜／双林二世中興開山一州和尚行実記／横川和尚伝／正統大宗禪師行状／大興心宗禪師行状／曇英和尚行状／幻住九世一華頌由大禪師行実之状／故大徳仏宗大弘禪師実伝和尚道行記／故大徳正法大聖国師古岳大和尚道行記／春林和尚行実／和泉州大鳥郡堺南莊龍興山南宗禪寺開山前住大徳特賜正覚普通国師大和尚塔銘

続群書類従 第10輯上 官職部・律令部・公事部

〔オンデマンド版〕A5判 504頁 ISBN978-4-8406-3160-0 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 504頁 ISBN4-7971-0057-5 本体4,000円（1958）

【所収書目】百官和秘抄／諸司職掌／法曹類林／後妙華寺殿令聞書／年中行事御障子文／年中行事／口言部類／師遠年中行事／師元年中行事／年中行事抄／師光年中行事／元亨四年歳次甲子年中行事／年中行事大概／楞囊抄／執政所抄／中山内府元日節会次第／元日宴会次第／元日節会次第

続群書類従 第10輯下 公事部

〔オンデマンド版〕A5判 464頁 ISBN978-4-8406-3161-7 本体7,000円（2013）

〔通常版〕B6判 464頁 ISBN4-7971-0058-3 本体3,200円（1958）

【所収書目】小朝拝部類記／殿上燕酔部類／大永二年殿上淵酔記／妙音院相国白馬節会次第／慈眼院関白白馬節会次第／公宣卿白馬節会次第／寛正六年白馬節会次第／公宣脚踏歌節会次第／寛正六年脚踏歌節会次第／陽照院儀同脚踏歌節会御次第／県召除目次第／後陽成院県召除目次第／秋玉秘抄／妙槐記除目部類／除目申文抄／長徳二年大間書／享徳二年大間／天文廿年大間／文明七年關官寄物／長寛二年朔旦冬至記／永仁五年朔旦冬至記／内侍所御神楽部類／御即位次第／御即位由奉幣部類記／淳和天皇御即位記／二条院御即位記／保元三年番記録／六条院御即位記／高倉院御即位記／安徳天皇御即位記／後鳥羽院御即位記／順徳院御即位記／四条院御即位記／花園院御即位記／光厳院御即位記／光明院御即位記／称光院御即位記／延慶大嘗会記／応永大嘗会記／応永大嘗会記／土御門院御讓位部類／後嵯峨院御讓位記／後嵯峨院御讓位記／後光厳院御讓位記／後円融院御讓位記／後花園院御讓位下書注文

続群書類従 第11輯上 公事部

〔オンデマンド版〕A5判 596頁 ISBN978-4-8406-3162-4 本体9,000円（2013）

【所収書目】元号字抄／元秘抄／改元烏兔記／改元宸記／改元部類／大治改元定記／久寿改元定記／顕時卿改元定記／安元改元定記／寿永改元定記／元暦改元定記／兼光卿改元定記／建久改元定記／師重改元定記／経光卿改元定記／弘安改元定記／実任卿改元定記／延文改元定記／貞治改元定記／応安改元定記／資定卿改元定記／弘治改元定記／応和四年革命勘文／文応二年革命定／永享十三年革命勘文／高倉院御元服記／東宮冠礼部類記／承元二年東宮御元服記／正元元年東宮御元服部類記／元徳二年東宮御元服記／永正九年若宮御元服記／東宮元服祝文／親王御元服部類記

続群書類従 第11輯下 公事部・装束部

〔オンデマンド版〕A5判 510頁 ISBN978-4-8406-3163-1 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 510頁 ISBN4-7971-0060-5 本体4,000円（1957）

【所収書目】相国拝賀部類記／大納言拝賀部類記／中納言拝賀部類記／実躬卿中納言拝賀記／参議拝賀部類記／逍遙院内府蔵人頭拝賀次第／称名院右府蔵人頭奏慶従事次第／康親卿貫首拝賀次第／夕郎五代拝賀次第／諸仲卿蔵人奏慶記／次将拝賀部類／少将申慶次第／水黄記抄／公卿宣下抄／臨時簡要抄／宣旨類／雑筆要集／参軍要略抄／廷尉故実／中外抄／吉口伝／年中諸公事装束要抄／野槐服飾抄／衛府官装束抄／衛府長装束抄／衛府具抄／橘以国装束抄／浅浮抄／大嘗会小忌抄／凶服部類／装束図式

続群書類従 第12輯上 文筆部

〔オンデマンド版〕A5判 508頁 ISBN978-4-8406-3164-8 本体8,000円（2013）

【所収書目】類聚句題抄／小野僧正請雨行法賀雨詩／卅五文集／高野雑筆集／花上集／百人一首／天柱集／鉄舟和尚尚浮集／早霖集／碧雲稿／豚菴集／続翠詩集／猿吟集／心田詩藁／九淵詩稿／竹居清事

続群書類従 第12輯下 文筆部

〔オンデマンド版〕A5判 510頁 ISBN978-4-8406-3165-5 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 510頁 ISBN4-7971-0062-1 本体4,000円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】村菴小稿／狂雲集／続狂雲詩集／蒼菊集／蘿蔔集／島隠集／宜竹残藁／梅花無尽蔵

続群書類従 第13輯上 文筆部

〔オンデマンド版〕A5判 640頁 ISBN978-4-8406-3166-2 本体10,000円（2013）

【所収書目】天陰語録／黙雲詩藁／日下一木集／幻雲稿／幻雲詩藁／月舟和尚語録／幻雲文集／角虎道人文集／三益稿／三益艶詩／松蔭吟藁／冷泉集

続群書類従 第13輯下 文筆部・消息部

〔オンデマンド版〕A5判 612頁 ISBN978-4-8406-3167-9 本体10,000円（2013）

【所収書目】梅溪稿／梅屋和尚文集／三脚稿／枯木稿／策彦和尚詩集／金鉄集／清溪稿／万瑛和尚文集／宿蘆稿／南陽稿／水拙手簡／大覚禪師鏡像紀実／雨珠記／法灯国師跳賛／頂相靈驗記／洛陽知恩寺松蔭硯銘并序／東山往来／庭訓往来／遊学往来／新札往来／新撰類聚往来／蒙求臂鷹往来

続群書類従 第14輯上 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 520頁 ISBN978-4-8406-3168-6 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 520頁 ISBN4-7971-0065-6 本体4,000円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】金葉和歌集奏覧本／金葉和歌集初度本／月詣和歌集／東撰和歌六帖／拾遺風体和歌集／安撰和歌集／菊葉和歌集／飛月集／二八要抄／中古六歌仙／秀歌大略／自讃歌／新百人一首／為相卿千首／耕雲千首／栄雅千首

続群書類従 第14輯下 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 478頁 ISBN978-4-8406-3169-3 本体8,000円（2013）

【所収書目】正徹千首／宗尊親王三百首／宗尊親王三百六十首／正治二年院御百首／後花園院御百首／文明十五年將軍家百首／応永廿一年頼証寺法楽百首／永享九年住吉社奉納百首／永享十年石清水社奉納百首／永享十一年石清水社奉納百首／永享十三年松尾社法楽百首／玉津島社法楽仮名題目百首和歌／文明九年石清水法楽百首／明応四年水無瀬宮法楽百首／後土御門院長州一宮住吉社御法楽和歌／明応七年長門国住吉社法楽百首／後鳥羽院御百首／土御門院御百首／順徳院御百首／伏見院御百首／後小松院御百首／後土御門院御百首／後奈良院御百首／正親町院御百首／後崇光院御百首／陽光院御百首／宗尊親王御百首／邦高親王御百首／貞常親王御百首／等持院殿御百首／冬日同詠百首和歌／宝篋院殿御百首／後普光園院殿御百首／三条相国御百首／称名院殿句題御百首／俊成卿述懐百首／俊成卿祇園百首／定家卿藤川百首／為家卿藤川題百首／為相卿百首／為定卿藤川題百首／師兼卿百首／前參議雅有卿百首／入道大納言雅世卿百首／入道大納言雅親卿百首／入道中納言雅康卿百首／入道大納言雅庸卿百首／前大納言親長卿百首／入道大納言為広卿百首／從三位資直卿百首／長綱百首／花月百首／詠百首和歌／十市遠忠百首／寂蓮法師百首／登蓮法師恋百首／慶運法師百首／堯孝法印百首／正徹百首／正広百首／心敬僧都百首／道堅法師百首／牡丹花百首／四吟百首／殷富門院大輔百首／安嘉門院四條百首／仙洞五十首／天正五年親王家五十首／大永二年八月御会和歌／詠五十首和歌

続群書類従 第15輯上 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 432頁 ISBN978-4-8406-3170-9 本体7,000円（2013）

〔通常版〕B6判 432頁 ISBN4-7971-0067-2 本体4,000円（1959）

【所収書目】高陽院行幸和歌／嘉応元年宇治別業和歌／最勝四天王院名所障子和歌／北山行幸和歌／巖島社頭和歌／詠法華經和歌／竹内僧正句題歌／内裏御屏風上帖／内裏御屏風下帖／中書王御屏風／長寿院内府九十賀和歌／高野山金剛三昧院短冊／経旨和歌／心敬僧都十体和歌／日本紀竟宴和歌／蒙求和歌／百詠和歌／規子内親王家歌合／故小野宮右衛門督齊敏君達歌合／男女房歌合／内裏歌合右方後番／治承二年賀茂社歌合／治承二年八月二種歌合／三百六十番歌合／正治二年十月一日歌合／正安元年五種歌合／歌合／前撰政家歌合／三十番歌合／天正七年内裏歌合／陽成院歌合／河原院歌合／多武峰往生院千世君歌合／源大納言家歌合／範永宅歌合／歌絵合／金玉歌合／頓阿勝負付歌合／定家卿百番自歌合／素純百番歌合／正広三百六十番自歌合

続群書類従 第15輯下 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 410頁 ISBN978-4-8406-3171-6 本体7,000円（2013）

〔通常版〕B6判 410頁 ISBN4-7971-0068-0 本体3,200円（1958）【在庫僅少】

【所収書目】十市遠忠百五十番自歌合／十市遠忠百番自歌合／十市遠忠百五十番自歌合／岩山道堅自歌合／五十番自歌合／貞徳翁自歌合／長承二年相撲立詩歌／三十六番相撲立詩歌／和漢名所詩歌合／定家卿独吟詩歌／朗詠題詩歌／室町亭行幸和歌集／寛正五年仙洞三席御会詩歌／文明年中応制詩歌／文龜二年春日社法楽詩歌／永禄五年一乘谷曲水宴詩歌／畠山匠作亭詩歌／後鳥羽院御集／順徳院御集／光厳院御集／邦高親王御集／等持院殿御集／慈照院殿義政公御集／後福照院殿御詠草／後妙華寺殿御詠草／中園相国御集／権中納言定頼卿集

続群書類従 第16輯上 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 474頁 ISBN978-4-8406-3172-3 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 474頁 ISBN4-7971-0069-9 本体4,000円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】権中納言為相卿集／入道大納言為兼卿集／前大納言為広卿集／前大納言為広卿詠草／前參議教長卿集／前參議為冬卿集／前參議時慶卿集／參議時直卿集／藤原為頼朝臣集／大江匡衡朝臣集／藤原家経朝臣集／平忠盛朝臣集／信実朝臣家集／紀伊国造俊長集／松田丹後守貞秀集／心珠詠草／大江元就詠草／木下勝俊朝臣集／珍誉法印和歌／寂身法師集／閑谷集／閑放集／権大僧都心敬集／道堅法師詠草／和泉式部統集

続群書類従 第16輯下 和歌部

〔オンデマンド版〕A5判 472頁 ISBN978-4-8406-3173-0 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 472頁 ISBN4-7971-0070-2 本体3,200円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】馬内侍集／源重之むすめの集／殷富門院大輔集／民部卿典侍集／権大納言典侍集／万葉集時代考／定家長歌短歌之説／万葉集時代難事／古今集序註／古今集読人不知考／撰集作者異同考／後撰集正義／難後拾遺抄／古今打聞／新撰髓腦／和歌深秘抄／桂明抄／古来風体抄／今来風体抄／愚問賢注／袋草紙／袋草紙遺編／井蛙抄／清巖茶話

続群書類従 第17輯上 和歌部・連歌部

〔オンデマンド版〕A5判 628頁 ISBN978-4-8406-3174-7 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 628頁 ISBN4-7971-0071-0 本体4,000円 (1958) 【在庫僅少】

【所収書目】竹園抄/時秀卿聞書/かりねのすさみ/定家卿和歌式/愚見抄/隆源口伝/耕雲口伝/釣舟/綺語抄/師説自見集/歌林良材集/和歌現在書目録/和歌合略目録/明月記抄出/竹林抄/紫野千句/月千句/宝徳千句/河越千句/熊野法楽千句/太神宮法楽伊与千句/石山千句/出陣千句/石山百韻/三代集作者百韻/以呂波百韻/將軍家百韻/水無瀬三吟百韻/新撰筑波祈念百韻/本式連歌百韻/伊勢物語詞百韻/尼子晴久夢想披百韻/永原筑前守重興興行百韻/定家卿色紙開百韻/明智光秀張行百韻/一条殿御会源氏国名百韻/応永元年後小松院御独吟/後花園院御独吟百韻/後土御門後柏原両院御百韻/慈照院殿御吟百韻/兼載独吟百韻/宗長独吟/賀茂社法楽宗牧独吟名所百韻/肖柏独吟観世音名号百韻/文章連歌五十韻/真壁道無間磔軒追善

続群書類従 第17輯下 連歌部

〔オンデマンド版〕A5判 626頁 ISBN978-4-8406-3175-4 本体10,000円 (2013)

【所収書目】老葉/萱草/下草/園塵/春夢草/壁草/永仙句集/荒木田守武句集/荒木田守晨句集/贈従三位元就卿句集/安宅冬康句集/梵灯庵主返答書/梵灯庵主袖下集/宗祇袖下/花能万賀喜/馬上集/薄花桜/白髮集/心敬僧都庭訓/ひとり言/連珠合璧集/雨夜記/淀乃和当里/連歌極秘之書/闇夜一燈/連歌執筆次第

続群書類従 第18輯上 物語部

〔オンデマンド版〕A5判 626頁 ISBN978-4-8406-3176-1 本体10,000円 (2013)

【所収書目】真名伊勢物語/松浦宮物語/唐物語/堤中納言物語/宇治大納言物語/忍音物語/岩屋能草紙/転寝草紙/初瀬物語/嵯峨物語/幻夢物語/山路乃露/伊勢物語知頭抄/伊勢物語愚見抄

続群書類従 第18輯下 物語部・日記部・紀行部

〔オンデマンド版〕A5判 722頁 ISBN978-4-8406-3177-8 本体11,000円 (2013)

【所収書目】伊勢物語山口抄/伊勢物語肖聞抄/伊勢物語惟清抄/源氏物語千鳥抄/類字源語鈔/源氏和秘抄/雨夜談抄/布勢屋乃塵/源氏物語竟宴記/さごろも下紐/はるのみやまち/高野日記/宗長日記/室町殿伊勢参宮記/白河紀行/さのゝわたり/美濃路紀行/湯本紀行/遠江守政一紀行/丙辰紀行/高野の道の記

続群書類従 第19輯上 管弦部

〔オンデマンド版〕A5判 610頁 ISBN978-4-8406-3178-5 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 610頁 ISBN4-7971-0075-3 本体5,000円 (1958)

【所収書目】御遊抄/文永五年院舞御覧記/貞治三年舞御覧記/明応二年鳳管灌頂記/横笛譜裏書/御遊部類記/教訓抄/舞楽小録

続群書類従 第19輯中 蹴鞠部・鷹部

〔オンデマンド版〕A5判 510頁 ISBN978-4-8406-3179-2 本体8,000円 (2013)

【所収書目】内外三時抄/蹴鞠条々大概/晩学抄/蹴鞠百首和歌/蹴鞠百五十箇条/蹴鞠之目録九拾九箇条/松下十巻抄/鷹経弁疑論/小倉問答/基成朝臣鷹狩記/鷹口伝/鷹聞書/鷹秘抄/養鷹秘抄/責鷹似鳩拙抄/斎藤朝倉両家鷹書/根津家鷹書/荒井流鷹書/龍山公鷹百首/後普光院殿鷹百韻連歌/梵燈庵鷹詞百韻連歌/箸鷹和歌文字抄

続群書類従 第19輯下 遊戯部・飲食部

〔オンデマンド版〕A5判 526頁 ISBN978-4-8406-3180-8 本体8,000円 (2013)

【所収書目】三条家薫物書/四辻家薫物書/香炉之巻/某家香合/池坊専応口伝/百瓶華序/小廬石詩并序/盆松詩并引/撰要目録巻/宴曲集/宴曲抄/真曲抄/究百集/拾菓集/拾菓抄/別紙追加曲/玉林苑/平家勘文録/和謡分国記/文禄二癸巳年十月五日於禁裏御能組/申楽聞書/禪林小歌/閑吟集/式三献七五三膳部記/山内料理書/食物服用之巻/料理物語/神谷宗湛筆記/長闍堂記/紹鷗袋棚記/紹鷗茶湯百首/利休台子かざり様之記/利休客之次第/茶器名物集/茶道秘伝/喫茶雑話

続群書類従 第20輯上 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 516頁 ISBN978-4-8406-3181-5 本体8,000円 (2013)

【所収書目】将門純友東西軍記/泰衡征伐物語/承久兵乱記/竹崎五郎絵詞/舟上記/異本伯耆巻/永享記/永享後記/上杉憲実記/結城合戦絵詞/嘉吉物語/長祿記/応仁乱消息/細川勝元記/官地論/長享年後畿内兵乱記/細川大心院記/瓦林政頼記/道家祖看記/立入左京亮入道隆佐記/舟岡山軍記/豊臣記

続群書類従 第20輯下 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 562頁 ISBN978-4-8406-3182-2 本体9,000円（2013）

【所収書目】豊内記／佐久間軍記／柴田合戦記／賤岳合戦記／江州余吾庄合戦覚書／別本 余吾庄合戦覚書／惟任退治記／紀州御発向之事／四国御発向並北国御動座事／任官之事／朝鮮記／島津家高麗軍秘録／吉野甚五左衛門覚書／本山豊前守安政父子戦功覚書／細川忠興軍功記／脇坂記／中村一氏記／一柳家記／渡辺水庵覚書／大和記／和田系図裏書／関岡家始末

続群書類従 第21輯上 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 552頁 ISBN978-4-8406-3183-9 本体9,000円（2013）

【所収書目】勢州軍記／伊勢峰軍記／祖父物語／清須合戦記／名古屋合戦記／牛窪記／今川家譜／今川記／今川記／謙信家記／甲乱記／武田勝頼滅亡記／深沢城矢文／依田記／湘山星移集／関東合戦記／北条記

続群書類従 第21輯下 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 476頁 ISBN978-4-8406-3184-6 本体8,000円（2013）

【所収書目】里見代々記／里見九代記／里見軍記／土気古城再興伝来記／土気城双麿記／土気東金両酒井記／国府台戦記／鴻台後記／長倉追討記／菌部状／常陽四戦記／水谷蟠龍記／土岐累代記／土岐斎藤軍記／兼山記／堂洞軍記／飛騨国治乱記／大塔物語／蘆田記／蘆田記追加／寿斎記／河中島五箇度合戦記／赤羽記／赤羽記付録

続群書類従 第22輯上 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 540頁 ISBN978-4-8406-3185-3 本体9,000円（2013）

〔通常版〕B6判 540頁 ISBN4-7971-0082-6 本体5,000円（1958）【在庫僅少】

【所収書目】松陰私語／新田老談記／館林盛衰記／反町大膳訴状／唐沢軍談／唐沢城老談記／那須記／仙道記／藤葉栄衰記／東奥軍記／和賀一揆次第／九戸記／最上義光物語

続群書類従 第22輯下 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 526頁 ISBN978-4-8406-3186-0 本体8,000円（2013）

〔通常版〕B6判 526頁 ISBN4-7971-0083-4 本体5,000円（1958）【在庫僅少】

【所収書目】矢島十二頭記／越州軍記／加越登記／謙信軍記／丹州三家物語／三刀谷田辺記／播州佐用軍記／備前文明乱記／妙善寺合戦記／備中兵乱記／毛利記／太田水貞記／若州湯川彦右衛門覚書／三好記

続群書類従 第23輯上 合戦部

〔オンデマンド版〕A5判 496頁 ISBN978-4-8406-3187-7 本体8,000円（2013）

【所収書目】長元物語／元親記／高橋記／宗像軍記／豊後陣聞書／豊後崩聞書／黒田長政記／安西軍略／有馬晴信記／清正記／加藤家伝清正公行状／島津家記

続群書類従 第23輯下 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 560頁 ISBN978-4-8406-3188-4 本体9,000円（2013）

【所収書目】新編追加／新御式目／長曾我部元親式目／將軍宣下記／永正五年將軍宣下次第／慈照院殿御髮置記／常徳院殿御髮置記／慈照院殿大將拝賀篇目／慈照院殿年中行事／年中恒例記／御散飯供御調進次第／長祿年中御対面日記／天正年中御対面記／室町殿上醍醐御登山日記／大永二年祇園會御見物御成記／大永四年細川亭御成記／天文十七年細川亭御成記／天文十八年佐々木亭御成記／三好亭御成記／文祿三年前田亭御成記／天文三年浅井備前守宿所饗応記／天正十年安土御献立／天正十八年毛利亭御成記／御内書案／御内書引付／玄以法印下知状／御の日記／百手次第／射御拾遺抄／弓馬問答／佐竹宗三聞書／武田弓箭發実／武田射礼日記／弓張記／矢代之記／円物之事／挟物之記／丸物草鹿之記／岡本記

続群書類従 第24輯上 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 504頁 ISBN978-4-8406-3189-1 本体8,000円（2013）

【所収書目】山名家犬追物記／犬追物検見記／検見故実／犬追物葛袋／犬追物日記／犬追物明鏡之記／犬追物益鏡／犬追物付紙日記／犬追物草根集／犬追物手組日記／笠懸射手体配記／笠懸聞書／羽形図／諸鞍日記／大坪道禪鞍籠事記／鞍籠寸法記／枢要集／斎藤流手綱之秘書／小笠原流手綱之秘書／三議一統大双紙／了俊大草紙／京極大草紙／小笠原入道宗賢記／伊勢貞親以来伝書／伊勢守貞親以来伝書／伊勢兵庫守貞宗記

続群書類従 第24輯下 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 506頁 ISBN978-4-8406-3190-7 本体8,000円（2013）

【所収書目】伊勢備後守貞明覚悟記／伊勢六郎左衛門尉貞順記／貞順豹文書／伊勢貞貞返答書／武雑記／伊勢加

賀守貞満筆記／伊勢貞助雜記／常照愚草／道照愚草／中島撰津守宗次記／河村誓真聞書／河村誓真雜々記／沢巽阿弥寛書／懷妊着帯之事／宮參之次第／豊記抄／故実聞書／鳥板記／魚板記／人唐記／人賢記／諸大名出仕記／諸家参会記／風呂記／酌并記／酌之次第／嫁取故実／女房故実／女房進退／女房筆法／今川了俊書札礼／曾我兵庫頭八十五箇条品々不好事／書簡故実

続群書類従 第25輯上 武家部

〔オンデマンド版〕A5判 468頁 ISBN978-4-8406-3191-4 本体8,000円 (2013)

【所収書目】沙汰未練書／式目聞書／兵具雜記并幕星咒／出陣日記／軍陣之聞書／軍中故実／兵将陣訓要略鈔／武田家諸士起請文／佐竹氏旧記／海津城主次第／慶長三年大名帳／慶長十六年禁裏御普請帳／織田信雄分限帳／浮田家分限帳／京極高次分限帳／小田原衆所領役帳／成田家分限帳／里見家分限帳／福島正則家中分限帳／加藤清正侍帳／相馬義胤分限帳

続群書類従 第25輯下 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 478頁 ISBN978-4-8406-3192-1 本体9,000円 (2013)

【所収書目】仏法伝来次第／仏法由来集／如来齒舍利伝来／日本感靈録／地藏菩薩靈驗記／御質抄／後七日御修法由緒作法／後七日御修法部類／永治二年真言院御修法記／養和二年後七日御修法記／文治五年己酉真言院御修法胎藏界日記／建保三年乙亥後七日御修法胎藏界私記／禅信僧正後七日修法記／維摩会記／維摩会日記／諸法要略抄／祈雨日記／雨言雜秘記／永久五年祈雨日記／建久二年祈雨日記／祈雨法記／永久五年請雨經法記／永久五年請雨經法支度注進状／永久五年請雨經御修法支度記／水天供現行記／止風雨法記／孔雀經御修法記／安鎮法日記

続群書類従 第26輯上 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 592頁 ISBN978-4-8406-3193-8 本体8,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 592頁 ISBN4-7971-0090-7 本体4,000円 (1957) 【在庫僅少】

【所収書目】普賢延命法日記／建久二年普賢延命法日記／建保五年普賢延命法日記／熾盛光法日記／六字河臨法／五壇法日記／五壇法日記／七仏業師法現行記／四天王法記／正元元年仁王經法雜事／仁王經法勤例／仁王經修法問答／保延六年如法尊勝法記／寿永二年転法輪法記／応安三年如意輪法記／弘安四年異国御祈禱記／大永三年室町殿護摩記／応長元年豎義記／如法經手記／文治二年神宮大般若転記／康正二年八社仁王經御読経記／上皇御落飾部類／後白河院御落飾記／伏見院御落飾記／大宮院御得度記／伝法灌頂日記／弘仁三年高雄山灌頂曆名／龜山院御灌頂記／後宇多院御灌頂記／中御室御灌頂記／入道親王尊快御灌頂事／遍智院法印灌頂資記／中性院法印頼瑜灌頂資記／蓮藏院僧正実深灌頂資／妙法院尊性親王御入壇記／応永廿七年門主上綱義賢御入壇記／報恩院入壇資／遍智院僧正入壇資／覚洞院僧正入壇資記／宝池院前大僧正入壇資記／東南院授与記／岳西院授与記／光明峰寺殿伝法灌頂記／三宝山伝法灌頂私記／嘉元四年結縁灌頂記／建武二年結縁灌頂記／永和二年結縁灌頂記／延文四年結縁灌頂記／康暦元年結縁灌頂記／観音院恒例結縁灌頂記／東寺宝泉院結縁灌頂雜記

続群書類従 第26輯下 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 524頁 ISBN978-4-8406-3194-5 本体8,000円 (2013)

【所収書目】宸筆御八講記／文永七年宸筆御八講記／応安三年禁中御八講記／公武御八講部類／武家御八講部類／等持院御八講記／大治二年曼陀羅供次第／法守親王曼陀羅供次第／応安七年曼茶羅供見聞略記／永享十一年曼茶羅供記／永享十二年曼茶羅供雜記／永禄元年曼茶羅供雜記／文龜二年曼茶羅供記／仏経供養表白／応安元年禁中御懺法講記／応永十三年禁裏御懺法講記／仙洞御懺法講記／諸寺略記／諸寺供養部類／法綱儀／金剛抄／清水寺縁起／清水寺仮名縁起／清水靈驗記／東要記／東寺要集／東長儀／東寺長者拜堂記／栄海僧正拜堂并御影供記／禅信僧正拜堂并御影供記

続群書類従 第27輯上 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 540頁 ISBN978-4-8406-3195-2 本体9,000円 (2013)

【所収書目】至徳二年道快僧正拜堂下行物記／建武二年道我僧正加任拜堂下行物日記／長保二年東寺宝藏目録／東寺大塔形彫／東寺造宮文書符案／醍醐寺要書／醍醐寺初度具書／憲深座主拜堂記／弘鑊口説／澄心寺縁起／勤修寺旧記／安祥寺資財帳／法勝寺金堂造宮記／法勝寺阿弥陀堂造立日時定記／承暦元年法勝寺供養記／永久二年白川御堂供養記／護国寺供養記／洛陽誓願寺縁起／真如堂縁起／廬山寺縁起／壬生宝幢三昧寺縁起／大雲寺縁起／大雲寺諸堂記／鞍馬蓋寺縁起／大悲山寺縁起／広隆寺供養日記／広隆寺資財交替実録帳／神護寺旧記／高山寺縁起／清凉寺縁起／二尊院縁起／天龍紀年考略／西方寺縁起／常住寺仏舍利記／三鈷寺拘留如来縁起／三鈷寺修造勸化疏／即成院縁起／羽賀寺縁起／七大寺年表／七大寺日記／東大寺縁起

続群書類従 第27輯下 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 530頁 ISBN978-4-8406-3196-9 本体8,000円（2013）

【所収書目】東大寺具書／大仏御頭供養日記／享徳二年東大寺供養記／勅封蔵開檢目録／興福寺伽藍縁起／興福寺旧記／興福寺現住僧帳／二月堂絵縁起／西大寺資財流記帳卷第一／西大寺光明真言縁起／法隆寺縁起資財帳／長谷寺靈験記／薬師寺縁起／法蓮院釈迦堂修造勸進帳／内山寺記／和州久米寺流記／六一山記／室生山御舍利相伝縁起／隆池院縁起／河内国小松寺縁起／師子窟縁起／西琳寺文永注記／西琳寺流記／藤井寺勸進帳／荒陵寺御手印縁起／天王寺旧記／勝福寺鑄鐘勸進帳／広厳寺縁起／中山寺縁起／伊勢国多度神宮寺伽藍縁起并資財帳／宏徳寺記／朝熊山縁起／尾張国笠寺縁起／妙興報恩寺記／久能寺縁起／大山寺縁起／鎌倉五山記／光触寺頼焼阿弥陀縁起／武蔵国浅草寺縁起／多田薬師縁起／川口善光寺縁起／山家要記浅略／延暦寺護国縁起／三塔諸寺縁起／応永三年山門大講堂供養記／文明七年天台座主補任式／天台座主登山次第／応保二年叡山衆徒披陳状

続群書類従 第28輯上 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 586頁 ISBN978-4-8406-3197-6 本体9,000円（2013）

【所収書目】寺徳集／寺門高僧記／三井寺金堂東大門勸進帳／石山寺縁起／石山寺石記／葛川縁起／関寺縁起／桑実寺縁起／補陀洛山建立修行日記／日光山滝尾建立草創日記／満願寺三月会日記／善光寺縁起／越後国乙宝寺縁起／伯耆国大山寺縁起／峰相記／高野山記／高野山官符／高野山奥院興廢記／金剛峰寺建立修行縁起／後白河院御起請／高野山御幸御出記／高野山順礼記／粉河寺縁起／道成寺絵詞／淡路国論鶴羽山勸進状／阿波国井戸寺勸進帳／阿波国太龍寺縁起／阿波国摩尼珠山高越寺私記／蹉山縁起／和漢禅刹次第／伝教大師消息／真言諸山符案／表白集／表白集／願文集／江都督願文集／願文集／卷数集

続群書類従 第28輯下 釈家部

〔オンデマンド版〕A5判 496頁 ISBN978-4-8406-3198-3 本体8,000円（2013）

【所収書目】泉涌寺諷誦類／代々先皇法語集／鷲林拾葉集／請諷誦文／御諷誦御願文案／晦庵稿／長弁私案抄／三家撰集目録／勅撰法相宗章疏目録／東域伝灯目録／北院御室拾要集／妙香院宮御参務日記／愚迷発心集／為盛発心集／無住妻鏡／我慢抄／一言芳談／仁空置文／真恵上人御定／真言血脈／三宝院伝法血脈／醍醐報恩院血脈／醍醐無量寿院法流相承／入唐記／先徳略名口決／謚号雑記／諸宗勅号記／素絹記／僧用集／肝心集

続群書類従 第29輯上 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 454頁 ISBN978-4-8406-3199-0 本体7,000円（2013）

〔通常版〕B6判 454頁 ISBN4-7971-0096-6 本体3,200円（1958）【在庫僅少】

【所収書目】神皇正統録／神明鏡／仁寿鏡／十三代要略／北条九代記

続群書類従 第29輯下 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 414頁 ISBN978-4-8406-3200-3 本体7,000円（2013）

〔通常版〕B6判 414頁 ISBN4-7971-0097-4 本体3,204円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】東寺王代記／興福寺略年代記／立川寺年代記／奈良年代記／暦仁以来年代記／享禄以来年代記／永禄以来年代記／永禄以来大事記／天延二年記／南都大衆入洛記／仁和寺御日次記／貞和四年記／観応二年日次記／延文四年記／正長元年記／長禄二年記／永正十七年記／永禄九年記

続群書類従 第30輯上 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 490頁 ISBN978-4-8406-3201-0 本体8,000円（2013）

【所収書目】厳助大僧正記／見聞私記／見聞雑記／和漢合図拔萃／弘長記／天正事録／聚楽物語／鶴岡事書案／会津塔寺村八幡宮長帳／妙法寺記／善隣国宝記／善隣国宝後記／善隣国宝別記／続善隣国宝記／続善隣国宝外記

続群書類従 第30輯下 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 542頁 ISBN978-4-8406-3202-7 本体9,000円（2013）

〔通常版〕B6判 542頁 ISBN4-7971-0099-0 本体4,000円（1959）【在庫僅少】

【所収書目】秘府略／日本国見在書目録／世俗諺文／明文抄／平他字類抄／反音抄／玉集／撮壤集／類集文字抄／薬経太素／輔仁本草／康頼本草／香字抄

続群書類従 第31輯上 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 446頁 ISBN978-4-8406-3203-4 本体7,000円（2013）

【所収書目】香要抄／香葉抄／医略抄／遐年要抄／長生療養方／医家千字文註／衛生秘要抄／延寿類要／延寿撮要／伝屍病廿五方／家伝心牛脈治秘決／両目秘伝書／金瘡秘伝／新撰六句集／簠簋内伝／方角禁忌／宿曜運命勘録／本命抄／建天全書

続群書類従 第31輯下 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 634頁 ISBN978-4-8406-3204-1 本体10,000円 (2013)

【所収書目】大膳大夫有盛記／行幸反閉作法図／三宝吉日／吉日考秘伝／永久三年暦／建暦四年具注暦日／貞永二年暦／延慶三年かのえいぬのとしのこよみ／応永十八年頒曆断簡／長禄三年暦／麒麟抄／麒麟抄増補／烏羽玉靈抄／定家卿筆諫口訣／心底抄／唐書日書文字次第／夜鶴庭訓抄／右筆条々／世尊寺侍従行季二十箇条追加／鳳朗集／筆法礼義集／玉章秘伝抄／金玉積伝集／梅菴古筆伝／儒林拾要／妙香院宮御院参引付／仁和寺諸記抄／醍醐寺雜事記／醍醐枝葉抄／醍醐雜抄／重西抄／浄修坊雜日記／姓名録抄／諱訓抄／明翰抄／雜訴決断所結番交名

続群書類従 第32輯上 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 562頁 ISBN978-4-8406-3205-8 本体9,000円 (2013)

【所収書目】諸国鍛冶寄／諸国鍛冶系図／口遊／掌中歴／大内裏抄／内裡抄／桃華雜抄／富家語談／立車記／後三条相国抄／後押小路内府抄／上杉問答／多々良問答／塵滴問答／人鏡論／世鏡抄／童訓略頌類纂／百椿集／道鏡法師絵詞／清少納言絵詞／西行物語絵詞／西行物語／四季物語／歌林四季物語／至要鈔／仲文章

続群書類従 第32輯下 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 636頁 ISBN978-4-8406-3206-5 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 636頁 ISBN4-7971-0103-2 本体4,000円 (1957) 【在庫僅少】

【所収書目】菅家遺誠／実語教／童子教／君子集／君慎／仮名教訓／伊勢貞親教訓／多胡辰敬家訓／尾籠集／五常内義抄／金言類聚抄／注好選集／世継物語／宝物集／康頼宝物集／撰集抄／閑居友／三人懺悔冊子／蕉窓夜話／蠡測集／戴恩記

続群書類従 第33輯上 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 638頁 ISBN978-4-8406-3207-2 本体10,000円 (2013)

【所収書目】貞徳翁乃記／寒川入道筆記／月刈藻集／桂川地蔵記／鹿島問答／旅宿問答／後鳥羽院御霊託記／先代破裂集／後宮略伝／院号定部類記／公宴部類記／初任大臣大饗雜例／任大臣大饗部類／大臣大饗記／建暦二年大饗次第／永享四年大饗定／大饗雜具目録／三条中山口伝／諸芸方代物附／東寺斗升増減帳／出雲国風土記／肥前国風土記／伊賀国太田文／常陸太田文／淡路国太田文／豊前国太田文／豊後国太田文／後宇多院御領目録／承和二年東寺領国判／文明十八年洛中東寺領目録／遠江国御神領記／貞治七年宮田前大宮司家領記／弘長元年下総国小野織幡地帳／応永六年香取諸名帳／正応四年香取檢田帳／東大寺越前国桑原莊券／嘉保二年大江仲子解文／信濃国水内曲橋勸進帳／播磨国大部庄公文職旧記／讃岐国万農池後碑文／日本得名／正元二年院落書／延陀丸おとし文／拾烈集／十番物あらしむ／四十二のものあらしむ

続群書類従 第33輯下 雑部

〔オンデマンド版〕A5判 560頁 ISBN978-4-8406-3208-9 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 560頁 ISBN4-7971-0105-9 本体4,000円 (1958)

【所収書目】滑稽詩文／若気勸進帳／十番狂詩合／躬恒自歌合／職人歌仙／詠百首狂歌／金言和歌集／虫歌合／鳥歌合／鴉鷲物語／昨日波今日能物語／曾々路物語／尤双紙／色音論／鎌倉順礼記／凶事部類／明応凶事記／貞治四年諒闇終記／長享三年諒闇終記／後成恩寺関白諒闇記／長享二年渡御倚廬次第・長享二年還御次第／東寺光明講過去帳／本法寺過去帳／下総国小金本土寺過去帳／常陸国赤浜妙法寺過去帳／書写山十地坊過去帳／御産御祈目録／御産部類記／康和元年御産部類記／后宮御産当日次第／北山准后九十賀記／長寿院内府九十賀記

続群書類従 第34輯 拾遺部

〔オンデマンド版〕A5判 214頁 ISBN978-4-8406-3209-6 本体4,000円 (2013)

【所収書目】鶴岡八幡宮寺供僧次第 補遺／鶴岡八幡宮寺諸職次第 補遺／北斗集／湯本紀行／長倉追罰記／江戸軍記／伊勢守貞孝誓約／永仁年中北斗法記／徳治二年北斗法記／後中御室御得度記／清水寺仮名縁起／羽賀寺縁起増補／うがじえんき増補／石山寺石記補訂／播磨国書写山縁起／書写山旧記／東寺斗升増減帳／下総国小金本土寺過去帳補遺／仁平御賀記／本巻所収底本解説

続群書類従 第35輯 拾遺部

〔オンデマンド版〕A5判 316頁 ISBN978-4-8406-3210-2 本体5,000円 (2013)

【所収書目】御霊会山鉦記／本朝大仏師正統系図／相馬家伝／三善氏系図／坊官系図／応永大嘗会記／後嵯峨院御讓位記／由良家伝記／天文七年細川亭御成記／天文八年佐々木亭御成記／承久元年仁王法記／開田准后御得度記／桂蓮院宮御得度記／紫金台寺御室御灌頂記／応安元年禁中御懺法講記／長保二年東寺宝蔵目録／妙輿報恩寺記／東寺長者御祈賞記／本巻所収底本解説

続群書類従 第36輯 拾遺部

〔オンデマンド版〕A5判 274頁 ISBN978-4-8406-3211-9 本体5,000円 (2013)

【所収書目】永禄五年飯盛城百韻／元亀三年林中務少輔興行百韻／天正二年水野監物丞守隆興行百韻／天正三年蜂屋兵庫助頼隆興行百韻／天正四年甲斐左京入道宗柳興行百韻／細川高国朝臣六々歌仙／出陣万句三物／白河万句発句／萱草補遺／春夢草補遺／永仙句集／荒木田守晨句集／安宅冬康句集／淀乃和当理／本巻所収底本解説

続群書類従 第37輯 拾遺部

〔オンデマンド版〕A5判 224頁 ISBN978-4-8406-3212-6 本体4,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 224頁 ISBN4-7971-0109-1 本体4,000円 (1960) 【在庫僅少】

【所収書目】雅縁柳千首／俊成卿祇園百首／入道大納言雅世卿百首／入道大納言為広卿百首／殷富門院大輔百首／越中守頼家朝臣家歌合／松田貞秀筆記／善隣国宝後記／清少納言絵詞／豊前国太田文／豊後国因田帳補遺／後宇多院御領目録／文明十八年洛中東寺領目録／堀河院昇霞記／郁芳門院崩御記／相親卿送葬記／本巻所収底本解説

続群書類従 補遺1上・下 満濟准后日記 (まんざいじゅごうにっき)

→詳細は本図書目録105頁参照

揃1,206頁、〔オンデマンド版〕揃本体19,000円・〔通常版〕揃本体10,000円

(上) 〔オンデマンド版〕A5判 544頁 ISBN978-4-8406-3213-3 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 544頁 ISBN4-7971-0110-5 本体5,000円 (1928)

【収録】1411 (応永18) ～ 1428 (正長元)

(下) 〔オンデマンド版〕A5判 662頁 ISBN978-4-8406-3214-0 本体10,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 662頁 ISBN4-7971-0111-3 本体5,000円 (1928)

【収録】1429 (正長2) ～ 1435 (永享七)

続群書類従 補遺2上・下 看聞御記 (かんもんぎよき)

→詳細は本図書目録105頁参照

揃1,386頁、〔オンデマンド版〕揃本体22,000円・〔通常版〕セット品切

(上) 〔オンデマンド版〕A5判 628頁 ISBN978-4-8406-3215-7 本体10,000円 (2013)

【収録】1416 (応永23) ～ 1431 (永享3)

(下) 〔オンデマンド版〕A5判 758頁 ISBN978-4-8406-3216-4 本体12,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 758頁 ISBN4-7971-0113-X 本体5,000円 (1930.10)

【収録】1432 (永享4) ～ 1448 (文安5)

続群書類従 補遺3 (一) ～ (十一) お湯殿の上の日記 (おゆどののうえのにっき)

→詳細は本図書目録106頁参照

平均468頁、揃5,148頁、〔オンデマンド版〕揃本体85,000円・〔通常版〕揃本体50,000円

① 〔オンデマンド版〕A5判 544頁 ISBN978-4-8406-3217-1 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 544頁 ISBN4-7971-0114-8 本体5,000円 (1957)

【収録】1477 (文明9) ～ 1487 (長享元)

② 〔オンデマンド版〕A5判 520頁 ISBN978-4-8406-3218-8 本体8,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 520頁 ISBN4-7971-0115-6 本体5,000円 (1958)

【収録】1488 (長享2) ～ 1496 (明応5)

③ 〔オンデマンド版〕A5判 458頁 ISBN978-4-8406-3219-5 本体7,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 458頁 ISBN4-7971-0116-4 本体4,000円 (1957)

【収録】1497 (明応6) ～ 1531 (享禄4)

④ 〔オンデマンド版〕A5判 554頁 ISBN978-4-8406-3220-1 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 554頁 ISBN4-7971-0117-2 本体5,000円 (1957)

【収録】1532 (天文元) ～ 1545 (天文14)

⑤ 〔オンデマンド版〕A5判 374頁 ISBN978-4-8406-3221-8 本体6,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 374頁 ISBN4-7971-0118-0 本体4,000円 (1957)

【収録】1546 (天文15) ～ 1557 (弘治3)

⑥ 〔オンデマンド版〕A5判 538頁 ISBN978-4-8406-3222-5 本体9,000円 (2013)

〔通常版〕B6判 538頁 ISBN4-7971-0119-9 本体5,000円 (1957) 【在庫僅少】

【収録】1558 (永禄元) ～ 1569 (永禄12)

- ⑦ [オンデマンド版] A5判 430頁 ISBN978-4-8406-3223-2 本体7,000円 (2013)
[通常版] B6判 430頁 ISBN4-7971-0120-2 本体4,000円 【在庫僅少】 (1958)
【収録】 1570 (元龜元) ~ 1582 (天正10)
- ⑧ [オンデマンド版] A5判 418頁 ISBN978-4-8406-3224-9 本体7,000円 (2013)
[通常版] B6判 418頁 ISBN4-7971-0121-0 本体4,000円 (1957)
【収録】 1583 (天正11) ~ 1595 (文禄4)
- ⑨ [オンデマンド版] A5判 548頁 ISBN978-4-8406-3225-6 本体9,000円 (2013)
[通常版] B6判 548頁 ISBN4-7971-0122-9 本体5,000円 (1957)
【収録】 1598 (慶長3) ~ 1644 (寛永21)
- ⑩ [オンデマンド版] A5判 558頁 ISBN978-4-8406-3226-3 本体9,000円 (2013)
[通常版] B6判 558頁 ISBN4-7971-0123-7 本体5,000円 (1957)
【収録】 1675 (延宝3) ~ 1687 (貞享4)
- ⑪ [オンデマンド版] A5判 206頁 ISBN978-4-8406-3227-0 本体5,000円 (2013)
[通常版] B6判 206頁 ISBN4-7971-0124-5 本体4,000円 【在庫僅少】 (1966)
【収録】 1500 (明応9) ~ 1625 (寛永2)

日本典籍の宝庫！

続々群書類従

ぞくぞくぐんしょるいじゅう

明治40年前後に国書刊行会から全16冊を刊行。塙保己一の『群書類従』『続群書類従』にならって、神祇・史伝・記録・法制・地理・教育・宗教・詩文・歌文・雑の10部にわけて、正統『群書類従』に漏れた古典・古記録や江戸期に述作編纂された古典研究資料等を収録。その収録文献数は約350点にのぼり、諸学にわたり重要必見を要するもので本叢書以外には活字化されていないものを多数含んでいる。今回底本とした続群書類従完成会本は、国書刊行会版の全16冊に、古書保存会版1冊（雑部）を加えた全17冊。

オンデマンド版で全巻復刻！

続々群書類従 (全17冊)

ぞくぞくぐんしょるいじゅう

〔オンデマンド版〕 ISBN978-4-8406-3587-5
A5判 並製 カバー装〔分売可・受注生産〕
揃本体185,000円

〔通常版〕 A5判 上製 函入【セット品切】



- 第1 神祇部
- 第2～第4 史伝部一～三
- 第5 記録部
- 第6・7 法制部一・二
- 第8・9 地理部一・二
- 第10 教育部
- 第11・12 宗教部一・二
- 第13 詩文部
- 第14・15 歌文部一・二
- 第16・17 雑部一・二

続々群書類従 第1 神祇部

〔オンデマンド版〕 A5判 832頁 ISBN978-4-8406-3228-7 本体13,000円（2013）

〔所収書目〕 類聚神祇本源／豊葦原神風和記／神道書紀録起／瑚璉集／神祇靈応記／神皇系図／神皇実録／天口事書／本朝諸社一覧／神社便覧／二十二社略記／和歌両神記／皇太神宮殿舎考証／豊受皇太神宮殿舎考証／外宮神領目録／内宮氏経日次記／神宮秘伝問答／賀茂注進雑記／元禄七年加茂祭記／石上神宮御事抄／月能桂／東照宮大権現縁起／出雲大社記／宇佐八幡宮縁起／三社託宣抄／陽復記／土徳篇／未生土之伝／神学承伝記／土津靈神正学記／会津神社之訓詞／神道生死之説／病後手習／八重垣大明神由祝詞／神道弁草

続々群書類従 第2 史伝部 1

〔オンデマンド版〕 A5判 780頁 ISBN978-4-8406-3229-4 本体12,000円（2013）

〔所収書目〕 続皇年代略記／本朝歴代法皇外紀／法皇外紀細門鴻宝／議奏歴／伝奏次第／弁官補任／新撰座主伝／東寺長者補任／興福寺別当次第／〔弁官補任 正誤〕

続々群書類従 第3 史伝部 2

〔オンデマンド版〕 A5判 716頁 ISBN978-4-8406-3230-0 本体11,000円（2013）

〔所収書目〕 常徳院画像賛／細川頼之公祠堂記／加藤光泰貞泰軍功記／曹溪院行状記／尊語集抄／立斎旧聞記／事語継志録／紀侯言行録／吉備烈公遺事／土津靈神言行録／桃源遺事／宗長居士伝／惺窩先生行状／羅山林先生行状／舜水先生行実并略譜／貞慧伝／行基年譜／弘法大師弟子伝／大法師浄蔵伝／東大寺円照上人行状／存覚上人一期記／黄葉開山普照国師年譜／楠木合戦注文／忽那一族軍忠次第／忽那島開発記／瑠璃山年録残編／河州錦部郡天野山金剛寺古記写／続南行雑録／大乘院日記目録／西征日記／田辺城合戦記

続々群書類従 第4 史伝部 3

〔オンデマンド版〕 A5判 706頁 ISBN978-4-8406-3231-7 本体11,000円（2013）

〔所収書目〕 余目氏旧記／双林寺伝記／公方両将記／小弓御所様御討死軍物語／平島記／多賀谷七代記／世田谷私記／吉良家正嫡考／沼田記／棚守房顕手記／佐野宗綱記／香宗我部氏記録／菅谷伝記／箱根山中城責由来／忍城戦記／清正高麗陣覚書／石川忠総家臣大坂陣覚書／大坂陣山口休庵咄／土屋忠兵衛知貞私記／島原一揆松倉記／島原天草日記／山田右衛門作以言語記／休明光記

続々群書類従 第5 記録部

〔オンデマンド版〕A5判 530頁 ISBN978-4-8406-3232-4 本体8,000円 (2013)

【所収書目】宇多天皇御記／醍醐天皇御記／村上天皇御記／貞信公記／九暦／平記／宇治関白高野御参詣記／江記／平知信朝臣記／吉田中納言為経卿記／後称念院関白冬平公記／匡遠記／北面仮名記／斎藤基恒日記／東大寺法花堂要録／継芥記／東大寺絵所日記／惟房公記／天正日記／親綱卿記／九州下向記

続々群書類従 第6 法制部1

〔オンデマンド版〕A5判 738頁 ISBN978-4-8406-3233-1 本体12,000円 (2013)

【所収書目】講令備考／律逸／格逸／格逸々／式逸／延喜式工事解／延喜式工事解図録／延喜式工事通解／江次第鈔

続々群書類従 第7 法制部2

〔オンデマンド版〕A5判 776頁 ISBN978-4-8406-3234-8 本体12,000円 (2013)

【所収書目】建官考／吏徴／三代制符／公家新制／御成敗式目注／貞応弘安式目／建武式目注／増補田園類説／侍中群要／寛文記／当今年中行事／条々聞書貞丈抄／諸国御関所覚書

続々群書類従 第8 地理部1

〔オンデマンド版〕A5判 952頁 ISBN978-4-8406-3235-5 本体15,000円 (2013)

【所収書目】本朝地理志略／日本略記／雍州府志／和州旧跡幽考／堺鑑／蘆分船／江戸名所記／兵庫名所記／長崎縁起略記／前橋風土記／会津風土記／端郡風土記／磐城風土記

続々群書類従 第9 地理部2

〔オンデマンド版〕A5判 774頁 ISBN978-4-8406-3236-2 本体12,000円 (2013)

【所収書目】寛文印知集／琉球国郷帳／松前島郷帳／芸備国郡志／懐橋談／隠州視聴合紀／仙道会津元和八年老人覚書／東奥白河往昔之記／辰巳無人島訴状并口上留書／蝦夷記／蝦夷島記／吉野記／和紀記行／天正十一年五月十七日貞徳他行道之覚／宋雅道すがら之記／元和七年東海紀行／沢庵和尚鎌倉記／立圃東の記行／宗因東の記行／中山日録／癸卯于役日録／江海風帆草／白水郎子記行

続々群書類従 第10 教育部

〔オンデマンド版〕A5判 768頁 ISBN978-4-8406-3237-9 本体12,000円 (2013)

【所収書目】朝倉宗滴話記／北条幻庵覚書／黒田家老土物語／千代茂登草／春鑑抄／三徳抄／敵戒説／翁問答／謫居童問／光圀卿教訓／学問關鍵／本朝学原浪華鈔／荷田大人創学校啓／和学大概／漢学紀源／古点譜／乎古止点譜／京都往来／自遣往来／源平往来／商売往来／名産諸色往来／諸職往来／消息往来

続々群書類従 第11 宗教部1

〔オンデマンド版〕A5判 602頁 ISBN978-4-8406-3238-6 本体10,000円 (2013)

【所収書目】東大寺要録／東大寺統要録／招提千歳伝記／興福寺濫觴記／薬師寺黒草紙／薬師寺新黒草紙／法隆寺記補忘集／南都七大寺巡礼記

続々群書類従 第12 宗教部2

〔オンデマンド版〕A5判 716頁 ISBN978-4-8406-3239-3 本体11,000円 (2013)

【所収書目】東宝記／入唐求法巡礼行記／顕戒論縁起／日本大師先徳明匠記／声明源流記／踏雲録事／木葉衣／諸宗階級／寺格帳／吉利支丹物語／切支丹宗門来朝実記／伴天連記／肥前国有馬古老物語／査祿余録／契利斯督記／破提字子

続々群書類従 第13 詩文部

〔オンデマンド版〕A5判 542頁 ISBN978-4-8406-3240-9 本体9,000円 (2013)

【所収書目】後水尾天皇御製詩集／鳳啼集／機山十七首／貞山公詩鈔／惟新公自記／颺言録／勸忠書／惺窩先生文集／尺五先生全集／恭靖先生遺稿／垂加文集／澹泊齋文集／観瀾集／玉仲遺文

続々群書類従 第14 歌文部1

〔オンデマンド版〕A5判 742頁 ISBN978-4-8406-3241-6 本体12,000円 (2013)

【所収書目】風葉和歌集／新撰六帖題和歌／千五百番歌合／集外三十六歌仙／慶長千首／沙弥恵空百首／天正十六年聚楽亭御会御歌／文禄三年吉野山御会御歌／後柏原院御日次結題／後水尾院御集／後十輪院内大臣詠草／為兼卿家集補遺／惺窩先生倭詞集／衆妙集／草山和歌集／梶の葉／佐遊李葉

続々群書類従 第15 歌文部 2

〔オンデマンド版〕A5判 716頁 ISBN978-4-8406-3242-3 本体11,000円（2013）

【所収書目】 顕昭古今集註／俊頼口伝集／続歌林良材集／梨本集／和歌会式／新撰菟玖波集／連集良材／岩清水物語／風につれなき物語／兵部卿物語／源家長日記

続々群書類従 第16 雑部 1

〔オンデマンド版〕A5判 398頁 ISBN978-4-8406-3243-0 本体6,000円（2013）

【所収書目】 双倉北雑物出用帳／延暦六年曝涼帳／延暦十二年曝涼帳／弘仁二年官物勘録／弘仁天皇雑物出入帳／雑物出入継文／東大寺勅封蔵目録記／天正二年截香記／東大寺三蔵御宝物御改之帳／慶長十九年薬師院実祐記／正倉院御開封記草書／東大寺正倉院開封記／東大寺三倉開封勘例／二倉道具目録／正倉院御開封勘例等御尋之日記／東大寺古文書目録／正倉院宝物御開封事書／正倉院御宝物目録／仁和寺御室御物実録／本朝法家文書目録／寺社宝物展覧目録／但馬国太田文／下京中出入之帳／糸割符由緒書／中家実録／書大体／大安寺碑文／三州俗聖起請十二箇条事／僧妙達蘇生注記／美福門院御文／六条判官源為義書状／源義経搜索之事宣下請文／興福寺法隆寺牒状／宋人陳和卿濫妨停止下文／筆海要津／上賀茂松下氏文書／仮面譜／和学講談所御用留抄

続々群書類従 第17 雑部 2

〔オンデマンド版〕A5判 480頁 ISBN978-4-8406-3244-7 本体8,000円（2013）

【所収書目】 編年残篇／平城宮大内裏跡坪割之図／聖徳太子伝私記／独物語／延久四年・五年日次記／有職問答／公武大体略記／日本国丞相藤原公捨経之記／大津籠城合戦記／繪旨抄／老師物語問書／近藤氏書上／毛利家様子／前九鬼長門守守隆公働拔書／装束色彙／図版 平城宮大内裏跡坪割之図

群書解題（全13冊）

ぐんしょかいだい

正統群書類従に収められた約3500点の書目を、学界第一線の諸家230名の総力を結集し、平易でしかも学問的にも高い水準で解説する。それぞれ1点ごとに、書名・作者・成立・内容・本文・諸本・参考文献の7つの項目を設けて詳述し、これによって文献の異称、書名の由来、諸写本、類似の文献の所在、研究経過、参考とすべき論文等、あらゆる角度から立体的にその把握が可能となる。記述は、専門的に高度な内容をもちながら、一般の方にも手引書としての役割を保ち得るよう、平明・懇切を旨とした。

〔オンデマンド版〕ISBN978-4-8406-3633-9

B6判 総6,220頁、平均478頁

揃本体130,000円

各巻本体10,000円

- ①978-4-8406-3619-3 B6判 538頁
- ②978-4-8406-3620-9 B6判 416頁
- ③978-4-8406-3621-6 B6判 450頁
- ④978-4-8406-3622-3 B6判 348頁
- ⑤978-4-8406-3623-0 B6判 352頁
- ⑥978-4-8406-3624-7 B6判 572頁
- ⑦978-4-8406-3625-4 B6判 522頁
- ⑧978-4-8406-3626-1 B6判 542頁
- ⑨978-4-8406-3627-8 B6判 458頁
- ⑩978-4-8406-3628-5 B6判 478頁
- ⑪978-4-8406-3629-2 B6判 390頁
- ⑫978-4-8406-3630-8 B6判 626頁
- ⑬978-4-8406-3631-5 B6判 528頁



【単行本 ◆ 歴史】

考古学

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

松田真一編

葛城の考古学—先史・古代研究の最前線—

かつらぎのこうこがく せんし・こだいけんきゅうのさいぜんせん

ISBN978-4-8406-2255-4

A5判 352頁 本体3,200円



最新の発掘調査が解明するヤマト最重要の地、葛城の通史。古代の大豪族・葛城氏の拠点であり、巨大古墳や豪族居館跡など、考古学の発掘調査により重要な発見が相次ぐ葛城の歴史を、旧石器から奈良・平安時代にかけて、最新の発掘調査から解明。現地の散策に有用な葛城の遺跡地図や口絵など図版多数。(2022.6)

渡辺一著

須恵器研究の新視角

すえきけんきゅうのしんしかく

ISBN978-4-8406-2252-3

A5判 544頁 本体11,000円



須恵器はなぜ日本で受容され消滅したのか。東アジアを中心とする世界の焼き物文化を見通しつつ、日本の古代社会を支えた須恵器の受容・生産・流通・消滅を、通史的・文化史的な観点から検討。へら記号、工房論、須恵器窯の形態・系譜論のほか、武威国の南比企窯跡群の須恵器編年に関する論考も収録。(2022.2)

奈良県立橿原考古学研究所編

黒塚古墳の研究

くろづかこふんのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2226-4

B4判 586頁 本体32,000円



初期ヤマト王権はどのように形成されたのか。その謎を解く未盗掘の前方後円墳を徹底検証。卑弥呼の鏡ともいわれる三角縁神獸鏡等34面、大量の鉄製武具の埋葬品や竪穴式石室・木棺等、地震による崩落で盗掘を免れた当時の埋葬状況について、約500点の図版・写真をまじえB4判(364×257mm)の大判で再現。(2018.9)

奈良県立橿原考古学研究所・中国社会科学院考古研究所・山東省文物考古研究所編

鏡 範 漢式鏡の製作技術

きょうはん

ISBN978-4-8406-2079-6

A4判 388頁 本体20,000円



古代日本を解明する鏡のルーツに迫る！出土した2000年前の鏡の鋳型から、現代では再現できない古代技術を解明。近年に中国で大量に出土した鏡範(鏡の鋳型)を日中で共同調査、考古学・鑄金・工学・鉱物学の専門家が集結し、銅鏡の製作技術を徹底解明。前漢代の鏡範(鏡の鋳型)を基礎資料として提供。(2009.2)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第17

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2228-8 C3320

A4判 352頁 本体22,000円



空間・ひと・装飾の3部に編成し、考古学を中心とした諸分野の研究者が、最新の研究を踏まえた書下ろし論考33本を収録。カラー口絵に、中西遺跡の水田遺構、飛鳥宮跡出土の海老錠、興福寺跡出土の将棋駒を収録。(2018.9)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第16

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2600-2

A4判 352頁 本体18,000円



考古学を中心に、文献史学、人類学、民俗学、建築史学、岩石学など、周辺分野の専門家を交えた学際的な執筆陣の書き下ろし論考を収録。カラー口絵に「箸墓古墳赤色立体地図・西殿塚古墳赤色立体地図」を収録、卑弥呼の墓ともいわれる箸墓古墳の3次元航空レーザー計測の成果を初めて提示する。(2013.12)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第15

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN978-4-8406-2082-6

A5判 816頁 本体20,000円



武器に残る使用痕から探る弥生社会、木簡からみた上代語、中国や朝鮮半島を含む東アジアの諸問題、古墳に残された骨から探る性別、さらに近世城郭など、重要なテーマを扱った多彩な論考37本を収録。(2008.9)

奈良県立橿原考古学研究所編

橿原考古学研究所論集 第14

かしはらこうこがくけんきゅうじょろんしゅう

ISBN4-8406-2081-4

A5判 744頁 本体18,000円【美品なし】



大和を掘る！発掘調査の最前線より最新調査をふまえて32本の論考を収録。考古学、文献史学、民俗学等周辺分野の研究者による珠玉の論文集。三角縁神獸鏡、ミヤケ、キトラ古墳、藤ノ木古墳、飛鳥寺院、藤原京、平城京、地震考古学他、日本歴史を語る上での重要なテーマについて論究した諸論文を収録。(2003.11)

古 代

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

島根県古代文化センター編

出雲国風土記 校訂・注釈編

いずものくにふどき こうてい・ちゅうしゃくへん

ISBN978-4-8406-2262-2

A5判 740頁 本体5,000円



神々の国・出雲を描く『出雲国風土記』を精読！歴史学・文学の研究者の最新論考を収録した「総論」、テーマごとに『出雲国風土記』を解説した「総説」、細川家本など主要7写本を参照した最良の「校訂本文」・「読み下し文」と200頁以上にわたる詳細な「補注」、〔地図・写本編〕と連動する便利な「本文索引」を収録。(2023.3)

島根県古代文化センター編

出雲国風土記 地図・写本編

いずものくにふどき ちず・しゃほんへん

ISBN978-4-8406-2253-0

A4判 648頁 本体8,000円



『出雲国風土記』研究の決定版！『出雲国風土記』にみえる地名・産物・社寺などを地図上に落とし込んだ「地図編」、細川家本など主要7写本の写真を1行ずつ並べ、校訂本文とともに提示する「写本編」、出雲国の古代交通路を復元した「特論」を収録。〔校訂・注釈編〕と合わせることで理解が深まる。(2022.3)

吉村武彦・加藤友康・川尻秋生・中村友一編

墨書土器と文字瓦 出土文字史料の研究

ぼくしよどきともじがわら しゅつどもじりょうのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2261-5

B5判 384頁 本体8,000円



地中から出土する文字史料が語る古代社会。全国の発掘調査により出土した多様な墨書土器・文字瓦を読み解き、東アジア漢字文化圏での事例など、多彩な論点から古代社会を再現した最新研究。文献史学、考古学、日本語学の研究者30名が、最新研究成果をふまえた書下ろし論考を収録。(2023.1)

上村正裕著

日本古代王権と貴族社会

にほんこだいおうけんときぞくしゃかい

ISBN978-4-8406-2259-2

A5判 544頁 本体9,000円



古代国家を運営したのはだれか。奈良・平安時代の王権を構成した太上天皇・皇后・皇太后に注目し、権力構造の変質過程を活写。王権を補完した貴族層にも注目した、新たな王権・政治史研究。恣意的になりがちな政治史研究に対して、多角的な視点から政治史を描く方法を提示。11本の新稿収録。(2023.1)

吉村武彦編

律令制国家の理念と実像

りつりょうせいこっかのりねんとじつぞう

ISBN978-4-8406-2257-8

A5判 482頁 本体11,000円



律令制国家は何をめざし、実現したのか。律令法の施行により法治国家として整備された日本古代国家。新たな法の理念と、従来の慣習による実態とを、具体的・多角的に検証。文献史学・考古学の研究者16名が結集した最新研究。全三部（律令制以前の法と支配／律令制支配の実像／平安時代の法と実像）(2022.5)

関根 淳著

日本古代史書研究

にほんこだいししよけんきゅう

ISBN978-4-8406-2251-6

A5判 432頁 本体9,500円



史書の分析を通して古代国家の歴史認識を読み解いた新たな史料学。天皇記・国記など、現存しない六国史以前の史書の実像を探り、古事記・六国史を再検証する。最新研究を網羅し、史書そのものについて知らなくてはならない重要ポイントを解説。歴史学はもちろん、文学や図書館学など、史書を扱うすべての分野に必読の書。(2022.5)

矢越葉子著

日本古代の文書行政 正倉院文書の形成と復原

にほんこだいのもんじょぎょうせい

ISBN978-4-8406-2240-0

A5判 434頁 本体8,000円



文書はどのように作成・保管されたのか。律令国家を動かした文書行政の実態や、正倉院文書の作成から保管に至る史料群の形成過程、さらに中国・敦煌文書との比較から、日本の文書行政の特質を解明。続々修と未修古文書目録、また大日本古文書の掲載頁を全124頁にわたる一覧で表示。(2020.12)

岩田真由子著

日本古代の親子関係 孝養・相続・追善

にほんこだいのおやかかんけい こうよう・そうぞく・ついぜん

ISBN978-4-8406-2235-6

A5判 488頁 本体10,000円



親の世話をするのはだれか。なぜ、親の供養を行うのか。親と子の関係が天皇家（王権）にどのような影響を与えたのか。古代・中世前期の親子の精神面を読み解き、王権の変質過程、「家」観念の成立、土地の権利意識の変遷など重要な論点を提示した、新たな王権・家族史研究。(2020.4)

長谷部将司著

日本古代の記憶と典籍

にほんこだいのきおくとてんせき

ISBN978-4-8406-2236-3

A5判 378頁 本体9,000円



古代人の「記憶」はどのように形成されたのか。日本古代の史書・系譜・説話・詩歌集などさまざまな典籍を検討し、作成者がどのような意図で編纂したのか、受容者はどのような認識で受け取ったのかなどの観点から、双方における「記憶」の形成や更新の実態、両者の情報格差をあざやかに明示する。(2020.4)

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編

日本書紀の誕生 一編纂と受容の歴史

にほんしよきのたんじょう へんさんとじゅようのれきし

ISBN978-4-8406-2225-7

A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした、待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載。(2018.4)

明治大学除目書刊行委員会編/田島公・末柄豊・牧野淳司・南保勝美

明治大学 三條西家本 除目書

めいじだいがくとしよかんしよどう さんじょうにしげほん じもくしよ

ISBN978-4-8406-2248-6

B5判 344頁 本体15,000円



新発見！ 平安時代・後三条天皇自撰の幻の儀式書を初公開。除目の儀式次第・作法を書いた、幻の儀式書『除秘鈔』（『院御書』の除目儀部分）の影印・翻刻・解説を付して全貌を初公開。九条家流の故実書と、室町期の地方文化ネットワークを知る紙背文書約50通も併載。(2021.5)

明治大学広開土王碑拓本刊行委員会編/吉村武彦・加藤友康・徐建新・吉田悦志

明治大学 高句麗広開土王碑拓本

めいじだいがくとしよかんしよどう こうくりこうたいおうひたくほん

ISBN978-4-8406-2223-3

B5判 360頁 本体15,000円



4世紀の高句麗・古代日本・百濟・新羅など、東アジアを知る最重要資料の決定版！ 新たに見つかった明大本2種を含む重要な拓本7種を厳選し、全拓本画像と釈文を一覧にし、拓本画像による釈文の再検証ができる。重要資料「集安高句麗碑」の解説・全文翻刻と書下ろし論考7本を併載。(2019.3)

鈴木靖民監修/高久健二・田中史生・浜田久美子編

古代日本対外交流史事典

こだいにほんたいがいこうりゅうしじてん

ISBN978-4-8406-2249-3

A5判 488頁 本体6,000円



古代日本と中国・朝鮮半島との交流の歴史について最新の研究成果をまとめた「読む事典」。日本・中国・韓国の最前線で活躍する文献史学・考古学・文学の専門家30名が、40のテーマ解説と376語のキーワードで、最新の研究成果を書き下ろした事典。27種の詳細かつ多彩な情報を付与した地図を付録。(2021.11)

水上雅晴編/編集協力 高田宗平

年号と東アジア 一改元の思想と文化

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそくとぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。(2019.4)

金子修一著

古代東アジア世界史論考 一改訂増補 隋唐の国際秩序と東アジア

こだひがしあじあせかいしろんこう

ISBN978-4-8406-2229-5

A5判 600頁 本体11,000円



東アジア史をリードする著者が、中国を中心とした東アジア諸国の新たな世界像を提示。中国を中心に、邪馬台国・倭国・渤海、突厥、高句麗、百濟など、周辺諸国を含む古代東アジアの国際秩序を解明。旧著『隋唐の国際秩序と東アジア』収録論考11本に加筆、新稿3本と旧著未収録11本と索引を収録。(2019.2)

近藤 剛著

日本高麗関係史

にほんこうらいかんけいし

ISBN978-4-8406-2233-2

A5判 464頁 本体9,800円



これまで個別に論じられてきた日本と高麗(918-1392)の関係について、とくに等閑視されてきたモンゴル襲来以前に注目したはじめての本格的な総合的研究。正式な通交関係になかった日本と高麗を中心に、契丹(遼)・金との国際関係をも含んだ東アジア全体から俯瞰。韓国の最新研究や韓国の金石文等の成果もふまえ検証。(2019.10)

井上幸治著

古代中世の文書管理と官人

こだいちゅうせいのもんじょかんりとかんじん

ISBN978-4-8406-2213-4

A5判 480頁 本体9,000円



文書はだれが作成し、どうやって保管したのか。前近代の文書の記録と管理＝アーカイブを担当した実務官人に注目し、古代から中世への移行期の実態と、中世公家政権の成立事情を明らかにする。文書のアーカイブの歴史という視点から、古代から中世にかけての朝廷政治の構造を叙述する。(2016.2)

鈴木正信著

日本古代の国造と地域支配

にほんこだいのこくぞうとちいきしはい

ISBN978-4-8406-2265-3

A5判 370頁予定 本体予価10,000円



ヤマト王権と豪族の実像とは。古墳から飛鳥時代にかけて地域を支配した国造をてがかりに、ヤマト王権の成立を解明する。国造が各地域をどのように支配したのかという問題に焦点を当て、国造制に関する最新の研究成果をまとめる。国宝『海部氏系図』の研究・翻刻を付すなど、系譜研究にも必須。(2023.9予定)

篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著

国造制・部民制の研究

こくぞうせい・べみんせいのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2078-9

A5判 400頁 本体10,000円



大和王権は日本列島をどのように支配したのか。古墳から飛鳥時代に、地方支配の中核を担った国造制と部民制に注目し、大和王権による列島支配の実態を、15本の論考と3本のコラムで解明する。史料編として、部民制・伴造制の文献目録・関連史料集を付す。好評『国造制の研究』に続く第二弾。(2017.10)

篠川賢・大川原竜一・鈴木正信編著

国造制の研究—史料編・論考編—

こくぞうせいのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2078-9

A5判 720頁+CD1枚 本体18,000円



北は東北地方から南は九州地方まで、全国の有力豪族が任命された「国造」に関する史料を網羅。主要史料の「国造本紀」は、最古写本「卜部兼永本」を底本とし影印掲載、諸写本により厳密な校訂を加えて翻刻。さらに、膨大な研究史をまとめ、論考13本を収録した、国造制研究の到達点。(2013.5)

河内春人著

日本古代君主号の研究

にほんこだいくんしゅごうのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2602-6

A5判 480頁 本体9,000円



倭国王・天子・皇帝など「天皇」以外の称号は何を意味するのか？ 中国との外交交渉で名のった称号を手がかりに、古代天皇制の成立を明らかにする。倭王武=雄略天皇という通説の再検討、天智朝「称制」の意味などの諸問題に一石を投じる。中世以後の君主号、国号成立に関連するコラム4本も収録。(2015.2)

気賀澤保規編

遣隋使がみた風景 東アジアからの新視点

けんずいしがみたふうけい

ISBN978-4-8406-2035-2

A5判 452頁 本体3,800円



遣隋使の謎に迫るはじめての書。遣隋使は7世紀のはじめに、当時の中国王朝隋に6回の使節があったとされるが、この使節の回数にも諸説あり確定していない。東洋史を中心に日本古代史、考古学の研究者による学際研究から遣隋使を再検討。特に韓国、中国等東アジアの最新成果を踏まえた待望の書。(2012.2)

中村太一著

日本古代の都城と交通

にほんこだいのとじょうとこうつう

ISBN978-4-8406-2241-7

A5判 704頁 本体9,800円



列島古代の交通や流通を分析し、人・モノ・情報が集中する都城のシステムと古代社会を解明。150点にのぼるイラスト・地図などの図表で、都城や条里・市の復原、道路の変遷や船の操作方法などを図示。電子地図を用いた国土座標値の計測やネットワーク分析、人工衛星観測データの活用など、新法を導入。(2020.10)

佐々木虔一・笹生衛・菊地照夫編

古代の交通と神々の景観—港・坂・道—

こだいのこうつうとかみがみのけいかん

ISBN978-4-8406-2263-9

A5判 560頁 本体8,500円



地方の社会・交通が生み出す祭祀の景観を復元。港湾、坂・峠・境界、道路の三施設に注目、文献史学・考古学・日本文学など多様な切り口で日本古代の交通と祭祀の実態に迫る。環境・災害・地域社会という時代の大きな流れの中で、新たな神まつりが生じていく過程を描写。(2023.5)

佐々木虔一・川尻秋生・黒濟和彦編

馬と古代社会

うまとこだいしゃかい

ISBN978-4-8406-2247-9

A5判 568頁 本体8,000円



【2021年度JRA賞馬事文化賞特別賞受賞。好評につき重版】馬はどのように渡来し、社会に浸透したのか。馬文化の渡来、生産・飼育、交通、祭祀、儀式など、古墳時代から撰関期まで、日本考古学・文献史学を中心に、動物考古学、日本文学など、隣接する諸分野と多角的に検証。(2021.5)

佐々木虔一・武廣亮平・森田喜久男編

日本古代の輸送と道路

にほんこだいのゆそうとどうろ

ISBN978-4-8406-2224-0

A5判 402頁 本体9,000円



道路が結びつける人の移動、モノの輸送、情報の伝達に注目し、古代社会を具体的・立体的に復元。防人・役夫を統率した部領使、自弁で都城に向かう運脚夫、遣唐使船の乗組員など移動する人々の実像や、交通を支えたインフラ（道路・橋・溝）の整備等、古代社会の根幹を支えた交通体系の具体像を示す！（2019.5）

鈴木靖民・吉村武彦・加藤友康編

古代山国の交通と社会

こだいやまぐにのこうつうとしゃかい

ISBN978-4-8406-2206-6

A5判 408頁 本体8,000円



山岳地域を生きた古代人の交流を探る！ 周囲を山地で閉鎖されながら活発かつ多様な交流を続けた古代の交通と、それにより形成される地域社会の編成、交通を基礎づけた古代国家による交通路の設定と政治的編成を解明。【目次】Ⅰ 総論—山国の世界／Ⅱ 交通の諸相／Ⅲ 生業と信仰／Ⅳ 山国の政治学／コラム (2013.6)

古代交通研究会編

〔OD版〕日本古代道路事典

にほんこだいどうろじてん

ISBN978-4-8406-3476-2

A4判 448頁 本体12,000円



歴史地理学、文献史学の成果はもちろん、全国各地で続けられている考古学の発掘調査をふまえ、交通関連遺構に関する最新の研究成果を、各地の調査担当者が書き下ろし執筆。古代交通関係の遺跡を網羅し一覧。多数の図を収録し、全国の道路遺跡や研究状況を総合的に把握できる事典。(2004.5)

槇道雄著

上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—

じょうこうとほうおうのれきし せんとうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いつながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

古代交通研究会編

CD版 古代交通研究 1~6号

こだいこうつうけんきゅう

ISBN4-8406-2080-6

CD1枚 954頁 本体20,000円



入手困難のバックナンバーを複製。研究史上重要な業績を残しながら長らく品切だった創刊号から第6号の全6冊をCD1枚に収録。全954ページを記事単位のPDF画像ファイルで収録。1論文を1ファイルとし、1クリックで1論文を最終ページまでプリントできる。著者名索引・書名索引付き。(2006.12)

古代交通研究会編

古代交通研究

こだいこうつうけんきゅう

第7号 (1997.11)

ISBN4-8406-2063-6

B5判 198頁 本体4,500円

第8号 (1998.12)

ISBN4-8406-2064-4

B5判 180頁 本体4,500円

第9号 (2000.1)

ISBN4-8406-2065-2

B5判 176頁 本体4,500円

第10号 (2001.2)

ISBN4-8406-2066-0

B5判 160頁 本体4,500円

第11号 (2002.3)

ISBN4-8406-2067-9

B5判 184頁 本体5,000円

第12号 (2003.5)

ISBN4-8406-2068-7

B5判 140頁 本体5,000円

第13号 (2004.5)

ISBN4-8406-2069-5

B5判 164頁 本体5,000円



【第7号目次】《共同研究 律令国家と古代道一 駅路・伝路の成立》律令制形成期の往来と道制（鐘江宏之）／古代伝路の復原と問題点（木本雅康）／古代道路遺構の形態からみたその性格（近江俊秀）／七道制と駅馬・伝馬（永田英明）他

【第8号目次】《共同研究 民衆と交通》地方交通の諸相（鈴木景二）／古代東国村落の造り道（田形孝一）／大嶋郷と交通（谷口榮）／古代荘園図に描かれた道について（山口英男）他

【第9号目次】絵図・地図のなかの交通（青山宏夫）／多賀城方格地割と交通（山中章）／高知県香美郡野市町下ノ坪遺跡とその遺構について（森公章）／古代駅伝路における道代の幅員について（吉本昌弘）／日向峠越ルートについて（瓜生秀文）／他

【第10号】待望の「道路調査ハンドブック」誕生！ 諸資料に見える古代道路の痕跡からその認定方法を提示〔目次〕古代道路研究の現況（木下良）／古代道を探す（関和彦）／絵画史料にあらわれた道路（藤原良章）／地理資料にあらわれた古代駅路（中村太一）／道路遺構の変遷—規模と構造の問題を中心として—（近江俊秀）／道路遺跡の構造（山村信栄）／道路遺跡の調査方法（中山晋）他

【第11号目次】《共同研究報告 国司の旅》東国の国司と交通（川尻秋生）／地方官の交通と伝馬制（松原弘宣）／歌謡から見た国司巡行の実態（森田喜久男）／出土文字資料からみた地方の交通（平川南）他

【第12号目次】《共同研究報告 西海道の古代道》／西海道における古代官道研究史—歴史地理学の立場から—（木本雅康）／南九州の古代交通（永山修一）／佐賀平野の官道と官衙（小松讓）／南九州の道路の事例について（渡部徹也）／大宰府周辺の古代道（小鹿野亮）／西海道の古代交通（木下良）他

【第13号目次】《共同研究報告 古代の車》日本古代における交通・輸送と車（加藤友康）／車と駕籠—乗り物をめぐる意識変化—（佐多芳彦）／描かれた道・橋・車（井上尚明）／平安京・京都の道路と車（上村和直）／大和出土の車輪と轍（橋本輝彦）他

甲田利雄著

〔OD版〕平安朝臨時公事略解

へいあんちょうりんじくじりやくかい

ISBN978-4-8406-3613-1

A5判 380頁 本体12,000円



平安朝時代の主だった臨時公事について解説。『新儀式』『西宮記』『北山抄』『江家次第』『侍中群要』『柱史抄』等の諸書より、主要な項目を拾い、従来比較的解説されることの少なかった事項に重点を置いて解説。『年中行事御障子文注解』と本書共通の索引付。(2015.11)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

改訂新版 日本古代木簡字典

にほんこだいもっかんじてん

ISBN978-4-8406-2077-2

B6判 240頁 本体2,500円



日本古代の木簡から文字を直接採用した初めての字典。新たに7世紀木簡の字も追加するなど、新編集で大幅に改訂増補。デジタル化した木簡画像から一文字ずつ抽出し、強調処理を施したため、鮮明で見やすい文字となっている。また、字形の簡便な検索を主眼とした実用的で使いやすい索引を付した。(2013.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

藤原宮木簡 三

ふじわらきゅうもっかん3

ISBN978-4-8406-2087-1 図版B4判 74プレート

＋解説A5判 252頁 本体19,000円



藤原宮跡の東北面門付近より出土した木簡611点を原寸大で高精細影印！ 詳細な解説・釈文を付し初公開。宮内省・中務省とその被管官司にかかわる木簡が多く、文書木簡や、王家との深い関連が見て取れる記載に富む。大宝律令成立前後の律令国家成立史を考える上で極めて重要な意味をもつ史料群である。(2012.4)

独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編

平城宮木簡 七

へいじょうきゅうもつかん7

ISBN978-4-8406-2045-1 図版B4判 182プレート
ト+解説A5判 552頁 本体29,000円



平城宮の中枢部である第一次大極殿院周辺より出土した木簡1617点を原寸大で高精細影印！ 詳密な解説・釈文を付し、38年間（1965～2002）にわたる発掘成果を初公開。平城遷都直後から奈良時代末期までの70年に及ぶ多彩な収録木簡は、古代8世紀の歴史、社会、文化の研究に必備の基本史料。（2010.4）

西本昌弘校訂

新撰年中行事

しんせんねんちゅうぎょうじ

ISBN978-4-8406-2043-7
A5判 264頁 本体10,000円



平安中期の公卿、藤原行成が著した幻の書「新撰年中行事」を、東山御文庫本の調査で発見された伝本により精確に翻刻。新出史料の全貌を初公開。同時期に成立した年中行事書「小野宮年中行事」などと比べて3倍もの圧倒的な行事項目数を誇る等、知られていなかった平安時代中期の実態を知る貴重本。（2010.8）

渡辺 著

古代・中世の情報伝達 文字と音声・記憶の機能論

こだい・ちゅうせいのじょうほうでんたつ

ISBN978-4-8406-2053-6
A5判 450頁 本体10,000円



古代・中世社会を動かしたのは文書ではなく音声だった！ 「音声」で伝達された情報を文献から抽出、「文書による国家支配が徹底していた」という古代史の常識を覆す。帳簿、譲状や偽文書などの史料から「音声」を復原するという新しい切り口で再検討、音声と文字とが併存して補い合った実態を示す。（2010.10）

中村友一著

日本古代の氏姓制

にほんこだいのしせいせい

ISBN978-4-8406-2036-9
A5判 336頁 本体9,800円



「氏姓」に残された日本古代の姿を解明！ 戦後に華族制度が廃止されるまで日本人の出自意識に影響を与えた氏姓の根源を探る。氏姓の制度＝「氏姓制」は、天皇による支配のために6世紀初頭に成立した日本独自の制度であったことを論証。（2009.5）

三船温尚・奥健夫編

国宝 蟹満寺釈迦如来坐像 古代大型金銅仏を読み解く

こくほう かにまんじしゃかによらいざどう

ISBN978-4-8406-2083-3
A4判 248頁 本体25,000円



白鳳から天平にかかる数少ない古代大型金銅仏はいつどうやって造られたか。薬師寺像との先後関係など、仏教美術史に再検討を促す、彫刻史上の傑作のなぞに迫る。仏教美術史、鑄造技術史、金属材料学、考古学、年代測定、3次元レーザー計測、蛍光X線成分分析など、700点の図版をまじえ多角的に調査。（2011.12）

小右記講読会発行（黒板伸夫監修・三橋正編）

『小右記』註釈 長元四年(1031)

しょうゆうきちゅうしゃく

ISBN978-4-8406-2032-1
A5判 2冊組 1508頁 揃本体24,000円



右大臣藤原実資の日記『小右記』のうち、長元4年分に書下し文と詳細な註釈を付し刊行。同年の『左経記』書下し文も併録する。両書とも、写本からの厳密な翻刻を行ない、その原文を付ける。詳細な註釈と解説を施し、それらの語句は索引で引くこともでき、『古記録語辞典』としての利用価値も大きい。（2008.9）

達日出典著

八幡宮寺成立史の研究

はちまんぐうじせいりつしのけんきゅう

ISBN4-7971-0740-5
A5判 474頁 本体12,000円



古代より、ほぼ奈良時代の豊前国宇佐における八幡宮寺の成立に関し、先行研究を踏まえ、諸史料を博搜して問題点を考察する。著者は、現地踏査を繰り返し、伝承や文献の内容を分析し、原初信仰・八幡神頭伝承の系統分析と変遷を中心に八幡宮寺の成立について4編12章の構成に基づき考察を加える。（2003.3）

佐野大和著

呪術世界と考古学

じゅじゅつせかいとこうがく

ISBN4-7971-1504-1
A5判 456頁 本体8,252円



大場磐雄博士が開拓・体系づけた神道考古学は、古代社会の習俗の復元と、その習俗の基底をなす古代日本人の信仰の研究を目的とする。本書には、大場博士の研究を一步進め、縄文・弥生以来の古代の習俗・信仰の中から醸成された古代神道生成の過程を考古学的に追求する論文24編を所収。（1992.7）

米田雄介著

歴代天皇の記録

れきだいてんのうのきろく

ISBN4-7971-0484-8
B6判 226頁 本体1,748円



平安時代の宇多天皇から江戸時代末の孝明天皇までの歴代天皇の記録について書誌的な立場から概説する。あわせて明治天皇紀の附図の制作に関するものを整理した。長年宮内庁書陵部に在職し、皇室の研究に従事された著者ならではの解説。古代から近代にいたる天皇家の記録に関する入門書として最適。（1992.5）

甲田利雄著

年中行事御障子文注解

ねんじゅうぎょうじごしょうじもんちゅうかい

ISBN4-7971-0525-9
A5判 424頁 本体10,000円



光孝天皇の仁和5年（885）に太政大臣藤原基経によって献げられたという『年中行事御障子文』に基づき、平安期の公事関係書をはじめ広く諸文献を検証して、平安期の恒例の公事の本源ならびにその実態を解明した。平安文学・平安時代史研究の手引書。（1976.3）

渡辺直彦編

古代史論叢

こだいしろんそう

ISBN4-7971-0655-7

A5判 372頁 本体8,000円



駒沢大学教授渡辺直彦氏を中心に、日本・中国の古代史専攻の中堅および新進気鋭の研究者による論文集である。執筆者の各分野の論文10編を収める。このうち、渡辺直彦氏の『『小右記』八の対校範囲と校合』は、『大日本古記録 小右記 訂正一覧』を補充し、写本の対校範囲にも校訂が加えられた力作。(1994.7)

槇道雄著

院政時代史論集

いんせいじだいしろんしゅう

ISBN4-7971-0652-2

A5判 432頁 本体9,515円



院政政権に関する著者の研究の集大成。一般に院政時代とは、後三条から鳥羽・後白河をへて、後鳥羽上皇にいたる時代をさす。本書では、院政時代という時代区分を設定して、院政の実態追究を中心課題とし、鳥羽院政を考察し、その前後の時代をも含めて考究する。院政史研究者必読の書となる。(1993.4)

槇道雄著

院近臣の研究

いんきんしんのけんきゅう

ISBN4-7971-0735-9

A5判 328頁 本体8,000円



造寺・造仏、各種修法・儀式が著しく発展し、文化史上各種和様の確立期と見られる院政時代。本書では、この時代の政治主導・文化形成に大きな役割を演じた院近臣層の動向を中心に、前著『院政時代史論集』に続く研究成果をふまえ、当該期の諸問題を追究、解明しようとする好論八編を収録した。(2001.11)

詫間直樹編

新皇居行幸年表

しんこうきよぎょうこうねんびょう

ISBN978-4-8406-2258-5

A5判 624頁 本体11,000円



天皇の皇居・行幸一覧の決定版、25年ぶりの増補改訂！神武天皇から幕末の孝明天皇まで、歴代天皇の居所、移徙・行幸先を編年で提示。『皇居行幸年表』(続群書類従完成会、1997年)所収部分(桓武～後醍醐天皇)は新出史料情報を追加するなど増補改訂。天皇の移動を通史的に把握できる必携の座右の書。(2022.4)

中世

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

岩橋小弥太・斎木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂 **園太暦**

えんたいりやく

全8冊・既刊①-⑦

A5判 平均427頁、揃2,986頁

①~④各巻本体13,000円、⑤~⑦各巻本体8,000円

揃本体76,000円

①ISBN978-4-8406-3001-6 本体13,000円(1970)[OD版]

②ISBN978-4-8406-3002-3 本体13,000円(1971)[OD版]

③ISBN978-4-8406-3003-0 本体13,000円(1971)[OD版]

④ISBN978-4-8406-3004-7 本体13,000円(1971)[OD版]

⑤ISBN4-7971-0314-0 本体8,000円(1973)

⑥ISBN4-7971-0355-8 本体8,000円(1985)

⑦ISBN4-7971-0356-6 本体8,000円(1986)



南北朝時代、北朝の重鎮として太政大臣に任じ、武家の推尊も受け、南朝の厚き信望をもなった洞院公賢(1291-1360)の日記。動乱の世相と政局の機微を描いて精彩に富み、古来名記の一つに数えられる。公賢は、学殖においても当代に並ぶ者なく、古典・旧規に通じ、その著述は、故実典礼の典拠とされている。本記は、現存する正記に新出写本、逸文等を加え、現段階での『園太暦』本文の完璧を期するもの。新刊の巻五以降は史料纂集古記録編(本図書目録20頁参照)所収。

【収録】①1311 [応長元]~1346 [貞和2]・洞院系図

②1346 [貞和2]~1348 [貞和4]

③1349 [貞和5]~1351 [観応2]

④1351 [観応2]~1354 [文和3]

⑤1355 [文和4]~1356 [延文元]

⑥1357 [延文2]~1359 [延文4]

⑦1360 [延文5]~1311 (応長元年正記園太暦目録)

満濟准后日記

まんざいじゅごうにつき

全2冊・完結

続群書類従補遺 1 上下

揃1,206頁

[オンデマンド版] A5判 揃本体19,000円

[通常版] B6判 揃本体10,000円

(上) 544頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3213-3 本体9,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0110-5 本体5,000円(1928)

(下) 662頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3214-0 本体10,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0111-3 本体5,000円(1928)



室町時代黒衣の宰相と称された満濟の応永18年(1411)から永享7年(1435)の日記。満濟は権大納言今小路師冬の子で、後に室町将軍家足利義満の猶子となり、醍醐寺三寶院賢俊の室に入って得度した。応永2年醍醐寺座主に補してより東寺長者・四天王寺檢校を歴任し、この間法印に叙し、大僧正に任じ、応永35年には准後の宣下をうけている。満濟は賢俊の後をうけて室町将軍家に重用され、特に義持・義教の信任あつく、政務についてしばしば重要な献策をし、その権威は甚だ高かった。したがって本日記は単なる僧侶の日記というよりも、むしろ室町時代初期に於ける幕府側近者の日記の観があり、長年月に亘るその詳密にして正確な記事は政治史研究の重要資料として著名である。

【収録】(上) 1411 [応永18]~1428 [正長元]

(下) 1429 [正長2]~1435 [永享7]

満濟准后日記研究会編

満濟准后日記 人名索引

まんざいじゅごうにつき じんめいさくいん

ISBN978-4-8406-2074-1

A5判 440頁 本体11,000円



室町期研究の基本史料『満濟准后日記』(続群書類従)の人名索引。本文の講読から20数年の歳月をかけ、可能な限り人名の考証と比定を行い、異称・別称の類もすべて採録した。本索引により、本文に記載のある、知りたい人物を即座に検索可能になった。中世史を研究するすべての人に贈る待望の索引! (2010.12)

看聞御記

かんもんぎよき

全2冊・完結

続群書類従補遺 2 上下

B6判 揃1,386頁

[OD版] A5判 揃本体22,000円

[通常版] B6判 セット品切

(上) 628頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3215-7 本体10,000円(2013)

[通常版] 【品切】

(下) 758頁

[OD版] ISBN978-4-8406-3216-4 本体12,000円(2013)

[通常版] ISBN4-7971-0113-X 本体5,000円(1930)



後崇光院貞成親王の応永23年(1416)から文安5年(1448)の日記。記主は崇光院の皇孫栄仁親王の第二子で、幼少の頃は今出川公直に養育された。後、元服と同時に伏見宮に戻り、応永24年兄治仁王の急死の後をうけ伏見宮家第三代の主となっている。又、同32年4月後小松上皇の猶子として親王宣下を受けたが、7月俄に出家し道欽と号した。正長元年称光天皇の崩御に当り、親王の第一子彦仁王が位につき後花園天皇となり、文安4年天皇の実父ということで太上天皇の尊号をうけている。かくして、本記は記主の日常生活についてはもちろん、後花園天皇踐祚に関する朝廷の動き、足利義教の肅清政治の様子、嘉吉の乱等朝幕を中心とする政局の動きを記し、また世間の巷説、市井の出来事、種々の芸能に関する記事等も豊富で当代の政治・文化・庶民生活等に関する貴重な史料となっている。

【収録】(上) 1416 [応永23]~1431 [永享3]

(下) 1432 [永享4]~1448 [文安5]

高橋隆三校訂／書名索引：土井哲治編

実 隆 公 記

さねたかこうき

全20冊・完結

A5判 平均415頁、揃8,300頁
各巻本体9,000円
書名索引のみ本体12,000円
揃本体183,000円

ISBN4-7971-

- ①上-0431-7 (1931.8) / ①下-0432-5 (1931.8)
 ②上-0433-3 (1932.5) / ②下-0434-1 (1932.5)
 ③上-0435-X (1933.8) / ③下-0436-8 (1933.8)
 ④上-0437-6 (1935.12) / ④下-0438-4 (1935.12)
 ⑤上-0439-2 (1938.12) / ⑤下-0440-6 (1938.12)
 ⑥上-0441-4 (1961.6) / ⑥下-0442-2 (1962.12)
 ⑦-0443-0 (1957.3) / ⑧-0444-9 (1958.3)
 ⑨-0445-7 (1967.5) / ⑩-0446-5 (1959.3)
 ⑪-0447-3 (1959.3) / ⑫-0448-1 (1962.3)
 ⑬-0449-X (1963.3) / 書名索引-0730-8 (2000.6)

三条西実隆(1455-1537)の日記。文明から応仁の乱を経、天文の頃にいたるまで、戦国争乱のさなかにおける政治・社会の動静、公家文化とその地方浸透などに関する室町後期の根本史料。また本記を通して、実隆の深い教養が公卿・武家の社会に重んじられた事情が窺われる。さらに淀の魚市や関所の濫置、土一揆の蜂起等、社会経済史の記事も豊富に記載されている。

【収録】

- ①上 1474 [文明6]～1479 [文明11]
 ①下 1480 [文明12]～1487 [長享元]
 ②上 1487 [長享元]～1489 [延徳元]
 ②下 1490 [延徳2]～1494 [明応3]
 ③上 1495 [明応4]～1496 [明応5]
 ③下 1497 [明応6]～1501 [文亀元]
 ④上 1502 [文亀2]～1505 [永正2]
 ④下 1505 [永正2]～1507 [永正4]
 ⑤上 1508 [永正5]～1510 [永正7]
 ⑤下 1510 [永正7]～1522 [大永2]
 ⑥上 1523 [大永3]～1525 [大永5]
 ⑥下 1525 [大永5]～1526 [大永6]
 ⑦1527 [大永7]～1529 [享禄2]
 ⑧1529 [享禄2]～1533 [天文2]
 ⑨1534 [天文3]～1536 [天文5別記・補遺]
 ⑩1474 [文明6]～1489 [長享3紙背文書]
 ⑪1489 [延徳元]～1499 [明応8紙背文書]
 ⑫1501 [文亀元]～1506 [永正3紙背文書]
 ⑬1506 [永正3]～1522 [大永2紙背文書]

書名索引

お湯殿の上の日記

おゆどののうえのにつき

全11冊・完結



続群書類従補遺3(一)～(十一)

平均468頁、揃5,148頁

〔オンデマンド版〕A5判 揃本体85,000円(2013)

ISBN978-4-8406-

- ①-3217-1 本体9,000円 / ②-3218-8 本体8,000円
 ③-3219-5 本体7,000円 / ④-3220-1 本体9,000円
 ⑤-3221-8 本体6,000円 / ⑥-3222-5 本体9,000円
 ⑦-3223-2 本体7,000円 / ⑧-3224-9 本体7,000円
 ⑨-3225-6 本体9,000円 / ⑩-3226-3 本体9,000円
 ⑪-3227-0 本体5,000円

〔通常版〕B6判 揃本体50,000円(1957-1966)

ISBN4-7971-

- ①-0114-8 本体5,000円 / ②-0115-6 本体5,000円
 ③-0116-4 本体4,000円 / ④-0117-2 本体5,000円
 ⑤-0118-0 本体4,000円 / ⑥-0119-9 本体5,000円
 ⑦-0120-2 本体4,000円 / ⑧-0121-0 本体4,000円
 ⑨-0122-9 本体5,000円 / ⑩-0123-7 本体5,000円
 ⑪-0124-5 本体4,000円

宮廷記録の一つで禁中御湯殿上の間で、天子近侍の女官が記した当番日記。後土御門天皇文明9年(1477)より霊元天皇貞享4年(1687)まで、主上の動静を主として、恒例・臨時の行事、任官・叙位・遊宴・御会・御料進献・将軍以下参内の様子を記し、時に女官の動静を記し、御湯の当番、移動・新任などをも記している。室町時代以後の史料として重要であることは言うまでもないが、皇室史の史料としては第一におかれるべきものとなっている。

【収録】①1477 [文明9]～1487 [長享元]

- ②1488 [長享2]～1496 [明応5]
 ③1497 [明応6]～1531 [享禄4]
 ④1532 [天文元]～1545 [天文14]
 ⑤1546 [天文15]～1557 [弘治3]
 ⑥1558 [永禄元]～1569 [永禄12]
 ⑦1570 [元亀元]～1582 [天正10]
 ⑧1583 [天正11]～1595 [文禄4]
 ⑨1598 [慶長3]～1644 [寛永21]
 ⑩1675 [延宝3]～1687 [貞享4]
 ⑪1500 [明応9]～1625 [寛永2]

辻善之助校訂

鹿 苑 日 録

ろくおんにちろく

全7冊・完結

A5判 平均411頁、揃2,876頁

各巻本体10,000円

【在庫僅少】

ISBN4-7971-

- ①-0503-8 (1934.6) / ②-0504-6 (1934.10) 【品切】
 ③-0505-4 (1935.5) / ④-0506-2 (1935.10)
 ⑤-0507-0 (1936.8) / ⑥-0508-9 (1937.6)
 ⑦-0509-7 7索引 総索引(1962.5)



本書は、相国寺鹿苑院歴代の僧録の日記約70余冊を大略年代順に編次したものである。長享元年(1487)から慶安4年(1651)に至る165年に及ぶ日記に文書案・漢詩集などを含む。年代的には『蔭涼軒日録』を継承するものである。鹿苑院院主は、僧録司の職に補せられる慣例であったから、室町時代の禪院に関する好資料であるにとどまらず、将軍の動静・幕府の内事を漏らすものが少なくない。当時の政治・文芸の好史料。詳細索引付。

高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂

言 継 卿 記

ときつぐきようき

全6冊・完結

A5判 平均486頁、揃2,916頁 各巻本体13,000円

- ①ISBN978-4-8406-3053-5 440頁 (1966.5) 【OD版】
- ②ISBN978-4-8406-3054-2 496頁 (1972.1) 【OD版】
- ③ISBN978-4-8406-3055-9 780頁 (1998.1) 【OD版】
- ④ISBN978-4-8406-3056-6 554頁 (1998.12) 【OD版】
- ⑤ISBN978-4-8406-3057-3 318頁 (1965.9) 【OD版】
- ⑥ISBN978-4-8406-3058-0 328頁 (1967.11) 【OD版】



権大納言山科言継(1507-1579)の日記。大永7年(1527)、言継20歳の時から、薨去の直前、70歳の天正4年(1576)12月まで、前後50年にわたる。戦国時代を中心とする時期の日記として、本記ほどまとまったものは他にない。山科家が内蔵寮を管していたところから、皇室の経済に関することはとくに詳しく、また、文学・芸能・医学などの記事や武将との交渉の記事等、当時の世相を知る重要資料。紙背文書は『史料纂集』古文書編に収録(本図書目録32頁参照)。

甲田利雄著

校本江談抄とその研究

こうほんごうだんしょうとそのけんきゅう 全3冊・完結

A5判 平均529頁、揃1,586頁

揃本体39,000円

各巻本体13,000円

- (上) ISBN4-7971-0621-2 (1987.3)
- (中) ISBN4-7971-0622-0 (1989.3)
- (下) ISBN4-7971-0623-9 (1988.2)



大江匡房(1041-1111)は、後三条・白河・堀河・鳥羽の四朝に仕えた平安末期の碩儒である。『江談抄』は、匡房の談話を藤原実兼が筆記したもので、故事や世間の事をするしたもので後世の説話文学に多大な影響を与えた。本書は、上巻(類従本表題一覧・水言抄目録・本文並びに考説巻1~4)・中巻(本文並びに考説巻5~6・補遺・索引)・下巻(論述編・水言抄の江談本文の写し・前田本江談抄の写し・江談抄所載人名略伝)の3冊を刊行する。本書は、『江談抄』の成立・内容・本文・諸本について諸先学の研究成果をふまえ、改めて諸問題を提起し、その解明の端緒とならんとするものである。

瀬野精一郎・村井章介編

松浦党関係史料集

まつうらとうかんけいしりょうしゅう 全6冊・既刊①-⑤

A5判 平均317頁、揃1,584頁

①②③各巻本体9,000円

④本体15,000円 ⑤本体18,000円

- ①ISBN4-7971-0632-8 288頁 (1996.8)
- ②ISBN4-7971-0633-6 294頁 (1998.9)
- ③ISBN4-7971-0634-4 296頁 (2004.3)
- ④ISBN978-4-8406-2034-5 326頁 (2009.4)
- ⑤ISBN978-4-8406-2243-1 380頁 (2020.4)



肥前国松浦地方に土着繁栄した武士集団、松浦党に関する残存史料を集大成し、平安から南北朝動乱の終結に至るまでの約400年間の松浦党の変遷を知り得る約700点の関係史料を収録し、編年順に編纂刊行する。第4以降は、海外史料も所収し、松浦党研究の一層の発展を期待するものである。

村田正志編

和訳花園天皇宸記

わやくはなぞのてんのうしんき 全3冊・完結

A5判 平均333頁、揃1,000頁

揃本体25,000円

①本体7,000円 ②③各巻本体9,000円

- ①ISBN4-7971-1551-3 (1998.10)
- ②ISBN4-7971-1552-1 (2003.1)
- ③ISBN4-7971-1553-X (2003.3)



史料纂集『花園天皇宸記』を底本としてこれを通読理解するために全文を訓読する。本書は、南北朝時代研究の大家村田正志氏の編により、難解であった『花園天皇宸記』の宮廷儀式等の故実訓みにルビを付し、的確に訓読する。史料纂集本と同じ構成とし、難読であった本書を身近に理解する絶好の手引書。

石清水八幡宮社務所編

石清水八幡宮史

いwashimizuはちまんぐうし 全8冊+別巻・完結

菊判 平均786頁、揃7,072頁

【セット品切】

①②⑤⑦⑧各巻本体15,000円/③④⑥各巻本体18,000円 ISBN4-7971-

- ①-0661-1 (1932.8) /②-0662-X (1933.8)
- ③-0663-8 (1934.4) /④-0664-6 (1934.11)
- ⑤-0665-4 (1935.7) /⑥-0666-2 (1936.11)
- ⑦-0667-0 (1936.5) /⑧-0668-9 (1937.12)
- 別巻-0669 (1939.8) 【品切】



昭和14年に28年を要して出版完了した石清水八幡宮史を再刊。別巻に石清水社の略史・編年史・祠官系図を収め、第1~8輯には、本宮に関係ある重要史料を、鎮座編以下崇敬編にいたる11項目に分類し、編年集成したものである。本宮に伝存する文書を根幹にして、公家・武家他の関係史料を収録。

- ①鎮座・祭神・神体・璽宮璽剣・社殿・寺塔編 /②祭祀編上 /③祭祀編下 /④怪異・祠官編 /⑤社領編上 /⑥社領編下 /⑦崇敬編上 /⑧崇敬編下 /別巻 石清水八幡宮略史・編年史・祠官系図

石清水八幡宮社務所編

石清水八幡宮史料叢書

いわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全5冊・完結

A5判①ISBN4-7971-0671-9

本体15,000円【在庫僅少】／②-⑤【品切】



石清水八幡宮に伝存する古文書・古記録を内容により分類、収録した叢書。内容は本社の男山を中心とするあらゆる古跡・事物・行事について、その由来変遷を詳述したものである。本書全5冊は昭和35年に15年をかけて出版完了したもので、重要必見の史料でありながら、かつて市販されたことはない。(1960.8)

村田正志・石川晶康・田中君於編

続石清水八幡宮史料叢書

ぞくいわしみずはちまんぐうしりょうそうしょ 全4冊・既刊①-③

A5判 平均313頁、揃938頁

既刊3冊本体24,000円

各巻本体8,000円【残部僅少】



本書は・天下第二の宗廟・とされる石清水八幡宮に伝存されている、平安～江戸末期に及ぶ、質量共に神社界では最高にして最大級の古文書・古記録群の目録である。第1・2巻には田中家文書目録を、第3巻には菊大路家文書目録を収録し、併せて重要・貴重文書の写真を掲載し、研究者の便宜を計るものである。

①田中家文書目録1 ISBN4-7971-1005-8 (1985.12)

②田中家文書目録2 ISBN4-7971-1006-6 (1996.10)

③菊大路家文書目録 ISBN4-7971-1007-4 (1988.6)

詫間直樹編

新皇居行幸年表

しんこうきぎょうこうねんぴょう

ISBN978-4-8406-2258-5

A5判 624頁 本体11,000円



天皇の皇居・行幸一覧の決定版、25年ぶりの増補改訂！神武天皇から幕末の孝明天皇まで、歴代天皇の居所、移徙・行幸先を編年で提示。『皇居行幸年表』(続群書類従完成会、1997年)所収部分(桓武～後醍醐天皇)は新史料情報を追加するなど増補改訂。天皇の移動を通史的に把握できる必携の座右の書。(2022.4)

槇道雄著

上皇と法皇の歴史—仙洞年代記—

じょうこうとほうおうのれきし せんとうねんだいき

ISBN978-4-8406-2250-9

A5判 556頁 本体15,000円



歴代の上皇と法皇の歴史を解説した年代記。院政時代の平安後期から院政形態の全体像を平易に略述してある。明治時代の旧「皇室典範」により永遠に廃止されたと思われた「上皇」復活に触発されて執筆したものである。天皇号成立以後の歴代天皇の推移を、同時代史料で追いつながら、そのなかで上皇・法皇の姿を述べている。(2021.12.22)

永井 晋編

鎌倉僧歴史典

かまくらそうれきじてん

ISBN978-4-8406-2038-3

A5判 344頁 本体12,000円



【好評につき重版】武家の都・鎌倉で活動した鎌倉時代の僧侶949名の経歴を知る人名事典。中世鎌倉を知るための必備の書。僧侶それぞれについて生没年、家族、法流、本文、寺院、通称の順に記載。再検証ができるように、引用史料の出典を掲げた。解説・索引を完備、鎌倉顕密僧を知る入門ガイドも掲載。(2020.5)

久水俊和著

中世天皇家の作法と律令制の残像

ちゅうせいてんのうせいのさほうとりつりょうせいのざんざう

ISBN978-4-8406-2239-4

A5判 400頁 本体7,000円



中世に残された古代律令制の実像とは？ 朝廷と室町幕府のあらたな関係を提示。天皇家の公事作法や神事・学芸に注目し、皇統確立の過程を明らかに。律令国家以来の太政官制が中世に機能していたことを論証。平安京大内裏跡の具体的な復原も試みる。皇統はどのように確立したのかについても論究。(2020.6)

高橋忠彦・高橋久子・古辞書研究会編

尊経閣文庫本桂川地蔵記 影印・訳注・索引

そんけいかくぶんこぼん かつらがわじぞうき

ISBN978-4-8406-2086-4

B5判 352頁 本体20,000円



語彙を豊富に含んだ室町時代の武家の教科書として広く読まれた本書をカラーで新撮影し全文を影印。さらに索引(漢字・自立語)・訓み下し・現代語訳・注・解説を付す。飲食物・茶道具など、日常使われる語彙を列挙、日本語・芸能・風俗・宗教など広く中世社会を知るための必備史料。(2012.5)

北条氏研究会編

北条時宗の時代

ほうじょうときむねのじだい

ISBN978-4-8406-2030-7

A5 864頁 本体18,000円



北条時頼・時宗父子の時代は、政治や文化の面で鎌倉時代の画期となるべき時代である。北条時宗とその時代について、現在までの研究史と問題の所在を明示し、その発給文書・一族・御家人・得宗被官等から当時の状況を明らかにする。北条氏研究会の気鋭の研究者13名による21論文を収録。(2008.5)

永井晋著

金沢北条氏の研究

かねさわほうじょうしのけんきゅう

ISBN4-8406-2025-3

A5 546頁 本体12,000円【美品なし】



精緻な史料研究、古文書の科学的分析等から鎌倉時代の政治史を大胆に再構築。初代実泰に始まり、金沢文庫の創始者実時から北条高時とともに幕府崩壊まで鎌倉幕府を支えた貞顕まで、鎌倉時代の政治・文化等を語る上での重要人物の金沢北条氏を総合的に検討した大著。日本中世史研究者必携の基礎文献。(2006.12)

森幸夫著

六波羅探題の研究

ろくはらんだいのけんきゅう

ISBN4-7971-0742-1

A5判 340頁 本体6,000円



鎌倉幕府の六波羅探題について、南北両探題・評定衆・奉行人等に焦点をあて、職員構成と発展過程、関東・鎮西探題と異なる独自の政治権力組織の在り方等について実証的に明らかにする。六波羅探題の展開過程や特色等を明確にし、関東における得宗政治体制を視野に入れ、その滅亡と歴史的な位置を考察する。(2005.4)

岡田清一著

鎌倉幕府と東国

かまくらばくふととうごく

ISBN4-7971-0745-6

A5判 448頁 本体11,000円



鎌倉幕府政治の変転を考えるとともに、幕政の変転が地域社会に如何なる影響を与えたか、あるいは地域(の在地)領主層がどのような対応を示したか、そして、地域社会の動向が幕府政治にどのようなかたちで表出したかを考察し、幕府政治の変質する過程を地域社会との関連のなかで具体的に追求する。(2006.1)

小野澤眞著

中世時衆史の研究

ちゅうせいじしゅうしのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2090-1

A5判 860頁 本体17,000円



時衆について、その成立から衰退にいたる過程を概観したはじめての論集。時衆の成立と中世社会における機能と浸透過程・形態・教勢の消長と背景を日本全国を廻って検証し、日本仏教の庶民信仰化と地方展開の中の時衆を意義づける。気鋭の著者が、時衆史の研究の新たな地平を拓く。(2012.5)

永井晋・角田朋彦・野村朋弘編

金沢北条氏編年資料集

かねざわほうじょうしかんけいしりょうしゅう

ISBN978-4-8406-2070-3

A5判 696頁+モノクロ口絵8頁 本体20,000円



金沢北条氏にまつわる関連史料1050点を編年で配列し翻刻。各資料には解説をつけ、さらに索引を付す。主要史料となる金沢文庫古文書は、年代比定や接続関係など最新の成果を反映。金沢北条氏のみならず、鎌倉時代を知るための必携資料集。(2013.4)

萩原大輔著

異聞 本能寺の変 『乙夜之書物』が記す光秀の乱

いぶんほんのうじのへんいつやのかきものがしるすみつひでのらん

ISBN978-4-8406-2246-2

A5判 290頁 本体2,800円



【史料で読む戦国史4】信長が殺されたそのとき、光秀は本能寺にいなかった！朝日新聞ほか、メディアで大きく取り上げられた新発見の史料『乙夜之書物』を①写真・翻刻、②大意、③解説で徹底解説し、戦国史最大の謎に迫る。『乙夜之書物』の記述内容を一覧化した表を載せるガイドも付録。(2022.3)

藤田達生・福島克彦編

明智光秀

あけちみつひで

ISBN978-4-8406-2210-3

A5判 392頁 本体4,800円



【史料で読む戦国史3】明智光秀の発給した全文書を翻刻・集成。史料本文に傍注・解説を付した充実の史料編。さらに編者他立花京子・小久保嘉紀・福島克彦・山田康弘ら4名の論文・コラムを収録。明智光秀の略年譜、基本参考書一覧など付録も充実。謎多き光秀を知る基本文庫。(2015.10)

鳥津亮二著

小西行長 「抹殺」されたキリシタン大名の真像

こにしゆきな

ISBN978-4-8406-2049-9

A5判 368頁 本体4,800円



【史料で読む戦国史2】関ヶ原の敗軍の将として「抹殺」されたはずの史料を原本にあたり徹底調査、「つくられた行長」の虚像を覆す。図版を100点以上収録し、わかりやすく叙述。付録に、行長が発給した文書101通(全90頁)の翻刻を掲載。54点は原文書の写真も併載。(2010.7)

西島太郎著

〔OD版〕戦国期室町幕府と在地領主

せんごくきむろまちはくふとざいちりょうしゅう

ISBN978-4-8406-3471-7

A5判 並製 488頁 本体15,000円



近江を中心に東方勢力から見た室町幕府論！細川・三好ら西方勢力との関係からのみ論じられた戦国期室町幕府について、近江、東海地域など東方勢力から論じるという新視点を提示、畿内・近国の在地領主層で残存する唯一のまとまった史料「朽木文書」を詳細に分析。混迷する戦国期の室町幕府を解明。(2006.12)

奥野高廣著

戦国時代の宮廷生活

せんごくじだいのきゅうていせいいかつ

ISBN4-7971-0741-3

A5判 396頁 本体6,000円



後土御門・後柏原・後奈良・正親町の四天皇の時代の宮廷生活を、公・私と宗教・学芸生活について解説を加える。史料を引用しながら、皇室・皇居・装束・年中行事・帝王学・経済・宮女・日常生活・飲食物・教養と娯楽、宗教や学問等について概説した戦国期の宮廷に関する好著である。(2004.1)

湯川敏治著

戦国期公家社会と荘園経済

せんごくきくげしやかいとしょうえんけいざい

ISBN4-7971-0744-8

A5判 488頁 本体13,000円



著者が1981年以来発表してきた研究の集大成である。従来研究の少なかった戦国期の公家について、近衛家を例にとり、何を考え、どのような生活を営んでいたのか、歴代の行動とその家族・家産経済・家政機構などの面から、当時の記録をもとに実証的に明らかにする。(2005.8)

今江廣道編

中世の史料と制度

ちゅうせいのしりょうとせいど

ISBN4-7971-0743-X

A5判 316頁 本体7,000円



長年宮内庁書陵部で編纂業務に携わり、國學院大學で教鞭をとられた今江廣道氏と、今江ゼミ出身の若手研究者による論文集である。今江氏の「十三代要略」紙背文書について（紙背文書全文の翻刻を含む）以下、新進気鋭の研究者による史料調査に重点をおいた中世史関連の6編の力作を収める。（2005.6）

眞壁俊信著

天神縁起の基礎的研究

てんじんえんぎのきそてきけんきゅう

ISBN4-7971-0677-8

菊判 272頁 本体13,000円



菅原道真の伝記と伝承、天神信仰史の研究を続ける著者が、前著『天神信仰史の研究』（品切）に続き著わす、第一級の史料を駆使し、論考した書。初公開の2種の天神縁起をはじめ、道真の左降について新知見の卓抜な論考を展開する。絵のみで構成された「土佐天神縁起」を掲載。美術研究上も貴重。（1998.12）

鶴岡八幡宮編

鶴岡八幡宮年表

つるがおかはちまめぐうねんびょう

ISBN4-7971-1506-8

B5判 630頁 本体12,000円



古都鎌倉に鎮座する鶴岡八幡宮に関する一大総合年表。康平6年（1063）、源頼義が相模国由比郷にて石清水八幡宮を勧請して以来、上下両宮が国重要文化財に指定された平成8年（1996）に至る主要な事項を網羅する。各種の史料より記事を博搜収録、それぞれの項目の典拠を明確にする。（1996.6）

柴辻俊六・海老澤衷・本郷和人編

古文書演習 様式と解釈

こもんじょえんしゅう

ISBN4-7971-1517-3

B5判 120頁 本体2,000円



本書は、古文書演習のために作られたもので、早稲田大学図書館所蔵の荻野三七彦氏収集文書を主に、古代より近世までの代表的な文書70点を写真版と解説・解説編にわけて収録。巻末には、各文書の解説と用語や語句・人名・地名等の注釈、さらにはその文書に関する主な参考文献を付した。（2003.4）

今江廣道編

前田本『玉燭宝典』紙背文書とその研究

まえだぼんぎょくしよくほうてんしはいもんじょとそのけんきゅう

ISBN4-7971-0736-7

A5判 305頁 本体8,000円



前田本『玉燭宝典』紙背文書は、前田育徳会尊経閣文庫所蔵の古写本『玉燭宝典』（隋の年中行事に関する古文書）の裏文書として伝存。本書は足利直義がその近臣の二階堂道本に命じて、貞和4・5年に書写したもので、その料紙には、道本宛の書状が使用された。本書では文書全文の翻刻と、関係論文を収録。（2002.2）

國學院大學日本文化研究所編

大中臣祭主 藤波家の研究

おおなかとみさいしゅ ふじなみけのけんきゅう

ISBN4-7971-0778-2

A5判 388頁 本体12,000円



本書は、國學院大學日本文化研究所が行ってきた大中臣祭主藤波家に関する研究成果の一つである。藤波家は古代より朝廷の神事を司り、明治初期まで伊勢神宮の祭主として奉仕してきた。本論文集では、藤波家に伝わる史料を基に古代より近代に至る幅広い論題で13編を収める。神祇史研究上必備の書。（2000.3）

発行：Hotei Publishing（2001年）Jeroen Lamers著

武將 織田信長—在外史料による再考察

ぶしょう おだのぶなが

ISBN90-74822-22-3

240×160mm 292頁 本体12,000円



【原題】Japonius Tyrannus/The Japanese warlord Oda Nobunaga reconsidered ポルトガル文献のスペシャリストである著者が、ローマのイエズス会文書館、リスボンのアジュダ図書館等の原史料を駆使して書き上げた会心作。本文英文。（2001.8）

発行：Hotei Publishing(2000年) Henny Van Der Veere著

興教大師 覚 鑿—教義の考察

こうぎょうだいし かくばん

ISBN90-74822-23-1

240×160mm 320頁 本体13,000円



【原題】A study into the thought of Kogyo Daishi Kakuban/ With a translation of his Gorin kuji myo himitsushaku 真言宗中興の祖と仰がれた覚鑿の業績、特に教義について考察。本書では、覚鑿の究極の目的は多宗派の儀式を正統真言宗の視点から説明することであったことを論証。（2001.8）

C・R・ボクサー原著／高瀬弘一郎訳

キリシタン世紀の日本

きりしたんせいきのにほん

ISBN978-4-8406-2238-7

A5判 728頁 本体15,000円



イギリスの歴史学者C・R・ボクサーのキリシタン通史の名著を日本語翻訳。葡・西・蘭・仏・日など諸国語の膨大な原史料と研究を読み解き、キリシタン時代の日本を世界史的な視野から俯瞰し、大航海時代の日本におけるカトリック布教を通史的に著述した名著が、日欧交渉史の泰斗による日本語翻訳版で初刊行！（2021.6）

高瀬弘一郎著

キリシタン時代のコレジオ

きりしたんじだいのこれじお

ISBN978-4-8406-2211-0

A5判 832頁 本体15,000円



イエズス会の教育機関で何が行われていたのか？ 虚と実の交錯したキリスト教布教の真実！ 府内・天草・長崎等の各地に作られたキリスト教イエズス会の聖職者養成機関「コレジオ」の知られざる実態を、海外の原史料を博搜・読解して明らかにする。（2017.7）

高瀬弘一郎著

新訂増補 キリシタン時代対外関係の研究

きりしたんじだいたいがいかんけいのけんきゅう

ISBN978-4-8406-2212-7

A5判 768頁 本体16,000円



日欧交渉史第一人者の名著を増補し、新稿3本を加えて待望の復刊。海外に所在するカトリック教会の同時代史料を博捜し、教会が一翼を担った海上貿易、商人、通貨、送金、為替、利子、教会と権力者に焦点をあて、キリスト教教会の本音と建て前を解明。全編に渡り加筆訂正し、新稿3本を加える。(2017.7)

高瀬弘一郎訳註

大航海時代の日本 ポルトガル公文書に見る

だいくわいかいじだいのにほん

ISBN978-4-8406-2071-0

A5判 770頁 本体15,000円



【ジョアン・ロドリゲス賞受賞】奴隷・暴君秀吉・孤児基金の流用—ポルトガル国王の見た戦国時代の日本とは？「異教国」日本に関する難解な古ポルトガル語文書に現代語訳と詳細な注を付す。信長・秀吉・家康が活躍した1520年から1620年までの171通を収録。詳細索引付き。(2011.2)

高瀬弘一郎訳註

〔OD版〕モンスーン文書と日本 17世紀ポルトガル公文書集

もんすーんもんじよとにほん

ISBN978-4-8406-3454-0

A5判 658頁 本体15,000円



【第5回徳川賞受賞】日本を中心とした東アジアの国際環境についてポルトガル国王が生声で語る。膨大なモンスーン文書（ポルトガルの文書館所蔵）から日本に関係する1605～21年の文書114通を現代語訳と詳細な註を付して本邦初刊行。古ポルトガル語の原文書にあたって校合し本文を確定。付詳細索引。(2006.2)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の文化と諸相

きりしたんじだいのぶんかとしょそう

ISBN978-4-8406-3452-6

A5判 656頁 本体16,000円



キリシタン時代研究の第一人者が原史料を精査し論究。ポルトガル・スペインが国家事業として推進した布教と貿易に直面する日本の統一権力、セミナリオとコレジオで行われていた日本人への教育の実相、東アジアにおけるイエズス会の挫折と変容など、著者ならではの研究手法でその緊迫した実態に迫る。(2001.6)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の貿易と外交

きりしたんじだいのぼうえきとがいこう

ISBN978-4-8406-3453-3

A5判 496頁 本体15,000円



キリシタン時代研究の第一人者が、欧文古文書を分析し、ポルトガル・スペイン貿易、糸割符制度の実相、日葡外交とイエズス会宣教師等々、大航海時代日欧交渉を解明。さらに鎖国の形成、マカオ・長崎間貿易等にも言及。本書と『キリシタン時代の文化と諸相』との詳細な総合索引を巻末に収載！(2002.2)

豊島正之編

キリシタンと出版

きりしたんとしゅっぱん

ISBN978-4-8406-2207-3

A5判 378頁+カラー口絵8頁 本体8,000円



【日本出版学会賞受賞】日本初の金属活字による出版活動を徹底解明！16・17世紀日欧交渉史・思想史・技術史・出版史・言語史・書誌学の第一線の研究者が、日本イエズス会の出版・布教活動を、あらゆる角度から再考し、新たな知見を惜しみなく盛った、最新の論叢。全編書き下ろし。(2013.10)

中根勝著

〔OD版〕日本印刷技術史

にほんいんさつぎじゆつし

ISBN978-4-8406-3604-9

B5判 280頁 本体12,000円



中国・韓国の印刷起源から筆を起こし、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。(2015.11)

穴倉佐敏編著

必携 古典籍古文書料紙事典

ひっけい こてんせきこもんじよりょうしじてん

ISBN978-4-8406-2072-7

A5判 472頁 本体10,000円



製法から調査法まで料紙調査のプロの技を伝授！古代から近世まで、古典籍・古文書・経典・紙幣等、あらゆる料紙について具体的な調査方法と成果を紹介。寶目測定帳、繊維判定用和紙見本帳など別冊で付録。歴史学・国文学・書誌学・保存科学・書道史・仏教史等の専門家19名がコラムを寄稿。図版多数。(2011.7)

山本信吉著

古典籍が語る 書物の文化史

こてんせきがかたる しょもつのぶんかし

ISBN4-8406-0044-9

A5判 304頁 本体3,600円



国宝・重要文化財などの文化財指定に長年従事した古典籍調査の達人が本の見方を伝える。「なぜ古典籍は今日まで残ったのか？」「本の姿—装幀の違いにはどのような意味がこめられているか？」等々、古典籍に関わる諸事項を独自の切り口で語り尽くす。「奥書」について40頁にわたり詳述。(2004.11)

明月記研究会編

明月記研究 記録と文学

めいげつきけんきゅう

B5判 平均235頁 【休刊】

①-③【品切】／④-⑩各本体3,000円

⑪-⑬各本体4,000円 ⑭本体6,000円



五味文彦氏を代表とする明月記研究会編による、年1回発行の研究雑誌。毎号、本文研究（本文・訓読・大意・注解・解説）を中心に特集を組み、テーマごとに多彩な論文を掲載し、記録と文学—歴史学と文学の交流の場を目指す。『明月記』のみならず、中世の史料の翻刻・書誌学的研究・註釈等、充実した内容。

④206頁 ISBN4-7971-7104-9 (1999.11)

⑤210頁 ISBN4-7971-7105-7 (2000.11)

⑥230頁 ISBN4-7971-7106-5 (2001.11)

⑦276頁 ISBN4-7971-7107-3 (2002.12)

⑧232頁 ISBN4-7971-7108-1 (2003.12)

⑨230頁 ISBN4-7971-7109-X (2004.12)

⑩188頁 ISBN4-7971-7110-3 (2005.12)

⑪208頁 ISBN978-4-8406-2811-2 (2007.12)

⑫212頁 ISBN978-4-8406-2812-9 (2010.1)

⑬220頁 ISBN978-4-8406-2813-6 (2012.1)

⑭360頁 ISBN978-4-8406-2814-3 (2016.1)

【第4号目次】『明月記』（治承四年）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕天理図書館所蔵『明月記』治承四五年記について（尾上陽介）／『明月記』建仁元年五月記断簡紹介（高橋典幸）／東京大学附属総合図書館所蔵三十三冊本明月記研究（五月女肇志）／新出『明月記』断簡（田淵句美子）／〔特集・後白河院とその周辺〕他

【第5号目次】『明月記』（治承四・五年）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕『明月記』原本の構成と藤原定家の日記筆録意識（尾上陽介）／国立国会図書館所蔵『明月記』（五月女肇志）／『明月記』断簡紹介（田中成行）／〔明月記の周辺〕『警固中節会部類記』研究 附、翻刻（小川剛生）／春日大社若宮新発見の毛抜型太刀をめぐって（近藤好和）／〔特集・『吾妻鏡』を考える〕他

【第6号目次】『明月記』（寛喜二年七月）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕『明月記』寛喜二年秋記紙背の研究（高橋典幸）／『明月記』と定家文書（五味文彦）／天理図書館所蔵『明月記』断簡巻について（尾上陽介）／〔記録の表現〕平清盛の政治手法寸見（龍福義友）／『明月記』に見える「記録語」（その一）（堀畑正臣）／『明月記』と健御前の日記（藤川功和）他

【第7号目次】『明月記』（寛喜二年八月）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕日本大学所蔵 定家自筆『明月記』「嘉禄元年夏」（四・五・六月）／「天福元年十一月十二月」の二巻の紹介（有吉保）／早稲田大学図書館蔵『明月記』断簡（兼築信行）／『明月記』原本及び原本断簡一覧稿（尾上陽介）／〔特集・順徳院〕他

【第8号目次】『明月記』（建暦元年十一月・十二月）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕『明月記』の自筆本と転写本・逸文（石田実洋）／冷泉家時雨亭文庫所蔵『明月記』端物集について（尾上陽介）／『明月記』建暦元年十一月十二月記紙背の研究（宮崎肇）／某家所蔵『明月記』断簡（小島孝之）／〔特集・仮名の書物〕他

【第9号目次】『明月記』（建暦三年五月）を読む（明月記研究会編）／〔本文研究〕『明月記』建仁元年四月記断簡及び東山御文庫蔵「未詳日記抄出」紹介（家永香織）／新出の『明月記』嘉禄元年七月五日条断簡（兼築信行）／〔特集・鎌倉幕府と和歌〕他

【第10号目次】『明月記』（元久二年五月～閏七月）を読む（明月記研究会編）／〔特集・後鳥羽院〕後鳥羽院と恋歌（佐々木孝浩）／〔『明月記』と定家〕国宝『明月記』にみる定家様の仮名（名児耶明）／〔本文研究〕他

【第11号目次】〔特集『熊野御幸記』〕建仁元年十月『熊野御幸記』を読む（明月記研究会編）／『熊野御幸記』の声点（秋永一枝）／『熊野御幸記』の伝来（石田実洋）／熊野御幸の政治と芸能（五味文彦）他

【第12号目次】『明月記』（天福元年六月）を読む（明月記研究会編）／東京国立博物館所蔵『明月記』天福元年六月記について（尾上陽介）／早稲田大学図書館の新収『明月記』断簡について（兼築信行）／〔特集・新勅撰和歌集〕

【第13号目次】『明月記』（建仁三年十二月）を読む（明月記研究会編）／売立目録にみえる『明月記』断簡（尾上陽介）／個人蔵『明月記』断簡（建久五年十二月十六日・十七日条）一翻刻と紹介一（石澤一志）／東山御文庫本『和歌会次第』の紹介（石田実洋）／〔特集・後鳥羽院〕後鳥羽上皇の和歌の道一百首歌と『三百六十番歌合』一（五味文彦）／承久の乱後の定家と後鳥羽院 追考（田淵句美子）他

【第14号目次】『明月記歌道事』を読む（明月記研究会編）／「明月記歌道事」伝本について（遠藤珠紀）／陽明文庫所蔵の『明月記』紙背文書について（尾上陽介）／『後鳥羽院宸記』建保二年四月切と宸記切について（石田実洋）／中世前期の坂本と梶井門跡（土屋恵）／民部卿典侍因子伝記考（田淵句美子）／中世書跡の「和様」と「唐様」（宮崎肇）／『千載集』『新古今集』と王の身体（五味文彦）／「花月撰歌合」の基礎的考察（渡邊裕美子）／宴曲「熊野参詣」を読む（上）（家永香織）／平家物語が描く源頼政の変化退治・鶴退治（櫻井陽子）／卜部兼好の実像（小川剛生）

近世・近代

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

荒木仁朗著

江戸の借金 ―借りてから返すまで―

えどのしゃっきん かりてからかえすまで

ISBN978-4-8406-2264-6

A5判 368頁 本体8,000円



江戸時代の借金は「口約束」からはじまった。大量に残された証文を読み解き、江戸時代のリアルな借金事情を明らかにした、新しい近世古文書学を提示。証文はなぜ大量に残されたのか。膨大な証文を徹底調査し、お金を借りてから返済するまでの全体を理解し、江戸時代の借金事情を明らかにする。(2023.5)

白井哲哉・須田努編

地域の記録と記憶を問い直す 武州山の根地城の一九世紀

ちいきのきろくときおくをといなおす

ISBN978-4-8406-2208-0

A5判 416頁 本体9,800円



地域の記録を読み解き、近世～近代の記憶の継承を探る。武蔵国西部に残された多様な記録を博捜・検証し、形成された地域の記憶を立体的に復原。19世紀の地域の実像を明らかにした14年におよぶ共同研究の結晶！(2016.4)

辻達也著

[OD版] 江戸幕府政治史研究

えどばくふせいじしけんきゅう

ISBN978-4-8406-3618-6

A5判 646頁 本体20,000円



江戸幕府政治に関して名高い著者の50年にわたる研究成果をまとめ、学会誌・単行本・紀要等に発表された論考20編に全面的に加筆・訂正を加え、15章にまとめて収録するものである。江戸中期に位置する享保期を基礎に、將軍をめぐる幕府権力の構造と実態を明らかにした論文集。(2015.12)

橋本政宣編

[OD版] 近世武家官位の研究

きんせいぶけかんのいけんきゅう

ISBN978-4-8406-3616-2

A5判 556頁 本体17,000円



本書は、東大史料編纂所教授橋本政宣氏を中心に若手研究者が関係史料を全国的に調査し、朝幕関係研究の深化をはかった実証的論文十一編を収める。武家官位叙任の手続きや儀礼を明らかにし、その制度・形式的側面や大名の家格と官位との関連を検討、近世幕藩制国家における武家官位制について論述。(2015.11)

副島種経校訂

[OD版] 新訂本光国師日記(全7巻)

しんていほんこうこくしにつき

ISBN978-4-8406-3635-3 A5判 平均377頁、総2,638頁

各巻本体12,000円、揃本体84,000円

①978-4-8406-3606-3

②978-4-8406-3607-0

③978-4-8406-3608-7

④978-4-8406-3609-4

⑤978-4-8406-3610-0

⑥978-4-8406-3611-7

⑦978-4-8406-3612-4



近世初頭、黒衣の宰相と称された金地院崇伝の文書案集である。崇伝は、家康・秀忠・家光三代の將軍の寵遇をあつくし、天下の国政に参与し、幕府譜代の老臣と等しくその事を議し、さらに外交の機密に深く携わり、また朝廷との交渉においても枢機に参画して幕府の威信を高めることに偉大な役割を果たした人物であり、その多角的な活動が本日記によって詳細に知られる。金地院の許可を得て、原本により全面的に再校を加え、新訂版として再刊する。(2015.11)

本山證誠寺史編纂委員会編 (監修橋本政宣)

真宗山元派 證誠寺史

しんしゅうやまもとほほんざんしゅうじょうじし

ISBN978-4-8406-2027-7

菊判 744頁 本体15,000円



真宗山元派本山證誠寺(福井県鯖江市)の歴史を明らかにし、門外不出の伝来史料を分類し編年順に翻刻、初公開。善超人(1785-1855)の自筆和歌集『東溟家集』(全1730首)を加筆修正による編集過程を原本に全文翻刻。福井からみた天明の飢饉、ペリー来航の様子、寺院建築に関わる諸費用等あり。(2007.5)

木村礎編

日本史研究叢書 大原幽学とその周辺

おおはらゆうがくとそのしゅうへん

ISBN4-8406-2009-1

A5判 832頁 本体7,800円



幕末の農村改革を目指した巨人の徹底解明。その思想「性学」を農村革命に実践、東総の地に曙光を投じたが、幕府の弾圧、門人、農民に累及の責を負って自決した浪人、大原幽学の徹底的総合研究。幕末～近代初期の日本の歴史を基底部から照射する視座から10年の歳月を費し膨大な根本史料を博捜・精査。(1981.10)

辻達也編著

一橋徳川家文書 摘録考註百選

ひとつばしとくがわけんじょ てきろくこうちゅうひやくせん

ISBN4-7971-0746-4

A5判 368頁 本体8,000円



徳川御三卿に関する唯一まとまった史料である、一橋徳川家に伝来の膨大な史料の中から、近世中後期の文書100点を選び解説し注釈を加える。その過半は、二世治済関係のものである。これらの文書からは、治済の動きを中心に、御三卿の地位・性格、邸臣の身分格式、財政運営の実態などが如実に窺える。(2006.3)

竹内秀雄校訂

泰平年表

たいへいねんびょう

ISBN4-7971-0491-0

A5判 420頁 本体7,767円



大野広城の編著で、天保12年(1841)袖珍本1冊として板行された。名称は年表であるが、その内容は、徳川家康から家齊まで約300年間の史実を年序をおって載録し、主として幕府の諸行事に関する表向な記事を中心に、各地の事件や天変地異・奇事異聞も交え記述している。(1979.4)

竹内秀雄校訂

続泰平年表

ぞくたいへいねんびょう

①ISBN4-7971-0493-7

A5判 240頁 本体5,200円

全5冊・既刊①



竹舎主人が、泰平年表の後を承けて天保8年(1837)より嘉永5年まで16年間を書き継いだもの。内容は水野忠邦の天保改革等の政事向きの事、異国船渡来等の対外関係史料、緊迫した幕政の推移にともなう御触書・町触等の法令にいたるまで詳述して、幕末の政治経済社会情勢を知る上で唯一の年代記である。(1982.6)

大倉精神文化研究所編

近世の精神生活

きんせいのせいしんせいかつ

ISBN4-7971-0776-6

A5判 956頁 本体22,000円



大倉精神文化研究所では、昭和62年より平成6年まで、各分野の研究者が協力し、総合研究「近世における精神生活」にあたってきたが、今回その成果として、本書を刊行する。近世における、社会諸層・神道・仏教・諸学・法律の各分野の論文24点を収め、日本人のあるべき精神生活をさぐる。(1996.3)

辻達也校訂

撰要類集

せんようるいしゅう

A5判 ①【品切】(1967.7) ②【品切】(1971.3)

③4-7971-0487-2 270頁 本体5,000円 (1979.9)【残部僅少】

全4冊・既刊①-③



江戸南町奉行大岡越前守忠相が、在任中に関与した裁判や法令について、精細にその資料を彙編したものである。膨大な件数にのぼる判例や御触書等を整理して、その所拠を明確にしておくのが主旨であったから、本書の価値はまことに高い。人文社会科学分野の基本的史料として必備の文献と言える。

岩崎敏夫・佐藤高俊校訂／岡田清一校注

相馬藩世紀

そうまはんせいき

A5判 ①288頁 ②316頁 各巻本体11,000円

①ISBN4-7971-0681-6 (1999.6)

②-0682-4 (2002.10)

全5冊・既刊①②



相馬中村藩の年譜で、初代藩主利胤誕生の天正9年(1581)から、13代誠胤が歿する明治25年(1892)まで312年間、142冊の記録である。当該期の史料を引用しつつ、編年体にもまとめられた当記録は信憑性が高く、相馬藩政史はもとより、幕政史や地域の民俗学の研究にも貴重な史料。

吉田幸雄編

相馬藩刑法万覚

そうまはんけいほうよろづおぼえ

ISBN4-7971-0747-2

A5判 190頁 本体6,500円



奥州相馬藩6万石の藩法布令の仕置事例と御定についての覚書。相馬藩特有の在郷給人と呼ばれる下級武士や下々に対して厳しい御定の様子がうかがえる。(2006.6)

真淵生誕三百年記念論文集刊行会編

賀茂真淵とその門流

かもまぶちとそのもんりゅう

ISBN4-7971-0679-4

A5判 378頁 本体12,000円



賀茂真淵生誕300年を記念して、真淵の伝記研究、学者・歌人・教育者としての業績研究、直弟子・孫弟子らの門流の研究等、多彩な論文11編を収録刊行する。これは県門の人々が個性的で多様であったのと相通するものであろう。本書発行を機に、真淵研究の新時代が到来することを期待したい。(1999.2)

箭内健次・宮崎道生編

シーボルトと日本の開国近代化

ISBN4-7971-0657-3

A5判 324頁 本体7,000円



シーボルト生誕200年を記念して、箭内健次・栗原福也・船越昭生・石山禎一・保田孝一・宮坂正英・杵沢宣賢・宮崎道生の八氏が、在来のシーボルト研究のマンネリ化を打破すべく、蘭・独・英・露・仏等に残る新史料を活用し、力筆をふるう。シーボルト研究の新しい地平を開こうとするものである。(1997.2)

横山晴夫校訂

三峯神社日鑑

みつみねじんじゃにっかん

A5判 平均407頁、揃4,074頁

各巻本体7,000円

全10冊【セット品切】

- ①ISBN4-7971-0781-2 (2000.12) 【品切】
- ②ISBN4-7971-0782-0 (2001.8) 【品切】
- ③ISBN4-7971-0783-9 (2002.4) 【品切】
- ④ISBN4-7971-0784-7 (2003.1) 【品切】
- ⑤ISBN4-7971-0785-5 (2003.10)
- ⑥ISBN4-7971-0786-3 (2004.6)
- ⑦ISBN4-7971-0787-1 (2005.3)
- ⑧ISBN4-7971-0788-X (2005.12)
- ⑨ISBN4-8406-2023-7 (2006.11)
- ⑩ISBN978-4-8406-2029-1 (2007.11)



奥秩父の三峯神社札幌の役僧により、安永8年(1779)より書き継がれた日記。日鑑は文書とは異なり、三峯山内の年中行事や宗教民俗行事は言うに及ばず、地頭役としての三峯山と神領百姓をめぐる日々の生活だけでなく、地方の三峯講中の実態を窺うことができる。『三峯神社史料集』との併読も興味深い。

【収録】

- ①1779年〔安永8〕～1800年〔寛政12〕
- ②1801年〔寛政13〕～1812年〔文化9〕
- ③1813年〔文化10〕～1822年〔文政5〕
- ④1823年〔文政6〕～1833年〔天保4〕
- ⑤1834年〔天保5〕～1840年〔天保11〕
- ⑥1841年〔天保12〕～1847年〔弘化4〕
- ⑦1848年〔弘化5〕～1856年〔安政3〕
- ⑧1857年〔安政4〕～1863年〔文久3〕
- ⑨1864年〔文久4〕～1870年〔明治3〕
- ⑩1871年〔明治4〕～1877年〔明治10〕

香取神宮史誌編纂委員会編

香取群書集成

かとりぐんしょしゅうせい

A5判 平均800頁 ①②⑥⑦【品切】

③④⑤⑧本体15,000円 ⑨本体20,000円

- ③ISBN4-7971-0579-8 (1980.11) 【残部僅少】
- ④ISBN4-7971-0580-1 (1984.4) 【残部僅少】
- ⑤ISBN4-7971-0581-X (1988.11) 【残部僅少】
- ⑥ISBN4-7971-0582-8 (1995.4) 【品切】
- ⑦ISBN4-7971-0583-6 (2004.4) 【品切】
- ⑧ISBN978-4-8406-2039-0 (2008.4)
- ⑨ISBN978-4-8406-2075-8 (2017.4)



本集成は香取神宮に関するあらゆる史料の蒐集を目指し、これを順次分類して刊行するものである。「群書」の名の示す通り単に香取神宮に直接関係あるものに限定せず、広くこれを求め、縁ある先賢の著作にまで及ぼし、神祇史料としてはもとより、国史・国文の研究にも資する叢書としての完成を期している。

湊川神社編

折田年秀日記

おりたとしひでにつき

A5判 平均605頁、揃1,816頁

揃本体36,000円

各巻本体12,000円

- ①ISBN4-7971-1509-2 (1997.11)
- ②ISBN4-7971-1610-2 (2002.12)
- ③ISBN978-4-8406-2028-4 (2007.5)



神戸の湊川神社初代宮司折田年秀の明治6年より同30年に至る日記。年秀は鹿児島出身で倒幕活動に参加した。本日記には、西南の役での郷友西郷隆盛の自刃、祭神論争、大津事件、伊藤博文や富岡鉄斎との交際や当時の政官界の動向・風俗等、詳細な内容であり、明治時代の貴重な史料となろう。

【収録】

- ①1873〔明治6〕～1880〔明治13〕
- ②1880〔明治13〕～1885〔明治18〕
- ③1885〔明治18〕～1897〔明治30〕

小林修著

南摩羽峰と幕末維新期の文人論考

なんまうほうとばくまついしんきのぶんじんろんこう

ISBN978-4-8406-9766-8

A5判 376頁 本体9,800円



少年期の永井荷風が道をあげ、頭を垂れて見送った高等師範漢文教授、羽峰南摩綱紀は如何なる人物だったのか？ 著者博搜資料や各種文献から元会津藩士の〈敗者の精神史〉明らかにする。加えて同時代文人達についても論究し、西欧的な文明開化の界面下に生きた江戸文化人を活写。(2017.3)

木野主計著

井上毅研究

いのうえこわしけんきゅう

ISBN978-4-8406-3615-5

A5判 508頁 本体16,000円



國學院大學において長年井上毅伝記編纂委員会に参加し、『井上毅伝 史料編』『近代日本法制史料集』等の編纂に従事された著者の研究の集大成である。熊本藩士から明治政府の法制官僚となり、ヨーロッパ留学をへて国会開設・大日本帝国憲法の起草等明治国家の形成に尽力した井上毅の実像に迫る。(2015.11)

系図・家紋

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

千鹿野茂編

家紋でたどるあなたの家系

かもんでたどるあなたのかけい

ISBN4-7971-0232-2

A5判 730頁 本体6,000円



家紋と姓氏との関係を重視し、我が国の代表的な家紋約1600を図示し、使用した姓氏約2500を記載する。各家紋は陽画で図示し、家紋ごとに分類してその由来と成り立ちを解説。使用姓氏は各家紋ごとに50音順に配列し、その出自を明らかにする。利用の便を図るため家紋・家名の索引を付す。(1995.2)

千鹿野茂編

続家紋でたどるあなたの家系

ぞくかもんでたどるあなたのかけい

ISBN4-7971-0732-4

A5判 688頁 本体6,000円



既刊の『家紋でたどるあなたの家系』の続編である。正編にもれた約1300の家紋を図示し、使用家名を記載する。また、正編所収の約1600の家紋のうち、約1100については、新たに使用家名を追加増補した。『家紋でたどるあなたの家系』とあわせ見ることにより、より一層理解が深まる。(1998.11)

公卿諸家系図 諸家知譜拙記

くぎょうしょかけいず

ISBN4-7971-0483-X

A5判 470頁 本体3,806円



最も簡便にして有用な堂上諸家の系譜集。土橋定代・速水房常らの故実学者が、貞享以後天保9年(1838)まで内容の検討を重ねて訂正・増補を加えたもので、古代より幕末に至る堂上家の系譜を知る書。天保改正版を覆刻し、従来未刊であった『絶家伝』を附録。巻末に全系譜について詳細な索引を付す。(1966.8)

群書系図部集 新装普及版

ぐんしょけいずぶしゅう

全7冊・完結

B6判 平均475頁、揃3,328頁

①⑥⑦各巻本体3,000円 ②-⑤各巻本体2,524円

揃本体19,096円

①ISBN4-7971-0273-X (1985.4)

②ISBN4-7971-0274-8 (1985.4)

③ISBN4-7971-0275-6 (1985.4)

④ISBN4-7971-0276-4 (1985.4)

⑤ISBN4-7971-0277-2 (1985.4)

⑥ISBN4-7971-0278-0 (1985.4)

⑦ISBN4-7971-0279-9 (1985.4)



正統群書類従系図部87巻415点(正編4巻18点・続編83巻397点)の系図を部集して、全7冊として刊行するものである。いうまでもなく、総検校保己一の編集にかかるもので、皇族関係をはじめとして、堂上家・武家は申すに及ばず、寺社関係・諸職関係の主要系図を集成したうえに、さらに中世以降に興じた諸地方の土豪の系図を庶流に至るまで博搜収録したところに大きな特色と価値がある。保己一の事業に先だって、水戸藩『大日本史』編纂の一環として、丸山可澄の編した『諸家系図』73巻があったが、正統群書類従においては、それを子細に検討し、採るべきは採り、措くべきは措き、さらに新たに加えるべきは加えて、底本を選定し、ときに別本をも追加して新編成をなした。近年、姓氏家系の調査・研究は増々盛んであるが、その原点ともいうべき本書によって日本民族の歴史の命脈と運命を見ることができよう。本集は、古典的系図集を要望される諸家の声にこたえて、とくに正統群書類従の系図部を部集し、新装普及版として刊行するものである。

斎木一馬・林亮勝・橋本政宣校訂

〔OD版〕寛永諸家系図伝

かんえいしょかけいずでん

全17冊・完結

A5判 平均272頁、揃4,628頁

各本体9,000円、揃本体153,000円

ISBN978-4-8406-

①-3007-8 (1980.1) / ②-3008-5 (1980.6)

③-3009-2 (1980.12) / ④-3010-8 (1981.7)

⑤-3011-5 (1982.6) / ⑥-3012-2 (1983.6)

⑦-3013-9 (1984.11) / ⑧-3014-6 (1985.12)

⑨-3015-3 (1986.6) / ⑩-3016-0 (1986.12)

⑪-3017-7 (1987.11) / ⑫-3018-4 (1988.11)

⑬-3019-1 (1990.9) / ⑭-3020-7 (1992.9)

⑮-3021-4 (1994.2) / ⑯索引1-3022-1 (1997.9)

⑰索引2-3023-8 (1997.9)

【通常版、一部在庫あり】①⑩⑫各本体4,800円 ②-⑦・

⑬-⑮各本体5,000円 ⑰本体6,000円



徳川氏は、その政権確立後、武家社会秩序の固定化をはかるために、大規模な武家系譜の編纂を企て、寛永18年(1641)に諸大名および旗本諸士に、それぞれ家伝の系譜の呈出を令すると共に、奏者番太田資宗を総裁に任じ、林羅山を主任者として、その編纂にあたらしめた。同20年に完成したのがすなわち本書である。本書は、清和源氏・平氏・藤原氏・諸氏より成り、巻末に医者・同朋・茶道を加え、全186巻、約1400余家を収録する。各家々の記述は書上に基づいて各人の履歴を詳しく注記し、あわせて家伝の古文書を収めた点で重要な意義をもち、その史料的な価値は甚だ高い。さらに武家系譜の集成としてのみならず、史料典拠としても、『寛政重修諸家譜』『徳川実紀』等その後の史書に大きな影響を与え、官撰史書には本書を引用したところが極めて多く、史料的にも、また諸書の引用典拠にあたるためにも本書は今日も重要な存在意義をもっている。我が国最初の武家系譜集として、苗字や家系の由来を調べる方々にも『重修譜』とともに座右の書となろう。

高柳光寿監修

新訂 寛政重修諸家譜

かんせいちょうしゅうしよかふ

A5判 平均395頁、揃11,178頁

①・③・⑬・⑳・㉓・㉖各巻本体5,000円

㉗本体9,800円、㉘本体13,000円

【OD版】②・④・⑭・⑱・㉑・㉔各巻本体10,000円・家紋：本体12,000円

① ISBN4-7971-0205-5 (1964.2) 【残部僅少】

② ISBN978-4-8406-3027-6 (1964.6) 【OD版】

③ ISBN4-7971-0207-1 (1964.8) 【残部僅少】

④ ISBN4-7971-0208-X (1964.10) 【残部僅少】

⑤ ISBN4-7971-0209-8 (1964.11) 【残部僅少】

⑥ ISBN4-7971-0210-1 (1964.12) 【残部僅少】

⑦ ISBN4-7971-0211-X (1965.1)

⑧ ISBN4-7971-0212-8 (1965.2) 【残部僅少】

⑨ ISBN4-7971-0213-6 (1965.3) 【残部僅少】

⑩ ISBN4-7971-0214-4 (1965.4) 【残部僅少】

⑪ ISBN4-7971-0215-2 (1965.5)

⑫ ISBN4-7971-0216-0 (1965.6) 【残部僅少】

⑬ ISBN4-7971-0217-9 (1965.7)

⑭ ISBN4-7971-0218-7 (1965.8) 【残部僅少】

⑮ ISBN4-7971-0219-5 (1965.9)

⑯ ISBN4-7971-0220-9 (1965.10)

⑰ ISBN978-4-8406-3042-9 (1965.11) 【OD版】

⑱ ISBN978-4-8406-3043-6 (1965.12) 【OD版】

⑲ ISBN978-4-8406-3044-3 (1966.3) 【OD版】

㉑ ISBN4-7971-0224-1 (1966.2)

㉒ ISBN978-4-8406-3046-7 (1966.3) 【OD版】

㉓ ISBN978-4-8406-3047-4 (1966.4) 【OD版】

㉔索引1 ISBN4-7971-0227-6 (1967.3) 【残部僅少】

㉕索引2 ISBN4-7971-0228-4 (1967.5) 【残部僅少】

㉖索引3 ISBN4-7971-0229-2 (1967.3)

㉗索引4 ISBN4-7971-0230-6 (1967.8) 【残部僅少】

㉘別巻1 ISBN978-4-8406-2050-5 (2010.7)

㉙別巻2 ISBN978-4-8406-2076-2 (2012.8)

家紋 ISBN978-4-8406-3052-8 (1992) 【OD版】



江戸幕府は、寛永18年(1641)、諸大名、下士までの系譜を録して『寛永諸家系図伝』を編纂したが、寛政11年(1799)、若年寄堀田正敦に命じて再度諸家より家譜その他の資料を提出させ、林述斎・屋代弘賢ら60余名を用いて編纂の業を起こさせた。以後14年の歳月を費して完成したのが本書で「重修」と題する所以である。量的に膨大な系譜集であるばかりでなく、質的にも各々の家々より提出された由緒・事蹟を、幕府の日記等、確実な史料に拠って吟味し、改めるものがあればその趣意を註して改め、按文を施すなどしている。記述の対象は、徳川氏一門を除く御目見以上の大名・旗本、及び医師・同朋・茶人等幕府と直接の支配関係にあったものに限り、その本支分脈を明らかにし、家の由緒から、個々人の事蹟を記録している。全152巻に収める人数約10万名に及ぶ、本邦最大の武家系譜集。内閣文庫所蔵の献上本に基づき、全面的な校訂・補正を施すと同時に、カード約40万枚を整理した人名索引4冊を完備し、さらに別巻2冊の索引を加え、本書の利用価値は増々高まっている。

一～六巻＝清和源氏

七巻＝清和 宇多源氏

八巻＝村上 嵯峨 文徳源氏、平氏

九巻＝平氏

十巻＝平氏、橘 小野 越智 大江 在原 安倍 紀氏

十一巻＝紀 田口 滋野 丹治 日下部 中原 清原

良峯 高階 和気 高橋 藤原氏

十二～十六巻＝藤原氏

十七巻＝藤原 菅原 伴 三枝部 穂積氏

十八巻＝穂積 服部 賀茂 大神 宮道 弓削 度会

飯高 惟宗 豊臣 秦 大蔵 坂上 丹波 多々良

三善 清川氏、未勘、清和源氏

十九巻＝清和 宇多源氏

二十巻＝宇多 村上 嵯峨 醍醐 後三条源氏、未勘源

氏、平氏、橘 小野 越智 大江 在原 安倍 紀

田口 滋野氏

二十一巻＝丹治 日下部 中原 清原 高階 和気 藤原

藤原氏

二十二巻＝藤原 菅原 伴 三枝部 穂積 宮道 物部

ト部 神 秦 坂上 大蔵 丹波 多々良 三善

三宅 狛 劉 高張 長氏、未勘

村山貴久男編

新訂 寛政重修諸家譜別巻1 葬地・寺社名索引

そうち・じしゃめいさくいん

ISBN978-4-8406-2050-5

A5判 360頁 本体9,800円



既刊の1～4の索引の続編。編者は、当時約40万枚のカードを整理し、詳細な人名索引を作成した経験をもつ。今回の索引は、本文所載の葬地(地名のみのものも含む)・寺社名の索引である。各項目には、各人の葬地と寺社名、関連する記事を本文より引用し、出来る限り詳しく掲げた。(2010.7)

村山貴久男編

新訂 寛政重修諸家譜別巻2 所領・居所名索引

しよりょう・きょしよめいさくいん

ISBN978-4-8406-2076-5

A5判 568頁 本体13,000円



『新訂 寛政重修諸家譜』の所領の索引。本文収載の約10万名におよぶ各人の事歴を精読し、所領に関する項目を50音順に編年で並べてある。本書は、寛政年間に完成した我が国最大の武家系譜集だが、先祖の事歴の中からも採録してあるので、中世の荘園名なども見え、まさに読む索引として利用が出来る。(2012.8)

千鹿野茂編

〔OD版〕 寛政重修諸家譜家紋

かんせいちょうしゅうしよかふかもん

ISBN978-4-8406-3052-8

A5判 380頁 本体12,000円



新編集された目で見ると『寛政譜』。本邦最大の武家系譜集である『寛政重修諸家譜』に収録されている全ての家紋2,190種を図示、解説した。家紋は、編者が全国の寺院・霊園の墓石等から採集した拓本を中心に掲載。従来の家紋図鑑とは異なり、陽画とした所に本書の大きな特色と価値がある。(1992)

齋木一馬・岩沢愿彦・戸原純一校訂

徳川諸家系譜

とくがわしよかけいふ

全4冊・完結

A5判 平均297頁、揃1,188頁

揃本体28,000円

①②各本体6,000円 ③本体9,000円 ④本体7,000円

①ISBN4-7971-0257-8 (1970.7)

②ISBN4-7971-0258-6 (1974.8)

③ISBN978-4-8406-3089-4 (1979.3)【OD版】

④ISBN4-7971-0260-8 (1984.12)



徳川家および『寛政重修諸家譜』には収められていない徳川一門の松平諸家の家譜を集め編したものである。すなわち、徳川将軍家については、「徳川幕府家譜」「柳営婦女伝系」「幕府祚胤伝」を、御三家は「御三家系譜」を、御三卿・松平諸家は「華族系譜」によりこれを収めた。このうち「徳川幕府家譜」は、徳川将軍家歴代の系譜で、12代家慶までを収める。併載の「幕府祚胤伝」「御三家系譜」「御三卿御家譜」とあわせ見ることにより、徳川将軍家・御三家・御三卿については最も的確に知ることができる。本書によって徳川・松平家の本支流諸家の全貌がはじめて明らかにされる。詳細人名索引付。

第一巻 (徳川幕府家譜・柳営婦女伝系・梅溪系図・伏見宮家略系図)

第二巻 (幕府祚胤伝・尾張家御家譜・紀州様系譜・水戸様系譜)

第三巻 (田安・一橋・清水・西条松平・鶴田松平・高須松平・高松松平・石岡松平・宍戸松平・守山松平・会津松平)

第四巻 (津山松平・福井松平・清崎松平・明石松平・前橋松平・母里松平・広瀬松平、徳川諸家系図一覧・人名索引)

齋木一馬・岩沢愿彦校訂

断家

だんかふ

全3冊・完結

A5判 平均326頁、揃978頁

各巻本体10,000円

①ISBN978-4-8406-3084-9 314頁 (1968.6)【OD版】

②ISBN978-4-8406-3085-6 344頁 (1968.6)【OD版】

③ISBN978-4-8406-3086-3 320頁 (1969.4)【OD版】



文化6年(1809)年に田畑吉正によって編纂された全30巻の系譜集で、慶長より文化年間までの約200年の間に断絶した大名以下御目見以上の士、880余家の系譜を収める。近世における制度史・社会史の史料として独得の価値をもつものであることは言うまでもないが、全編を通じ、近世武家の負った宿命をつぶさに看取すべき文献でもある。無嗣断絶の例が多いのは当然のことであるが、偽って浪人や町人の子を養子とし、発覚して追放にあう例も少なくない。また、子の所業の咎によって父や兄弟が追放や改易にあって家が絶えるものも多く、時代が降ると出奔による断絶の記録が増加する。本書の史料としての特色は、系譜中の各人の直接の所属上司が異動のつど詳しく記録されている点と、『寛政重修諸家譜』の収録下限である寛政10年(1798)以降、文化年間までの断絶家の譜が収められている点である。江戸時代の御目見以上の幕臣と大名を知る上で、『寛永諸家系図伝』『寛政重修諸家譜』とあわせ、必須必見の家譜集。詳細な人名索引を編して巻末に付す。

加藤國光編

尾張群書系図部集

おわりぐんしよけいずぶしゅう

揃本体10,000円

全2冊・完結

(上)ISBN4-7971-0555-0

A5判 608頁 本体5,000円

(1997.11)

(下)ISBN4-7971-0556-9

A5判 584頁 本体5,000円

(1997.11)



尾張国(愛知県西部)の旧家に所蔵されている系図を中心に『群書系図部集』『寛政重修諸家譜』『尊卑分脈』『張州雑志』等の諸書、尾張藩士の系図集である『士林浜河』を参考に編纂した尾張国諸家の系図集である。武家のみならず、豪農・豪商・寺社の系図も加え、出典・解説を付し、参考として異本系図・伝説を付す。

補 任

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

笠井純一編

八 省 補 任

はっしょうぶにん

ISBN978-4-8406-2037-6

A5判 472頁 本体13,000円



古典籍・古文書を読むための基本資料「補任シリーズ」最新刊。大宝元年(701)から仁和3年(887)まで、律令国家を支えた八つの中央行政官庁の八省(中務・式部・治部・民部・兵部・刑部・大蔵・宮内)官人に任命された人名と位階を、典拠史料を示し編年で掲載。詳細な人名索引を付録。(2010.12)

永井晋編

式 部 省 補 任

しきぶしょうぶにん

ISBN978-4-8406-2031-4

A5判 658頁 本体12,000円



藤原道隆政権の成立した正暦元年(990)から建武政権が崩壊した建武3年(延元元年<1336>)までの期間について、編年で編集した式部省の補任表である。とりあげた人物の系譜・経歴を中心に整理した人名考証や、解説、重代の家として頻出する家の系図、及び詳細な人名索引を付す。(2008.5)

井上幸治編

外 記 補 任

げきぶにん

ISBN4-7971-0723-5

A5判 490頁 本体10,000円



大宝元年(701)から明応9年(1500)までの外記の補任次第書である。これまで『続群書類従』所収分が利用されてきたが、今回『続群書類従』本を底本とし、諸史料から新編集。年ごとにその姓名・本官・位階・任免・異動月日・兼官等を列記、出典を明確にした。巻末に外記考証・系図・解説・人名索引付。(2005.11)

飯倉晴武・田島公編

弁 官 補 任

べんかんぶにん

全3冊・完結

①ISBN978-4-8406-2237-0 (2020.4)【新訂増補版】

A5判 384頁 本体15,000円

②ISBN978-4-8406-3109-9 (1982.7)【OD版】

A5判 260頁 本体8,000円

③ISBN4-7971-0530-5 (1983.9)

A5判 282頁 本体5,200円



*長らく品切れで、重版の俟たれていた第1巻を、このたび新たな底本を使用し、38年の歳月をかけ、最近利用できるようになった諸史料によって出来る限り補足し、版面もすべて新しく組み直した。今回の新訂増補版では、現存最古の写本であり、最善本である広橋家旧蔵本「弁官補任」(国立歴史民俗博物館所蔵)を底本とし、出来るだけ広橋本を忠実に再現した(旧版の底本は、山科家旧蔵本、宮内庁書陵部所蔵)。さらに陽明文庫所蔵の「勘例」、宮内庁書陵部所蔵伏見宮家本「弁官叙任勘例」、等によって補った。

左右弁官の官・位階・氏名を年ごとに列挙し、各人の下に任日・兼官・叙任の記事を注した補任次第書である。これまで、群書類従巻45(寛弘7年~建久8年)と続々群書類従所収分(建久9年~享和3年)が刊行、利用されてきたが、新たに内閣文庫所蔵の「弁官補任補欠」(和学講読所本、大宝元年~嘉吉3年)及び宮内庁書陵部所蔵の「弁官補任」(山科家本寛和3年~文化14年、柳原家本寛和3年~文政9年、壬生家本安永8年~天保15年)の四本を、それぞれ内閣文庫本大宝元年~寛和2年迄、山科家本寛和3年~文化14年迄、柳原家本文化15年~文政9年迄、壬生家本文政10年~天保15(弘化元)年迄の底本とし、日本書紀を除く六国史及び日本逸史・類聚国史・公卿補任等により補足した。また弘化2年以降は、底本が無い場合、公卿補任・補歴・諸家譜等により新たに編集し、大宝元年(701)より明治2年(1869)までを通して校訂、刊行するものである。なお、利用者の便宜をはかるために、3巻巻末に弁官補任系図と詳細な人名索引を付す。

永井晋編

官 史 補 任

かんしぶにん

ISBN4-7971-0658-1

A5判 416頁 本体10,000円



正暦元年(990)より建武3年(1336)までの太政官弁官局の史の補任次第書である。諸記録にあたり、出典をあげて現任の位階・氏名・任日・兼官のみならず、前官・史巡・叙爵も載せ、新編集刊行するものである。巻末に各人の履歴を表す官史考証、詳細な人名索引と解説、官史系図を付して刊行する。(1997.2)

宮崎康充編

検 非 違 使 補 任

けびいしぶにん

全3冊・完結

A5判 平均332頁、揃996頁

揃本体27,000円

①ISBN4-7971-0721-9 (1998.12)

A5判 400頁 本体7,000円

②ISBN4-7971-0722-7 (1999.5)

A5判 260頁 本体9,000円

別巻 ISBN4-7971-0724-3 (2006.3)

A5判 330頁 本体11,000円



弘仁7年(816)より元弘3年(1333)までの検非違使を数多の史料より抽出し、姓名・本官・位階・任免・兼官・加階を年ごとに掲出し、出典を明確にする。

①816〔弘仁7〕~1223〔貞応2〕

②1224〔元仁元〕~1333〔元弘3〕・系図・索引付

別巻 1・2巻の編集過程で調査した検非違使別当と佐の経歴(補遺)

市川久編

近衛府補任

このえふぶにん

揃本体18,000円

- ①ISBN4-7971-0649-2
A5判 314頁 本体9,000円 (1992.12)
- ②ISBN4-7971-0650-6
A5判 336頁 本体9,000円 (1993.7)



大同2年(807)より建久9年(1198)までの近衛府の大將・中將・少將の任免並に兼任等を年ごとに列挙した補任次第書である。諸記録にあたり新たに編集刊行するものである。

- ① 807 [大同2]~1069 [延久4]
②1070 [延久5]~1198 [建久9]
人名索引・近衛府補任系図付

市川久編

衛門府補任

えもんふぶにん

ISBN4-7971-0648-4

A5判 354頁 本体10,000円



弘仁2年(811)左右衛士府が左右衛門府に改編されてより建久9年(1198)までの左右衛門の任免ならびに兼任等を、数多くの史料を駆使して編集する。『藏人補任』『近衛府補任』に続く編者の労作。出典の明確なことでは定評がある。衛門府補任系図と詳細な人名索引を付して刊行する。(1996.11)

宮崎康充編

国司補任

こくしぶにん

A5判 平均543頁、揃3,256頁

揃本体58,000円

- ①ISBN4-7971-0641-7 (1989.6)
A5判 420頁 本体7,000円
- ②ISBN4-7971-0642-5 (1989.11)
A5判 532頁 本体9,000円
- ③ISBN4-7971-0643-3 (1990.3)
A5判 474頁 本体8,000円
- ④ISBN4-7971-0644-1 (1990.8)
A5判 512頁 本体9,000円
- ⑤ISBN978-4-8406-3104-4 (1991.5)
A5判 622頁
本体13,000円【OD版】
索引 ISBN4-7971-0646-8 (1999.10)
A5判 696頁 本体12,000円【残部僅少】



全6冊・完結

大宝元年(701)以降の国・島・大宰府・鎮守府(摂津職・河内職・和泉監を含む)について、その四等官と史生および前司等を諸史料より索捜し、可能なかぎり掲出ししようとするものである。掲出方法は国別編年とし、各年ごとに所見のあった四等官等をまとめた。国の配列は概ね延喜式の記載に従った。利用の便をはかり、出典を明らかにして新編集・刊行するものである。

- ①大宝元年(701)~延暦10年(791)
②延暦11年(792)~仁和4年(888)
③寛平元年(889)~寛和2年(986)
④永延元年(987)~延久5年(1073)
⑤承保元年(1074)~平治元年(1159)
索引(人名)遠山久也編

湯川敏治編

歴名士代

れきめいどだい

ISBN4-7971-0269-1

A5判 530頁 本体15,000円



山科言継・言経父子自筆の四・五位の叙位記録で、貞治6年(1367)~慶長11年(1606)までを収める。今回、東京大学史料編纂所の自筆本を底本として翻刻する。また、『公卿補任』の体裁にならひ配列しなおした編年索引を作成し、人名索引を付した。四位・五位の人々の経歴を知るための好史料。(1996.9)

米田雄介・荒川玲子・詫間直樹編

新撰関家伝

しんせつかんけでん

①ISBN4-7971-0254-3

A5判 274頁 本体9,000円



全2冊・既刊①

藤原氏流で摂政または関白となった人物の官歴を「諸家伝」「撰関家伝」をもとに、諸記録にあたり新たに編集した。鎌足より藤原北家の当主を掲出し、五撰家分立以前は補任順に、五撰家分立以後は、近衛・鷹司・九条・二条・一条の家毎に掲出する。第一には鎌足より戦国・安土桃山、第二に江戸時代を収める。(1995.12)

キリシタン関係・日本語史

岸本恵実・白井純編

キリシタン語学入門

きりしたんごがくにゅうもん
ISBN978-4-8406-2245-5
B5判 168頁 本体2,500円



キリシタン時代の文語・口語を知る教科書、誕生！理論編で基礎知識を習得し、実践編で文献を読み進める。大学生・大学院生が研究テーマを見出し、レポートや論文の執筆につなげられるように構成。豊富な図版・付録・コラム・用語説明で理解を深める、豊潤な言語学入門。(2022.3)

丸山 徹著

キリシタン世紀の言語学

きりしたんせいきのげんごがく だいこうかいじだいのごがくしょ
ISBN978-4-8406-2244-8
A5判 376頁 本体12,000円



【好評につき重版】キリシタン版のことは、ポルトガル語からのアプローチ。400年前にカトリック宣教師が日本での布教のために出版した日本語の語学書について、ポルトガル語で書かれた自筆本とキリシタン版（版本）を克明に対比。キリシタン語学書にポルトガル語の側から光を当て言語学的に解明。(2020.7)

中野 遙著

キリシタン版 日葡辞書の解明

きりしたんぱん にっぽじしょのかいめい
ISBN978-4-8406-2242-4
A5判 258頁 本体10,000円



「引く」日葡辞書から、「読む」日葡辞書へ。日葡辞書はなぜ全体の4分の1が「補遺」なのか。なぜ序文を2度重ね刷りしたのか。全編ローマ字の日葡辞書で、イッシン（一親、一身、一心）を書き分けた方法は。日本語学のみならず、版本書誌学・文献学にも示唆・新見に富む論考と、書下ろしコラムを収録。(2021.3)

エリザ・タシロ／白井純編

リオ・デ・ジャネイロ 日葡辞書

りお・で・じゃねいろうこくりつとしょかんぞう にっぽじしょ
ISBN978-4-8406-2234-9
B5変形判 868頁 本体60,000円



2018年、中南米大陸ブラジルで初めて発見された日本のキリシタン版辞書を、高精細・原寸カラー版で初公開！日本語にポルトガル語で注釈を付した日葡辞書は、日本語学とポルトガル語学にとって第一級の言語資料だけでなく、日本文学研究と日本史研究、更に日本・欧州・中南米交流史の重要資料となる。(2020.3)

翻刻・解説：カルロス・アスンサン 豊島正之

天草版 ラテン文典

あまくさばん らてんぶんてん
ISBN978-4-8406-2085-7
B5判 652頁 本体30,000円



ラテン文法の枠組による初の日本語文法書！1549年刊行のキリシタン版（エボラ公共図書館所蔵原本）を新オールカラーで影印。誤植・不鮮明箇所を補読を行い、漢字・仮名表記を補って本文を翻刻。さらに最新の知見による解説を付す。日本語学・言語学・日欧交渉史・宗教史・印刷史等に必携の基本資料。(2012.8)

ハーバード大学ホートン図書館所蔵 折井善果・白井純・豊島正之訳文・解説

ひですの経

ひですのきょう
ISBN978-4-8406-2084-0
B5判 392頁 本体23,000円



1611年に長崎で刊行された孤本キリシタン版を高精細カラー版で影印！キリシタン版の初期は西欧渡来の活字、後期には日本初鑄造の金属活字を使用したのが、本書では更に木活字で補填された実態が判明。日本語・日本文学、宗教・思想史、書誌学、文化史等々、様々な研究分野に進展をもたらす新出資料！（2011.11）

C・R・ボクサー原著／高瀬弘一郎訳

キリシタン世紀の日本

きりしたんせいきのにほん
ISBN978-4-8406-2238-7
A5判 728頁 本体15,000円



イギリスの歴史学者C・R・ボクサーのキリシタン通史の名著を日本語翻訳。葡・西・蘭・仏・日など諸国語の膨大な原史料と研究を読み解き、キリシタン時代の日本を世界的な視野から俯瞰し、大航海時代の日本におけるカトリック布教を通史的に著述した名著が、日欧交渉史の泰斗による日本語翻訳版で初刊行！（2021.6）

高瀬弘一郎著

キリシタン時代のコレジオ

きりしたんじだいのこれじお
ISBN978-4-8406-2211-0
A5判 832頁 本体15,000円



イエズス会の教育機関で何が行われていたのか？虚と実の交錯したキリスト教布教の真実！府内・天草・長崎等の各地に作られたキリスト教イエズス会の聖職者養成機関「コレジオ」の知られざる実態を、海外の原史料を博捜・読解して明らかにする。(2017.7)

高瀬弘一郎著

新訂増補 キリシタン時代対外関係の研究

きりしたんじだいたいがいかんけいのけんきゅう
ISBN978-4-8406-2212-7
A5判 768頁 本体16,000円



日欧交渉史第一人者の名著を増補し、新稿3本を加えて待望の復刊。海外に所在するカトリック教会の同時代史料を博捜し、教会が一翼を担った海上貿易、商人、通貨、送金、為替、利子、教会と権力者に焦点をあて、キリスト教教会の本音と建て前を解明。全編に渡り加筆訂正し、新稿3本を加える。(2017.7)

高瀬弘一郎訳註

大航海時代の日本 ポルトガル公文書に見る

だいこうかいじだいのにほん

ISBN978-4-8406-2071-0

A5判 770頁 本体15,000円



【ジョアン・ロドリゲス賞受賞】奴隷・暴君秀吉・孤児基金の流行—ポルトガル国王の見た戦国時代の日本とは？“異教国”日本に関する難解な古ポルトガル語文書に現代語訳と詳細な注を付す。信長・秀吉・家康が活躍した1520年から1620年までの171通を収録。詳細索引付き。(2011.2)

高瀬弘一郎訳註

〔OD版〕モンスーン文書と日本 17世紀ポルトガル公文書集

もんすーんもんじょとにほん

ISBN978-4-8406-3454-0

A5判 658頁 本体15,000円



【第5回徳川賞受賞】日本を中心とした東アジアの国際環境についてポルトガル国王が生る声で語る。膨大なモンスーン文書(ポルトガルの文書館所蔵)から日本に関係する1605～21年の文書114通を現代語訳と詳細な註を付して本邦初刊行。古ポルトガル語の原文書にあたって校合し本文を確定。付詳細索引。(2006.2)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の文化と諸相

きりしたんじだいのぶんかとしょそう

ISBN978-4-8406-3452-6

A5判 656頁 本体15,000円



キリシタン時代研究の第一人者が原史料を精査し論究。ポルトガル・スペインが国家事業として推進した布教と貿易に直面する日本の統一権力、セミナリオとコレジオで行われていた日本人への教育の実相、東アジアにおけるイエズス会の挫折と変容など、著者ならではの研究手法でその緊迫した実態に迫る。(2001.6)

高瀬弘一郎著

〔OD版〕キリシタン時代の貿易と外交

きりしたんじだいのぼうえきとがいこう

ISBN978-4-8406-3453-3

A5判 496頁 本体15,000円



キリシタン時代研究の第一人者が、欧文古文書を分析し、ポルトガル・スペイン貿易、糸割符制度の実相、日葡外交とイエズス会宣教師等々、大航海時代日欧交渉を解明。さらに鎖国の形成、マカオ・長崎間貿易等にも言及。本書と『キリシタン時代の文化と諸相』との詳細な総合索引を巻末に収載！(2002.2)

鳥津亮二著

小西行長 「抹殺」されたキリシタン大名の実像

こにしゅきな

ISBN978-4-8406-2049-9

A5判 368頁 本体4,800円



【史料で読む戦国史2】関ヶ原の敗軍の将として「抹殺」されたはずの史料を原本にあたり徹底調査、「つくられた行長」の虚像を覆す。図版を100点以上収録し、わかりやすく叙述。付録に、行長が発給した文書101通(全90頁)の翻刻を掲載。54点は原文書の写真も併載。(2010.7)

豊島正之編

キリシタンと出版

きりしたんとしゅっぱん

ISBN978-4-8406-2207-3

A5判 378頁+カラー口絵8頁 本体8,000円



【日本出版学会賞受賞】日本初の金属活字による出版活動を徹底解明！16・17世紀日欧交渉史・思想史・技術史・出版史・言語史・書誌学の第一線の研究者が、日本イエズス会の出版・布教活動を、あらゆる角度から再考し、新たな知見を惜しみなく盛った、最新の論叢。全編書き下ろし。(2013.10)

石塚晴通編

尊経閣文庫本日本書紀 本文・訓点総索引

そんけいかくぶんこぼん にほんしよき

ISBN978-4-8406-9411-7

B5判 440頁 本体22,000円



『日本書紀』はどのように読まれたか？平安時代に遡り、その全貌を明らかにする。尊経閣文庫本『日本書紀』のオコト点・片仮名点・返り点を含めた釈文と、傑出したアクセント資料である古訓に加点された声点を厳密に翻刻し、訓点の総索引を附す。日本語学だけでなく文学・史学に座右の資料！(2007.8)

高橋忠彦・高橋久子・古辞書研究会編

尊経閣文庫本桂川地蔵記 影印・訳注・索引

そんけいかくぶんこぼん かつらがわじぞうき

ISBN978-4-8406-2086-4

B5判 352頁 本体20,000円



語彙を豊富に含んだ室町時代の武家の教科書として広く読まれた本書をカラーで新撮影し全文を影印。さらに索引(漢字・自立語)・訓み下し・現代語訳・注・解説を付す。飲食物・茶道具など、日常使われる語彙を列挙、日本語・芸能・風俗・宗教など広く中世社会を知るための必備資料。(2012.5)

中根勝著

〔OD版〕日本印刷技術史

にほんいんさつぎじゅつし

ISBN978-4-8406-3604-9

B5判 280頁 本体12,000円



中国・韓国の印刷起源から筆を起こし、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。(2015.11)

文化史

高田宗平編

日本漢籍受容史—日本文化の基層—

にほんかんせきじゅようし にほんぶんかのきそう

ISBN978-4-8406-2260-8

A5判 698頁 本体9,000円



前近代の日本を理解するために、漢籍を知る！ 清朝以前に中国人が漢文（漢語）で撰した書物＝漢籍。あらゆる知識・情報の根源となった漢籍は、どのように受容され、日本文化に根付いたのか。漢籍に関わる様々な分野の研究者が最新論考を寄稿し、前近代の漢籍受容の歴史を学際的・通時代的に解明した、初の学術書。 (2022.11)

水上雅晴編／編集協力 高田宗平

年号と東アジア—改元の思想と文化—

ねんごうとひがしあじあ かいげんのしそうとぶんか

ISBN978-4-8406-2227-1

A5判 792頁 本体12,000円



時の命名こそ支配一年号は単に時を表すだけではなく、社会の諸相を語る物差しであり、日本の歴史や文化を論じる上で不可欠である。多彩な分野の専門家が一堂に集結し、日本・中国・朝鮮半島・ベトナムなど漢字文化圏における年号について、その具体的な様相や、選定の手続き、為政者の思惑等々、多彩に読解。 (2019.4)

遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編

日本書紀の誕生—編纂と受容の歴史—

にほんしょきのたんじょう へんざんとじゅようのれきし

ISBN978-4-8406-2225-7

A5判 536頁 本体4,800円



日本最初の「正史」はどのように編纂され、読み継がれたのか。最新の研究成果をふまえ、多彩な分野の研究者21名が日本書紀を読む前に知らなくてはならない事項を書き下ろした、待望の日本書紀研究入門。主要写本のカラー口絵・文献目録・関連史料集・写本一覧など付録満載。 (2018.4)

中根勝著

〔OD版〕日本印刷技術史

にほんいんさつぎじゅつし

ISBN978-4-8406-3604-9

B5判 280頁 本体12,000円



中国・韓国の印刷起源から筆を起こし、奈良朝の百万塔陀羅尼、平安朝の摺経と春日版、鎌倉・南北朝の開版事業と五山版、古活字版、近世の整版と木活字版、浮世絵版画と腐食銅版画、幕末の洋式活版術の再来、明治以降の印刷術の発達から大戦後の印刷事情まで、豊富な図版で日本の印刷史を集大成。 (2015.11)

穴倉佐敏編著

必携 古典籍古文書料紙事典

ひっけい こてんせきこもんじょりょうしじてん

ISBN978-4-8406-2072-7

A5判 472頁 本体10,000円



製法から調査法まで料紙調査のプロの技を伝授！ 古代から近世まで、古典籍・古文書・経典・紙幣等、あらゆる料紙について具体的な調査方法と成果を紹介。罫目測定帳、繊維判定用和紙見本帳など別冊で付録。歴史学・国文学・書誌学・保存科学・書道史・仏教史等の専門家19名がコラムを寄稿。図版多数。 (2011.7)

山本信吉著

古典籍が語る 書物の文化史

こてんせきがかたる しょもつのぶんかし

ISBN4-8406-0044-9

A5判 304頁 本体3,600円



国宝・重要文化財などの文化財指定に長年従事した古典籍調査の達人が本の見方を伝える。「なぜ古典籍は今日まで残ったのか？」「本の姿—装幀の違いにはどのような意味がこめられているか？」等々、古典籍に関わる諸事項を独自の切り口で語り尽くす。「奥書」について40頁にわたり詳述。 (2004.11)

【単行本 ◆ 文学】

上代・中古・中世

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

永池健二編

梁塵秘抄 詳解 神分編

りょうじんひしょうしょうかいじんぶんへん

IISBN978-4-8406-9764-4

A5判 416頁 本体13,000円



歴史・地理・民俗・美術など様々な領域の最新成果を取り入れた注釈! 『梁塵秘抄』巻第二の神分編全35首について、底本(天理図書館所蔵)の影印を掲げ、次いでその翻刻、校訂本文、先行諸説の要点を示した上で、語釈と考察を加える。巻末に解題の他、初句索引、主要寺社所在図・寺社案内等を収載。(2017.8)

石塚晴通編

尊経閣 文庫本 日本書紀 本文・訓点総索引

そんけいかくぶんこぼん にほんしょき

ISBN978-4-8406-9411-7

A5判 約400頁 本体22,000円



『日本書紀』はどのように読まれたか? 平安時代に遡り、その全貌を明らかにする。尊経閣文庫本『日本書紀』のオコト点・片仮名点・返り点を含めた釈文と、傑出したアクセント資料である古訓に加点された声点を厳密に翻刻し、訓点の総索引を附す。日本語学だけでなく文学・史学に座右の資料。(2007.8)

野口元大・徳岡涼編

幽斎 源氏物語 聞書

ゆうさい げんじものがたりききがき

ISBN4-7971-1701-X

A5判 692頁 本体15,000円



源氏物語誕生1000年! 伝授された源氏物語の奥義と古注釈の享受過程を今に伝える。源氏物語最大の注釈書『岷江入楚』の礎を築いた幽斎の源氏物語研究の変遷を今に伝える。『源氏物語大成校異編』の頁・行数を示し『新編日本古典文学全集』の頁数を「集」として示し、また事項索引を巻末に付した。(2006.8)

古筆学研究所編

古筆学叢林2 古筆と写経

こひつがくそうりん こひつとしゃきょう

ISBN4-8406-9402-8

A5判 354頁 本体6,602円【残部僅少】



【目次】変文から経絵へ(川口久雄) / 『光明皇后御願一切経』5月1日経について(赤尾栄慶) / 平安朝貴族の宗教生活(山中裕) / 待賢門院と久能山経(小松茂美) / 東京国立博物館本金銀交書大唐西域記(中尊寺経) / 古谷稔 / 仮名法華経切について(久保木彰一) / 久能寺蔵妙典攷証(影印) / 他 (1989.6)

古筆学研究所編

古筆学叢林3 古筆と源氏物語

こひつがくそうりん こひつとげんじものがたり

ISBN4-8406-9403-4

A5判 330頁 本体6,311円【残部僅少】



【目次】源氏物語初期古注釈の問題(稲賀敬二) / 『源氏物語』三条西家本を論じて別本に及ぶ(片桐洋一) / 源氏物語受容の一樣相(寺本直彦) / 源氏物語の求婚の贈答歌(小町谷照彦) / 物語の長編性(鈴木日出男) / 『紫式部日記』の古筆切と写本(萩谷朴) / 源氏絵二趣(松原茂) (1991.7)

古筆学研究所編

古筆学叢林4 古筆と絵巻

こひつがくそうりん こひつとえまき

ISBN4-8406-9404-4

A5判 364頁 本体6,602円【残部僅少】



【目次】テキストの換用(稲本万里子) / 隆能源氏の詞書と12世紀の古筆(名児耶明) / 「葉月物語絵巻」の詞書をめぐって(四辻秀紀) / 正嘉本系北野聖廟絵について(真保亨) / 矢田地蔵縁起成立考(若杉洋治) / 六巻本『長谷寺縁起絵』小解(榊原悟) / 『長谷寺縁起絵』詞書【翻刻】 / 他 (1994.3)

古筆学研究所編

古筆学叢林5 古筆学のあゆみ

こひつがくそうりん こひつがくのあゆみ

ISBN4-8406-9405-2

A5判 368頁 本体7,000円【残部僅少】



【目次】『家良集』考(久保木哲夫) / 伝慈円筆後撰和歌集切考(杉谷寿郎) / 中世における物語和歌享受の一樣相(田中登) / 曾田文雄氏所蔵「源氏物語略本切」について(片桐洋一) / 「大斎院前の御集」と連歌の書写形式(稲賀敬二) / 物語古筆切の成果(藤井隆) / 『養老の縁起絵巻』の成立(伊井春樹) / 他 (1995.12)

市木武雄編

五山文学用語辞典

ござんぶんがくようごじてん

ISBN978-4-8406-3059-7

A5判 274頁 本体9,000円【OD版】



『梅花無尽蔵注釈』の編者が、五山文学の詩文集を中心に新編集。従来の漢和・国語辞典に記載されていないことの多い五山文学の用語について詳しく解説。禪宗用語・仏教語や、宋・元・明の文学の影響、和製漢語について用例を掲げる。従来、難渋・難解とされてきた五山文学の最適な手引書。(2002.6)

山路興造著

近世芸能の胎動

きんせいげいのうのたいどう

ISBN978-4-8406-9674-6

A5判 420頁 本体9,800円



江戸時代の庶民に愛され、完成され今に残る歌舞伎が、「風流踊り」「やゝこ踊り」などの芸能が舞台化することによって完成されたことを論証。文楽として残る操り浄瑠璃の成立時期を人形戯と浄瑠璃語りと三味線の結び付きの時期を下らせるなどの論考を収める。

(2010.6)

室町末期の五山禅僧万里集九の詩文
に全注釈を施した五山文学の入門書

※ISBN4-7971は省略します。

梅花無尽蔵注釈 (全5冊+別巻)

ばいかむじんぞうちゅうしゃく

市木武雄編著

(1993.3～1997.10)

第1巻	25,000円【残部僅少】	-0451-1 (1993.3)
第2巻	25,000円【残部僅少】	-0452-X (1993.7)
第3巻	25,000円【残部僅少】	-0453-8 (1993.11)
第4巻	25,000円【品切】	-0454-6 (1994.4)
第5巻	(索引) 25,000円【残部僅少】	-0455-4 (1995.7)
別巻	【品切】	-0456-2 (1997.10)

A5判 平均555頁、揃3,328頁

【セット品切】



「梅花無尽蔵」は、室町末期の五山禅僧万里集九が、その晩年に自作の詩文を自ら編し、注をつけたものである。収めるところの詩数1451首、文章111編という雄編である。書名の由来は、著者万里集九が美濃鶴沼に構えた庵室を梅花無尽蔵（後年江戸城中にも同名の庵を設ける）と名づけ、また自らの別称としても用い、家集の名としたものである。本書は、「梅花無尽蔵」のすべてについて〔原文〕〔読み方〕〔注釈〕〔通釈〕〔余説〕にわけて平易に解説し、全注釈として刊行するものである。万里の詩は難解なことで知られる。彼の詩の用語・文脈・表現の奇異のみならず、深い学識を駆使して詠みこんだ故事に考究する。文学・史学・語学・民俗学等の資料としても貴重。五山文学の入門書。

梅花無尽蔵注釈別巻 『梅花無尽蔵注釈』の続編で、梅花以外の万里集九の作品を拾遺として1冊に収め、全注釈として刊行。「五山禅僧詩文集」「明叔録」等の一点ごとに詳しく解説を加えた。巻末に詳細索引付。『梅花無尽蔵注釈』および本書により、万里の全作品とその人物像ならびに時代的な背景を知ることができる。

古典本文の典拠の的確な解明を中心
とした堅実な注釈を集成

御橋惠言著作集 (全10冊)

みはしとくごんちよさくしゅう

(1980.12～2001.9)

第1巻	保元物語注解	12,000円	(1980.12)
第2巻	平治物語注解	12,000円	(1981.5)
第3巻	曾我物語注解	18,000円	(1986.3)
第4巻	平家物語証注上	22,000円	(1999.10)
第5巻	平家物語証注中	22,000円	(2000.2)
第6巻	平家物語証注下	22,000円	(2000.6)
第7巻	平家物語証注索引	12,000円	(2000.12)
第8巻	神皇正統記注解上	20,000円	(2001.3)
第9巻	神皇正統記注解下	22,000円	(2001.5)
第10巻	神皇正統記注解索引	15,000円	(2001.9)

ISBN4-7971①-0533-X / ②-0534-8 / ③-0535-6 /

④-0536-4 / ⑤-0537-2 / ⑥-0538-0 / ⑦-0539-9 /

⑧-0540-2 / ⑨-0541-0 / ⑩-0542-9

A5判 平均527頁、揃5,272頁

揃本体177,000円



故御橋惠言氏は、「平家物語略解」の著者として、国文学界には今日なおそのよき名が聞こえている。しかし氏は、おおよそ名利を得ることに心を用いられず、できる限り俗事を遠ざけられて、ただ学究としての生活に一徹されたため、その他の貴重な述作は、ほとんど未公開のまま、筐底に蔵されることになった。

このたび、御遺族のご賛同とご協力を得て、氏の主要遺書を収録する。氏の学問の本領は、古典本文の典拠の的確な解明を中心とする注釈にあり、ことに仏典関係の出典の判定においては独壇場とも称すべき観がある。その述作の学問的価値についてはいまさらいうまでもない。戦前「曾我物語注解」を刊行すべく、組版・校正に入ったが、戦災にかかり、その計画は頓挫した。また昭和33年1月以降、機関誌「史学・文学」に、「保元物語注解」の連載をこころみしたが、同誌の休刊により未完のままとなった。今度、氏の未刊主要遺書「保元物語注解」「平治物語注解」「曾我物語注解」「神皇正統記注解」「平家物語証注」を残りをなく公刊する。

近世

天理図書館編

天理図書館所蔵 春雨物語^{一羽倉本・天理冊子本・西莊本}

てんりとしょかんしょぞう はるさめものがたり

ISBN978-4-8406-9771-2

B5判 652頁 本体35,000円



従来まったく知られなかった上田秋成『春雨物語』の新出自筆稿本羽倉本を高精細カラー版で影印。併せて、影印未刊行であった天理冊子本(全57丁)および本文完備の西莊本を収録し(モノクロ網目版)、解題と羽倉本翻刻を付す。【解題】大橋正叔【羽倉本翻刻】牛見正和・大西光幸・大橋正叔 (2021.5)

滝沢馬琴著 木村三四吾他編

〔OD版〕吾仏乃記 滝沢馬琴家記

あがほとけのき たきざわばきんかき

ISBN978-4-8406-3598-1

A5判 746頁 本体23,000円



曲亭滝沢馬琴が、長年心にかけて自家累代の伝記を記し、家族親戚の行実を余すところなく記す。馬琴がその家、家族縁類に対し、いかなる思いを抱き、いかに対処行動して来たかを十分に表明しており、馬琴研究にはかせない一等資料。天理図書館に残る唯一の稿本を読み易く正確に翻刻。(2015.11)

木村三四吾編

〔OD版〕近世物之本江戸作者部類

きんせいものほんえどさくしゃぶるい

ISBN978-4-8406-3599-8

A5判 468頁 本体15,000円



滝沢馬琴が「蟹行散人」という筆名を用いて著した同時代の戯作者評伝。近世後期江戸戯作文学の各分野を部類し、山東京伝、大田南畝、十返舎一九、為永春水、鶴屋南北、平賀源内等々、馬琴自身を含め総計139名の作者を論評。影印本文、解題、索引、校勘記等を付す。(2015.11)

新版色道大鏡刊行会編(大橋正叔・沖森卓也・倉島利仁・伴野英一・渡辺恵司)

〔OD版〕新版色道大鏡

しんばん しきどうおおかがみ

ISBN978-4-8406-3605-6

A5判 788頁 本体24,000円



近世風俗を知るための藤本箕山著の基本図書。風俗語を中心とした日本語、美学、仏教の受容、流行ファッション、遊戯・玩具、芸能、書道史等々、江戸前期の女性史を極めて具体的な事例から語る。人名索引と遊里語・近世語彙を含む事項索引を附す。(2015.11)

永井一彰編(原本所蔵・解説)

誹諧短冊手鑑

はいかいたんざくてかがみ

ISBN978-4-8406-9695-1

A4判 474頁 本体35,000円



古筆の家に伝わった新出資料の全貌を初公開! 近世初期俳人756名、804枚の短冊を高精細カラーで影印、さらに裏書・作者情報も全て図版掲出。元禄以前の俳人の素性を伝える画期的資料。文字通り筆跡・短冊料紙の『手鑑』として、近世文学・俳諧・古筆研究者、短冊愛好家、古書店主、必携の書。(2015.8)

人間文化研究機構 国文学研究資料館編

図説江戸の「表現」浮世絵・文学・芸能

ずせつ えどのひょうげん

ISBN978-4-8406-9689-0

B5判 352頁 本体12,000円



カラー・モノクロ図版230点から読み解く、日本文化の表現様式研究の第2弾。近世の日本人が好んだ表現様式と知的遊戯の豊かさを、多数の図版を掲出し、考察・解説する。「やつし」や「見立」など、浮世絵や俳諧、歌舞伎ではどのように表現されているか? 日本文化の発想法を知るために不可欠な論考を収録。(2014.3)

人間文化研究機構 国文学研究資料館編

〔OD版〕図説「見立」と「やつし」日本文化の表現技法

ずせつ みたてとやつし にほんぶんかのひょうげんぎほう

ISBN978-4-8406-3469-4

B5判 262頁 本体12,000円



「見立」はあるものを別のものになぞらえること、「やつし」は昔の権威あるものを現代風に卑近にして表すこと。共に文学・美術・芸能のジャンルを超えて存在する日本文化の特徴的表現様式。今回初めてそのさまざまな用例を考察した国文研のプロジェクトの成果をまとめた画期的一書。(2008.3)

雲英末雄監修 佐藤勝明・伊藤善隆・金子俊之編

元禄時代俳人大観(全3冊)

げんろくじだいはいじんたいかん

ISBN978-4-8406-9680-7

菊判 1700頁+CD1枚 ①本体12,000円/②③【品切】



【芭蕉祭文部科学大臣賞受賞】貞享元年(1684)から宝永4年(1707)までの俳書から入集した作者名と入集句数を網羅。大名から遊女まで、近世人が嗜んだ俳諧を知る目録。今栄蔵編『貞門談林俳人大観』の人名索引も付録、両書合計4万人収録。2つの人名索引に肩書を加えたCSVデータをCDで付録。(2011.6-2012.3)

神田正行著

馬琴と書物 伝奇世界の底流

ばきんとしょもつ

ISBN978-4-8406-9676-0

A5判 784頁 本体15,000円



博覧強記で鳴らした曲亭馬琴の書翰・日記を丹念に読み解き、繙いた万巻の書物と創作の関わりを詳細に検証! 読本や合巻がどのような経過で執筆されたかを解き明かす。『水滸伝』や『金瓶梅』をはじめ、『隔簾花影』『両交婚伝』『金蘭筏』『八洞天』、増刪本『二度梅』などの中国小説にも初めて言及。(2011.8)

朝倉瑠嶺子著

馬琴 椿説弓張月の世界 半月の陰を追う

ばきん ちんせつゆみはりづきのせかい

ISBN978-4-8406-9658-6

A5判 274頁 本体8,000円



八犬伝と双璧をなす馬琴代表作の深奥！ 雄大にして奇想天外、靈魂のあやなす馬琴独自の隠微世界を新たな視点で読み解く作品論。信多純一の重要論考「三島由紀夫『日本文学小史』と馬琴」を附載。三島独自の文学史に示された馬琴理解を検証し『弓張月』『八犬伝』の深層に肉薄する。(2010.2)

木越治編

講談と評弾 伝統話芸の比較研究

こうだんとひょうだん

978-4-8406-9675-3

A5判 144頁+DVD (映像120分) 本体3,600円



講談は落語と並ぶ日本の話芸である。中国の評弾も蘇州をはじめとする各地で愛されている大衆芸能であるが、日本ではあまり知られていない。両者の歴史的な経緯を比較し、その歴史と現状を読みやすくまとめ、一流の演者による口演を映像として付録のDVDに収録。(2010.3)

佐藤勝明著

芭蕉と京都俳壇 蕉風胎動の延宝・天和期を考える

ばしょうときょうとはいだん

ISBN4-8406-9638-1

A5判 362頁 本体9,800円【残部僅少】



芭蕉号を使い始めた天和元年(1681)、蕉風俳諧が誕生した！ 東西交流、特に京都俳壇との関係に着目し、談林俳諧の本質と意義をとらえなおすとともに、蕉風俳諧成立の問題に鋭く迫る。芭蕉の作品には延宝期(1673-81)と天和期(1681-84)の間に断層があり俳諧史の大きな転回点があったことを論証。(2006.1)

財団法人芭蕉翁顕彰会編

芭蕉翁記念館 芭蕉文庫目録 書冊篇

ばしょうおうぎねんかん ばしょうぶんこもくろく しょさつへん

ISBN4-8406-0042-2

A5判 416頁 本体12,000円



伊賀上野市の芭蕉翁記念館芭蕉文庫所蔵の日本屈指の俳諧コレクションの目録待望の公刊。書名・装丁・巻冊数・編著校者・序跋・成立事項・奥書・識語・注記・資料番号を正確に記載、巻末に書名索引・人名索引を付した使いやすい目録。(2005.1)

財団法人柿衛文庫編

柿衛文庫目録 書冊篇

かきもりぶんこもくろく しょさつへん

ISBN4-8406-0008-2

A5判 756頁 本体14,175円



綿屋文庫・洒竹文庫とならぶ日本屈指の俳諧コレクションの目録初公刊。故柿衛翁岡田利兵衛氏が蒐集した連歌俳諧を中心とする資料のうち書冊形態の資料計3,050点。連歌177点・俳諧2,378点・雑俳87点・和歌83点・狂歌86点・雑239点について詳細書誌情報を正確に記載、書名索引・人名索引を付す。(1990.10)

財団法人柿衛文庫編

柿衛文庫目録 短冊篇

かきもりぶんこもくろく たんざくへん

ISBN4-8406-0011-2

A5判 400頁 本体13,000円



連歌から近代まで、柿衛翁岡田利兵衛氏蒐集の短冊を網羅。連歌、俳諧、和歌、狂歌など合計6,189点について作者名を見出しに掲げ、詳細書誌の事項を採録した画期的目録。使いやすい作者名索引を巻末に付す。巻頭に豊富な図版(48点・アート紙)を掲載。「書冊篇」と併せて俳諧研究に必備の書。(1999.3)

大磯義雄著

芭蕉と蕉門俳人

ばしょうとしょうもんはいじん

ISBN4-8406-9608-X

A5判 600頁 本体12,000円



【第51回芭蕉祭文部大臣賞受賞】緻密な実証により芭蕉とその周辺を照射。博覧踏査に基づく新資料・新考を集大成。【目次抜粋】芭蕉発句の新出詞書など／芭蕉とその周辺の資料／芭蕉と塚本如舟／芭蕉の俳文「高野詣」の異文／『奥の細道』の「そぞろ神」／奥の細道出発時の芭蕉の一書簡／他全46篇。(1997.5)

大磯義雄著

蕪村・一茶その周辺

ぶそん・いっさそのしゅうへん

ISBN4-8406-9613-6

A5判 474頁 本体12,000円



作家的洞察力で論究する多彩で豊かな俳諧史！ 天明・化政・天保俳人に関する伝記・随想・比較文学論等幅広い論考集。【目次抜粋】第Ⅰ部蕪村とその周辺 蕪村俳諧における『雨月物語』の影響について／評伝・与謝蕪村／蕪村一酒仙一／上田秋成は二人いた 第Ⅱ部一茶と化政天保俳人 夏目成美／他 (1998.9)

浅見美智子編校

几董発句全集

きとうほくぜんしゅう

ISBN4-8406-9603-9

A5判 652頁 本体25,000円



俳句中興の祖、与謝蕪村の後継者で3世夜半亭、高井几董の全発句4,300余を宝暦5年(1755)から寛政元年(1789)まで、制作年代順に収録。脚注として各句に全出典を明示。適宜、頭注として句の略解題を付す。師蕪村や几董周辺の動向をも明らかにする詳細な年譜、三句・人名索引、引用書一覧を付す。(1997.6)

渡辺恵司著

近世大名文芸圏研究

きんせいだいみょうぶんげいけんけんきゅう

ISBN4-8406-9602-0

A5判 468頁 本体8,738円【美品なし】



各地に残る近世大名やその周辺の伝統的雅文芸資料を精査し読取り、支配階級の文化的営為とその文学史的位階づけを展開。【目次抜粋】松平定綱文芸圏とその周辺／山鹿素行と国文学／山鹿素行と浅野家致仕／佐川田昌俊と永井家／佐川田昌俊と連歌資料／加藤馨齋と板倉家／毛利綱元文芸関係略譜／他 (1997.2)

大澤美夫・柴田光彦・高木元編校

日本大学総合図書館蔵 **馬琴書翰集**

ばきんしょかんしゅう

ISBN4-8406-9084-7

B6判 290頁 本体6,796円



文政11年(1828)5月から天保11年(1840)12月まで、馬琴の親友であり支援者であった殿村篠齋宛32通、小津桂窓宛1通の難読書翰を精確に翻刻し年代順に収める。馬琴失明前後の苦勞が窺え、「八犬伝」完結直前の執筆状況、蔵書の売立、物価・天気・世情に関する詳細な記述など資料価値が高い。(1992.11)

金井寅之助著

西鶴考 作品・書誌

さいかくこう

ISBN4-8406-9077-4

A5判 442頁 本体7,800円



独創的発想と精緻細密な事実調査によって、学界に多大な影響を与えた論考を収録。著者の西鶴論の基調を示す『西鶴小説のチャナリズム性』『西鶴の文体』、精細厳密な実測比較校異による書誌学的研究『西鶴置土産』の版下』等16篇、すべて研究者必読の論。(1991.3)

野間光辰著

近世芸苑譜

きんせいげいえんぷ

ISBN4-8406-9071-5

A5判 488頁 本体9,800円



近世文学研究の最高峰といえる著者の西鶴研究。近世初期の遊里と色道論、元禄の歌舞伎浄瑠璃、中・近世の歌謡、そして近世後半の文人達の研究を収録。【目次抜粋】箕山『大鏡』の完本について／『明清闘記』と近松の国性爺物／兼葭堂会始末／世阿弥の『拾玉得花』について 他20編。(1985.11)

三古会編

近世の学芸 史伝と考証

きんせいのがくげい

ISBN4-8406-9060-X

A5判 442頁 本体4,200円



史伝を研究し愛好する同志よりなる三古会創立当初より会の中心の森銑三先生80歳にあたり、会員が埋もれていた人物・事象・典籍を掘り起こす。東洲齋写楽を考証した『江戸方角分覚え書』『七代目団十郎逸事紹介とその著者について』『萩原乙彦の俗謡本雑考』『活人形の軌跡』『詞章と曲節』31篇収録。(1976.3)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **松の葉** [影印]

まつのは

ISBN978-4-8406-9649-4

A5判 376頁 本体8,000円



一餘二稿十一(平成2年刊)一
近世歌謡集『松の葉』の天理図書館蔵元禄16年版竜鳳丸文表紙本の影印に解説を付す。
※「木村三四吾著作集Ⅲ」に解説のみ収録(2010.5)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **樟落葉**

くすおちば

ISBN978-4-8406-9659-3

A5判 126頁 本体1,500円



一餘二稿九(昭和61年刊)一
天理図書館定年退職後、大阪樟蔭女子大学図書館長職時代に書き綴った洒落な随筆集。
※「木村三四吾著作集Ⅲ」に収録(2010.5)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **犬枕** [影印]

いぬまくら

ISBN978-4-8406-9673-9【残部僅少】

A5判 110頁 本体1,500円



一ビブリア第55号抜刷(昭和48年刊)一
近衛信尹らの合作による慶長初年成立の仮名草子。天理図書館蔵の古活字本を影印し解説を付す。
※「木村三四吾著作集Ⅰ」に解説のみ収録(2010.5)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **冬の日** [影印]

ふゆのひ

ISBN4-8406-9621-7

A5判 64頁 本体1,500円



一餘二稿二(昭和49年刊)一
芭蕉等による俳諧連句集、後に蕉門の俳諧七部集の第一として流布。京都大学文学部額原文庫本を影印、解説『冬の日』初版本考』を付す。
※「木村三四吾著作集Ⅰ」に影印・解説ともに収録。(2001.6)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **波留濃日** [影印]

はるのひ

ISBN4-8406-9622-5

A5判 72頁 本体1,500円



一餘二稿三(昭和50年刊)一
芭蕉指導下に刊行された蕉門の俳諧撰集、俳諧七部集の第二。早稲田大学図書館蔵中村俊定文庫本を影印、解説『春の日』初版本考』を付す。
※「木村三四吾著作集Ⅰ」に影印・解説ともに収録。(2001.6)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **夜半亭初懐紙** [影印]

やはんていはつかいし

ISBN4-8406-9626-8【残部僅少】

A5判 452頁 本体8,500円



一餘二稿十(昭和62年刊)一
夜半亭2世蕪村の後、三世を襲名した几董撰初懐紙諸本中、安永5年から寛政元年まで現存する十カ年分十冊を影印、解説を付す。
※「木村三四吾著作集Ⅰ」に解説を収録(影印本文は未収録)。(2001.6)

木村三四吾編校

木村三四吾私家版 京大本 **馬琴書簡集**〔翻刻〕

きょうだいぼん ばきんしょかんしゅう

ISBN4-8406-9624-1

A5判 212頁 本体4,500円



— 餘二稿七（昭和58年刊） —

京都大学文学部蔵の殿村篠斎宛馬琴書翰写し33通を翻刻し年代順に排列、「馬琴書翰一覽稿」を付す。

※『日本大学総合図書館蔵馬琴書翰集』に京大本の原書翰翻刻を収録。

(2001.6)

木村三四吾編

木村三四吾私家版 **後の為乃記**〔影印〕

のちのためのき

ISBN4-8406-9627-6

A5判 324頁 本体7,500円



— 餘二稿十二（平成4年刊） —

馬琴が亡き息子興継（宗伯・琴嶺）の哀悼録として、その行状・詩稿等を纏めた書。解説「読『後の為乃記』雑抄」を付す。

※「木村三四吾著作集IV資料篇」に翻刻を収録・「木村三四吾著作集II」に解説を収録。

(2001.6)

木村三四吾編校

木村三四吾私家版 **路女日記**〔翻刻〕

みちじょにつき

ISBN4-8406-9628-4

A5判 500頁 本体9,800円



— 餘二稿十三（平成6年刊） —

馬琴失明に伴い、その口述筆記を担当していた興継の妻・路（みち）が、馬琴歿後も日記継続を馬琴の遺志と受けとめ書き続けた嘉永2年から同5年に至る日記。

※木村三四吾著作集未収録。

(2001.6)

木村三四吾著

木村三四吾著作集I **俳書の変遷** 西鶴と芭蕉

はいしょのへんせん さいかくとばしょう

ISBN4-8406-9610-1

A5判 520頁 本体9,800円【残部僅少】



『竹馬狂吟集』等の古俳書から、西鶴『独吟一日千句』、蕉門『冬の日』『春の日』、子規『かくれみの』草稿に至るまで、書誌学の成果を俳諧研究に結実させた重要論考を網羅！【目次抜粋】『竹馬狂吟集』考／綿屋文庫蔵『俳諧連歌抄』／後奈良院宸翰『なぞだて』／『犬枕』／西鶴『俳諧独吟一日千句』／他

(1998.1)

木村三四吾著

木村三四吾著作集IV資料篇 **藝文余韻** 江戸の書物

げいぶんよゐん えどのしょもつ

ISBN4-8406-9620-9

A5判 490頁 本体12,000円



本篇活用に必備の資料を収録。

【所収書目】《翻刻》後の為乃記《影印》さくらかざみ（天理図書館蔵曼魚本）／新吉原細見（天理図書館蔵）／浪華なまり（天理図書館蔵）／還魂紙料（天理図書館蔵滝沢馬琴旧蔵本）／『還魂紙料』索引／書誌解題

(2000.12)

岡田利兵衛著

岡田利兵衛著作集I **芭蕉の書と画**

ばしょうのしょとが

ISBN4-8406-9604-7

B6判 172頁 本体2,000円



俳諧の一大コレクションを蒐集、現柿衛文庫の基礎を成した岡田柿衛翁の珠玉の遺文を精選！豊富な図版で第一人者が鑑定のを解説。【目次】芭蕉の書と画／芭蕉の書／芭蕉の筆蹟／芭蕉の書と風雅と人／芭蕉の画卷／鯉屋の味／天理図書館蔵 鯉屋伝来品／芭蕉の「にせもの」分析／他

(1997.5)

岡田利兵衛著

岡田利兵衛著作集II **蕪村と俳画**

ぶそんとはいが

ISBN4-8406-9605-5

B6判 156頁 本体2,000円【残部僅少・美品なし】



画・俳・書を極めた蕪村の軌跡。【目次】与謝蕪村小伝／蕪村の芸術／蕪村の俳画／蕪村の絵どころ／俳画と南画／蕪村の終焉／蕪村の脱俗／芭蕉の旅と蕪村の旅／おくのほそ道と蕪村／蕪村俳画 描かれた奥の細道／「松村家略系」と月溪（呉春）伝／月溪（呉春）伝余説／月溪を憶う／蕪村と呉春

(1997.9)

岡田利兵衛著

岡田利兵衛著作集III **西鶴・近松・伊丹**

さいかく・ちかまつ・いたみ

ISBN4-8406-9606-3

B6判 170頁 本体2,000円



西鶴の画、近松の書簡・狂歌の紹介を始め多くの文人を誘った文化都市伊丹の諸相を読解。【目次】西鶴・芭蕉・近松と伊丹／西鶴が見た伊丹文化／西鶴の絵画一俳諧関係一／西鶴の二つの遺墨／近松門左衛門書簡／近松とその狂歌／百歳翁坂上宗清／森本百丸の研究／伊丹に於ける与鹿／酒人・著斎・糠人

(1997.11)

岡田利兵衛著

岡田利兵衛著作集IV **鬼貫の世界**

おにつらのせかい

ISBN4-8406-9607-1

B6判 146頁 本体2,000円



各冊豊富な口絵を掲載、本文を読みやすく編集。

【目次】伊丹鬼貫雑考／伊丹の印象／鬼貫の世界／新発見の上島家系譜と鬼貫の伝記／上島鬼貫一伝授のこと一／鬼貫 秋の句四章／元文二年筆 鬼貫懐紙／鬼貫俳句二章／鬼貫の逸句短冊発見／書の霊

(1998.3)

吉原の遊女評判記・細見を初めて集大成

江戸吉原叢刊 (全7巻)

えどよしわらそうかん

江戸吉原叢刊刊行会編

(2010.2～2012.12)

ISBN978-4-8406-3646-7 A5判 (⑦のみB5判)

平均508頁、総3,558頁

揃本体150,000円



近世文学・演劇・日本語・浮世絵・風俗史研究に不可欠な江戸吉原の「遊女評判記」を翻刻(第1巻～第6巻収録)。「吉原細見」(案内地図・妓郎名・遊女名)を影印(第7巻収録)。「遊女評判記」は原本の体裁を残して組み、挿図や遊女の紋をそのまま収録。近世語彙を含む事項索引などを付す他、遊女名・妓楼名など収めたCDを第6巻に付す。

第1巻 四十二のみめ争ひ・そゝろ物語・あづま物語・吉原鑑・吉原大全新鑑・吉原すゞめ・讃嘲記時之太鞍・吉原よぶこ鳥・吉原天秤・吉原六方・ぬれほとけ

第2巻 吉原伊勢物語・吉原用文書・吉原こまざらい・吉原袖かゝみ・吉原失墜・吉原局惣鑑・吉原大雑書・山茶やぶれ笠

第3巻 吉原恋の道引・吉原人たばね・吉原歌仙・伽羅包・吉原あくた川・吉原下職原・吉原三茶三幅一対・吉原買もの調・吉原大豆俵評判・吉原酒てんとうじ

第4巻 吉原源氏五十四君・新吉原つねづね草・新改さいけん名寄評判・なよせ色竹・吉原草摺引・五太力菩薩手鏡・吉原大黒舞・吉原つれづれ草・吉原七福神

第5巻 ゑにし染・直伝大尽舞・吉原丸鑑・傾城つれづれ草・吉原源氏六十帖評判・吉原出生鑑・吉原評判交代盤米記・吉原大全・遊婦多数寄・里のをだ巻評・一目千本

第6巻 廊中美人集・百安楚飛・玉菊灯籠弁・嘶之画有多・おむなつう文章・かよふ神の講釈・傾城異見之規矩・娼妃地理記・娼家用文章・教訓相撲取草・吉原大鑑・つゞれの錦他 【付:事項・語彙索引、および遊女名索引】

第7巻 細見(B5判:影印版) 遊君女郎花(宝永6年)を始めとして、代表的細見を31点収録

[オンデマンド版]

①-⑥各巻本体20,000円、⑦本体30,000円

(ISBN978-4-8406は省略しました)

第1巻 元和期(1615)～寛文11年(1671)-3639-1(2017.10)

第2巻 寛文2年(1662)～延宝3年(1675)-3640-7(2017.10)

第3巻 延宝6年(1678)～貞享4年(1687)-3641-4(2017.10)

第4巻 元禄2年(1689)～正徳2年(1712)-3642-1(2017.10)

第5巻 正徳3年(1713)～安永3年(1774)-3643-8(2017.10)

第6巻 安永4年(1775)～慶応元年(1865)-3644-5(2017.10)

第7巻 宝永6年(1709)～明治5年(1872)-3645-2(2017.10)

【編集委員】大橋正叔・丹羽謙治・伴野英一・水谷隆之・渡辺憲司

連歌から俳諧へ、革新的詩人の全文業を集大成
生誕400年を期して待望の全集初公刊!**西山宗因全集 (全6巻)**

にしやまそういんぜんしゅう

尾形仸・島津忠夫監修 西山宗因全集編集委員会編

(2004.9～2017.4)

ISBN4-8406-9660-8

A5判 平均476頁、総2,848頁

各巻本体18,000円



※ 第1巻 連歌篇 一 ISBN978-4-8406-3636-0(2004.9)

第2巻 連歌篇 二 ISBN978-4-8406-3650-6(2007.8)

第3巻 俳諧篇 ISBN4-8406-9663-2(2004.7)

第4巻 紀行・評点・書簡篇 ISBN4-8406-3638-4(2006.8)

第5巻 伝記・研究篇 ISBN978-4-8406-9665-4(2013.4)

第6巻 解題・索引篇 ISBN978-4-8406-9666-1(2017.4)

※第1・2・4巻は上製版品切れ、オンデマンド版となります。

【編集委員】

石川真弘・井上敏幸・牛見正和・奥野純一・尾崎千佳・加藤定彦・塩崎俊彦・島津忠夫・宮脇真彦・米谷巖

軽妙洒脱な俳風で近世文学の扉を開いた文人の全貌を明らかに! 宗因は大坂天満宮連歌所の宗匠として全国的に活躍する一方、俳諧では西鶴らを育て芭蕉に強い影響を与えた。豊かな詩性は「俳諧史上、第一等の詩人」(中村幸彦)とも評された。新資料を博搜精査し、全文業を悉皆網羅、詳細な年譜・研究史・資料解題・索引を所収。

柿衛文庫・八代市立博物館未来の森ミュージアム・日本書道美術館編

**宗因から芭蕉へ 西山宗因生誕
四百年記念**

そういんからばしょうへ

ISBN4-8406-9667-5

A4判 80頁 本体2,000円



俳諧を庶民に広めた宗因の生誕400年を記念して開催された展覧会の図録。天性の詩人といわれた宗因の文業と、その影響を多大に受けた芭蕉へとつながる当時の文芸界の様相を、多数の新出資料・初公開資料等で紹介。

(2005.10)

江戸の庶民生活をつぶさに語り近世
文学・文化史の実相に迫る好資料！

馬琴書翰集成 全7巻 (本篇6巻別巻)

ばきんしょかんしゅうせい

柴田光彦・神田正行編

(2002.9～2004.3)

(ISBN4-8406は省略しました)

第1巻	寛政頃～天保元年(1830)	-9651-9(2002.9)
第2巻	天保2年～天保3年	-9652-7(2002.12)
第3巻	天保4年～天保5年	-9653-5(2003.3)
第4巻	天保6年～天保8年	-9654-3(2003.6)
第5巻	天保9年～天保12年	-9655-1(2003.9)
第6巻	天保13年(1842)～嘉永元年(1848)・附録・来翰	-9656-X(2003.12)
別巻	書翰内容細目一覧・索引他	-9657-8(2004.3)

ISBN4-8406-9650-0

A5判 平均334頁、総2,336頁

各巻本体9,800円、揃本体68,600円



馬琴書翰の全貌を集大成！ 400余通の翻刻を年代順に配列、併せて来翰約100通を収録自作をめぐる評論の応酬・書籍の貸借から、私事諸般にわたる知己との交流、版元との交渉等々、文学史上に屹立する『南総里見八犬伝』の作者曲亭馬琴の生身の人間像に迫る。当時の出版事情を始め、広く近世文学・文化史の実相に迫る好資料！

【特色】

馬琴書翰の全貌を網羅集大成 従来未紹介であった10余通を加え、現在知られる限りの書翰400余通の翻刻を年代順に配列、併せて馬琴宛来翰約100通を収録。

利用の便が格段に向上 従来主に所蔵機関単位で公刊・紹介されてきた書翰を、年代順に配列することにより、編年資料としての総覧が可能となった。

文人諸家との交流 馬琴宛来翰を併録することによって、書翰による同時代文人との交流が一望できる。

正確な翻刻本文 既紹介の書翰についても、可能な限り原翰もしくはその複製にあたり、正確を期した。

江戸の庶民生活を知る好資料 日記では淡々と箇条書きに記されている日常生活の機微を、盟友の篠斎や桂窓には書翰で詳細に吐露。衣食住をはじめ江戸の主要な出来事、生活者の視点から、その実相を垣間見る。

近世出版事情の詳細記録 前条と同じく、日記の箇条書きのみでは知り得ぬ、執筆から絵師、筆工、整版、校正の過程、江戸と上方の版元間のやりとり、版本の発行部数・実売部数、入用の唐本など執筆資料入手の苦心等々、当時の出版事情を具体的に知りえる。

便利な別巻 別巻には書翰内容細目一覧・索引を収録し、本篇活用の利便を図った。

【演 劇】

毎日出版文化賞特別賞受賞 近松から文楽まで庶民芸能の至宝人形浄瑠璃の興行年表！

義太夫年表 近世篇

ぎだゆうねんぴょう きんせいへん

編纂 義太夫年表近世篇刊行会・協力 国立劇場

〔オンデマンド版〕第1巻～第3巻 本文篇
B5判 並製 カバー装 平均685頁、総2,740頁
各巻本体24,000円

〔通常版〕別巻
B5判、上製 函入 2冊組、総854頁
本体36,893円

*第4巻・第5巻は品切

第1巻 本文篇 延宝～天明〔オンデマンド版〕
978-4-8406-3482-3 24,000円 (1979.11)

第2巻 本文篇 寛政～文政〔オンデマンド版〕
978-4-8406-3483-0 24,000円 (1980.10)

第3巻上 本文篇 天保～弘化〔オンデマンド版〕
978-4-8406-3484-7 24,000円 (1981.9)

第3巻下 本文篇 嘉永～慶応〔オンデマンド版〕
978-4-8406-3485-4 24,000円 (1982.6)



第4巻・第5巻 影印【品切】
別巻 補訂・索引篇〔通常版〕 (1990.11)
4-8406-9200-9 36,893円 (1990.11)

〔本文篇〕近松・義太夫の時代から幕末に至るまで、江戸時代の文楽浄瑠璃興行の全てを網羅すべく資料を集めて構成。〔補訂篇〕約150枚の新出番付による補訂、絵番付・見立番付の写真も収録。〔索引篇〕演者・作者・文人等16,000名を網羅する人名索引、外題索引、外題別興行一覧、正本・絵尽・番付写真の所在目録を収録。

歌舞伎を中心とした、周辺芸能をも含む正確精細な年表 【受賞】毎日出版文化賞特別賞(大阪篇)

近代歌舞伎年表

国立劇場近代歌舞伎年表編纂室 編

きんだいかぶきねんびょう

明治元年から昭和22年まで大阪に所在の全劇場の興行記録。歌舞伎約3,500件を中心に周辺芸能約5,200件を網羅。

〔オンデマンド版〕近代歌舞伎年表

大阪篇 (全9巻)

(1986.3 ~ 1994.3)

ISBN978-4-8406-3591-2

B5判 並製 カバー装 平均650頁、総6,870頁

揃本体225,000円

各巻本体25,000円〔分売可・受注生産〕



(ISBN978-4-8406は省略しました)		
第1巻	明治元年～明治17年	-3510-3 (1986.3)
第2巻	明治18年～明治26年	-3511-0 (1987.3)
第3巻	明治27年～明治35年	-3512-7 (1988.3)
第4巻	明治36年～明治41年	-3513-4 (1989.3)
第5巻	明治42年～大正4年	-3514-1 (1990.3)
第6巻	大正5年～大正10年	-3515-8 (1991.3)
第7巻	大正11年～昭和3年	-3516-5 (1992.3)
第8巻	昭和4年～昭和13年	-3517-2 (1993.3)
第9巻	昭和14年～昭和22年	(1994.3)
付録大阪市劇場史略図・補遺対照表		

明治元年から昭和22年まで京都に所在の全劇場の興行記録。歌舞伎約2,500件を中心に周辺芸能約7,000件を網羅。

〔オンデマンド版〕近代歌舞伎年表

京都篇 (全10巻+別巻)

(1995.3 ~ 2005.3)

ISBN978-4-8406-3596-7

B5判 並製 カバー装 平均712頁、総7,828頁

揃本体275,000円

各巻本体25,000円〔分売可・受注生産〕



第1巻	明治元年～明治17年	-3499-1 (1995.3)
第2巻	明治18年～明治26年	-3500-4 (1996.9)
第3巻	明治27年～明治34年	-3501-1 (1997.7)
第4巻	明治35年～明治39年	-3502-8 (1998.7)
第5巻	明治40年～大正元年	-3503-5 (1999.7)
第6巻	大正2年～大正6年	-3504-2 (2000.3)
第7巻	大正7年～大正11年	-3505-9 (2001.5)
第8巻	大正12年～昭和3年	-3506-6 (2002.3)
第9巻	昭和4年～昭和10年	-3507-3 (2003.5)
第10巻	昭和11年～昭和17年	-3508-0 (2004.3)
別巻	昭和18年～昭和22年・補遺・索引	-3509-7 (2005.3)

名古屋独特の演目の他、大小の劇場で行われた様々な演劇興行記録と、東京・上方の情報を含む各種劇界記事や、東西の役者の来名の経緯を丹念に収録。周辺地域の情報を月毎にまとめ名古屋文化圏全体の芸能情報を満載。

近代歌舞伎年表

名古屋篇 (全17巻+別巻)

(2007.3 ~)

ISBN978-4-8406-9234-2

B5判 上製 函入 各巻本体①～⑨18,000円

⑩～⑭19,000円

⑮16,000円

⑯19,000円

⑰予価19,000円



第1巻	明治元年～明治20年	-9235-9 (2007.3)
第2巻	明治21年～明治26年	-9236-6 (2008.3)
第3巻	明治27年～明治31年	-9237-3 (2009.3)
第4巻	明治32年～明治35年	-9238-0 (2010.3)
第5巻	明治36年～明治40年	-9239-7 (2011.3)
第6巻	明治41年～明治43年	-9240-3 (2012.3)
第7巻	明治44年～明治45年(大正元)	-9241-0 (2013.3)
第8巻	大正2年～大正3年	-9242-7 (2014.3)
第9巻	大正4年～大正5年	-9243-4 (2015.3)
第10巻	大正6年～大正7年	-9244-1 (2016.3)
第11巻	大正8年～大正9年	-9245-8 (2017.3)
第12巻	大正10年～大正11年	-9246-5 (2018.3)
第13巻	大正12年～大正13年	-9247-2 (2019.3)
第14巻	大正14年～大正15年(昭和元)	-9248-9 (2020.3)
第15巻	昭和2年～昭和6年	-9249-6 (2021.3)
第16巻	昭和7年～昭和13年	-9250-2 (2022.3)
第17巻	昭和14年～昭和22年	-9251-9 (2023.6予定)
別巻	索引他	-9252-6 (2025予定)

【単行本 ◆ 演劇】

大橋正叔著

近松浄瑠璃の成立

ちかまつじょうるりのせいりつ

ISBN978-4-8406-9768-2

A5判 440頁 本体11,000円



天理図書館の豊富な蔵書に接した著者が、浄瑠璃本の出版過程に於ける近松の関わりから、座付作者としての近松論を構築。近松門左衛門自筆とみられる著者所蔵の新出資料『国性爺大明丸』序文ほか、近世演劇史の画期を示す重要資料を影印・翻刻にて紹介する。(2019.6)

大橋正叔著

近世演劇の享受と出版

きんせいえんげきのきょうじゅとしゅつばん

ISBN978-4-8406-9769-9

A5判 448頁 本体11,000円



新たな検証による従前説の訂正を迫る「浄瑠璃史における貞享二年」や近世文学・演劇についての文学史的な視座からの刺激的な論文を収録。加えて稀覯な資料を翻刻にて紹介。第1部「浄瑠璃の享受」8編、第2部「浄瑠璃本の出版」4編、第3部「出版と読者」4編、資料紹介4点、コラム2編。(2019.12)

漆崎まり著 原道生監修

江戸歌舞伎長唄成立史

えどかぶきながうたせいりつし

ISBN978-4-8406-9767-5

A5判 312頁 本体15,000円



音楽から見たもう一つの歌舞伎史の誕生。7,000点におよぶ長唄正本調査から、江戸歌舞伎の音曲を代表する長唄の成立過程を明らかにした。そこには坂田藤十郎の甥である坂田兵四郎の発見がある。当時は演者ばかりではなく役者も唄って舞台上がったりしていたことなど興味深い事実を論考する。(2019.6)

武井協三著

歌舞伎とはいかなる演劇か

かぶきとはいかなるえんげきか

ISBN978-4-8406-9762-0

A5判 336頁 本体8,800円【残部僅少】



かぶき者・当代性・断片性・好色性・饗宴性・女方・見立て七つの視点から歌舞伎の本質に迫る。110余点の絵画資料から、初期歌舞伎の演技・演出の実態に肉迫。高度な学問的成果が、平易な語り口によって解き明かされ、歌舞伎の歌舞伎たる所以が解明される。(2017.6)

法月敏彦著

演劇研究の核心 人形浄瑠璃・歌舞伎から現代演劇

えんげきけんきゅうのかくしん

ISBN978-4-8406-9763-7

A5判 378頁 本体9,800円



舞い踊り謡い語ることは、人間のもつ本性であり、地域・時代によって様々なバリエーションをもつ。それらに通底する共通項は、《観客の感動》に他ならない。本書はその本質探求を志向した著者の長年の研究成果!(2017.8)

原道生著

〔OD版〕近松浄瑠璃の作劇法

ちかまつじょうるりのさくげきほう

ISBN978-4-8406-3634-6

A5判 728頁 本体22,000円



【角川源義賞・日本演劇学会河竹賞受賞】近世文学研究の泰斗である著者の代表論文「大戦冠ノート」ほか、最新研究動向を反映した「近松」論24編と、学問的蓄積に裏打ちされた11編のコラムを収録した、待望の初論文集!。現代でも度々上演される近松悲劇のドラマツルギーを究明!(2013.11)

加納克己著

〔OD版〕日本操り人形史 形態変遷・操法技術史

にほんあやつりにんぎょうし

ISBN978-4-8406-3648-3

B5判 880頁 本体50,000円



【林屋辰三郎芸能史研究奨励賞受賞】古代遺跡出土の木偶から、近世遺跡出土の操り人形を経て、現代に遺る800カ所の各地人形座の「かしら」を可能な限り実見。変遷を形態と操法の2側面から著者撮影による貴重な「かしら」写真約900点、操法解説図版を多数使用してビジュアルに記述。(2007.6)

早稲田大学演劇博物館編 赤間亮著

図説江戸の演劇書 歌舞伎篇

えどのえんげきしょ

ISBN4-8406-9637-3

B5判 240頁 本体5,800円【美品なし】



貴重書調査ハンドブック誕生! 早稲田大学演劇博物館所蔵の演劇書を厳選、270点を超える図版で具体的に例示し、江戸時代の歌舞伎のある演目、ある興行の記録を調べるのに、どのような種類の資料があり、それらはどのような関係にあるのかを手軽に把握できる。(2003.2)

安田富貴子著

古浄瑠璃 太夫の受領とその時代

こじょうるり

ISBN4-8406-9609-8

A5判 456頁 本体9,800円



朝廷より受領号を受け、天下一を名乗ろうとする太夫の動向と時代について詳論。浄瑠璃太夫の受領に関して膨大な資料捜査に裏付けられた堅実な調査・研究は著者の独断場。併載資料として諸職受領関係年表、資料翻刻としてハーバード・エンチン図書館蔵『阿部鬼若丸』・『だうけわだ』を巻末に収録。(1998.2)

土田衛著

考証元禄歌舞伎 様式と展開

こうしょうげんろくかぶき

ISBN4-8406-9601-2

A5判 424頁 本体9,515円【残部僅少】



近世演劇研究に不可欠な資料公刊を手がけてきた著者が膨大な資料を丹念に分析し、事実を積上げることで考証した元禄期の上の方歌舞伎論考15篇を収録。元禄歌舞伎の指針を示した講演記録「歌舞伎の台帳」「『金子一高日記』より」、著者所蔵資料「役者ほめ言葉六種」「並木正三冥途旅立」を翻刻。(1996.6)

信多純一編

赤木文庫 古浄瑠璃稀本集 影印と解題

あかぎぶんこ こじょうるりきほんしゅう

ISBN4-8406-9098-7

A5判 656頁 本体19,223円



義太夫節以前に成立した浄瑠璃節諸流派の総称としての古浄瑠璃は、活気ある舞台芸能として発展した。その語り・音曲・人形操りを融合した近世庶民芸能発展期の様相を残す故横山重氏の赤木文庫貴重書コレクションに残る。その豊かな挿絵と節章を精確に再現。載書目全ての書誌、詳細な解題を付す。(1995.5)

鳥越文蔵著

元禄歌舞伎 攷

げんろくかぶきこう

ISBN4-8406-9081-2

A5判 480頁 本体8,544円



【平成3年度芸術選奨「文部大臣賞」受賞】評判記、年表等公刊の仕事に主導的に参画し絵入狂言本・役者評判記の研究等、学界に刺激と示唆を投げかけてきた著者初論文集。入手困難なものを含む20余篇の論文は堅実で実証性に富み、学界で評価の高いもの。元禄期の歌舞伎研究の新視点と確固たる基盤を築く。(1991.10)

雲形本研究会編

一子相伝之秘書

いっしそうでんのひしょ

ISBN4-8406-9614-4

B5判 256頁 本体9,000円



尾張藩お抱え和泉流14世七代山脇元業が、代々の演技や心得・舞台の設え・京都御所での舞台記録・狂言全般に関する秘伝をまとめた書。全文を原寸の影印版で初公開。巻末には書誌・伝書の内容・大蔵流「わらんべ草」との比較・山脇元業に関する詳細な解題を付す。(1998.6)

発行：Hotei Publishing Erika De Poorter著

世阿弥の能楽 (Japonica Neerlandica 2)

ぜあみののうがく

ISBN90-74822-47-9

A5判 304頁 本体13,000円【残部僅少】



【原題】ZEAMI'S TALKS ON SARUGAKU
世阿弥の能楽理論「申楽談儀」を中心に世阿弥に関する事と息子元能に言及。本文英文。参考文献一覧・索引付。【目次】第一章 14・15世紀前半の猿楽・田楽の起源／第二章 世阿弥の人生／第三章 世阿弥の能楽理論／第四章 作家元能／第五章 申楽談儀 (2002)

鳥越文蔵編著

〔OD版〕歌舞伎の狂言の言語表現

かぶきのきょうげん げんごひょうげんのついきゅう

ISBN978-4-8406-3601-8

A5判 480頁 本体15,000円



歌舞伎を中心として、浄瑠璃、能、民俗芸能など多岐にわたる演劇に底流する言語による表現を探る。踊り=肉体表現に對置すべき、セリフ=言語表現の流れを追った意欲的論文14篇を収める。新発見！近松門左衛門を描く日記併録。(2015.11)

松崎仁著

〔OD版〕歌舞伎 浄瑠璃 ことば

かぶき じょうるり ことば

ISBN978-4-8406-3602-5

A5判 416頁 本体13,000円



第一部に「男だて狂言」の成立過程や最期物語の分析変遷と「家の芸」の成立過程の考察など歌舞伎の実態に迫る論考。第二部は歌舞伎・浄瑠璃をめぐる年中行事や芸能の研究。第三部は人形浄瑠璃の形成論と作品論を展開。第四部には、歌舞伎の評判記や脚本の言葉を採り上げた近世語彙研究の論文を収録。(2015.11)

武井協三著

〔OD版〕若衆歌舞伎・野郎歌舞伎の研究

わかしゅうかぶき やろうかぶきのけんきゅう

ISBN978-4-8406-3603-2

A5判 548頁 本体17,000円



堅牢・緻密な考証で歌舞伎史の暗部にいま光があたる。お国歌舞伎と元禄歌舞伎の狭間で今まであまり省みられなかった歌舞伎史の暗部を、著者が堅牢にして緻密に考証する。図版80点・索引。新出『弘前藩庁日記』を精査に調査して演劇関連記事を抽出。影印・翻刻・索引を付して紹介。(2015.11)

【単行本 ◆ 美術】

東京美術倶楽部編

市井展の全貌 東京における百貨店・
画商の日本画展観 (戦後編)

しせいてんのぜんぼう せんごへん

ISBN978-4-8406-7016-6

A4判 738頁 本体25,000円



戦前篇に続き、東京を中心とした百貨店・画廊（35店）が開催した市井展（1,300余展）の、名称・会期・会場・出品作品および作家名を収録し、主な作品の図版約3,800点を掲載。市井展開催時の雑誌などに掲載された時評・講評などの参考文献の出典を示す。巻末には、作家別掲載図版一覧を収録。（2015.7）

発行：Hotei Publishing Nicole Coolidge Rousmaniere著

輪廻転生の日本美術 (Hotei Academic 1)

りんねてんせいのにほんびじゅつ

ISBN90-74822-44-4 【残部僅少】

252×175mm 176頁 本体12,000円



【原題】Births and Rebirths in Japanese Art

5人の日本研究者による論文を豊富な図版を交え掲載。幅広いトピックを扱うが、時代や国が異なる美術が相互にどのように影響し、また関連しているのかを論証。英セインズベリー協会の発足を記念して行なわれた講演発表に基づく。本文英文。（2002）

発行：Hotei Publishing(1999年) Amy Reigle Newland著

「忘れられた名匠」豊原国周

わすれられためいしょう とよはらくにちか

ISBN90-74822-11-8

285×285mm 176頁 本体12,000円



【原題】Time present and time past Images of a forgotten master Toyohara Kunitaka

最後の浮世絵師、豊原国周（1835-1900）について東西の資料を駆使し数奇な人生を浮き彫りに。160点以上のイラストから国周の大胆な構想力を再現。膨大な参考資料一覧表等を付す。本文英文。（2000.12）

【単行本 ◆ 書誌】

* [OD版] = オンデマンド版 (受注生産) 並製・カバー装

(元版) 鈴木徳三編 (増訂版) 柴田光彦・雲英末雄協力
増訂版 弘文荘待賈古書目総索引

こうぶんそうたいかこしょもくそうさくいん

ISBN4-8406-0014-7

B5判 640頁 本体30,000円



故反町茂雄の古書肆弘文荘の古書販売目録「弘文荘待賈古書目」55冊の和書を索引化した元版に、洋書及び弘文荘の出品が確認された古典会の目録等20冊分約6,000点を増補。3万点を扱ったという反町氏の言に迫る約2万点の古典籍取り扱い記録。DVD版・Web版弘文荘待賈古書目を使いやすくする。(1998.12)

反町茂雄編

紙魚の昔がたり 明治・大正篇

しみのむかしがたり めいじ・たいしょうへん

ISBN4-8406-9078-2

A5判 672頁 本体6,602円



日本の書物が急転した明治初年以來、革命的に転変する古書業界を生き抜いた故老14人が語る秘話集。古書の無視・軽視と、新書の急増産とが共存した明治時代と、両者の評価が一応の均衡を取り戻して、次の躍進時代「昭和」を準備する大正時代の14人の証言集。日本近代文化の一断面を語る好読物。(1990.1)

反町茂雄編

[OD版] **紙魚の昔がたり 昭和篇**

しみのむかしがたり しょうわへん

ISBN978-4-8406-3463-2

A5判 704頁 本体12,000円



弘文荘主反町茂雄等が12人の古書店主から聞き出した古書業界の激動史。柏林社・古屋幸太郎、村口書房・村口四郎、井上書店・井上周一郎、一誠堂書店・酒井字吉、丸善本の図書館・八木佐吉をはじめとする各氏秘蔵の話は、貴重な古典籍移動の文化史であるとともに、立志伝的な魅力に溢れる。(1987.2)

反町茂雄著

蒐書家 業界 業界人

しゅうしょか ぎょうかい ぎょうかいじん

ISBN4-8406-9067-7

A5判 404頁 本体4,466円



古典籍の激しい流動移転の姿を人と価格の両面からとらえたエッセー集。第一部はE.サトー、チェンバレン、安田善次郎、F.ホーレー等を取り扱い原資料を基に描写。第二部は名家の大売立会の状況記録と市会・価格の歴史。第三部は昭和の特色ある業界人11人を活写。暖かい筆、達意の文、著者反町茂雄ならではの。(1984.6)

反町茂雄著

[OD版] **定本 天理図書館の善本稀書**

ていほん てんりとしょかんのぜんぽんきしょ

ISBN978-4-8406-3632-2

B6判 552頁 本体4,000円



貴重書の宝庫として世界的に有名な天理図書館の蒐集秘話集。戦後混乱期に諸名家から放出された国宝・重文級の古書・珍書の流転・定着の過程を、古書肆が偽らず飾らず、正確かつ軽妙に記述して、一気に読了させる。空前の大コレクション天理教真柱中山正善氏の苦心と努力とが公正・克明に描写される。(1987.4)

反町茂雄著

日本の古典籍 その面白さ その尊さ

にほんのこてんせき

ISBN4-8406-9065-0

A5判 532頁 本体5,146円



文化遺産としての日本の古典籍は、世界でも第一級に属するという見解を出発点としたユニークな書物エッセー集。著者の過去50年にわたる莫大な貴書・稀観本の集散経験と15、6回に及ぶ欧米の大図書館・第一流古書肆への歴訪・調査を背景として、具体性・実証性に富み、受け売り・空論・独断とは無縁の書。(1984.4)

山本信吉著

古典籍が語る 書物の文化史

こてんせきががたる しょもつのぶんかし

ISBN4-8406-0044-9

A5判 304頁 本体3,600円



国宝・重要文化財などの文化財指定に長年従事した古典籍調査の達人が本の見方を伝える。「なぜ古典籍は今日まで残ったのか?」「本の姿一装幀の違いにはどのような意味がこめられているか?」等々、古典籍に関わる諸事項を独自の切り口で語り尽くす。「奥書」について40頁にわたり詳述。(2004.11)

穴倉佐敏編著

必携 古典籍古文書料紙事典

ひっけい こてんせきこもんじょりょうしじてん

ISBN978-4-8406-2072-7

A5判 472頁 本体10,000円



製法から調査法まで料紙調査のプロの技を伝授! 古代から近世まで、古典籍・古文書・経典・紙幣等、あらゆる料紙について具体的な調査方法と成果を紹介。算目測定帳、繊維判定用和紙見本帳など別冊で付録。歴史学・国文学・書誌学・保存科学・書道史・仏教史等の専門家19名がコラムを寄稿。図版多数。(2011.7)

中野三敏監修 高杉志緒・宮崎克則編

シーボルト蒐集和書目録

しーぼるとしゅうしゅうわしよもくろく

ISBN978-4-8406-0049-1

B5判 416頁 本体20,000円



ドイツの医師・博物学者シーボルトがオランダのライデンで刊行した蒐集和書目録(ラテン語)を初めて全文和訳紹介。ライデン大学図書館およびライデン国立民族学博物館に現存する目録掲載書の図版約400点を掲載。他に伝存をみない書目も多く、初の和訳と図版紹介により多分野に関わる研究の便に供する。(2015.3)

渡辺憲司・市古夏生・揖斐高・木越治・
小峯和明・沢井耐三・スミエ. ジョーンズ編
米国議会
図書館蔵

日本古典籍目録

ISBN4-8406-0017-1
B5判 602頁 本体35,000円



【英題】Catalog of Japanese Rare Books in the Library of Congress 朝河貫一収集図書および旧日本陸軍士官学校蔵書を中心とした約12,000冊4,800点の分類目録。貴重書及び美術関係の絵本類を含み、日本文化の全容を窺う。特に延宝3年の書籍目録や役者日記、選択本願念仏集など従来未見の多数の新資料収集。(2003.2)

天理図書館編

古義堂文庫目録 復刻版

こぎどうぶんこもくろく
ISBN4-8406-0045-7
B5判 428頁 本体20,000円



待望復刊。江戸時代前期の独創的儒学者、仁斎を祖とする伊藤家累代の著述資料・旧蔵書の大コレクションを網羅した目録。和漢の思想・歴史・文学・書誌学等々、広範な分野に関わる約5,500点10,000冊を収録。「伊藤家著述資料之部」は中村幸彦による詳細な書誌の記述で必読文献。(2005.11)

近代

*〔OD版〕=オンデマンド版(受注生産)並製・カバー装

倉敷市編著

倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 作家篇

すすきだきゆうきんあてしよかんしゆう さっかへん
ISBN978-4-8406-9678-4
A5判 250頁 本体9,800円



『暮笛集』などの近代詩人として著名な薄田泣菫。彼宛の書簡1700通のうち、作家38名から寄せられた178通を、作家毎の年代順に収録。「大阪毎日新聞」学芸部に勤めていた関係で、作品掲載までの経緯の様々な経緯が数多く記され、近代文学研究に欠かすことが出来ない貴重な文献資料といえる。(2014.3)

倉敷市編著

倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 詩歌人篇

すすきだきゆうきんあてしよかんしゆう しいかじんへん
ISBN978-4-8406-9677-7
A5判 272頁 本体9,800円



作家篇に続く第2弾。藤村・与謝野夫妻・白秋など30人の詩歌人の書簡、187通を収録(内161通は初公開)。近代詩黎明期の大詩人の詩壇での実態が明らかに！作家篇同様に、封書・葉書の種別、住所・消印など、書簡に記された全ての情報を含む正確な翻刻を施し、読みやすい注、解説を付した。(2015.3)

倉敷市編著

倉敷市蔵 薄田泣菫宛書簡集 文化人篇

すすきだきゆうきんあてしよかんしゆう ぶんかじんへん
ISBN978-4-8406-9696-8
A5判 272頁 本体9,800円



204通収録のうち174通は初公開の資料。洋画家：満谷国四郎・中澤弘光や「新著月刊」以来の宙外・抱月との交友、『暮笛集』刊行に際しての金尾文淵堂：金尾種次郎からの問い合わせの書簡などから、明治の出版界では実務を担う人々の交友関係が具体的に読み取れ興味深い。文庫所蔵書簡目録などを併載。(2016.3)

太田登著

啄木 我を愛する歌 発想と表現

たくぼく われをあいするうた
ISBN978-4-8406-9772-9
A5判 392頁 本体4,500円



啄木研究50年の集大成となる新たな評釈！これまでの『一握の砂』の鑑賞・評釈を新たな視座で再検討し、歌集の主題を形成する「我を愛する歌」151首を評釈、1首ごとの発想と表現から、文学テキストとしての構造を解明する。巻末に索引3種(啄木短歌索引/詩歌作家別索引/人名・事項等索引)を収録。(2022.12)

太田登著

〔OD版〕啄木短歌論考 抒情の軌跡

たくぼくたんかろんこう じょじょうのきせき
ISBN978-4-8406-3600-1
A5判 280頁 本体9,000円



「一握の砂」「悲しき玩具」を中心に、「うた」を背負い続けた啄木という抒情主体に迫る。啄木短歌の全貌をとらえ、その卓抜した魅力を追究。数々の謎を精緻に論究し、新しい啄木像を構築する力篇。引用短歌索引(2015.11)

太田登著

与謝野寛晶子論考 寛の才気・晶子の天分

よさのひろしあきころんこう
ISBN978-4-8406-9688-3
A5判 280頁 本体3,800円



短歌革新の旗手・与謝野鉄幹が、歌人・晶子をどのようにして「明星」の歌姫として登場させたのか。その編集者としての才気と、それによって開花した晶子の表現者としての天分との〈相聞〉の内実を論証。また、詩歌の天才というだけではとらえきれない、女性表現者としての晶子の軌跡も丹念に考察。(2013.5)

太田登著

日本近代短歌史の構築 晶子・啄木・八一・茂吉・佐々雄

にほんきんだいたんかしのこうちく
ISBN4-8406-9034-0
A5判 492頁 本体7,800円【美品なし】



歌壇や結社の動向を中心に、流派による偏見や独断に偏向していた従来の短歌史から離れ、客観的・学術的な近代文学研究の視点から重要な歌集・歌人の内実を読み解く。新しい表現論的視点による考察から啄木を分水嶺とする近代短歌の成立および現代短歌の起点を明確にした。(2006.4)

逸見久美著

新版評伝 与謝野寛晶子 明治篇

しんばんひょうでんよさのひろしあきこ めいじへん
ISBN978-4-8406-9035-5
A5判 768頁 本体12,000円



与謝野研究の第一人者が博搜し収集した新発見書簡と鉄幹・晶子全集の編集で培った研究成果を取り入れた与謝野夫妻評伝の決定版。日記を残さなかった寛・晶子の生涯を、具体的な作品や書簡資料を活用して描く。(2007.8)

逸見久美著

新版評伝 与謝野寛晶子 大正篇

しんばんひょうでんよさのひろしあきこ たいしょうへん
ISBN978-4-8406-9036-2
A5判 512頁 本体12,000円



大正篇では、晶子が寛に会いに渡欧するくだりから説きおこす。毎年のように子を生き続けながら、歌集や評論や古典訳など、幅広いジャンルの作品をつぎつぎと生み出していった晶子と、それを蔭で支えた寛。与謝野夫妻が家族と歩んだ激動の大正時代をいきいきと描きだす。(2009.8)

逸見久美著

新版評伝与謝野寛晶子昭和篇

しんばんひょうでんよさのひろしあきこ しょうわへん

ISBN978-4-8406-9037-9

A5判 640頁 本体12,000円



寛との死別を乗り越え、再度挑戦し完成させた源氏物語の現代語訳、そして晶子没年までを収録。ほかに年譜、明治・大正篇との総合索引を付す。

(2012.8)

逸見久美著

〔OD版〕新みだれ髪全釈

しんみだれがみぜんしゃく

ISBN978-4-8406-3457-1

A5判 424頁 本体8,000円



明治34年8月15日、鳳晶子（のち与謝野）として初めて晶子が世に出した歌集『みだれ髪』。その初版収録399首の全歌を、当時の関係者の資料調査・発掘を重ねた上で評訳。晶子研究の第一人者である著者が、作歌当時の晶子の背景や、『みだれ髪』全体にちりばめられた歌の配列に存する思いを考証。

(1996.6)

逸見久美著

〔OD版〕小扇全釈

こおうぎぜんしゃく

ISBN978-4-8406-3455-7

A5判 306頁 本体8,000円



『みだれ髪』に続く与謝野晶子の第二歌集『小扇』に収録された全259首を、製作年月日順に配列し評訳。結婚、出産という一大転機を背景にした『小扇』は、作歌態度、内容ともに『みだれ髪』とは大きな変化を見せている。本書によって初めてその全歌が評訳され、晶子短歌の魅力がさらに解明される。

(1988.11)

逸見久美著

〔OD版〕むらさき全釈

むらさきぜんしゃく

ISBN978-4-8406-3456-4

A5判 356頁 本体8,000円



与謝野鉄幹の第四詩歌集として、また浪漫主義詩歌の代表として『みだれ髪』と並称される『むらさき』全310首の短歌と十編の詩全てを評訳。初出掲載順に再配列することにより、初期の鉄幹の丈夫調から、手弱女ぶりへの移行経過を的確にとらえることとなった。各句索引、発表歌出典一覧等を付す。

(1985.4)

逸見久美著

夢之華全釈

ゆめのはなぜんしゃく

ISBN4-8406-9095-2

A5判 312頁 本体5,631円



明治39年9月5日、金尾文淵堂刊の第六歌集。結婚後の心情を赤裸々に奔放に詠んだ歌集として再評価されている。明治38年11月から同39年8月までに発表された307首（内初出判明歌287首）を初出年代順に配列。付篇として全歌・各句索引・掲載歌出典一覧を併載。研究者のみならず歌人必読の書。

(1994.7)

千葉眞郎著

石橋忍月研究 評伝と考証

いしばしにんげつけんきゅう

ISBN4-8406-9033-2

A5判 674頁 本体13,500円



日本近代文学の黎明期に逍遙・二葉亭・鷗外の作品をドイツ文学の手法で評論し文学研究の素地を確立、紅葉・露伴の真価を世に知らしめた忍月の生涯にわたる初の研究書。忍月の三男で文芸評論家の故山本健吉氏所蔵資料を探索して実証的に忍月像を描き、明治大正期における文学と人間の生き方を明らかに。

(2006.2)

池内輝雄編著

時事新報目録 文芸篇 大正期

じじしんぼうもくろく ぶんげいへん たいしょうき

ISBN4-8406-0043-0

A5判 526頁 本体25,000円



明治45年1月～昭和元年12月までの時事新報紙面から、文芸を中心とした美術・演劇・音楽・出版等の文化記事のタイトル、執筆者名を採録。細目にはタイトルからは分からない内容を補い、読める目録とした。執筆者名索引と、記事に取り上げられた人・事項を引く内容索引を収録。

(2004.12)

小田切進編

昭和文学論考 マチとムラと

しょうわぶんがくろんこう

ISBN4-8406-9079-0

A5判 526頁 本体5,631円【残部僅少】



およそ関東大震災から終戦までの文学は、明治以来の文豪、藤村・秋声・荷風らと、新しい文学の開拓者たる利一・康成・辰雄などが華々しく活躍した日本文学史上空前の豊饒の時代と言える。それら重要作品を「マチとムラと」という新視点からの読みを提示。本格的な昭和文学・文学史研究の読みを探る。

(1990.4)

木村毅著

比較文学新視界

ひかくぶんがくしんしかい

ISBN4-8406-9059-6

A5判 554頁 本体6,300円



上篇では、啄木の歌を学生との共同英訳により読者を比較文学の世界に誘いこむ。中篇では、遠いヨーロッパ文学の古代から近世に涉って任意に題目を選び、また、比較芸術の一端にも触れる。下篇では、明治文学と西洋文学の交流融合に関して考証して、文学の多面にわたる面白さに開眼させられる力作。

(1975.10)

永井荷風著 吉田精一・小門勝二解説

詩稿偏奇館吟草

しこう へんきかんぎんそう

ISBN4-8406-9031-6 帙入・桐箱入

コロナタイプ印刷 完全複製本 本体10,000円



「齒に衣をかぶせぬ本音が、荷風の素顔を鏡に映したように表白されている」と言われる永井荷風の詩集「偏奇館吟草」の自筆草稿の複製本。「絶望」「からす」「震災」など、真情を吐露したすぐれた作品を含み、孤独地獄に自ら身を投げた荷風が、一貫して己の行末を見据えて吟じた詩集。

(1968.5)

飛鳥井雅道著

日本プロレタリア文学史論

にほんぷろれたりあぶんがくしろん

ISBN4-8406-9015-4

A5判 244頁 本体2,500円【残部僅少】



【近代文学研究双書】大正から第二次大戦期までのプロレタリア文学の問題提示と仮説提出、その検証にむけた7編を収録。「文学の自律性」から語られるプロレタリア文学研究に一石を投じ、作家と作品をその運動の軌跡に密着して述べる。プロレタリア文学運動が日本近代に於ける青春の燃焼の歴史として顕れる。(1982.11)

相馬庸郎著

日本自然主義再考

にほんしぜんしゅぎさいこう

ISBN4-8406-9014-6

A5判 360頁 本体2,800円



【近代文学研究双書】日本近代文学の最初の成熟期たる自然主義文学に柔軟精緻な照明をあて、先行研究を実証的に踏まえながら、作品論と作家論の分野で新たな視角や評価の提出を試みる。あわせて日本自然主義につき新史論を書きおろすとともに、研究史の問題点や方法論についても考察。(1981.12)

満田郁夫著

増訂 中野重治論

なかのしげはるろん

ISBN4-8406-9013-8

A5判 304頁 本体2,500円【残部僅少】



【近代文学研究双書】中野重治における「転向」とは何か？ 幼年期から転向に至るまでの体験を描いた主要作品『梨の花』『甲乙丙丁』などの作品に現れた主人公により、重治の新たな内的年譜を展開し本質に迫る。綿密執拗な検討、調査による中野重治研究の代表的な書の一つ。(1981.4)

早川雅之著

伊藤整論

いとうせいろん

ISBN4-8406-9011-1

A5判 386頁 本体2,500円【残部僅少】



【近代文学研究双書】伊藤整が散文世界へむかう過程とその文体獲得への試行を新心理主義文学理論の展開を吟味しつつ追求。緻密な論理を駆使して克明な実証と分析を試み、激動の昭和文学史にすぐれた手法と批評精神を導入し、不滅の芸術的境地を開拓した伊藤整の全貌をとらえている。(1975.5)

小田切秀雄著

増補 北村透谷論

きたむらとうこくろん

ISBN4-8406-9006-5

A5判 330頁 本体2,500円【残部僅少】



【近代文学研究双書】激しい闘いを通して日本の近代文学・近代思想の根幹を形成した透谷研究の第一人者の集大成。戦時下の先駆的な論文から、最近の長大な論争文を含む力作を系統的に集載。半世紀前の透谷が、今日の現代文学・思想に対する根源的な批判者として登場してくる。(1970.4)

相馬庸郎著

日本自然主義論

にほんしぜんしゅぎろん

ISBN4-8406-9004-9

A5判 290頁 本体2,500円【残部僅少】



【近代文学研究双書】新鮮な視角と精緻な実証資料をもってわが国自然主義の「象徴派」的性格の発掘を始め、同時代の柳田国男や木下尚江等の業績を考量して幅広い視野を提示するなど、従来見落されてきた角度から改めて日本自然主義の実態を解明する。(1970.1)

発行：日本近代文学館（1975年）

風雲集

ふううんしゅう

ISBN4-8406-8033-7

A5判 332頁 本体4,500円



【近代文学研究資料叢書】島村抱月・後藤宙外・伊原青々園の早稲田文学系3氏の合著という形で、明治33年4月、春陽堂から刊行、雑誌「早稲田文学」などを中心に発表された論文・史伝・諷刺文の類を集め、1巻を雪・月・花の3部として各人が数篇を載せる。明治20年代末頃の文学界の状態を知る貴重な資料。(2004.9)

発行：日本近代文学館（1983年）

国民文学欄

こくみんぶんがくらん

ISBN4-8406-8034-5

B5判 888頁 本体28,000円



【近代文学研究資料叢書】明治41年10月から明治45年7月までの「国民新聞」から「国民文学欄」を抜粋。流派にとらわれない公平さと「社会と文芸との接触」に意を用いた編集で好評を博し、ジャンルは評論、文壇時評、文学者の談話、劇評、美術評、海外文学の紹介、アンケートなど多彩。(2004.9)

日本近代文学館編

近代文学草稿・原稿研究事典

きんだいぶんがくそうこうげんこうけんきゅうじてん

ISBN978-4-8406-9690-6

A5判 416頁 本体12,000円



創作時に於ける作家の状況を解読するための必携の事典。作家の原稿に接する楽しさ、原稿用紙・筆記用具の変遷、原稿から印刷出版に於ける様々な過程、代作・検閲などの実態などについての論考を掲載。さらに65人の作家の原稿の残存状況、所蔵機関、使用原稿用紙の変遷と、多数の原稿図版を掲出。(2015.2)

浅井清・市古夏生監修／作家の原稿料刊行会編著

作家の原稿料

さつかのげんこうりょう

ISBN978-4-8406-9760-6

A5判 460頁 本体9,000円



近代から現代まで作家の収入は、どのように変遷したのか？ 馬琴・福沢諭吉・逍遙・泡鳴・荷風・谷崎・犀星・風太郎などの日記・書簡を中心とした各種文献資料から、作家の「報酬」に関係する記述を博捜し、関連することがらを簡略にまとめた読める年表。巻末に出典一覧・索引を付した。(2015.2)

監修：片山宏行・山口政幸 編集：若松伸哉・掛野剛史

〔OD版〕菊池寛現代通俗小説事典

きくちかんげんだいつうぞくしょうせつじてん

ISBN978-4-8406-3647-6

A5判 460頁 本体13,500円



近年ようやく出版・演劇・映画・風俗などの各方面から菊池寛に注目が集まる中、その現代通俗小説全46作品を、登場人物相関図・あらすじ・キーワード・解説・ビジュアル資料という5つの項目から多角的に考察。日本近代文学史のミッシングリンクの解明！メディア戦略・大衆読者の形成・物語の復権 (2016.7)

発行：日本近代文学館 (1983年)

日本からの手紙

にほんからのてがみ

ISBN4-8406-8032-9

A5判 290頁 本体9,800円



〔近代文学研究資料叢書〕ドイツ留学中の森鷗外に宛てた日本の家族・友人・知人からの書簡集。日本近代文学館に収蔵されているものを翻刻刊行。書簡数は121通、期間は明治19(1886)年6月から明治21(1888)年5月まで。明治文学・文化史の資料として興味深い。(2004.9)

発行：日本近代文学館 (1972年)

未発表書簡集

みはっぴょうしょかんしゅう

ISBN4-8406-8035-3

A5判 306頁 本体3,800円



〔近代文学研究資料叢書〕鷗外篇は森田思軒・佐佐木信綱・饗庭篁村・田村俊子等宛51通。漱石篇は池辺三山、坂元雪鳥等宛の一級書簡8通。露風篇は内海信之宛116通で詩人の内面告白であるとともに、明治30、40年代の詩壇・文壇の情報を伝える貴重資料。書簡中の人名、作品名、誌名等の索引を附す。(2004.9)

〔機関向け電子書籍サービス配信中！〕

2017年8月現在、小社は2つの機関向け電子書籍プラットフォームに以下のコンテンツを提供中です。インターネット環境とWebブラウザさえあれば、いつでもどこでもアクセスし全文検索が可能に。詳細はそれぞれのウェブサイトをご覧ください。

★配信：紀伊國屋書店

NetLibrary(EBSCO eBooks)

<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>

★配信：丸善雄松堂

Maruzen eBook Library

http://kw.maruzen.co.jp/ln/ebf/ebf_01.html

徳田秋聲全集

全3期42巻+別巻1

NetLibrary版：1アクセス

MeL版：1アクセス

本体753,452円(分売可)

本体695,500円(分売可)

書籍版『徳田秋聲全集』(2006年刊)全巻を収録。

【分売】各巻本体17,441円、別巻のみ本体20,930円

第1期 小説(全18巻)

第2期 随筆・評論他(全12巻)

第3期 長篇小説+別巻(全12巻+別巻)

石橋忍月全集

全4巻+補巻1

NetLibrary版：1アクセス

MeL版：1アクセス

書籍OD版：本体100,000円

本体139,530円(分売可)

本体129,000円(分売可)

書籍版『石橋忍月全集』(1995年刊)全巻を収録。

【分売】各巻本体27,906円

第1巻 小説I(単行本収録作品)

第2巻 小説II・訳詩俳句他

第3巻 評論 / 第4巻 雑纂 / 補巻



近松秋江全集

全13巻

NetLibrary版：1アクセス

MeL版：1アクセス

書籍OD版：本体156,000円

本体226,733円(分売可)

本体209,300円(分売可)

書籍版『近松秋江全集』(1992年刊)全巻を収録。

【分売】各巻本体17,441円

第1巻 小説I / 第2巻 小説II / 第3巻 小説III

第4巻 小説IV / 第5巻 小説V / 第6巻 小説VI

第7巻 小説VII・随筆・紀行・小品

第8巻 歴史小説 / 第9巻 新編文壇無駄話I

第10巻 新編文壇無駄話II

第11巻 新編文壇無駄話III

第12巻 新編文壇無駄話IV・あんげーと

第13巻 書簡・初期作品・補遺



【全集】

徳田秋聲全集

とくだしゅうせいぜんしゅう

菊池寛賞・
出版梓会新聞社学芸文化賞
ダブル受賞！

今回、徳田家の全面的な協力を得て、本格的な『徳田秋聲全集』完結の運びとなりました。膨大な量の作品を収録するため、三期に分けましたが、小説を中心とした第一期に限っても、収録作品数はこれまでの全集の三倍近く、単行本未収録も予想を大きく上回る数になりました。それに加えて随筆・評論、翻訳、俳句、年少者向け作品などを収めた第二期、長篇小説、書簡などの第三期がつづき、鬱然たる徳田秋聲の全体像がいよいよ姿を現すことになったのです。日本の近代文学を問いなおそうとする本全集の企画の意図をお酌み取り下さり、ご支援をたまわりますよう、切にお願い申し上げます。



〔オンデマンド版〕
徳田秋聲全集
第一期 小説 (全18巻)
(1997.11 ~ 2000.9)

ISBN978-4-8406-3651-3
A5判 平均425頁、総7,636頁
揃本体252,000円
各巻本体14,000円



	(ISBN978-4-8406は省略しました)
第1巻	藪かうじ・尾崎紅葉補作品 -3534-9(1997.11)
第2巻	雲のゆくへ・後の恋 -3535-6(1999.7)
第3巻	驕慢児・春光 -3536-3(1999.9)
第4巻	前夫人・少華族 -3537-0(1999.11)
第5巻	夜航船・おのが縛 -3538-7(1998.5)
第6巻	奈落・凋落 -3539-4(2000.1)
第7巻	出産・新世帯 -3540-0(1998.7)
第8巻	我子の家・二十四五 -3541-7(2000.3)
第9巻	足跡・徽 -3542-4(1998.1)
第10巻	爛・あらくれ -3543-1(1998.9)
第11巻	奔流・彼女と少年 -3544-8(1998.3)
第12巻	或売笑婦の話・妹思ひ -3545-5(2000.5)
第13巻	何処まで・離るゝ心 -3546-2(1998.11)
第14巻	無駄道・乾いた唇 -3547-9(2000.7)
第15巻	風呂桶・元の枝へ -3548-6(1999.3)
第16巻	春来る・暗夜 -3549-3(1999.5)
第17巻	町の踊り場・仮装人物 -3550-9(1999.1)
第18巻	光を追うて・縮図 -3551-6(2000.9)

明治20年代から昭和18年まで常に日本近代文学の第一線でその根幹に位置した大文豪の全貌を初めて示す。収録作品数416点。

【編集委員】紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田澤基久・紅野謙介



徳田秋聲全集

第二期 随筆・評論他 (全12巻)

(2000.11 ~ 2002.9)

ISBN4-8406-9692-6

A5判 平均450頁、総5,400頁

揃本体117,600円

各巻本体9,800円



第19巻	随筆・評論 1	明治28年~大正3年	-9719-1(2000.11)
第20巻	随筆・評論 2	大正4年~大正14年	-9720-5(2001.1)
第21巻	随筆・評論 3	大正15年~昭和6年	-9721-3(2001.3)
第22巻	随筆・評論 4	昭和7年~昭和11年	-9722-1(2001.5)
第23巻	随筆・評論 5	昭和12年~歿後	付アンケート -9723-X(2001.7)
第24巻	入門書		-9724-8(2001.9)
第25巻	合評・座談会		-9725-6(2001.11)
第26巻	翻訳・翻案		-9726-4(2002.1)
第27巻	年少者向け作品・俳句		-9727-2(2002.3)
第28巻	小説拾遺 1		-9728-0(2002.5)
第29巻	小説拾遺 2		-9729-9(2002.7)
第30巻	小説拾遺 3		-9730-2(2002.9)

※分売ご希望の方は小社までご相談ください。

第二期収録作品中90%は単行本未収録。初期談話、文壇と文学者、作品論はもとより、都市日常生活、劇評・絵画評など、明治・大正・昭和三代の芸術家としての発言を初めて集成。随筆・評論巻(第19巻~第23巻)には人名・事項索引を付した。

【編集委員】紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田澤基久・紅野謙介・十文字隆行



徳田秋聲全集

第三期 長篇小説 (全12巻 +別巻)

(2002.11 ~ 2006.7)

ISBN4-8406-9693-4

A5判 平均380頁、総4,954頁

揃本体129,600円

各巻本体9,800円

別巻のみ本体12,000円



第31巻	秘めたる恋・結婚まで		-9731-0(2003.7)
第32巻	路傍の花		-9732-9(2003.9)
第33巻	闇の花		-9733-7(2003.11)
第34巻	断崖		-9734-5(2004.1)
第35巻	呪咀・萌出るもの		-9735-3(2004.3)
第36巻	誘惑・叛逆		-9736-1(2004.5)
第37巻	二つの道・蘇生		-9737-X(2004.7)
第38巻	灰燼・草は蔓る		-9738-8(2004.9)
第39巻	道は遠し・赤い花		-9739-6(2002.11)
第40巻	道尽きず		-9740-X(2003.3)
第41巻	黄昏の薔薇・心の勝利		-9741-8(2003.5)
第42巻	土に癒ゆる・月光曲・病める日輪		-9742-6(2003.1)
別巻	日記・補遺・書簡・著作目録・年譜・書誌・二日会記録・作品名索引		-9743-4(2006.7)

【セット販売】※分売ご希望の方は小社までご相談ください。

明治・大正・昭和三代にわたる文豪の真の全体像を示す長篇小説を収録。

通俗小説と純文学の境はどこにあるのか? 川端康成に「小説の名人」と言わしめた秋聲小説の神髄を今検証できる作品群を収録。

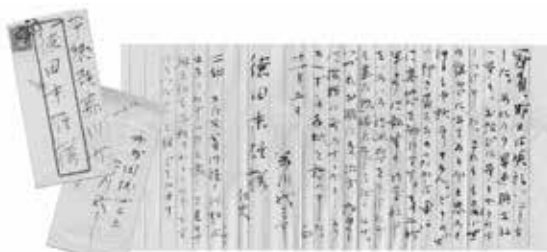
【編集委員】紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田澤基久・紅野謙介・十文字隆行・小林修



道尽きず (第40巻収録)



土に癒ゆる (第42巻収録)



秋聲宛芥川書簡

未練・執着…、その果てにある作家
の生き方！ 大正文士の粋を集大成

〔オンデマンド版〕

近松秋江全集 (全13巻)

ちかまつしゅうこうぜんしゅう

(1992.4～1994.9)

978-4-8406-3593-6

A5判 並製 カバー装 平均550頁、総7,160頁

揃本体156,000円

各巻本体12,000円〔分売可・受注生産〕



(ISBN978-4-8406は省略しました)

第1巻	小説Ⅰ	-3486-1 (1992.4)
第2巻	小説Ⅱ	-3487-8 (1992.8)
第3巻	小説Ⅲ	-3488-5 (1992.10)
第4巻	小説Ⅳ	-3489-2 (1992.12)
第5巻	小説Ⅴ	-3490-8 (1993.4)
第6巻	小説Ⅵ	-3491-5 (1993.6)
第7巻	小説Ⅶ・随筆・紀行・小品	-3492-2 (1993.8)
第8巻	歴史小説	-3493-9 (1994.4)
第9巻	新編文壇無駄話Ⅰ	-3494-6 (1992.6)
第10巻	新編文壇無駄話Ⅱ	-3495-3 (1993.2)
第11巻	新編文壇無駄話Ⅲ	-3496-0 (1993.10)
第12巻	新編文壇無駄話Ⅳ・アンケート	-3497-7 (1994.6)
第13巻	書簡・初期作品・補遺	-3498-4 (1994.9)

【編集委員】紅野敏郎・中尾務・遠藤英雄・田沢基久・笹瀬王子

体験を芸術化した希有の物語作者。「無駄話」を「批評」に結実させた文学者、その全貌、いまここに甦える！未練・執着、その果てにある作家の生き方。大正文士の粋を集大成。近松秋江初の画期的全集。初出テキスト、編年体で編み、新たな視点を提示。名作「黒髪」を中心とした全小説と膨大な量に及ぶ評論を収録。近代文学史を再検討するにたる貴重な全集。

日本近代文学の黎明期に立つ文芸批評の先駆者の仕事を初めて集大成

〔オンデマンド版〕

石橋忍月全集 (全5巻)

いしばしにんげつぜんしゅう

(1995.5～1996.9)

978-4-8406-3594-3

A5判 並製 カバー装 平均350頁、総1,726頁

揃本体100,000円

各巻本体20,000円〔分売可・受注生産〕



(ISBN978-4-8406は省略しました)

第1巻	小説Ⅰ	-3529-5 (1995.5)
第2巻	小説Ⅱ・訳詩俳句他	-3530-1 (1996.2)
第3巻	評論	-3531-8 (1995.8)
第4巻	雑纂	-3532-5 (1996.6)
補巻	史伝・風俗誌・書簡・資料	-3533-2 (1996.9)

【監修】山本健吉・稲垣達郎・小田切進

【編集委員】榎本隆司・嘉部嘉隆・佐久間保明・千葉眞郎・畑實

未公開の石橋家資料（故山本健吉氏所蔵）を始め、丹念な金沢・長崎・郷里黒木町の調査により新たな忍月像を提示、忍月の生涯を見渡せる全集。

逍遙・二葉亭・鷗外とともに近代文学の素地を確立。紅葉・露伴の価値を公にする。

第1巻 小説Ⅰ（単行本収録作品）

西欧の文芸理論をふまえて実践した近代文学過渡期における貴重な小説集

第2巻 小説Ⅱ・訳詩俳句他

単行本未収録の小説・及び金沢時代に多く手掛けた比喩談・長崎時代の紀行文を修正

第3巻 評論

忍月の名を不朽にせしめた明治20年代の文芸評論を余すことなく収める

第4巻 雑纂

随筆・時評・弁護士時代の文章など。未だ知られざる多くの資料を収録

補巻 史伝・風俗誌・書簡・資料

名優が残した昭和戦前の
演劇界・文化・風俗を読む

新派名優喜多村緑郎日記(全3巻)

しんぱめいゆうきたむらろくろうにつき

紅野謙介・森井マスミ編

(2010.7～2011.3)

ISBN978-4-8406-9420-9
A5判 総1,642頁、平均548頁
揃本体48,000円



各巻本体16,000円 (ISBN978-4-8406は省略)
第1巻 昭和5年～昭和7年《新派の復活》
-9421-6 (2010.7)
第2巻 昭和8年～昭和10年《新派の躍進》
-9422-3 (2010.11)
第3巻 昭和11年・昭和12年《新派創立五十周年》
付・索引 -9423-0 (2011.3)



新派俳優・演出家として知られる喜多村緑郎は、女形という日本の演劇伝統を受け継ぎながら、同時に近代演劇としてリアリズムを追求する狭く困難な道のりを歩んだ。新派は、泉鏡花「婦系図」や「日本橋」、徳富蘆花「不如帰」をはじめ、多くの文学作品を脚色し、上演してきたが、今も残る新派古典の演出はほとんど喜多村の手になるものもある。

日本の近代文学は演劇や映画に原作を提供することによって、より多くの人々に知られ、新たな読者を獲得した。近代文学と演劇の関係はきわめて深いものがあるが、なかでも喜多村は泉鏡花や谷崎潤一郎ら文学者との交流も深く、幅広く文学への目配りを欠かさなかった。その喜多村緑郎の長期間にわたる日記が日本大学および早大演劇博物館に残されていた。かつて喜多村の没後すぐ、演劇出版社が『喜多村緑郎日記』として刊行したのは、1923年から29年にかけての日記であった。今回、あらためて公開することになったのは、そのあと1930年以降、都市モダニズムの波のなかで演劇が活性化し、新派の最盛期を迎える時期のものである。喜多村は60代を迎え、円熟の境地にあった。細かく書き込まれた日記には、詳細な上演の記録とともに、俳優や演劇関係者とのやりとり、演劇や脚本・演出への思い、文学者との交遊などが大きく変化を遂げた都市風景のなかに描き出されている。

【「刊行にあたって」(紅野謙介：日本大学教授)より抄録】

日記の存在しない与謝野夫妻の日常
をつぶさに語る

与謝野寛晶子書簡集成(全4巻)

よさのひろしあきこしよかんしゅうせい

逸見久美編

(2001.7～2003.7)

ISBN4-8406-9629-2
A5判 平均354頁、総1,380頁
揃本体41,400円



①-③各本体9,800円、④本体12,000円 (ISBN4-8406は省略)
第1巻 明治25年～大正6年 -9630-6(2002.10)
第2巻 大正7年～昭和5年 -9631-4(2001.7)
第3巻 昭和6年～昭和10年 -9632-2(2002.1)
第4巻 昭和11年～昭和17年・補遺・索引 -9633-0(2003.7)



編者積年の研究の裏打ちとなった書簡の集大成。明治25年河野鉄南宛寛書簡から晶子歿年までの初公開書簡1,300通を含む2,108通を収録。編者が長年博搜した書簡を発送年月日順に配列、過去に活字化され公開された書簡の内、雑誌などに掲載された書簡、単行本収録の殆どの書簡(『天眠文庫蔵 与謝野寛晶子書簡集』〈八木書店刊〉収録分は除く)を掲載。活字化された書簡も、可能な限り原本に当たって新たに校合。また封筒、葉書の別など、書簡の書誌的事項を可能な限り記した。第4巻には、補遺・索引(人名、事項、短歌)を収めた。

【主な宛先人】

赤松克麿・芥川龍之介・麻田駒之助・有島生馬・有島武郎・生田葵山・石川三四郎・石川啄木・井上苔溪・伊原青々園・岩野喜久代・内野辨子・内山英保・江口渙・円城寺貞子・岡田三郎助・翁久允・沖野岩三郎・落合直幸・中河与一・河井醉茗・河崎夏子・蒲原有明・北原白秋・木下幸太郎・窪田空穂・黒田鵬心・河野鉄南・小金井喜美子・後藤是山・小中村義象・小中村清矩・小林一三・斎藤茂吉・佐佐木信綱・佐藤春夫・嶋谷亮輔・白仁秋津・白鳥省吾・菅沼宗四郎・薄田泣菫・高村光雲・宅雁月・田山花袋・透谷会事務所・徳富蘇峯・豊田実・中込旻・中村武羅夫・名和長臣・西村伊作・西村一平・丹羽安喜子・畑耕一・服部嘉香・馬場孤蝶・林滝野・原阿佐緒・平出修・平野万里・広江西骨・深尾須磨子・細田源吉・本美鉄三・正宗敦夫・正宗得三郎・真下飛泉・三ヶ島葎子・三島章道・三宅克己・森鷗外・森繁夫・森潤三郎・森峰子・山田知子・吉田精一・渡辺湖畔 他

日本近代文学館発行 文芸雑誌複刻版シリーズ

これまで日本近代文学館にて発売しておりましたが、2004年9月より小社にて発売することとなりました。

発行：日本近代文学館（1983年）

文

ISBN4-8406-8026-4
B5判 総430頁 本体16,000円

体



昭和22年（1947）12月～昭和24年（1949）7月・全4冊
戦後北原武夫・宇野千代の文体社から創刊された季刊文芸雑誌。美術的な編集とあいまって、戦争直後の雑誌としては卓抜で豪華。小説、翻訳、詩、日記、対談など多彩で、ユニークな文芸季刊誌として異彩を放っている。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1975年）

人

ISBN4-8406-8004-3
菊判 総6,102頁 本体75,000円

間



大正8年（1919）11月～大正11年（1922）6月・全24冊
里見弴、久米正雄らが中心となり玄文社から創刊。スバル派・新思潮派・白樺派の作家が執筆・寄稿。文壇中堅の地位を占めていた作家たちが、思想や主義にとられず、それぞれの持ち味、才能を自由に発揮させた、大正文壇の絶頂期を象徴する雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1977年）

新興文

ISBN4-8406-8005-1
菊判 総1,752頁 本体42,000円

学



大正11年（1922）11月～大正12年（1923）8月・全9冊
山田清三郎創刊。労働者文学・民衆芸術のグループが統一的に参加し、震災前のプロレタリア文学運動に大きな役割を果たす。旧芸術破壊のアヴァン・ギャルドとプロレタリア文学とを結びつける活気にみちた誌面をつくり新興文学の統一戦線を形づくった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1976年）

文芸市

ぶんげいしじょう
ISBN4-8406-8006-X
菊判 総2,145頁 本体53,000円

場



大正14年（1925）11月～昭和2年（1927）5月・全19冊
梅原北明を中軸に、金子洋文、村山知義らを編集同人とし、表現主義的、ダダの編集とともに震災後の文壇の注目を浴びる。豊富な文壇ゴシップの登場、プロレタリア作家、ロシア作家の紹介等多くの特集記事や文筆家芳名録等の貴重資料を含む雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1985年）

文芸公

ISBN4-8406-8007-8
菊判 総2,584頁 本体85,000円

論



昭和2年（1927）1月～昭和3年（1928）5月・全17冊
新進の詩人・評論家橋爪健がほぼ独力で編集発行した総合文芸誌。既成文壇打倒の旗印のもと新感覚派からプロレタリア文学に到る各派の新人を糾合して、創作・評論、合評会、アンケート、漫画、海外・地方文壇の紹介など新機軸を駆使した誌面を作った。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

作品 I～III

I ISBN4-8406-8008-6
菊判 総3,674頁 本体108,000円
II ISBN4-8406-8009-4
菊判 総3,312頁 本体88,000円
III ISBN4-8406-8010-8
菊判 総3,682頁 本体104,000円

品



昭和5年（1930）5月～昭和7年（1932）12月・全80冊
昭和5年5月、小野松二編集で作品社から創刊され、純正芸術派ともいべきグループの拠点として、その後の昭和文学の展開に大きな役割を果たした。翻訳史上で果たした意義もきわめて大きい。特集、座談会も誌面を精彩あるものにし、呼びものになった誌上出版記念会をはじめ、追悼特集、新進特集、また随筆、感想欄にもこの雑誌の特色が生き生きと示される。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1967年）

四季

ISBN4-8406-8011-6
原寸（21～23cm）総6,000頁 本体180,000円

季



昭和8年（1933）5月～昭和19年（1944）6月・全81冊
堀辰雄により創刊、小説、詩、評論、翻訳などを掲げた豪華な詩文集として注目される。翌年、三好達治ら三人の編集により改めて創刊。戦争下の芸術荒廃の時代に清潔で気品の高い詩誌の独自の雰囲気を守り通し、昭和詩の展開に大きな影響を与えた。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1975年）

文学界

ISBN4-8406-8012-4
菊判 総4,605頁 本体65,000円

界



昭和8年（1933）10月～昭和11年（1936）6月・全25冊
「文芸復興」の機運の中で、川端康成、武田麟太郎、小林秀雄、広津和郎らの編集同人により文化公論社から創刊。横光利一、里見弴らが加わり5号まで刊行、その後村山知義、島木健作、舟橋聖一、河上徹太郎らを加え文壇の中心勢力を擁する雑誌となった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1985年）

歴

れきてい

ISBN4-8406-8013-2

菊判 総1,100頁 本体50,000円

程

昭和10年（1935）5月～昭和19年（1944）3月・全26冊
逸見猶吉、草野心平、伊藤信吉などが順次編集を担当、
一党一派に拠らない個性的な詩人たちが参加し、高村
光太郎、吉田一穂らが寄稿した。宮沢賢治、八木重吉
の遺稿を掲載するなど激動の昭和10年代にあって、個
性豊かな詩人たちがその詩魂を賭けた雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

近 代 文 学

I ISBN4-8406-8014-0

A5判 総3,640頁 本体112,000円

II ISBN4-8406-8015-9

A5判 総4,712頁 本体128,000円

III ISBN4-8406-8016-7

A5判 総3,870頁 本体102,000円

学

昭和21年（1946）1月～昭和25年（1950）8月・全45冊
山室静、平野謙、本多秋五、埴谷雄高、荒正人、佐々
木基一、小田切秀雄という青春期にマルクス主義文学
運動の直接間接の影響をうけ、戦争の暗い谷間での共
通の原体験を持った七名を創刊同人とし、主体性論、
戦争責任論、転向文学論、政治と文学論、組織と個人
論など多岐にわたる問題を精力的に行って注目を浴び
た、戦後文学の推進者として大きな使命を果たした雑
誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1980年）

世

ISBN4-8406-8017-5

A5判 総1,232頁 本体44,000円

代

昭和21年（1946）7月～昭和28年（1953）2月・全17冊
東大と一高の学生を中心に創刊。全国の学生インテリ
ゲンチヤの結集を標榜して発刊された総合文化雑誌。
マチネ・ポエティックの人々の活躍の他、清岡卓行、中
村稔、吉行淳之介らが次々に登場した戦後の文化史、
文学史の中できわめて重要な稀覯雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1983年）

地 上 巡

ちじょうじゅんれい

ISBN4-8406-8018-3

原寸（菊変型・四六倍変型）総496頁 本体38,000円

礼

大正3年（1914）9月～大正4年（1915）3月・全6冊
北原白秋が興した巡礼詩社から発行。白秋の詩歌転換
期をうかがえることは勿論、萩原朔太郎、大手拓次、
室生犀星など白秋に何らかの影響を受けた詩人、白秋
とは別系統の島木赤彦、斎藤茂吉など、次代の詩歌壇
に雄飛する人々が顔を揃えた屈指の雑誌。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1974年）

山

やままゆ

ISBN4-8406-8019-1

菊判 総1,658頁 本体30,000円

蘭

大正13年（1924）12月～昭和4年（1929）2月・全36冊
「青銅時代」から分かれた石丸重治、永井龍男、小林秀
雄などを中心に創刊された文芸同人誌。創刊6ヶ月た
らずで病歿した富永太郎が「秋の悲歎」等の詩を載せ
た傑出した雑誌。表紙・扉・カットは富本憲吉のあと
をうけ梅原龍三郎が担当。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1970年）

辻 馬

ISBN4-8406-8020-5

菊判 布装秩入 総2,462頁 本体20,000円

車

大正14年（1925）3月～昭和2年（1927）10月・全32冊
藤沢桓夫、神崎清など大阪高校生9名により創刊。小
出楯重の表紙と斬新な表現の作品掲載で注目され、都
会的で洗練された印象により、当時の同人誌の中で最
有力誌の一つとなった。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1974年）

文

ISBN4-8406-8021-3

B5変型判 総682頁 本体10,500円

科

昭和6年（1931）10月～昭和7年（1932）3月・全4冊
牧野信一が主宰して創刊。表紙の装幀は青山二郎。牧
野は名作「心象風景」を連載、また小林秀雄との共訳
でポオの「ユレカ」を発表。この他、坂口安吾「竹藪
の家」、稲垣足穂「青い箱と紅い骸骨」など多くの佳作
が掲載され芸術派の新進作家が発表された。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1980年）

新

ISBN4-8406-8024-8

A4変型判 総1,072頁 本体35,000円

生

昭和20年（1945）11月～昭和22年（1947）3月・全16冊
第二次大戦直後に一早く創刊された総合雑誌で、正宗
白鳥、永井荷風ら大家が執筆するなど、戦時中沈黙を
守った思想家、文学者が次々に登場、新しい時代の到
来を強烈に印象づけ、大きな反響をよんだ。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

荒

あれち

ISBN4-8406-8025-6

A5判 総288頁 本体15,000円

地

昭和22年（1947）9月～昭和23年（1948）6月・全6冊
戦前の「新領土」「VOU」「LUNA」などのモダニズム
系の詩誌に属していた鮎川信夫、加島祥造、北村太郎、
木原孝一、黒田三郎、中桐雅夫、三好豊一郎らが田村
隆一の要請に応じて集まり創刊。当時の社会的現実
に抵抗して新たな詩的秩序を志向した。（2004.9）

発行：日本近代文学館（1972年）

プロレタリア文学

〔**帙入**〕 ISBN4-8406-8022-1
菊判 総2,900頁 本体18,500円〔**合本**〕 ISBN4-8406-8023-X
菊判 総2,900頁 本体20,000円

日本プロレタリア作家同盟の機関誌として創刊。作家同盟は昭和7年（1932）2月、国際革命作家同盟に正式に加盟し、その日本支部（略称ナルプ）となったため、厳しい弾圧を受け、毎号のように発売禁止にあった。プロレタリア文学の重要な評論、報告、記録、声明などを数多く掲載し、この時期のナルプの文学・芸術運動の到達点を示す。第2巻第3号を除く全19冊を複製。

（2004.9）

発行：日本近代文学館（1974年）

白痴群 I・II

はくちぐん

I ISBN4-8406-8027-2
菊判 総296頁 本体6,300円II ISBN4-8406-8028-0
菊判 64頁 本体1,700円I：昭和4年（1929）4月～昭和5年（1930）1月・全5冊
II：昭和5年4月・1冊

河上徹太郎、中原中也を中心に、大岡昇平、富永次郎、安原喜弘、古谷綱武などが加わって創刊された文芸同人誌。中原中也は「寒い夜の自画像」その他の中期の主要な作品を発表し、河上徹太郎「ヴェルレーヌの愛国詩」「アンドレ・ジッドと純粹小説」などの評論、阿部六郎「放たれたバラバ」、河上訳のヴァレリー「レオナルド・ダ・ヴィンチ方法論序説」等が掲載。

（2004.9）

発行：日本近代文学館（1976年）

鶴

ばん

ISBN4-8406-8029-9
B5変型判 総440頁 本体5,500円昭和9年（1934）4月・7月・全2冊
プロレタリア文学運動の退潮と、文芸復興の機運の中、古谷綱武、檀一雄が中心となって創刊された同人雑誌。中原中也、金子光晴らの詩や、太宰治「猿面冠者」の他、亀井勝一郎、伊藤整、坂口安吾、大岡昇平といった人々の評論や随想を満載。

（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

方舟

はこぶね

ISBN4-8406-8030-2
250×176mm 総240頁 本体8,000円昭和23年（1948）7月・9月・全2冊
戦前から〈マチネ・ポエティック〉のグループを形成し、戦後「世代」や「近代文学」誌上で旗幟を鮮明にし注目された文学者たちの拠点として創刊。詩・小説・エッセイ等々が同一の創造的基底から発するという信念を標榜し新しい美学の世界をめざした。

（2004.9）

発行：日本近代文学館（1981年）

序曲

じょきょく

ISBN4-8406-8031-0
A5変型判 170頁 本体5,000円昭和23年（1948）12月・全1冊
杉森久英を中心に、戦後派作家の結集を目指して出発し、編集同人として埴谷雄高、武田泰淳、中村真一郎、梅崎春生、野間宏、船山馨、寺田透、三島由紀夫、椎名麟三、島尾敏雄の10人を集めた。戦後文学の成熟をめざす貴重な一里塚となった。

（2004.9）

発行：日本近代文学館（2004年）

ホトトギス (明治後期)

ほととぎす

〔**帙入**〕 ISBN4-8406-8001-9
菊判（原型完全複製）108,000円〔**合本**〕 ISBN4-8406-8002-7
菊判（原型完全複製）・合本12冊【品切】明治31年10月～大正元年9月・全76冊
明治31年10月、高浜虚子が、正岡子規を初め日本派の俳人の協力で面目を一新させて東京で刊行し、俳壇の主流的位置を保ちつづけた。明治・大正・昭和の主要な俳人はほとんど同誌より巣立った。さらに一方、子規・虚子による写生文の主張によって、河東碧梧桐、寒川鼠骨、坂本四方太、岡麓、村上鬼城、寺田寅彦等の写生文、つづいて小説への関心から夏目漱石の「吾輩は猫である」の掲載に始まり、漱石を初め虚子、鈴木三重吉、伊藤左千夫、長塚節、野上弥生子、加能作次郎等の文壇進出となりました。また美術にも関心を持ったことから橋口五葉、中村不折、浅井忠、小川芋銭、平福百穂、石井柏亭、斎藤与里、前川千帆、渡辺与平、津田青楓、坂本繁二郎其の他の絵で表紙や誌面が飾られている。

（2004.9）

【新規 オンデマンド版一覧】 長らく品切れの書籍を復刊！

*各冊分売いたします／受注生産となります (A5判・並製・カバー装)

書名	ISBN	著者名	本体(税別)
葉黄記1(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3401-4	菊地康明・田沼睦校訂	9,000
勘仲記1(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3252-2	高橋秀樹・櫻井彦・中込律子校訂	10,000
花園天皇宸記1(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3248-5	村田正志校訂	7,000
花園天皇宸記2(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3249-2	村田正志校訂	9,000
花園天皇宸記3(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3250-8	村田正志校訂	10,000
教言卿記1(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3259-1	白井信義・嗣永芳照校訂	9,000
教言卿記2(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3260-7	白井信義・嗣永芳照校訂	9,000
教言卿記3・教興卿記(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3261-4	白井信義・嗣永芳照校訂	8,000
山科家礼記3(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3305-5	豊田武・飯倉晴武校訂	9,000
経覚私要鈔7(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3271-3	小泉宜右校訂	10,000
師郷記3(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3311-6	藤井貞文・小林花子校訂	8,000
師郷記4(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3312-3	藤井貞文・小林花子校訂	9,000
松陰私語(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3338-3	峰岸純夫・川崎千鶴校訂	10,000
三藐院記(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3302-4	近衛通隆・名和修・橋本政宣校訂	8,000
義演准后日記2(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3255-3	酒井信彦校訂	11,000
義演准后日記3(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3256-0	弥永貞三・副島種経校訂	9,000
義演准后日記4(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3257-7	酒井信彦校訂	9,000
妙法院日記18(史料纂集古記録編)	978-4-8406-3386-4	妙法院史研究会校訂	11,000
五条家文書(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3426-7	村田正志・黒川高明校訂	10,000
西福寺文書(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3429-8	玉山成元校訂	7,000
朽木文書1(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3413-7	奥野高廣・加藤哲校訂	7,000
気多神社文書1(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3408-3	藤井貞文・小倉学校訂	9,000
気多神社文書2(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3409-0	藤井貞文・小倉学校訂	8,000
気多神社文書3(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3410-6	藤井貞文・小倉学・木野主計校訂	11,000
大樹寺文書(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3435-9	玉山成元校訂	7,000
賀茂別雷神社文書1(史料纂集古文書編)	978-4-8406-3407-6	奥野高廣・岩沢愿彦校訂	9,000
園太暦1	978-4-8406-3001-6	岩橋小弥太・斎木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂	13,000
園太暦2	978-4-8406-3002-3	岩橋小弥太・斎木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂	13,000
園太暦3	978-4-8406-3003-0	岩橋小弥太・斎木一馬校訂	13,000
園太暦4	978-4-8406-3004-7	岩橋小弥太・斎木一馬・黒川高明・厚谷和雄校訂	13,000
言継卿記1	978-4-8406-3053-5	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000
言継卿記2	978-4-8406-3054-2	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000
言継卿記5	978-4-8406-3057-3	国書刊行会編纂	13,000
言継卿記6	978-4-8406-3058-0	高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂	13,000
寛政重修諸家譜2	978-4-8406-3027-6	高柳光寿監修	10,000
寛政重修諸家譜17	978-4-8406-3042-9	高柳光寿監修	10,000
寛政重修諸家譜18	978-4-8406-3043-6	高柳光寿監修	10,000
寛政重修諸家譜19	978-4-8406-3044-3	高柳光寿監修	10,000
寛政重修諸家譜21	978-4-8406-3046-7	高柳光寿監修	10,000
寛政重修諸家譜22	978-4-8406-3047-4	高柳光寿監修	10,000
断家譜1	978-4-8406-3084-9	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000
断家譜2	978-4-8406-3085-6	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000
断家譜3	978-4-8406-3086-3	斎木一馬・岩沢愿彦校訂	10,000
徳川諸家系譜3	978-4-8406-3089-4	斎木一馬・岩沢愿彦・戸原純一校訂	9,000
徳田秋聲全集 第一期 小説(全18巻)	978-4-8406-3651-3	編集委員 紅野敏郎・松本徹・宗像和重・田澤基久・紅野謙介	252,000
近松浄瑠璃の作劇法	978-4-8406-3634-6	原道生著	22,000
西山宗因全集2 連歌篇二	978-4-8406-3650-6	監修 尾形侑・島津忠夫	18,000
西山宗因全集3 俳諧篇	978-4-8406-3637-7	監修 尾形侑・島津忠夫	18,000
西山宗因全集4 紀行・評点・書簡篇	978-4-8406-3638-4	監修 尾形侑・島津忠夫	18,000

史料纂集既刊書一覧 (配本順)

■古記録編

配本	書名	本体価格	ISBN
1	山科家礼記1	10,000	4-7971-0281-0
2	師守記1	3,800	4-7971-0282-9
3	公衡公記1【OD版】	8,000	978-4-8406-3288-1
4	山科家礼記2	4,100	4-7971-0284-5
5	師守記2	3,800	4-7971-0285-3
6	隆光僧正日記1【OD版】	10,000	978-4-8406-3404-5
7	公衡公記2	3,800	4-7971-0287-X
8	言国卿記1【OD版】	9,000	978-4-8406-3280-5
9	師守記3	4,100	4-7971-0289-6
10	教言卿記1【OD版】	9,000	978-4-8406-3259-1
11	隆光僧正日記2	3,800	4-7971-0291-8
12	舜旧記1【OD版】	10,000	978-4-8406-3330-7
13	隆光僧正日記3【OD版】	10,000	978-4-8406-3406-9
14	山科家礼記3【OD版】	9,000	978-4-8406-3305-5
15	師守記4	4,800	4-7971-0295-0
16	葉黄記1【OD版】	9,000	978-4-8406-3401-4
17	経覚私要鈔1	4,800	4-7971-0297-7
18	明月記1	9,000	4-7971-0298-5
19	兼見卿記1*新訂増補版有	—	—
20	教言卿記2【OD版】	9,000	978-4-8406-3260-7
21	師守記5	6,800	4-7971-0301-9
22	山科家礼記4【OD版】	9,000	978-4-8406-3306-2
23	北野社家日記1	6,600	4-7971-0303-5
24	北野社家日記2	6,200	4-7971-0304-3
25	師守記6	7,200	4-7971-0305-1
26	十輪院内府記	8,000	4-7971-0306-X
27	北野社家日記3	6,200	4-7971-0307-8
28	経覚私要鈔2【OD版】	9,000	978-4-8406-3266-9
29	兼宣公記1*新訂増補版有	—	—
30	元長卿記【OD版】	11,000	978-4-8406-3279-9
31	北野社家日記4	7,000	4-7971-0311-6
32	舜旧記2【OD版】	9,000	978-4-8406-3331-4
33	北野社家日記5	6,800	4-7971-0313-2
34	園太暦5	8,000	4-7971-0314-0
35	山科家礼記5	7,800	4-7971-0315-9
36	北野社家日記6	7,000	4-7971-0316-7
37	師守記7	7,600	4-7971-0317-5
38	教言卿記3・教興卿記【OD版】	8,000	978-4-8406-3261-4
39	吏部王記	10,000	4-7971-0319-1
40	師守記8	6,800	4-7971-0320-5
41	公衡公記3	6,400	4-7971-0321-3
42	経覚私要鈔3	6,600	4-7971-0322-1

配本	書名	本体価格	ISBN
43	言国卿記2【OD版】	9,000	978-4-8406-3281-2
44	師守記9【OD版】	9,000	978-4-8406-3325-3
45	三藐院記【OD版】	8,000	978-4-8406-3302-4
46	言国卿記3【OD版】	9,000	978-4-8406-3282-9
47	兼見卿記2*新訂増補版有	—	—
48	義演准后日記1	7,400	4-7971-0328-0
49	師守記10【OD版】	10,000	978-4-8406-3316-1
50	本源自性院記	(品切)	4-7971-0330-2
51	舜旧記3【OD版】	9,000	978-4-8406-3332-1
52	台記1	5,400	4-7971-0332-9
53	言国卿記4【OD版】	9,000	978-4-8406-3283-6
54	経覚私要鈔4	6,600	4-7971-0334-5
55	言国卿記5【OD版】	8,000	978-4-8406-3284-3
56	言国卿記6【OD版】	8,000	978-4-8406-3285-0
57	権記1【OD版】	7,000	978-4-8406-3276-8
58	公衡公記4【OD版】	7,000	978-4-8406-3291-1
59	舜旧記4【OD版】	8,000	978-4-8406-3333-8
60	慶長日件録1【OD版】	7,000	978-4-8406-3263-8
61	三箇院家抄1【OD版】	9,000	978-4-8406-3300-0
62	花園天皇宸記1【OD版】	7,000	978-4-8406-3248-5
63	師守記11【OD版】	10,000	978-4-8406-3317-8
64	舜旧記5【OD版】	8,000	978-4-8406-3334-5
65	義演准后日記2【OD版】	11,000	978-4-8406-3255-3
66	花園天皇宸記2【OD版】	9,000	978-4-8406-3249-2
67	三箇院家抄2【OD版】	9,000	978-4-8406-3301-7
68	妙法院日次記1	6,400	4-7971-0348-5
69	言国卿記7	5,200	4-7971-0349-3
70	師郷記1【OD版】	8,000	978-4-8406-3309-3
71	義演准后日記3【OD版】	9,000	978-4-8406-3256-0
72	経覚私要鈔5【OD版】	10,000	978-4-8406-3269-0
73	師郷記2	5,500	4-7971-0353-1
74	妙法院日次記2	7,400	4-7971-0354-X
75	園太暦6	8,000	4-7971-0355-8
76	園太暦7	8,000	4-7971-0356-6
77	師郷記3【OD版】	8,000	978-4-8406-3311-6
78	妙法院日次記3	7,400	4-7971-0358-2
79	田村藍水西湖公用日記【OD版】	10,000	978-4-8406-3367-3
80	花園天皇宸記3【OD版】	10,000	978-4-8406-3250-8
81	師郷記4【OD版】	9,000	978-4-8406-3312-3
82	権記2	8,000	4-7971-0362-0
83	妙法院日次記4	6,600	4-7971-0363-9
84	師郷記5【OD版】	9,000	978-4-8406-3313-0

配本	書名	本体価格	ISBN
85	通誠公記 1	8,000	4-7971-0365-5
86	妙法院日次記 5	7,200	4-7971-0366-3
87	政覚大僧正記 1	6,600	4-7971-0367-1
88	妙法院日次記 6	10,000	4-7971-0368-X
89	通誠公記 2	8,000	4-7971-0369-8
90	妙法院日次記 7	10,000	4-7971-0370-1
91	通兄公記 1	10,000	4-7971-0371-X
92	妙法院日次記 8	14,000	4-7971-0372-8
93	通兄公記 2	10,000	4-7971-0373-6
94	妙法院日次記 9	14,000	4-7971-0374-4
95	泰重卿記 1	8,000	4-7971-0375-2
96	通兄公記 3	8,000	4-7971-0376-0
97	妙法院日次記 10	12,000	4-7971-0377-9
98	舜旧記 6 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3335-2
99	妙法院日次記 11	12,000	4-7971-0379-5
100	言国卿記 8 【OD 版】	8,000	978-4-8406-3287-4
101	香取大禰宜家日記 1	15,000	4-7971-1281-6
102	政覚大僧正記 2	10,000	4-7971-1282-4
103	妙法院日次記 12	14,000	4-7971-1283-2
104	通兄公記 4	10,000	4-7971-1284-0
105	舜旧記 7 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3336-9
106	権記 3	8,000	4-7971-1286-7
107	慶長日件録 2	7,000	4-7971-1287-5
108	鹿苑院公文帳	10,000	4-7971-1288-3
109	妙法院日次記 13	13,000	4-7971-1289-1
110	国史館日録 1	10,000	4-7971-1290-5
111	通兄公記 5	8,000	4-7971-1291-3
112	妙法院日次記 14	14,000	4-7971-1292-1
113	泰重卿記 2	8,000	4-7971-1293-X
114	国史館日録 2	9,000	4-7971-1294-8
115	長興宿禰記	9,000	4-7971-1295-6
116	国史館日録 3	10,000	4-7971-1296-4
117	国史館日録 4	9,000	4-7971-1297-2
118	通兄公記 6	9,000	4-7971-1298-0
119	妙法院日次記 15	15,000	4-7971-1299-9
120	舜旧記 8 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3337-6
121	妙法院日次記 16	11,000	4-7971-1301-4
122	親長卿記 1	9,000	4-7971-1302-2
123	慈性日記 1	9,000	4-7971-1303-0
124	通兄公記 7	10,000	4-7971-1304-9
125	妙法院日次記 17 【残部僅少】	14,000	4-7971-1305-7
126	師郷記 6 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3314-7
127	北野社家日記 7	9,000	4-7971-1307-3
128	慈性日記 2	14,000	4-7971-1308-1
129	妙法院日次記 18 【OD 版】	11,000	978-4-8406-3386-4

配本	書名	本体価格	ISBN
130	山科家礼記 6 索引	11,000	4-7971-1310-3
131	通兄公記 8 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3363-5
132	親長卿記 2	10,000	4-7971-1312-X
133	経覚私要鈔 6 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3270-6
134	妙法院日次記 19 【OD 版】	13,000	978-4-8406-3387-1
135	長楽寺永祿日記	14,000	4-7971-1315-4
136	通兄公記 9	11,000	4-7971-1316-2
137	香取大禰宜家日記 2	15,000	4-7971-1317-0
138	泰重卿記 3	10,000	4-7971-1318-9
139	妙法院日次記 20 【OD 版】	12,000	978-4-8406-3389-5
140	太梁公日記 1	12,000	4-7971-1320-0
141	葉黄記 2	12,000	4-7971-1321-9
142	通兄公記 10	11,000	4-7971-1322-7
143	国史館日録 5 (南塾乗)	11,000	4-7971-1323-5
144	妙法院日次記 21 【OD 版】	13,000	978-4-8406-3390-1
145	義演准后日記 4 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3257-7
146	親長卿記 3	11,000	4-7971-1326-X
147	京都金地院公文帳	13,000	978-4-8406-5147-9
148	太梁公日記 2	14,000	978-4-8406-5148-6
149	勘仲記 1 【OD 版】	10,000	978-4-8406-3252-2
150	経覚私要鈔 7 【OD 版】	10,000	978-4-8406-3271-3
151	妙法院日次記 22	15,000	978-4-8406-5151-6
152	香取大禰宜家日記 3	15,000	978-4-8406-5152-3
153	通兄公記 11	13,000	978-4-8406-5153-0
154	教言卿記 4	14,000	978-4-8406-5154-7
155	神田橋護持院日記	13,000	978-4-8406-5155-4
156	太梁公日記 3	14,000	978-4-8406-5156-1
157	勘仲記 2	13,000	978-4-8406-5157-8
158	妙法院日次記 23	15,000	978-4-8406-5158-5
159	北野社家日記 8	13,000	978-4-8406-5159-2
160	迎陽記 1	13,000	978-4-8406-5160-8
161	松陰私語 【OD 版】	10,000	978-4-8406-3338-3
162	楽只堂年録 1 【OD 版】	9,000	978-4-8406-3251-5
163	経覚私要抄 8	13,000	978-4-8406-5163-9
164	太梁公日記 4	14,000	978-4-8406-5164-6
165	兼宣公記 2	13,000	978-4-8406-5165-3
166	勘仲記 3	13,000	978-4-8406-5166-0
167	経覚私要鈔 9	13,000	978-4-8406-5167-7
168	楽只堂年録第 2	13,000	978-4-8406-5168-4
169	妙法院日次記 24	15,000	978-4-8406-5169-1
170	護国寺日記 1	13,000	978-4-8406-5170-7
171	新訂増補 兼見卿記 1	13,000	978-4-8406-5171-4
172	新訂増補 兼見卿記 2	13,000	978-4-8406-5172-1
173	兼見卿記 3	13,000	978-4-8406-5173-8
174	楽只堂年録 3	13,000	978-4-8406-5174-5

配本	書名	本体価格	ISBN
175	太梁公日記 5	15,000	978-4-8406-5175-2
176	楽只堂年録 4	14,000	978-4-8406-5176-9
177	勘仲記 4	13,000	978-4-8406-5177-6
178	兼見卿記 4	13,000	978-4-8406-5178-3
179	護国寺日記 2	15,000	978-4-8406-5179-0
180	源敬様御代御記録 1	15,000	978-4-8406-5180-6
181	中臣祐範記 1	15,000	978-4-8406-5181-3
182	楽只堂年録第 5	14,000	978-4-8406-5182-0
183	兼見卿記 5	13,000	978-4-8406-5183-7
184	護国寺日記 3	15,000	978-4-8406-5184-4
185	源敬様御代御記録 2	15,000	978-4-8406-5185-1
186	中臣祐範記 2	15,000	978-4-8406-5186-8
187	氏経卿神事記 1	14,000	978-4-8406-5187-5
188	迎陽記 2	14,000	978-4-8406-5188-2
189	勘仲記 5	13,000	978-4-8406-5189-9
190	兼見卿記 6	13,000	978-4-8406-5190-5
191	江戸幕府大坂金蔵勘定帳	15,000	978-4-8406-5191-2
192	中臣祐範記 3	15,000	978-4-8406-5192-9
193	楽只堂年録 6	14,000	978-4-8406-5193-6
194	護国寺日記 4	15,000	978-4-8406-5194-3
195	源敬様御代御記録 3	15,000	978-4-8406-5195-0
196	新訂増補兼宣公記 1	19,000	978-4-8406-5196-7
197	経覚私要鈔 10	13,000	978-4-8406-5197-4
198	守光公記 1	14,000	978-4-8406-5198-1
199	楽只堂年録 7	14,000	978-4-8406-5199-8
200	勘仲記 6	13,000	978-4-8406-5200-1
201	源敬様御代御記録 4	15,000	978-4-8406-5201-8
202	護国寺日記 5	15,000	978-4-8406-5202-5
203	兼見卿記 7	13,000	978-4-8406-5203-2
204	妙法院日次記 25	17,000	978-4-8406-5204-9
205	楽只堂年録 8	14,000	978-4-8406-5205-6
206	経覚私要鈔 11	16,000	978-4-8406-5206-3
207	氏経卿神事記 2	15,000	978-4-8406-5207-0
208	守光公記 2	18,000	978-4-8406-5208-7
209	花月日記 1	16,000	978-4-8406-5209-4
210	楽只堂年録 9	15,000	978-4-8406-5210-0
211	勘仲記 7	13,000	978-4-8406-5211-7
212	花月日記 2	17,000	978-4-8406-5212-4
213	瑞龍公実録	18,000	978-4-8406-5213-1
214	花月日記 3	16,000	978-4-8406-5214-8
215	参天台五臺山記 1	16,000	978-4-8406-5215-5
216	花月日記 4	17,000	978-4-8406-5216-2
217	参天台五臺山記 2	13,000	978-4-8406-5217-9

■古文書編

配本	書名	本体価格	ISBN
1	熊野那智大社文書1【僅少】	8,000	4-7971-0383-3
2	言継卿記紙背文書1【僅少】	8,000	4-7971-0385-X
3	熊野那智大社文書2【僅少】	8,000	4-7971-0384-1
4	西福寺文書【OD版】	7,000	978-4-8406-3429-8
5	熊野那智大社文書3【僅少】	8,000	4-7971-0387-6
6	青方文書1【OD版】	7,000	978-4-8406-3430-4
7	五条家文書【OD版】	10,000	978-4-8406-3426-7
8	熊野那智大社文書4【僅少】	8,000	4-7971-0391-4
9	青方文書2【OD版】	7,000	978-4-8406-3431-1
10	熊野那智大社文書5	8,000	4-7971-0392-2
11	気多神社文書1【OD版】	9,000	978-4-8406-3408-3
12	朽木文書1	7,000	978-4-8406-3413-7
13	相馬文書【OD版】	8,000	978-4-8406-3434-2
14	気多神社文書2【OD版】	8,000	978-4-8406-3409-0
15	朽木文書2	5,200	4-7971-0397-3
16	大樹寺文書【OD版】	7,000	978-4-8406-3435-9
17	飯野八幡宮文書	6,000	4-7971-0399-X
18	気多神社文書3【OD版】	11,000	978-4-8406-3410-6
19	光明寺文書1	5,800	4-7971-0401-5
20	入江文書【残部僅少】	7,700	4-7971-0402-3
21	光明寺文書2	6,800	4-7971-0403-1
22	賀茂別雷神社文書1【OD版】	9,000	978-4-8406-3407-6
23	沢氏古文書1【残部僅少】	6,214	4-7971-0405-8
24	熊野那智大社文書索引	8,000	4-7971-0406-6
25	歴代古案1【残部僅少】	9,000	4-7971-0407-4
26	歴代古案2【残部僅少】	9,000	4-7971-0408-2
27	長楽寺文書【OD版】	10,000	978-4-8406-3438-0
28	北野神社文書	9,000	4-7971-0410-4
29	歴代古案3【残部僅少】	9,000	4-7971-0411-2
30	石清水八幡宮文書外	8,000	4-7971-0412-0
31	大仙院文書	11,000	4-7971-0414-7
32	近江大原 観音寺文書	9,000	4-7971-0413-9
33	歴代古案4【残部僅少】	9,000	4-7971-0415-5
34	歴代古案5【残部僅少】	9,000	4-7971-0416-3
35	言継卿記紙背文書2	10,000	4-7971-0417-1
36	福智院家文書1【残部僅少】	11,000	4-7971-0418-X
37	福智院家文書2	12,000	4-7971-0419-8
38	朽木家文書1	13,000	978-4-8406-6038-9
39	別本歴代古案1	13,000	978-4-8406-6039-6
40	朽木家文書2	13,000	978-4-8406-6040-2
41	京都御所東山御文庫所蔵地下文書	13,000	978-4-8406-6041-9
42	石清水八幡宮社家文書	13,000	978-4-8406-6042-6
43	別本歴代古案2	13,000	978-4-8406-6043-3
44	別本歴代古案3	13,000	978-4-8406-6044-0

配本	書名	本体価格	ISBN
45	京都御所東山御文庫所蔵延暦寺文書	13,000	978-4-8406-6045-7
46	福智院文書3	13,000	978-4-8406-6046-4
47	籠手田文書	19,000	978-4-8406-6047-1
48	尊経閣文庫所蔵石清水文書	18,000	978-4-8406-6048-8
49	井戸村家文書1	15,000	978-4-8406-6049-5
50	井戸村家文書2	16,000	978-4-8406-6050-1
51	宇治堀家文書	16,000	978-4-8406-6051-8
52	安保文書	17,000	978-4-8406-6052-5

ご予約、定期購読承ります！

2023年4月現在

尊經閣善本影印集成 既刊書一覽 (分売可)

各輯内容	通し巻数	タイトル	ISBN978-4-8406-	本体価格	ご注文部数	各輯内容	通し巻数	タイトル	ISBN978-4-8406-	本体価格	ご注文部数	
第1輯 儀式書 全12冊 (モノクロ目版)	1	西宮記 1【重文】	2301-8	17,476		第7輯 平安鎌倉 儀式書 全10冊 (二色刷/48のみの 高精細カラー版)	46	内裏式	2346-9	18,000		
	2	西宮記 2【重文】	2302-5	17,476			47	本朝月令要文・小野宮故実旧例・年中行事秘抄	2347-6	26,000		
	3	西宮記 3【重文】	2303-2	19,417			48	雲図鈔	2348-3	22,000		
	4	西宮記 4【重文】	2304-9	21,359			49	無題号記録・春玉秘抄	2349-0	25,000		
	5	西宮記 5【重文】	2305-6	17,476			50	春除目抄・京官除目次第 他	2350-6	28,000		
	6	西宮記 6【重文】	2306-3	26,214			51	禁秘御抄	2351-3	24,000		
	7	北山抄 1【国宝】	2307-0	【品切】			52	局中宝	2352-0	26,000		
	8	北山抄 2【国宝】	2308-7	【品切】			53	夕拝備急至要抄・参議要抄	2353-7	19,000		
	9	北山抄 3【国宝】	2309-4	【品切】			54	羽林要秘抄・上卿簡要抄	2354-4	18,000		
	10	江次第 1	2310-0	29,126			55	消息礼事及書礼事 他	2355-1	28,000		
	11	江次第 2	2311-7	21,359			第8輯 平安古記録 全11冊 (高精細カラー版)	56	小右記 1【重文】	2356-8	32,000	
	12	江次第 3	2312-4	17,476				57	小右記 2【重文】	2357-5	32,000	
第2輯 類書 全5冊 (二色刷)	13	秘府略【国宝】	2313-1	19,000		58		小右記 3【重文】	2358-2	32,000		
	14	二中歴 1【重文】	2314-8	【品切】		59		小右記 4【重文】	2359-9	32,000		
	15	二中歴 2【重文】	2315-5	28,000		60		小右記 5【重文】	2360-5	33,000		
	16	二中歴 3【重文】・掌中歴	2316-2	25,000		61		小右記 6【重文】	2361-2	33,000		
	17	拾芥抄	2317-9	【品切】		62		小右記 7【重文】	2362-9	33,000		
第3輯 古辞書 全8冊 (二色刷)	18	色葉字類抄 1【重文】	2318-6	【品切】		63		小右記 8【重文】	2363-6	33,000		
	19	色葉字類抄 2【重文】	2319-3	【品切】		64		小右記 9【重文】	2364-3	33,000		
	20	節用集	2320-9	20,000		65		水左記【国宝】	2365-0	32,000		
	21	字鏡集 1	2321-6	30,000		66		台記(宇槐記抄・台記抄・宇槐雜抄)	2366-7	33,000		
	22	字鏡集 2	2322-3	30,000		第9輯 鎌倉室町 古記録 全10冊 (高精細カラー版)	67	実躬卿記 1【重文】	2367-4	35,000		
	23	字鏡集 3	2323-0	30,000			68	実躬卿記 2【重文】	2368-1	36,000		
	24	字鏡集 4	2324-7	30,000			69	実躬卿記 3【重文】	2369-8	36,000		
	25	温故知新書・童蒙頌頤	2325-4	28,000			70	実躬卿記 4・宣陽門院御落飾記・後愚昧記 山門噉訴記・実豊卿記	2370-4	37,000		
第4輯 古代史籍 全9冊 (二色刷)	26	日本書紀【国宝】	2326-1	20,000			71	公秀公記 建治三年記【重文】 実隆公記	2371-1	35,000		
	27	釈日本紀 1【重文】	2327-8	30,000		72	外記日記 新抄 1	2372-8	37,000			
	28	釈日本紀 2【重文】	2328-5	30,000		73	外記日記 新抄 2 享祿二年外記日記	2373-5	37,000			
	29	釈日本紀 3【重文】	2329-2	30,000		74	碧山日録 1	2374-2	36,000			
	30	古事記	2330-8	26,000		75	碧山日録 2	2375-9	36,000			
	31	古語拾遺【重文】	2331-5	25,000		76	蔗軒日録・盲聾記	2376-6	37,000			
	32	類聚国史 1【国宝】	2332-2	33,000		77	武家手鑑【重文】 付旧武家手鑑 21年12月	2377-3	29,000			
	33	類聚国史 2【国宝】	2333-9	33,000		78	尊經閣古文書集 諸家文書 1 22年3月	2378-0	29,000			
	34	類聚国史 3【国宝】	2334-6	33,000		79	尊經閣古文書集 諸家文書 2 22年6月	2379-7	31,000			
	第5輯 古代法制 史料 全5冊 (二色刷)	35	交替式・法書類林【重文】	2335-3	24,000		80	尊經閣古文書集 社寺文書 1 22年9月	2380-3	26,000		
36		政事要略【重文】	2336-0	26,000		81	尊經閣古文書集 社寺文書 2 22年12月	2381-0	30,000			
37		類聚三代格 1	2337-7	33,000		82	尊經閣古文書集 社寺文書 3 23年3月	2382-7	25,000			
38		類聚三代格 2	2338-4	33,000		83	尊經閣古文書集 社寺文書 4 23年6月	2383-4	30,000			
39		類聚三代格 3	2339-1	33,000		84	尊經閣古文書集 編年雜纂文書 1 買新羅物解【重文】収録 23年9月	2384-1	予価30,000			
第6輯 古代説話 全6冊 (二色刷)	40	日本書紀異記【重文】	2340-7	18,000		85	尊經閣古文書集 編年雜纂文書 2 23年12月	2385-8	予価29,000			
	41	三宝絵【重文】 日本往生極楽記【重文】	2341-4	26,000		86	尊經閣古文書集 編年雜纂文書 3 24年3月	2386-5	予価30,000			
	42	新猿蓑記【重文】	2342-1	25,000		87	尊經閣古文書集 編年雜纂文書 4 24年6月	2387-2	予価28,000			
	43	三宝感応要略録【重文】	2343-8	26,000		88	尊經閣古文書集 編年雜纂文書 5 付宸翰文書類【国宝・重文】 24年9月	2388-9	予価28,000			
	44	江談抄【重文】	2344-5	21,000								
	45	中外抄【重文】	2345-2	22,000								

新天理図書館善本叢書一覧 全5期36巻完結 (分売可)

各期内容	ISBN	通し巻数	タイトル	本体価格	配本年月	ご注文部数
第1期 国史古記録 全6巻	9784840695510	第1巻	古事記 道果本【重文】 播磨国風土記【国宝】	26,000 (分売不可)	2016年2月	
	9784840695527	第2巻	日本書紀 乾元本 1【国宝】	29,000	2015年4月	
	9784840695534	第3巻	日本書紀 乾元本 2【国宝】	29,000	2015年6月	
	9784840695541	第4巻	古語拾遺 嘉禄本・暦仁本【重文】	25,000	2015年10月	
	9784840695558	第5巻	明月記【重文】	27,000	2015年12月	
	9784840695565	第6巻	定家筆古記録	29,000	2015年8月	
第2期 古辞書 全6巻	9784840695572	第7巻	和名類聚抄 高山寺本【重文】	32,000	2017年2月	
	9784840695589	第8巻	三宝類字集 高山寺本【重文】	30,000	2016年4月	
	9784840695596	第9巻	類聚名義抄 観智院本 1【国宝】	45,000	2018年4月	
	9784840695602	第10巻	類聚名義抄 観智院本 2【国宝】	45,000	2018年8月	
	9784840695619	第11巻	類聚名義抄 観智院本 3【国宝】	45,000	2018年10月	
	9784840695626	第12巻	世俗諺文【重文】 作文大脉【重文】	30,000	2017年10月	
第3期 源氏物語 池田本 全10巻	9784840695633	第13巻	源氏物語 池田本 1【重文】	34,000	2016年6月	
	9784840695640	第14巻	源氏物語 池田本 2【重文】	34,000	2016年8月	
	9784840695657	第15巻	源氏物語 池田本 3【重文】	34,000	2016年10月	
	9784840695664	第16巻	源氏物語 池田本 4【重文】	34,000	2016年12月	
	9784840695671	第17巻	源氏物語 池田本 5【重文】	36,000	2017年4月	
	9784840695688	第18巻	源氏物語 池田本 6【重文】	34,000	2017年6月	
	9784840695695	第19巻	源氏物語 池田本 7【重文】	34,000	2017年8月	
	9784840695701	第20巻	源氏物語 池田本 8【重文】	36,000	2017年12月	
	9784840695718	第21巻	源氏物語 池田本 9【重文】	34,000	2018年2月	
	9784840695725	第22巻	源氏物語 池田本 10【重文】	34,000	2018年6月	
第4期 奈良絵本集 全8巻	9784840695732	第23巻	奈良絵本集 1 (天神縁起絵巻・八幡大菩薩御縁起・鼠の草子絵巻・同 別本・やひやうゑねずみ)	33,000	2018年12月	
	9784840695749	第24巻	奈良絵本集 2 (舟のめとく・常盤の煙・小男の草子絵巻・同 別本・小おとこ)	33,000	2019年2月	
	9784840695756	第25巻	奈良絵本集 3 (小伏見物語・ひだか川)	33,000	2019年4月	
	9784840695763	第26巻	奈良絵本集 4 (あま物語・大古久まい・磯崎物語)	33,000	2019年6月	
	9784840695770	第27巻	奈良絵本集 5 (いはやものがたり・じやうり)	33,000	2019年8月	
	9784840695787	第28巻	奈良絵本集 6 (しづか・まんぢうのさうし・花鳥風月物語)	33,000	2019年10月	
	9784840695794	第29巻	奈良絵本集 7 (熊野の本地・宝月童子)	33,000	2019年12月	
	9784840695800	第30巻	奈良絵本集 8 (虫妹背物語・山海異形)	37,000	2020年2月	
第5期 連歌俳諧 全6巻	9784840695817	第31巻	連歌巻子本集 1	35,000	2020年8月	
	9784840695824	第32巻	連歌巻子本集 2	36,000	2021年2月	
	9784840695831	第33巻	西鶴白筆本集	33,000	2020年10月	
	9784840695848	第34巻	芭蕉集	32,000	2020年6月	
	9784840695855	第35巻	蕪村集 1	36,000	2020年4月	
	9784840695862	第36巻	蕪村集 2	32,000	2020年12月	

書評サイト【ALL REVIEWS 掲載記事一覧】2023年3月現在

*毎月1回新規公開中



文字の歴史を明らかにするために
『墨書土器と文字瓦：出土文字史料の研究』
【書き手】吉村 武彦 (2023年3月)
<https://allreviews.jp/review/6064>



豪族葛城氏の枢要の地、葛城
『葛城の考古学：先史・古代研究の最前線』
【書き手】松田真一 (2022年6月)
<https://allreviews.jp/review/5888>



「鎌倉殿の13人」の世界
『日本古代王権と貴族社会』
【書き手】上村 正裕 (2023年2月)
<https://allreviews.jp/review/6033>



乱世を知らない武士たち
『瑞龍公実録』
【書き手】藤田英昭 (2022年5月)
<https://allreviews.jp/review/5842>



『史料纂集』の電子化は、史料調査をどのように変えるのか
『Web版史料纂集』JKBooks
【書き手】八木書店出版部 (2023年1月)
<https://allreviews.jp/column/6024>



キリシタン語学の複合的・多面的な研究
『キリシタン語学入門』
【書き手】岸本恵実・白井純 (2022年4月)
<https://allreviews.jp/review/5833>



さまざまな隔たりを超え読みつがれている啄木の短歌
『啄木 我を愛する歌：発想と表現』
【書き手】太田 登 (2022年12月)
<https://allreviews.jp/review/6003>



信長が殺されたそのとき、光秀は本能寺にいなかった！
『異聞 本能寺の変：『乙夜之書物』が記す光秀の乱』
【書き手】萩原大輔 (2022年3月)
<https://allreviews.jp/review/5813>



漢籍の伝来
『日本漢籍受容史：日本文化の基層』
【書き手】高田 宗平 (2022年11月)
<https://allreviews.jp/review/5991>



須恵器は何故受容され消滅したのか
『須恵器研究の新視角』
【書き手】渡辺一 (2022年2月)
<https://allreviews.jp/review/5769>



『出雲国風土記』とは何か
『出雲国風土記：地図・写本編』
【書き手】平石 充 (2022年11月)
<https://allreviews.jp/review/5972>



加賀百万石、前田家が収集した古文書の精髓！その由来を紹介
『武家手鑑 付旧武家手鑑』
尊経閣善本影印集成77
【書き手】菊池浩幸・柳田甫 (2022年1月)
<https://allreviews.jp/review/5752>



^{あぼ}武蔵武士安^{あぼ}保氏と安^{あぼ}保文書
『安^{あぼ}保文書』史料纂集古文書編
【書き手】新井 浩文 (2022年9月)
<https://allreviews.jp/review/5944>



歴代上皇・法皇の正当な業績評価に向けて
『上皇と法皇の歴史：仙洞年代記』
【書き手】横道雄 (2021年12月)
<https://allreviews.jp/review/5728>



律令制国家の理念と実像をもとめて
『律令制国家の理念と実像』
【書き手】吉村 武彦 (2022年8月)
<https://allreviews.jp/review/5928>



情報を記憶し、記録する
『日本古代の記憶と典籍』
【書き手】長谷部将司 (2021年11月)
<https://allreviews.jp/review/5700>



六国史以前の史書と古事記偽書説
『日本古代史書研究』
【書き手】関根淳 (2022年7月)
<https://allreviews.jp/review/5910>



様々な階層の俳人たちの第一級筆跡資料
『誹諧短冊手鑑』
【書き手】永井一彰 (2021年10月)
<https://allreviews.jp/review/5674>



ボクサーの業績
『キリシタン世紀の日本』
【書き手】高瀬弘一郎 (2021年9月)
<https://allreviews.jp/review/5638>



宇治堀家文書翻刻の意義
『宇治堀家文書』史料纂集古文書編
【書き手】橋本素子 (2021年8月)
<https://allreviews.jp/review/5611>



傑作に潜む盡惑的な謎
一上田秋成『春雨物語』の新出自筆本一
『天理図書館所蔵 春雨物語：羽倉本・天理冊子本・西荘本』
【書き手】飯倉洋一 (2021年7月)
<https://allreviews.jp/review/5567>



応仁・文明の乱ののち、経済的に困窮する朝廷と
権力の凋落が著しい足利幕府とのせめぎあい！？
『守光公記 第2』史料纂集古記録編
【書き手】鶴崎裕雄 (2021年6月)
<https://allreviews.jp/review/5519>



平家物語と中国語の発音
一室町時代の禅僧が見聞きした中世人の肉声とは？
『蔗軒日録・盲聾記』尊経閣善本影印集成76
【書き手】川本慎白 (2021年5月)
<https://allreviews.jp/review/5500>



『楽只堂年録』完結をめぐって
『楽只堂年録 第9』史料纂集古記録編
【書き手】宮川葉子 (2021年4月)
<https://allreviews.jp/review/5458>



言霊のドラマ
一秀吉はなぜ連歌師紹巴を寵遇したのか？
『連歌卷子本集2』新天理図書館善本叢書32
【書き手】尾崎千佳 (2021年3月)
<https://allreviews.jp/review/5431>



正倉院文書のハンコ
『日本古代の文書行政：正倉院文書の形成と復原』
【書き手】矢越葉子 (2021年2月)
<https://allreviews.jp/review/5340>



芭蕉自筆の名品コレクション！「鯉屋物」
とは何か？
『芭蕉集 自筆本・鯉屋物』
新天理図書館善本叢書34
【書き手】大橋正叔 (2021年1月)
<https://allreviews.jp/review/5271>



「寛政の改革」を断行した松平定信の晩
年の日記
『花月日記 第1』史料纂集古記録編
【書き手】岡嶋偉久子 (2020年12月)
<https://allreviews.jp/review/5204>



古代から現代まで、1300年読み継がれた正史
『日本書紀の誕生：編纂と受容の歴史』
【書き手】河内春人 (2020年11月)
<https://allreviews.jp/review/5126>



後白河法皇が『梁塵秘抄』にまとめた
「今様歌」。現代に甦った平安の王朝びと
の心の歌声とは？
『梁塵秘抄詳解 神分編』
【書き手】永池健二 (2020年10月)
<https://allreviews.jp/review/5038>



伊勢神宮の中世史料をめぐる状況
『氏経卿神事記』史料纂集古記録編
【書き手】比企貴之 (2020年9月)
<https://allreviews.jp/review/4951>



希少なキリシタン版の辞書
『リオ・デ・ジャネイロ国立図書館蔵 日葡辞書』
【書き手】白井純 (2020年8月)
<https://allreviews.jp/review/4829>



臭い漂う中世の内野と古池、この荒れ果
てた地域には一体何があったのだろうか
『中世天皇家の作法と律令制の残像』
【書き手】久水俊和 (2020年7月)
<https://allreviews.jp/review/4719>



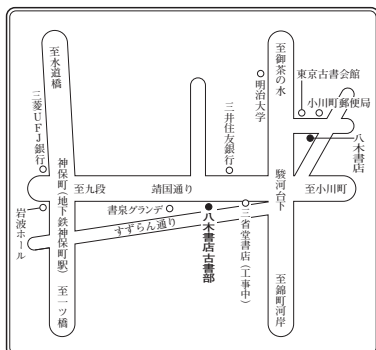
八木書店古書部で刊行書全点陳列！ Web 版も試用いただけます



八木書店の出版物は 古書部でお求めいただけます



- 新刊書籍として発注可能な、ほぼすべての弊社出版物を一階西側書架に陳列しております。
- 店頭にて売り切れの場合も 1～2営業日で出版部倉庫よりお取り寄せします。
- 弊社オンデマンド書籍の書架販売、注文販売も承っております。
- 店頭端末にて「Web 版史料纂集」など弊社「ジャパンナレッジ Lib」コンテンツを試用できます。
- 通信販売をご希望の方は八木書店 HP のほか、日本の古本屋、アマゾン・マーケットプレイスなども併せてご利用ください。
- 日本の古本屋では「# 八木書店出版物」でご検索頂くと、販売書籍の一覧が表示されます。
- アマゾンをご利用の方は八木書店 HP 商品詳細画面上で、「ネット書店で購入」直下の「選択してください」から「Amazon.co.jp」を選ぶことで該当頁へジャンプできます。



八木書店 HP ▶

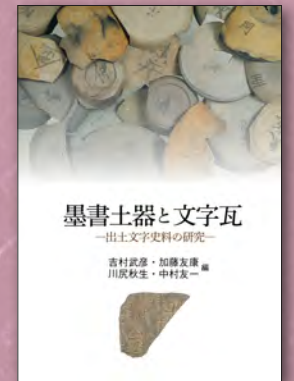
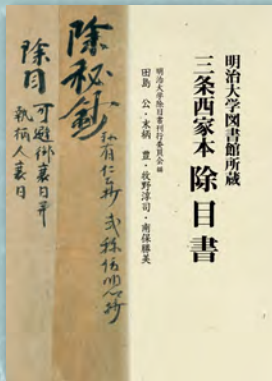
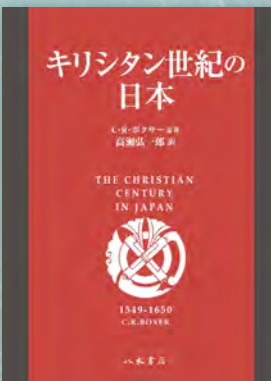
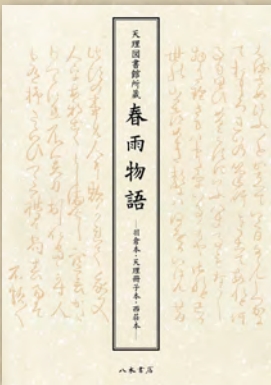
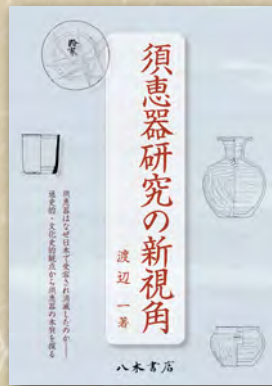


日本の古本屋 ▶
八木書店出版物



八木書店 古書部

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-1-7
 【TEL】03-3291-8221 【FAX】03-3291-8223 【営業時間】10:00~18:00/ 定休：日・祝
 【E-mail】kosyo@books-yagi.co.jp 【Web】https://catalogue.books-yagi.co.jp/



【ご注文方法】最寄りの書店または小社までお申込みください。小社ではメール・電話・Fax・Web サイトでご注文を承ります。

※本目録の表示価格は税別の本体価格です。

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8
 【Tel】03-3291-2961 (営業) / 03-3291-2969 (編集)
 【Fax】03-3291-6300 【E-mail】pub@books-yagi.co.jp
 【Web】https://catalogue.books-yagi.co.jp/

